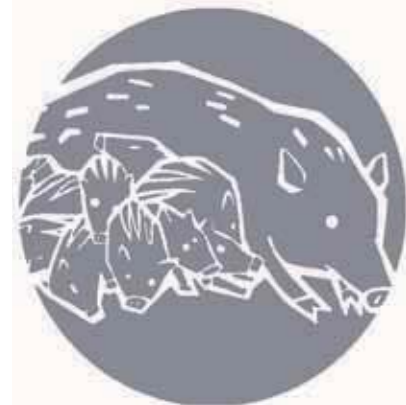
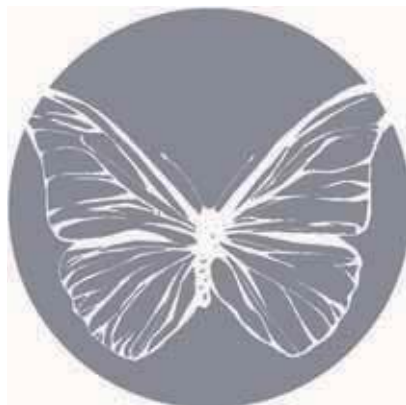


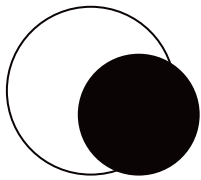
-平成24年度-

館報

2012

vol. 21

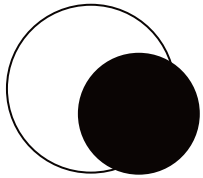




目次

• 組織及び施設概要	
・ 沿革	4
・ 機能	5
・ 常設展示の概要	6
・ 施設の概要	9
・ 組織と職員	12
・ 各研究部の概要	15
• 平成 24 年度事業報告	
・ ひとくはくトピックス	17
・ タスクフォース活動報告	34
・ 平成 24 年度事業報告	36
• 資料および個人別成果	
• 博物館概要等に関連する資料	
・ 主な収蔵資料	44
・ 情報システム	45
・ 条例等	47
・ 博物館協議会委員名簿	54
• 個人別成果報告に関する資料	
・ 館長	55
・ 自然・環境評価研究部	57
・ 自然・環境マネジメント研究部	94
・ 自然・環境再生研究部	126
・ 個人成果報告一覧	144
• 博物館事業報告に関連する資料	
・ セミナー一覧	148
・ 企画展等一覧	155
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	157
・ 学校教育支援プログラム	158
・ 平成 24 年度学校団体連続入館状況	159
・ 来館一般団体一覧	161
・ 来館学校団体一覧	165
・ 連携事業等	169
・ ひとくはくフェスティバル'12 参画団体	177
・ フロアサービス実績一覧	178
・ 外部資金導入状況	181
利用案内	184

組織及び施設概要



はじめに

2012年、人と自然博物館（ひとはく）は、平成4年10月の開館から20年目の漸く成人した節目の年を迎えることができました。思い返しますと、伊谷純一郎準備室長からはじまり、加藤幹太初代館長、河合雅雄館長、岩槻邦男館長のもと、博物館に関心を持っている人たちとともに進めてきました博物館活動の総仕上げの一年でした。ここに収録するわたしたちの活動の成果も、それを如実に描き出しているものと考えています。

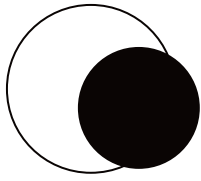
「ひとはく二十歳」のテーマのもとで、従来から継続しているプログラムに加えて、兵庫県人と自然の博物館20周年記念スペシャルプログラムが年間を通して展開されました。10月13、14日の「ひとはくアニバーサリー」では、秋篠宮殿下にご来館頂き、盛大で、かつ厳粛な記念式典がとりおこなわれました。シンポジウムでは、博物館活動を通じて地域貢献を果たす「新しい時代の博物館のあり方」「これからのひとはく」について熱い議論がありました。ひとはくのみならず、わが国の博物館の将来に向けての多くの示唆をいただくことができました。9月15日には、ひとはく20周年記念フォーラム「地域とひとはく」、12月2日には、研究員が兼務している「兵庫県立大学自然・環境科学研究所20周年記念シンポジウム」、3月16、17日には、「ひょうご恐竜化石国際シンポジウム」が、ひとはくと化石の発掘現場がある丹波で開催されました。ひとはくが、これまでに蓄積してきた底力を思う存分発揮できたのではないかと思います。まさに、地域との連携を重視し、多くの関係する人々と協働してきた成果であるといえるでしょう。

10月には、ひとはく収蔵資料を広く公開する目的で、「ひとはく多様性フロア～魅せる収蔵庫トライアル～」をリニューアルオープンすると共に、長い間の念願であった移動博物館車「ゆめはく」を導入していただきました。ゆめはくの車体ラッピングは、一般の方々からの公募から選ばれました。ゆめはくは、県下はもちろんのこと、東日本の被災地に出かけたりして、博物館活動を広範に展開しはじめています。

9月には、「みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ」が、研成社から刊行されました。この本は、岩槻前館長の序章「ひとはくの20年とこらから」からはじまり、ひとはくの20年を、シンクタンク活動、生涯学習、連携、研究、広報、マネジメントの視点から、研究者のみならず事務職員も参加して執筆したものです。

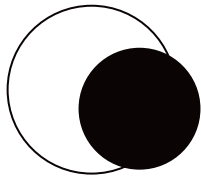
20周年事業の紹介に、多くを使いましたが、ひとはくの博物館としての活動は、その他の面でも順調に展開しています。これからは、20年以降の活動に向けて、さらに前進していきたいものと考えています。あたたかく見守っていただき、厳正なご批判と、有益なご指導をいただければと期待いたします。

2013年10月 兵庫県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲



沿 革

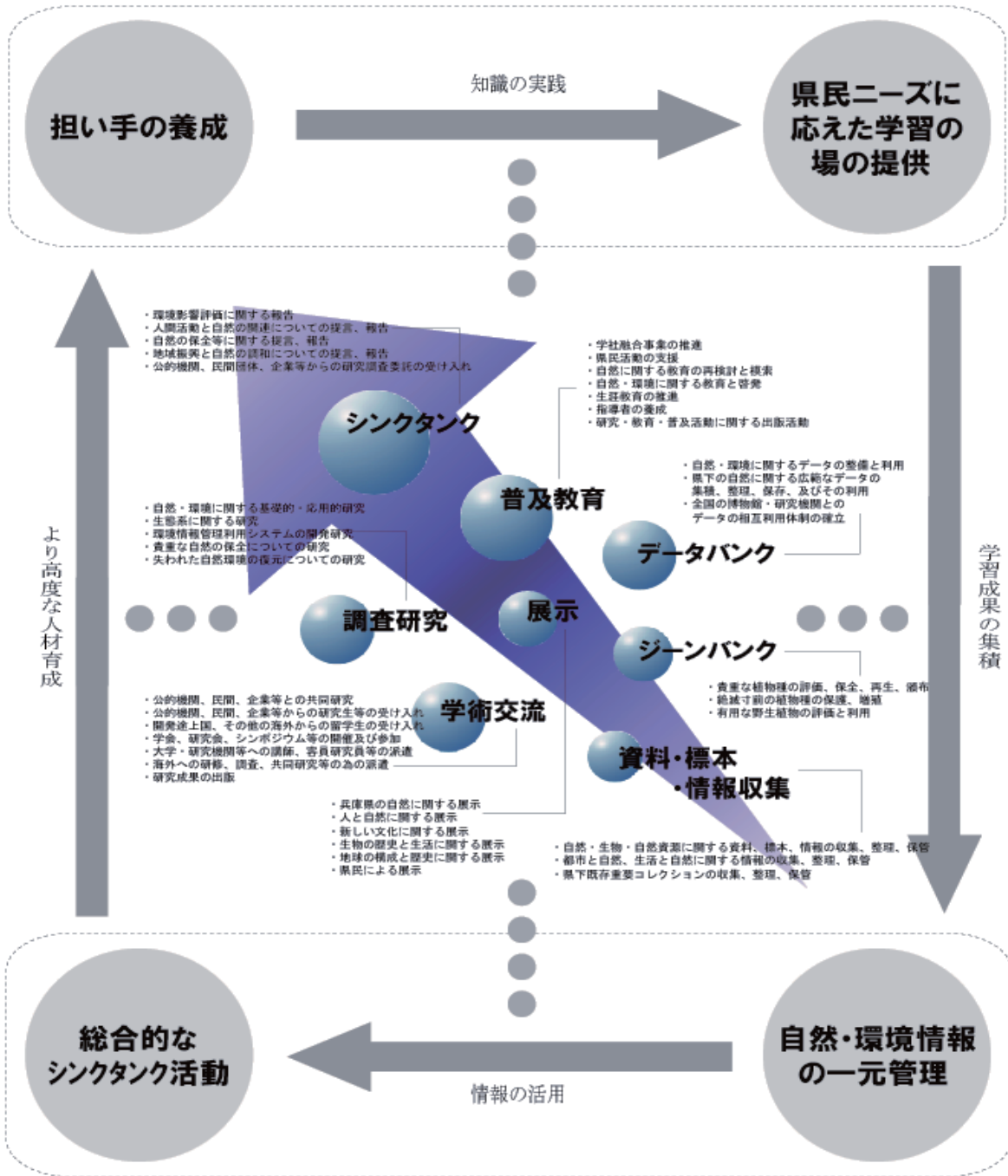
昭和44年2月26日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和44年6月5日	県議会において請願が採択された。
昭和48年6月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和51年5月	IFHP兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和59年4月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和61年12月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想(報告)が策定された。
昭和63年8月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年4月1日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館(仮称)設立準備室が設立された。
平成3年12月	研究・収蔵棟が完成した。
平成4年3月25日	本館(ホロンピア館)の様式替え工事が完了した。
平成4年4月1日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成4年6月25日	ジーンファームが完成した。
平成4年9月20日	エントランスホールが完成した。
平成4年9月30日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成4年10月9日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成4年10月10日	開館。
平成9年6月14日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成9年11月4日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成10年3月12日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成11年11月13日	NPO法人「人と自然の会」(博物館ボランティア)と協力協定を締結した。
平成13年4月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成14年4月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成18年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成14年10月	博物館が開館10周年を迎え、10周年記念式典を執り行った。
平成16年4月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成18年6月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成18年9月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成19年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想が策定された。
平成20年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画が策定された。
平成20年4月	「ひとほく恐竜ラボ」がオープンした。
平成21年7月	加東市と協力協定を締結した。
平成21年8月	佐用町昆虫館と連携協定を締結した。
平成22年6月	篠山層群における恐竜・哺乳類化石等に関する基本協定を締結した。
平成24年10月	博物館が開館20周年を迎え、20周年記念式典を執り行った。
平成25年3月	「ひとほく将来ビジョン」が策定された。



機能

生涯学習の支援

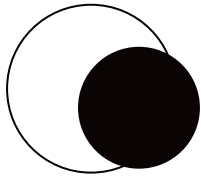
- ・展示法の創意工夫と資料の充実
- ・生涯学習実践フィールドの充実
- ・生涯学習の担い手の養成
- ・広域の充実



自然・環境に関するシンクタンク機能

- ・総合的なシンクタンク機能の充実
- ・自然・環境情報の一元管理と絶滅危惧植物の保護増殖

博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



常設展示の概要

○ 本館3階

■ 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海・太平洋に面した数少ない県で、北部の多雪地帯から南部の暖温帯まで、多様な自然があります。人々の生活は多様な自然の影響を受けていますが、人々の生活、も各地の自然のありように強く影響を与えています。ここでは、但馬、丹波、播磨、摂津、淡路の特色ある自然を標本、映像、ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」には、兵庫県の野生動物をはく製で紹介しています。



■ 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、ジオラマ・映像などで紹介するとともに、“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。



■ ナチュラリストの幻郷

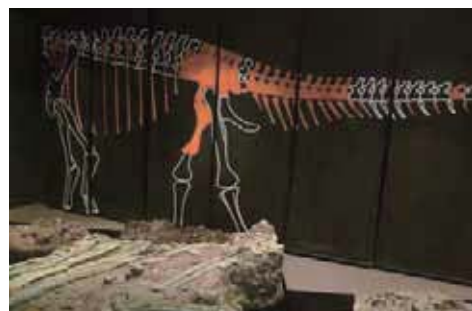
博物館の収蔵庫には多くの方々から寄贈していただいた資料が集められています。

このコーナーでは江田茂氏による 27 万点に及ぶ昆虫コレクションや小林桂助氏による貴重な鳥のコレクションをはじめとする、コレクション類の一部を紹介しています。



■ 丹波の恐竜化石

2006 年 8 月に丹波市山南町で発見された大型草食恐竜化石の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。同じ場所で見つかった他の恐竜の歯、小動物の化石なども随時展示しています。



○ 本館2階



■ 水生生物の世界

川や海といった水中に暮らす生物の食物連鎖や環境への適応を展示しています。淡路のナガスクジラの骨格標本や川の上中下流の魚類などの標本があります。



■ ひとはく多様性フロア ~魅せる収蔵庫トライアル~

【NEW】 2012年10月14日オープン

ひとはくが開館から20年間に寄贈された標本や館員が収集してきた標本などの一部を、一般の来館者にみえるように配置しました。これらの標本は、間近で観察することができます。セミナーや講義など、その場で研究員が解説する「演示」の手法で双方向での対話型の学習にも活用されます。

○ 本館1階



■ 地球・生命と大地

約35億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。



■ 共生の森

ラフレシアやオランウータンなど赤道直下のボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。生物多様性の豊かな熱帯雨林を体感しながら学ぶことができます。

○ 本館4階

■ひとはくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。



○ ひとはく恐竜ラボ

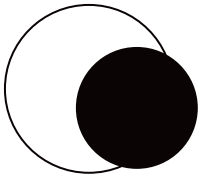
恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとはく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



※ 移動博物館車『ゆめはく』

2012(平成24)年に、ひとはく開館20周年にあわせて、移動博物館専用の2t車「ゆめはく」を導入しました。「ゆめはく」は、車体そのまま展示室になります。これによって、まったく施設のないところでも、さまざまな資料を展示することができるようになりました。





施設の概要

(1) 規模

- ・敷地(設置許可・使用承認面積): 37,036.54 m²、延床面積: 18,691 m²

(2) 建物構造

- ・本館(鉄骨4階建) 建面積: 4,221 m²、延床面積: 12,222 m²
- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型) 建面積: 360 m²、延床面積: 360 m²
- ・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建) 建面積 2,327 m²、延床面積: 5,988 m²
- ・ジーンファーム管理棟(軽量鉄骨平屋) 建面積 121 m²、延床面積: 121 m²
- ・ひとはく恐竜ラボ(鉄骨平屋) 建面積 260 m²、延床面積: 260 m²

(3) 施設の概要

- ・本館(鉄骨4階建)

建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。展示関係のスペースをはじめとして、電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。

- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型)

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

- ・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建)

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

- ・ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

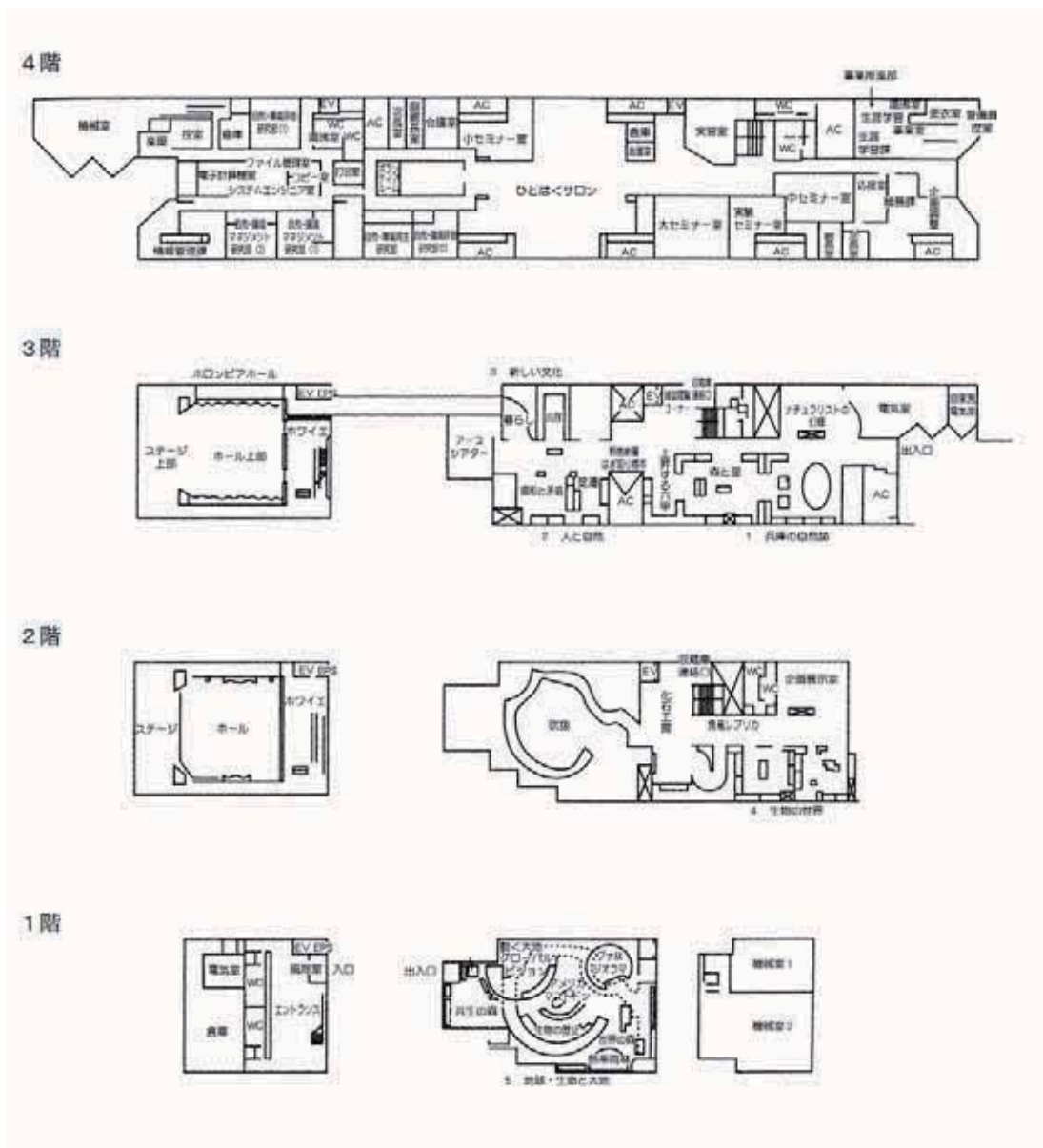
- ・ひとはく恐竜ラボ

恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置。

(4) 施設状況

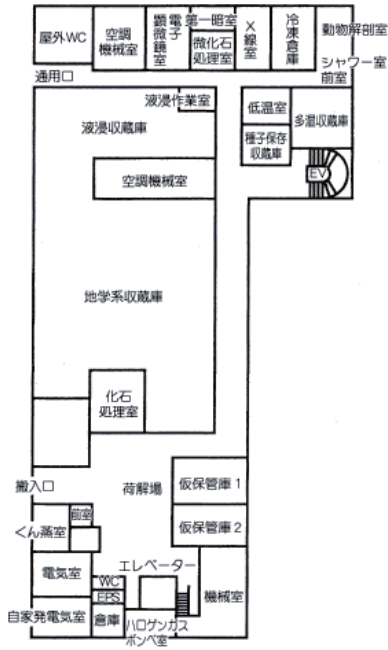
- ・展示関係: 4,124 m²
- ・管理関係: 349 m²
- ・収蔵関係: 2,966 m²
- ・研究関係: 2,105 m²
- ・教育普及関係: 1,324 m²
- ・エントランス: 360 m²
- ・機械、その他: 7,723 m²

●本館

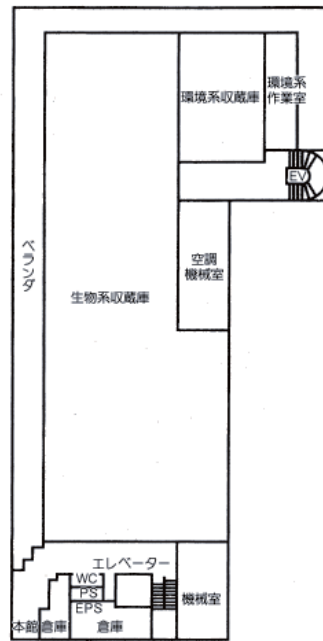


●研究・収蔵庫棟

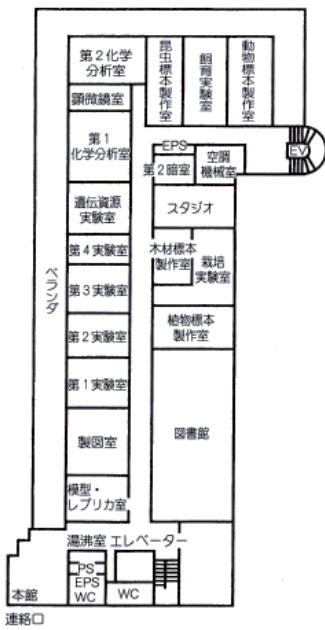
1階



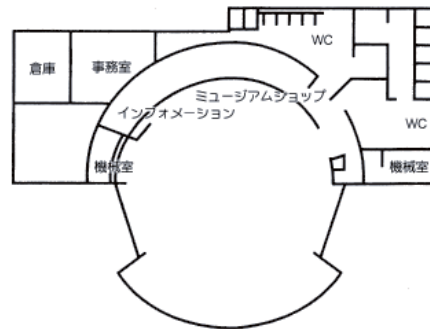
2階

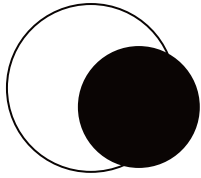


3階



エントランスホール

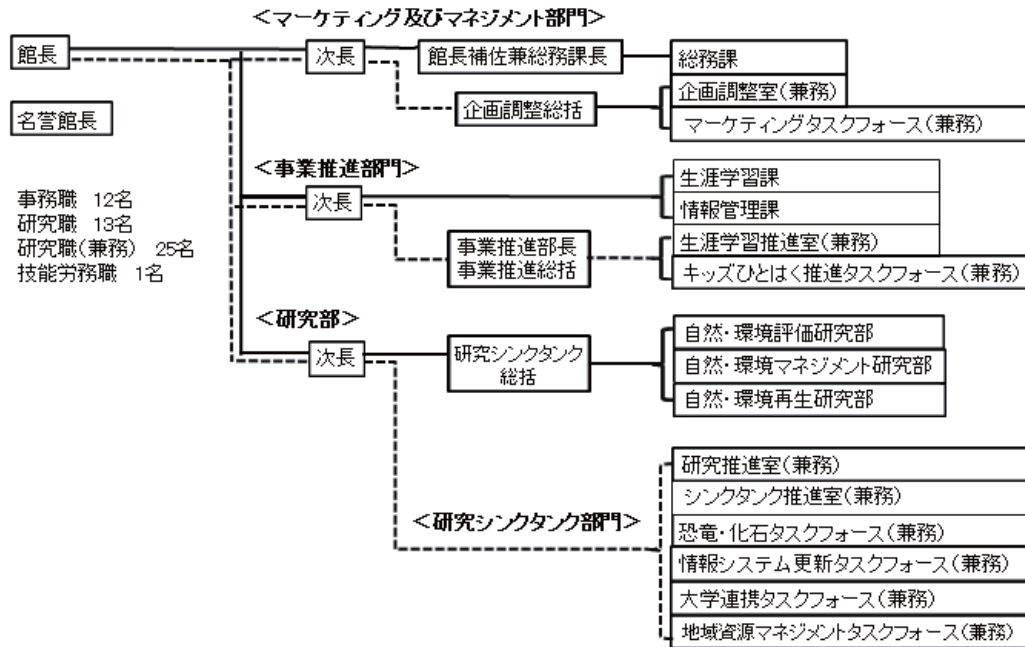




組織と職員

(1) 組織図

平成25年4月1日現在



※ 実線は組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制

(2) 職員数

平成25年4月1日現在

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	3 (館長・名誉館長)	10
情報管理課	2				2
生涯学習課	3				3
自然・環境評価研究部		7 (兼務9)		1	8 (兼務9)
自然・環境マネジメント研究部		2 (兼務7)			2 (兼務7)
自然・環境再生研究部		2 (兼務4)			2 (兼務4)
合計	11	11 (兼務20)	1	4	27 (兼務20)

※ (兼務)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼任職

(3) 職員配置

名誉館長	河合 雅雄
名誉館長	岩槻 邦男
館長	中瀬 勲
次長(事務系)	田中 千雄
次長(研究系)	田原 直樹
次長(事業系)	高橋 晃
館長補佐	光川 安則
企画調整総括	佐藤 裕司
事業推進部長	高橋 晃
事業推進総括	高橋 晃
研究シンクタンク総括	太田 英利

【マーケティング及びマネジメント部門】

総務課	
課長	光川 安則
主査	梶本 悦子
事務職員	沖 裕美子
事務職員	鈴木 智仁
事務職員	東 誠一
技師	塚本 健司
情報管理課	
課長	船越 充
指導主事	坂上 勝彦
<u>企画調整室(研究員兼務)</u>	
室長(主任研究員)	八木 剛
副室長(主任研究員)	鈴木 武
主任研究員	半田 久美子
研究員	黒田 有寿茂
研究員	布野 隆之
<u>マーケティングタスクフォース</u>	
リーダー(主任研究員)	半田 久美子
主任研究員	秋山 弘之

【事業推進部門】

生涯学習課	
課長	西岡 敬三
主任指導主事	八尾 滋樹
主査	柏木 徹
教育事務推進専門委員	井上 充
生涯学習推進室	
室長(主任研究員)	橋本 佳明
副室長(研究員)	藤本 真里
副室長(主任研究員)	三橋 弘宗
副室長(研究員)	小舘 誓治
<u>展示マネージャー(研究員兼務)</u>	
主任研究員	高野 温子
<u>共生のひろばマネージャー(研究員兼務)</u>	
主任研究員	田中 哲夫
<u>連携・共催・協力・スクールパートナーマネージャー(研究員兼務)</u>	
主任研究員	藤井 俊夫
<u>ジオパーク支援マネージャー(研究員兼務)</u>	
主任研究員	先山 徹

主任研究員	山崎 義人
<u>地域・博物館連携マネージャー(研究員兼務)</u>	
主任研究員	松原 尚志
<u>ゆめはくマネージャー(研究員兼務)</u>	
主任研究員	加藤 茂弘
主任研究員	古谷 裕
研究員	上田 萌子
技師	塚本 健司
サイエンスコミュニケーター	高瀬 優子
<u>キッズひとほく推進タスクフォース(研究員兼務)</u>	
主任研究員	古谷 裕
研究員	山本 伸子
技師	塚本 健司
サイエンスコミュニケーター	高瀬 優子
<u>地域展開担当(研究員兼務)</u>	
但馬(研究員)	山崎 義人
但馬(研究員)	布野 隆之
丹波(研究員)	池田 忠広
丹波(主任研究員)	松原 尚志
西・中播磨(主任研究員)	石田 弘明
西・中播磨(主任研究員)	八木 剛
西・中播磨(研究員)	山本 伸子
北・東播磨(主任研究員)	半田 久美子
北・東播磨(研究員)	黒田 有寿茂
神戸(研究員)	鈴木 武
神戸(主任研究員)	高野 温子
阪神北南(主任研究員)	赤澤 宏樹
阪神北南(主任研究員)	三橋 弘宗
阪神北南(主任研究員)	橋本 佳延
淡路(主任研究員)	加藤 茂弘
淡路(研究員)	上田 萌子

【研究開発部門】

自然・環境評価研究部	
研究部長	高橋 晃
<u>研究部長代理(主任研究員)</u>	佐藤 裕司
(地域環境地質研究グループ)	
<u>研究部長代理(主任研究員)</u>	佐藤 裕司
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘
(埋蔵自然遺産研究グループ)	
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	三枝 春生
主任研究員	松原 尚志
主任研究員	半田 久美子
研究員	池田 忠広
(森林多様性研究グループ)	
研究部長	高橋 晃
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子
主任研究員	布施 静香
(昆虫共生系研究グループ)	
主任研究員	太田 英利
主任研究員	橋本 佳明

主任研究員 八木 剛

自然・環境マネジメント研究部

研究部長 太田 英利

研究部長代理(主任研究員)
(流域生態研究グループ) 田原 直樹

研究部長 太田 英利

主任研究員 田中 哲夫

主任研究員 三橋 弘宗

(動物共生研究グループ)

主任研究員 三谷 雅純

研 究 員 布野 隆之

(コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ)

副 館 長 中瀬 勲

主任研究員 藤本 真里

主任研究員 赤澤 宏樹

(コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ)

研究部長代理(主任研究員) 田原 直樹

研 究 員 山崎 義人

研 究 員 上田 萌子

自然・環境再生研究部

研究部長 高橋 晃

(植生創出研究グループ)

研究部長 高橋 晃

主任研究員 石田 弘明

研 究 員 小舘 誓治

主任研究員 橋本 佳延

(生物多様性保全研究グループ)

主任研究員 藤井 俊夫

研 究 員 鈴木 武

研 究 員 黒田 有寿茂

研究推進室(研究員兼務)

室長(主任研究員) 秋山 弘之

研究紀要・資料整理活用マネージャー(研究員兼務)

主任研究員 三谷 雅純

シンクタンク推進室(研究員兼務)

室長(主任研究員) 石田 弘明

シンクタンク・ジーンバンクマネージャー(研究員兼務)

主任研究員 橋本 佳延

【タスクフォース群】

恐竜・化石タスクフォース

リーダー(主任研究員) 三枝 春生

サブリーダー(研究員) 池田 忠広

主任研究員 佐藤 裕司

主任研究員 小林 文夫

主任研究員 松原 尚志

主任研究員 半田 久美子

情報システム更新タスクフォース

リーダー(主任研究員) 三橋 弘宗

サブリーダー(主任研究員) 古谷 裕

主任研究員 太田 英利

主任研究員 赤澤 宏樹

地域資源マネジメントタスクフォース

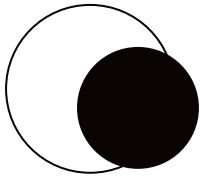
リーダー(主任研究員) 先山 徹

サブリーダー(主任研究員) 山崎 義人

館長補佐 岩崎 晃一

(平成25年4月1日現在)

なお下線は館長辞令による人と自然の博物館独自の職制



各研究部の概要

■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物を対象とした分類学や形態学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

本研究部では、これらの成果に基づき、過去から現在、そして兵庫県から地球レベルにいたる自然環境の変遷や生物相の由来、生物多様性を創出し維持している共生関係の解明を進め、自然環境保全のための有効な提案を行っていきます。

■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山林や半自然草原などの植生やフジバカマ、エビネ、カザグルマなどの植物が危機的な状況にいたっています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム（ジーンバンク機能を果たす圃場）における増殖などの事業も展開しています。

平成 24 年度事業報告

1 開館20周年記念行事「ひとはくアニバーサリー」を開催

2012年10月13日に開館20周年記念行事「ひとはくアニバーサリー」が、秋篠宮殿下の御臨席のもと、300余名の出席者をお迎えして賑々しく執り行われました。第1部の記念式典では、井戸敏三知事による挨拶の後、秋篠宮殿下よりおことばをいただきました。また、来賓代表の藤原昭一県議会議長、竹内英昭三田市長よりご祝辞をいただき、最後に岩槻邦男館長よりお礼の言葉が述べられました。第2部の記念シンポジウム「新たな博物館の役割と地域貢献～次世代の博物館活動を描く～」では、中瀬 勲副館長より「地域の担い手が活躍する舞台をつくる博物館」と題する話題提供が行われた後、パネリストとして近藤信司国立科学博物館長、安部義孝ふくしま海洋科学館館長、林 良博山階鳥類研究所／県森林動物研究センター所長をお迎えしてパネルディスカッションが開催されました。

また、当日の午前中、秋篠宮殿下には、当館2階「ひとはく多様性フロア～魅せる収蔵庫トリアル～」ならびに移動博物館車「ゆめはく」の御視察と、当館の連携校である県立御影高等学校環境科学部の生徒ならびに連携活動グループ「NPO法人人と自然の会」「ラボーンズ」「こどもひかりプロジェクト」の代表の方々と御交流をいただきました。



写真1 秋篠宮殿下のおことば



写真2 記念シンポジウムのようす



写真3 記念シンポジウムを御聴講される秋篠宮殿下



写真4 県立御影高等学校環境科学部の生徒との御交流のようす



写真5 移動博物館車「ゆめはく」の御視察のようす

2 フォーラム「ひとはくが公館にやってきた！ ～地域とひとはく」開催

ひとはくでは10周年の際にキャラバン事業を開始して県内各地へ出かけ、以降、地域研究員や連携活動グループとの共同研究・実践、共生のひろばでの交流等を通じて地域とのネットワークを深めてきました。本年度、20周年を機に、今後のアウトリーチ事業や外部施設等との連携の発展に活用するため、展示品を内蔵したトラック移動博物館車「ゆめはく」を導入しました。それを受けて、9月15日兵庫県公館において、その活用方法をテーマにフォーラムを開催し、ひとはくと地域のネットワークの将来像を描きました。議論をより具体的に展開するために、室内に「ゆめはく」内のモデル展示を示し、県公館の庭では、アウトリーチ事業の実践として子どもたちを対象とした体験型プログラムを実施しました。今年度から「キッズ推進室」「こどもひかりプロジェクト」など兵庫県内だけでなく東北の子どもたちも対象としたキャラバン事業にも積極的に取り組んでおり、ひとはくキッズ大使も館員とともにフォーラム参加者を出迎え、サポートしてくれました。

演示（公館東側の庭）

11:00～15:00 ひとはくが公館にやってきた！

- ① むしむしたいけん かや遊び
- ② 生き物を拡大して見てみよう
- ③ おゆまるでつくる化石のレプリカ

フォーラム（公館1階 大会議室） テーマ「アウトリーチ事業と地域連携」

13:00～13:20

主催者 あいさつ 兵庫県教育委員会 大西 孝 教育長

13:20～14:30 ひとはく実感プログラム

- ① ひとはくの将来（企画調整室 赤澤主任研究員）
- ② 移動博物館車について（地域展開推進室 石田主任研究員）
- ③ 室内のキャラバン展示見学&庭のプログラム体験）

14:30～16:30

基調報告

その1 アクアマリンふくしま 古川 健（命の教育課長）

その2 佐用マリア幼稚園 戸田みゆき（教諭）

パネルディスカッション

パネリスト

アクアマリンふくしま 古川 健

佐用マリア幼稚園 戸田みゆき

関西広域連合本部事務局長 中塚 則男

NPO 地域再生研究センター主任研究員 井原 友建

教育委員会社会教育課長 石橋 晶

コーディネーター 中瀬副館長

基調報告として、「アクアマリンふくしま」の古川さんから、先進事例として2003年度に設置した移動水族館車アクアラバンの運用状況を報告していただき、続いて、佐用マリア幼稚園の戸田先生から、2009年の集中豪雨後に受け入れていただいたキッズひとはくキャラバンについて子供たちの様子を報告していただきました。

その後のパネルディスカッションでは、「アウトリーチ事業と地域連携」をテーマに関西広域行政、中山間地域支援、教育行政といった様々な立場から議論を展開しました。次頁に、その議論や会場アンケートからでた「ゆめはく」に対する提案の一部をご紹介します。

ゆめはくの役割、内容、行き先、運用などの面で多様な提案をいただきました。「ひとはくにしかできないおもしろいこと」が求められると同時に、地域の資源を活用した展示、地域に刺激を与える展示が求められていることなどがわかりました。地域のみなさんと関係者と議論しながら、運用しながら、「ゆめはく」を活用していきたいと思います。



写真 1. キッズ大使 お出迎え



写真 2. 基調報告



写真 3. 基調報告



写真 4. パネルディスカッショ



写真 5. パネルディスカッショ



写真 6. 会場から



写真 7. ゆめはく公募入選作品



写真 8. ゆめはくモデル展示



写真 9. ゆめはくモデル展示



写真 10. むしむし体験かや遊



写真 11. 生物を拡大して見よ



写真 12. 化石レプリカづくり

フォーラムやアンケートでいただいた「ゆめはく」に関わる提案(一部抜粋)

(ゆめはくの役割)

- ・ ひとはくアウトリーチ活動は、ひとはくの営業活動。
- ・ 震災や原発事故を受けた地域ではリアルな自然を体験できなくなっている状況で移動博物館重要。地域としてのリアルさを提供しなくてはならない。
- ・ 農山漁村地域は人口減少、高齢化、土地の荒廃、集落機能の脆弱化などの課題を抱えている。地元の人が意外に地域のことを知らない。今こそ、地域の資源資産を知らしめ、残していくことがひとはくの役割として大切。
- ・ 関西広域連合立にするぐらいの発想で、移動博物館事業を共同でできるのではないか。
- ・ 地域で自然体験をする活動をしている。ひとはくでないといけないことに特化してほしい。私たちは学校など地域とひとはくをつなぐ役割を担える。

(ゆめはくの中で…)

- ・ 食べてみる体験、つくってみる体験が1番重要なのではないか。
- ・ 生きたものを手にとる五感を通じた体感を提供することが有意義。
- ・ 本物に出会うことが、こどもたちが育っていく基盤になっている。
- ・ 視覚や聴覚を使わなくても実物を感じられる展示を。
- ・ 県内各地域を巡回する際に、子供達に自分達の住んでいる地域に住んでいる生物を再認識させ、それを守っていく意識を持ってもらえるように、「ゆめはく」に各地域に応じた生物を展示して欲しい(ふるさと、ふるさとの環境を愛する心を育てたい)。
- ・ 地産地消大切。釣り道具や猟銃と、キッチンをつんでかけたらどうか。
- ・ キッチン機能をつけて、ケータリングサービスもあればみんな楽しめる。
- ・ 舞台(ステージ)として活用し地域の伝統行事を披露できる場に。
- ・ 関西広域連合が有する博物館、水族館、美術館などと連携し、単独施設では提供できないサービスをゆめはく号で展開。自然、歴史、文化、芸術・・・色々なお宝が詰まったゆめはくを見てみたい。

(ゆめはくに来てほしい)

- ・ アクアラバンとゆめはくで東北3県と一緒に巡りたい。
- ・ 是非、大阪にも来て欲しい。

(ゆめはくの運用を工夫)

- ・ 「ゆめはく」に来てほしい!と思っている地域の人たちが、事前にイメージできるように、HP上などで、どんなものが持ってこれるのか、どんな人がやってきてくれるのか、費用などの情報を写真や動画で紹介してもらえると良い。
- ・ 小学校や中学校、地域団体へおもむく際は、単発的なイベントではなく、そこで得た知識や体験手法を学校関係者や保護者に伝え、継続的に環境学習が引き継がれるような運用を。
- ・ ゆめはくをレンタカーにできないか。
- ・ 小規模集落への出張など地域振興、地域のPRという視点も取り入れた運用を。
- ・ 各地のキャラバン号が大集合するイベントができればおもしろい。とりあえず「アクアラバンとゆめはく号が2ショットする日!」を開催してはどうか。
- ・ 地域間の交流に活用できないか。例えば、流域を上流、中流、河口とそれぞれ

3 「新展示」と「移動博物館車」を活用し、21年目もさらなる飛躍を

昨年度、ひとはくは開館20周年を迎えました。その節目の年に、ひとはく「はたち」の記念事業とした。

新展示：魅せる収蔵庫トライアル「ひとはく多様性フロア」オープン

ひとはくでは、本物に触れ、体験できる、当館でしかできない学びの場の整備を新館構想のなかで暖めてきました。開館20周年を迎えた節目の年を契機に、そのアイデアを少しでも具体化しようとトライしたのが、本館2階に新たに開設した魅せる収蔵庫トライアル「ひとはく多様性フロア」です。ひとはくが20年かけて収集した資料を活用し、「収蔵庫」と「展示」，「学びの場」が融合した「魅せる収蔵庫」で、ひとはくが提唱する“演示”をより具体的に展開する試みの場となっています。昆虫や植物，鳥類，化石，鉱物，古写真などの実物標本や二次資料を壁面や陳列ケースにずらりと展示し，触ったり，観察したりして，標本・資料を調べるおもしろさを体験できるコーナーや，ひとはくの秘宝が特別に展示される小部屋，標本・資料を活用したオープンセミナー等を開催できるスペースもあります。限られた空間での試みですが，標本・資料から自然界に隠された多様性の物語を読み解くおもしろさを，展示だけでなく，セミナーやイベントなどを通じての演示で体験いただける場として活用し，ひとはくのさらなる飛躍につなげていきます。



写真1. ひとはく多様性フロア オープン式典

移動博物館車「ゆめはく」発進

実物の標本や資料が持っている迫力やおもしろさを地域の方々にも知っていただくこと、ひとはくが館外での展示やイベントに取り組むキャラバン事業をはじめたときからの夢であった「移動博物館車」を開館20周年という節目の年に発進させることができました。「ゆめはく」が移動博物館車の愛称です。この愛称も，ロゴやラッピングのデザインも開館20周年記念事業のひとつとして公募によって決めたもので



写真2. 移動博物館車「ゆめはく」.

す。「ゆめはく」はコンテナ付きのトラック(2tロング)で、展示室やセミナー室などとして利用できるよう、荷台にはさまざまな加工が施されています。例えば、コンテナの左の側面は上下に大きく開く構造となっており、内部には昆虫標本箱を配架できるようにネットを取り付け、顕微鏡などを使って観察した画像を写し出すための大型モニターなども設置してあります。今後は「ゆめはく」をキャラバン事業などに大いに活用し、ひとはくの地域での博物館活動や連携活動の充実を図るとともに、ひとはくのことをもっと多くの方々に知っていただき、本館来館者やセミナー参加者の活性化につなげていきます。

4 博物館と地域の未来を拓く「ひとはく将来ビジョン」の策定

ひとはくは 20 周年を迎えた今年度、数多くの記念行事と並行しながら、これまでの歩みを振り返りこれからの展開を考えるために“博物館と地域の未来を拓く「ひとはく将来ビジョン」”を策定しました。

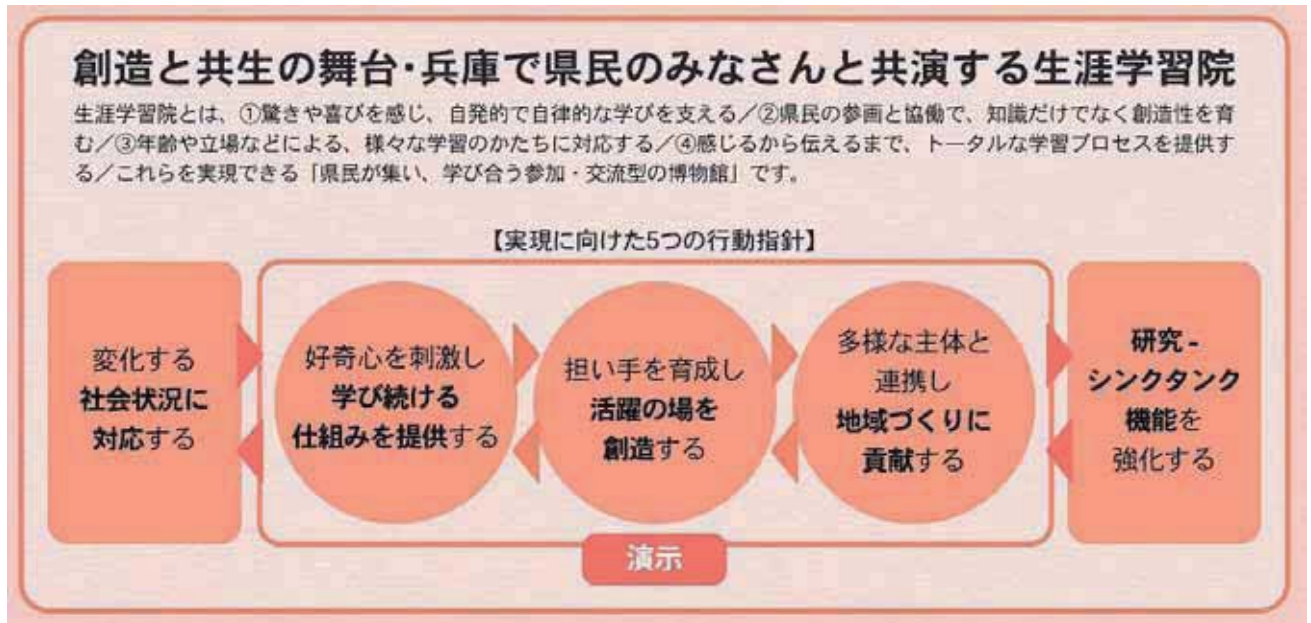


図 1.5 つの行動指針

これまで、ひとはくではいくつかの構想や計画をつくり、目標を定めながら活動を展開させてきました。開館 20 年の節目にあたり、変化する社会状況に対応しながら、い

- 第1回**
講師：中村順子 先生
(特定非営利活動法人コミュニティサポートセンター神戸 理事長)
山納 洋 先生
(大阪ガス株式会社近畿園部副課長)
- 第2回**
講師：牧 慎太郎 先生
(総務省自治行政局地域自立応援課長)
矢野 和彦 先生
(文化庁文化財部記念物課長)
- 第3回**
講師：亀崎 直樹 先生
(神戸市立須磨海浜水族園 園長)
赤井 伸郎 先生
(大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授)
- 第4回**
講師：寺浦 薫 先生
(大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課 主任研究員)
- 第5回**
講師：藤田 香 先生
(日経 BP 社 環境経営フォーラム 生物多様性プロデューサー)
鈴木 真由子 先生
(大阪教育大学教育学部 教授)

ま実践すべき戦略を検討し、これからのひとはくが目指すものを示したものがこの「ひとはく将来ビジョン」です。ビジョンの作成にあたっては、多くの方々にご協力を頂きながら、プロセスそのものを共有しつつ内容を検討してきました。まず、20 周年の前年にあたる 2011 年度から「ひとはく将来検討勉強会」を開催し、多くの専門家の方々からご示唆を頂いてきました。さらに、20 周年記念事業の様々なイベントの中で、皆さまからひとはくの目指すべき姿についてのご意見を頂いてきました。

表 1. ひとはく将来勉強会の講師一覧



写真 1.ひとはく将来検討委員会の様子

また、2012年6月1日には、ひとはく将来検討委員会および同専門委員会を設置し、3回の本委員会および専門委員会や関係者へのヒアリング等を重ねながら、検討を重ねてきました。

このようなプロセスで策定されたこの将来ビジョンは、ひとはくの今後のあるべき姿を描くと同時に、日本の博物館の進むべき方向性も示唆するものであると考えています。

	氏名	所属・職名
委員長	熊谷 信昭	兵庫県参与
委員	林 良博	兵庫県森林動物研究センター所長
委員	佐々木 正峰	独立行政法人国立科学博物館顧問
委員	堂本 暁子	元千葉県知事
委員	赤井 伸郎	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
委員	角野 幸博	関西学院大学総合政策学部教授

	氏名	所属・職名
専門委員	角野 幸博	関西学院大学総合政策学部 教授 (基本構想策定委員会委員・博物館協議会委員)
専門委員	山納 洋	大阪ガス関西近畿圏部 副課長
専門委員	今井 裕子	香美町海の文化館 (博物館協議会委員)
専門委員	甲賀 雅章	(株)シーアイセンター代表取締役・ソーシャルデザイン研究所代表

表 2.ひとはく将来検討委員会（左）および同専門委員会（右）の委員一覧

5 ひとつはくの被災地支援

東日本大震災からの復興の2年目となった平成24年度は、ひとつはく事業および他団体との連携事業として、被災地でのキャラバン事業を継続しました。昨年度から引き続いて児童館や博物館で体験プログラムを実施すると共に、住民の方々のご理解の元で仮設住宅や小学校にも活動を広げ、多くの子ども達に自然に触れる体験をしてもらえました。加えて、昨年度に立ち上がった「こども☆ひかりプロジェクト」との連携によって、全国の博物館が被災地に集まり、フェスティバル実施



写真 1. こども☆ひかりフェスティバルの様子。



写真 2. ひとつはく Kids キャラバンの様子。

などを通して子ども達の学びを支援することができました。

また、これまでに行ってきた阪神・淡路大震災からの復興の知見を整理することや、茨城県大洗町の復興プラン策定支援については、成果を被災地や広く社会に発信する年となりました。各種学会や一般書籍等を通じて成果を発信し、今後の復興に役立てるべく活動を継続しています。

実施月日	タイトル	実施場所
4月22日	ひとつはく Kids キャラバン in 会津若松	福島県立博物館
6月8日	ひとつはく Kids キャラバン in 東北	石巻市立貞山小学校
6月9日	こども☆ひかりフェスティバル in せんだい	仙台市科学館
6月10日	こども☆ひかりフェスティバル in ふくしま	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館
7月25日		仙台市六郷児童館
7月26日		仙台市七郷児童館
7月27日	ひとつはく Kids キャラバン in 東北	福島県檜葉町応急仮設住宅
3月9日	ひとつはく Kids キャラバン in 東北	人と自然の博物館
～	ひとつはく Kids キャラバン in 東北	宮城県石巻市仮設開成第一団地
3月26日	東北しぜんかわら版展	
3月27日	ひとつはく Kids キャラバン in 東北	福島県田村市船引運動場応急仮設住宅
	ひとつはく Kids キャラバン in 東北	

6 Kids ひとつはく大使 145 名が元気いっぱいに活動しました

2012 年度の 1 年間、ひとつはくのキッズ関連の取り組みを広く PR し、キッズにとってよりよい博物館にするためのモニターとしての役割を果たしていただくために、2 歳から小学校三年生までの子どもたち 145 名に、kids ひとつはく大使として活動していただきました。

任命式は 4 月 29 日に行われ、出席した大使には一人ずつ任命証が手渡されました。

大使の活動の一つが「Kids 館長」です。毎月（4 月、11 月、2 月は除く）第一日曜日の Kids サンデーの日に、毎回数名ずつのキッズ大使に館長室で記念写真の撮影、館内の巡回、お客様のお出迎えなどの体験をしていただきました。

ひとつはくの開館 20 周年関連の行事でもひとつはく Kids 大使が活躍しました。10 月 14 日に行われた「魅せる収蔵庫トライアル」と移動博物館車「ゆめはく」のテープカットです。

他に、目立たないけれど重要な役割が、ひとつはくで開催されるさまざまなプログラムに参加したり、ひとつはくの施設に対するご意見をお寄せいただくことです。

昨年度 1 年間のキッズ大使の活動のおかげで、ひとつはくが小さな子どもたちとその保護者の皆さんにとってより良い存在になろうとしている事は PR できましたし、キッズ向けプログラムの開発や施設の改善に対しても多くのご意見をいただくことができました。これからも Kids ひとつはく大使とは形を変えて、小さな子どもたちや保護者の皆さんとつながって行く仕組みをつくって行きたいと考えています。



3 「ひょうご恐竜化石国際シンポジウム」を開催



写真 1. 国際シンポジウム「白亜紀前期の恐竜研究最前線」の総合討論典。



写真 2. サイエンスカフェ「篠山層群の化石から白亜紀の生き物を復元する」



写真 3. チータンの館内で恐竜骨格レプリカを解説するカークランド氏



写真 3. 恐竜化石を活かした地域づくりフォーラムのパネルディスカッション「これからの地域づくりを支えるもの ～恐竜と交流のバリュー」

2006年に兵庫県丹波市で恐竜化石が発見されて以来、丹波・篠山両市に分布する篠山層群からは、保存良好な恐竜等脊椎動物化石が発掘されています。これら化石の学術的価値を国内外に向けて発信するために、2013年3月16日、17日の両日にわたり一連のイベントが行われました。3月16日には人と自然の博物館において国際シンポジウム「白亜紀前期の恐竜研究最前線」を開催しました。篠山層群発掘調査結果のまとめに続き、海外3名(ジェームズ・カークランド、徐星、ロマン・アミヨ)、国内4名(對比地孝亘、柴田正輝、山田敏弘、楠橋直)の演者による恐竜、古環境、植物、哺乳類化石の最新研究についての講演があり、さらに会場からの質問を交えた総合討論が行われました。内容は専門的かつもりだくさんでしたが、350名の参加者には恐竜化石研究の面白さの一端を味わっていただくことができました。

翌17日の午前中はサイエンスカフェ「篠山層群の化石から白亜紀の生き物を復元する」が丹波市山南町のやまなみホールにおいて行われました。小田隆・徳川広和両氏による篠山層群脊椎動物の復元画・復元像の制作過程の紹介のあと、前日のシンポの8名の演者が作品に対してコメントしました。136名の参加者に、恐竜の復元にはアーティストと研究者の綿密な共同作業が必要であることが伝わったと思います。この催しの直後、隣接するチータンの館に全員移動し、前日シンポの演者に同館内の恐竜骨格(レプリカ)に関する解説をしてもらいました。内外の研究者と恐竜ファンが密に接する良い機会でした。17日の午後は、恐竜化石を活かした地域づくりフォーラムが同じ敷地内の山南住民センターで行われました。進士氏による基調講演に続き、パネルディスカッション「これからの地域づくりを支えるもの～恐竜と交流のバリュー」(コーディネータ:中瀬 勲、パネリスト:村上 茂、荻野慎太郎、金野幸雄、浅倉陽子、東 朋子)が行われ、113名の参加者がありました。これにより地域資源としての恐竜化石の価値が再認識されました。17日の午後には、所 十三氏によるワークショップ「恐竜復元画を描こう」等のイベントも上記の催しと並行して行われました。

8 様々な機関と連携し、関西における生物多様性の普及活動を展開！

ひとはくでは2011年度より三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)とNPO法人西日本自然史系博物館ネットワークとの協働により「生物多様性協働フォーラム」事業を展開しています。本事業は、企業や自治体が生物多様性に取り組むメリットや必要性、その実践メニューや多様な主体の連携の先進事例を紹介し、関西における生物多様性の課題に取り組む企業や自治体の増加と、多様な主体によるネットワークの形成を促進しようとするものです。昨年度の3回のフォーラムに引き続き、2012年度は自治体や活動団体との協働の輪をさらに広げ、徳島県では『農・林・海』の場における生物多様性を維持・利活用し続けるためのしくみを、大阪府では「グリーンビジネスでつなげる『都市生活』と『生物多様性』」を、滋賀県では「共生のビジョンを広域的な視点から考える」をテーマにフォーラムを開催、のべ725名の聴講者を得ました。2月には協働フォーラム・近畿環境パートナーシップオフィスとの共催により、近畿圏の地方自治体の生物多様性行政担当者を対象とした地域戦略策定促進研修会を開催しました。研修には23府県市町が参加、戦略策定済み自治体の担当者としてこれから策定を進めようとする自治体担当者を交えたグループワークを行い、戦略策定のノウハウを共有するとともに、自治体間の情報交換を図りました。

このほか2月には環境省の主催の「生物多様性地域連携促進セミナー in 兵庫」に企画段階から参画し、「生物多様性地域連携促進法」の概要や行政やNPO等の関係者が協働して生物多様性の課題解決に当たることの必要性についての解説や、兵庫県における多様な

主体による連携の先進事例についての紹介を行いました。また、環境省生物多様性キャラクターのタヨちゃん・サトくん、ひとはく博士、はばタンと一緒に生物多様性について楽しく学ぶ子ども向けイベントも開催しました。

2013年3月からは関西広域連合より要請を受けて、関西広域環境保全計画の推進に係る生物多様性検討チームに参画しています。

このように兵庫県内にとどまらず関西をはじめ広域での生物多様性の取り組みを今後も継続していく予定です。



写真1. 生物多様性協働フォーラムの開催



写真2. 「生物多様性地域連携促進セミナー in 兵庫」では子どもも楽しく学べるイベントも開催



写真3. 生物多様性地域戦略策定研修会でのグループワーク

9 「教員のための博物館の日 in ひとはく」を開催

国立科学博物館が主催する「教員のための博物館の日」事業を2012年8月21日（火）に当館にて開催いたしました。この事業は、おもに学校教員を対象として、まずは博物館の親しみを持っていただき、体験をともなった楽しみ方を知っていただくことを目的としています。国立科学博物館では、こうしたイベントを各地の博物館と共同開催されています。当館では、この事業をベースとして、これまで取り組んできた学校との連携や「夏期教職員セミナー」と時期をあわせて開催することでプログラムの充実をはかり、さらに関西圏における博物館や大学研究機関としてネットワークを活かして、17機関による21のプログラムを実施いたしました。実施内容は、午前に「博学連携」に関するフォーラムを、午後には博物館や企業、大学研究機関によるサイエンスワークショップを開催。フォーラムでは、学校現場の教員や博物館から様々な事例を話題提供し、当館の岩槻館長をはじめ博物館のスタッフ、現場教員を交えたパネルディスカッションを行いました。午後からのワークショップは、自然や生物だけに限らず、宇宙天文や燃料電池などの工学分野など、多岐に渡るプログラムとなりました。このワークショップの特徴は、教員だけを対象とした閉鎖的なものではなく、夏休み期間中の一般来館者にも開放するかたちで、実際に子ども達を対象として、どのようにプログラム展開されているのかを見て頂きました。教員側は、あくまで一参加者であったり、半分指導者としての役割を担って頂いたり、各地の博物館スタッフ等との交流など、多様な学びが実践できたようです。

この取り組みのもう一つの特徴は、「教員のため」だけでなく、博物館や大学スタッフに対する教育開発力の向上、いわゆるSD（Staff Development）およびFD（Faculty Development）を兼ねているものです。今回、多くの機関の方々がワークショップに参加くださったことで、他所がどのように教育プログラムを実施しているのかを相互見学することができました。アンケートの結果をみても、プログラム実施者からこの点を評価頂きました。単なる一方通行のイベントではなく、博物館スタッフ、教員そして来館のお客さんがそれぞれの立場で成長できるようなスキームを開発できた点でも大きな成果となりました。



10 伊丹市教育委員会との協力協定締結

兵庫県立人と自然の博物館（ひとはく）は、開館 20 年を機に、ひとはくの「学校教育支援」の一層の発展・充実を図るとともに「キャラバン事業」で培われた地域支援の経験を活かし、人口密集地域での事例として、平成 25 年 2 月 22 日、伊丹市教育委員会と協力協定を締結し、市教育委員会との連携により社会教育と学校教育の充実を図り、生涯学習の振興に資するためのモデル事業に着手しました。

ひとはくは、公開博物館として学校団体等の観覧を受け入れ研究員による多様なセミナーを実施するのみならず、「高大連携推進事業」の一環として兵庫県立三田祥雲館高等学校他での授業実施や、兵庫県立大学附属中学校との 3 ケ年に渡る少人数による「課題研究」の指導、県下公立小学校で実施されているいわゆる「環境体験学習（環境体験事業）」への支援や、教職員を対象とした教職員・指導者セミナーを実施する等、総合的に学校教育活動を支援し続けております。

一方、ひとはくの持つ専門性やシンクタンク機能を活かし、県内各地への「キャラバン事業」の実施他、平成 21 年には「まちまるごとミュージアム事業」に協力するため、加東市と協力協定を結び、環境学習の振興を図るとともに、子どもたちの自然観察の機会等を提供する等地域支援に取り組んできました。

このような、開館から今日までのひとはくの学校教育支援、地域支援について体系化を図る試みとして、個々の学校支援ではなく教育委員会という組織を対象としあまり支援の事例がない社会基盤を備える都市部での事業に取り組むとの考えより、伊丹市教育委員会との連携が発案されました。

平成 24 年 11 月より実務担当者による会議を重ね、平成 25 年 1 月 25 日には「平成 24 年度第 1 回兵庫県立人と自然の博物館と伊丹市教育委員会の協力に係る推進委員会」が、当館中瀬勲副館長を委員長として伊丹市立労働福祉会館スワンホール（伊丹市昆陽池）で開催され、具体的な連携事業案が検討されました。これを受けて、平成 25 年 2 月 22 日、伊丹市立図書館「ことば蔵」（伊丹市宮ノ前）において、伊丹市教育委員会木下誠教育長と当館岩槻邦男館長の間で「兵庫県立人と自然の博物館と伊丹市教育委員会の協力に関する協定」が締結されました。

【協力協定により実施予定の事業】

小中学生の理科離れ対策事業への協力	「カ・リ・レ・オ・ク・ラ・ブ」（中学生）、「エ・ジ・ソ・ク・ラ・ブ」（小学生）への講師派遣他
中学校科学部への支援	講師派遣（アリの飼育、グリーンカーテン）
教員研修への支援	理科実験講座（地学フィールドワーク）、教職員・指導者セミナー（外来種、岩石）の実施、中学校理科部会研究会への講師派遣他
移動博物館車「ゆめはく」の派遣	小学校自由研究作品展、中学校自由研究作品展（総合教育センター）他
来館及び広報活動の促進	小学校 4 年生転地学習、「自由研究フィールドワーク」の実施、共生のひろばへの参加、市立幼稚園学利用した参加者募集等の広報活動他



写真 1. 推進委員会の様子（H25.2.5）



写真 2. 協力協定調印式の様子（H25.2.22）

11 頌栄短期大学から 25 万点の植物標本を受け入れました

頌栄短期大学で長年維持されてきた植物標本をひとはくで受け入れることになりました。この標本は、主に同短大の教授であった福岡誠行氏と黒崎史平氏によって収集されてきたもので、兵庫県内のみならず、全国各地および外国産の標本を含め、総点数 25 万点にもものぼる膨大な数のコレクションでしたが、黒崎教授の定年退職を機に、ひとはくの植物標本と合一することになりました。ひとはくの植物標本は、開館から 20 年間で約 13 万点になっていますが、今回の合一により一気に 38 万点ほどになります。

頌栄短大の標本は、維管束植物（シダ植物、裸子植物、被子植物）の押し葉標本で、約 25 万点の半数以上が兵庫県産です。その他に 4 割程度は国内他府県産、残りは外国産でも台湾やタイなど東アジアから東南アジア、さらにはネパール・ヒマラヤの植物も数多く含まれています。

頌栄標本は、福岡氏と黒崎氏および両氏とつながりのある国内外の植物分類学者によって研究され、最新の情報に基づいて種名が同定されています。また、多数の研究論文の証拠標本としても採用されています。

ひとはくの研究紀要において兵庫県産維管束植物の目録（1999年の初報から2009年の第11報まで分割）が出版されましたが、そのなかで県産植物

約 2,600 種の産地情報が記録されました。このとき証拠標本として引用された約 6 万点のうち、6 割以上は頌栄標本からの引用です。兵庫県版レッドデータブックを作成する際にも、基礎となったデータの約 7 割は頌栄標本に基づいており、頌栄標本は重要な証拠標本としてだけでなく、同ブックの今後の改訂にもなくてはならないものです。

頌栄短大の植物標本には、一般市民から寄贈されたものも多数含まれていました。標本の引越しの際

には、標本を寄贈されたみなさんが集まり、標本の箱詰め作業を手伝ってくださいました。膨大な作業量でしたが、みなさんの思いが

込められた貴重な標本を、ひとはくが引き受けたわ

けです。あまりに膨大な量なので、ひとはくの収蔵庫にはすぐには入りきりません。しかし、ひとはくでは順次整理を進め、一日も早く、また元どおり使えるようにしていかなければなりません。



写真 1. モミジカラマツ（左）、ケナシベニバナヤマシヤクヤク（中）、シマサルナシ（右）の標本。いずれも貴重種



写真 2. 箱詰めされた植物標本



写真 3. 寄贈者らによる標本の箱詰め作業の様子

11 学術貢献にもとづく館員の受賞

当館に所属する4名の研究員が名誉ある賞を受賞された。4名の功績を称え、以下に受賞者の氏名および受賞理由を記述する。

第34回北村賞 中瀬 勲 副館長

受賞理由：大阪府立大学から兵庫県教育委員会に転出後、兵庫県立人と自然の博物館の企画、開館を主導的に進め、全国的にも特徴ある博物館の運営に成果を挙げた。またその一方でこれまでの学術研究の成果を基盤に、兵庫県をはじめ各地での公園緑地の敷設や緑化計画等を指導し、さらにはパークマネージメントの確立や生物多様性ひょうご戦略の策定にも貢献した。さらに兵庫環境審議会等多くの委員会活動、政策策定等にも参画し、多大な成果と業績を上げている。また、淡路景観園芸学校の設立にも寄与し、造園分野発の専門職大学院に移行後は初代研究科長（校長）も務めた。

平成24年度兵庫県科学賞 服部 保 研究部長

受賞理由：照葉樹林の生態学的研究に取り組み、とりわけ日本各地における野外での入念な実地調査にもとづいて、樹木を中心とした森林の生物多様性の実態の解明を進めた。またその一方で、夏緑高木を育成し高林化することによる、画期的な里山再生手法を開発した。このように植生学の学術的発展と、それを基盤とした応用手法の開発にもとづく自然環境保全の推進に尽力し、多大な成果を上げた。

2012年度日本植物分類学会奨励賞 布施 静香 主任研究員

受賞課題：「広義ユリ科を中心とした種生物学的研究」

受賞理由：単子葉植物の分類を中心に研究を進めてきており、優秀な学術的成果を上げてきている。とりわけ広義ユリ科植物については、高い解像度の分子系統樹を構築することで分類再編の基盤を構築し、ショウジョウバカマ属についても分類の整理や新種記載のほか、マイクロハビタットによる種の維持機構の存在について解明を進めた。また単子葉植物全体の分子系統樹の構築にも携わり、チシマゼキショウ科、キンコウカ科、タケシマラン属などについては種間の系統関係を明らかにした。また在野の研究者との共同研究や県フロアのとりまとめにも尽力し、さらに博物館所属研究員として幼児から高齢者までを対象にこれまで100回以上の講座を開催、植物に関する教育活動にも力を注いできた。いっぽう日本植物分類学会の活動においては、図書幹事や講演会担当委員を務め、会の発展に尽くしてきた。以上の業績が高く評価された。

第6回種生物学会片岡奨励賞

受賞理由：受賞者は植物を対象に分子系統解析を進め、多くの分類学的成果を上げている。とりわけその研究過程で、野外での生態観察と大量の植物さく葉標本に基づく解析をも丹念に続け、その上に分子系統解析の結果を重ねて議論している点は特筆に値する。布施氏の研究は以下の4つに大別できる。まず単子葉植物全体の分子系統樹構築に関する研究では、*matK* 遺伝子を用いることによって *rbcL* 遺伝子で見いだされていた植物分類群間の系統関係を更に詳細に解析した。また、当時混乱していたショウジョウバカマ属の分類を、形態と分子の両面から解析することで明瞭に整理した。キンコウカ科については、ノギランが同科で最初に分岐した植物群であり、多くの祖先形質を維持していることを示した。またその一方で植物さく葉標本の学術的価値を深く理解し、先の東日本大震災によって被災した植物標本の復元にも積極的に関与の上自ら行動し、その実践から得た被災植物標本復元方法をいち早く公表した。この標本復元法は世界でも類を見ない貴重な研究成果であり、社会的貢献を伴った重要な学術的活動といえる。なお種生物学会では、シンポジウムの講演・ポスター発表を積極的に行い活発な学会活動を展開し、また学会運営にも尽力してきている。

2013年度* Ecological Research Award (日本生態学会英文誌掲載論文賞)

藤井 俊夫 主任研究員

受賞論文：Hirayama, D., T. Fujii, S. Nanami, A. Itoh, and T. Yamakura. Two-year cycles of synchronous acorn and leaf production in biennial-fruiting evergreen oaks of subgenus *Cyclobalanopsis* (*Quercus*, Fagaceae). *Ecological Research* 27 巻6号, 1059-1068 頁

賞の主旨：日本生態学会欧文誌「*Ecological Research*」の各巻(年6号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文2編程度を選考し、それらの著者に贈呈。

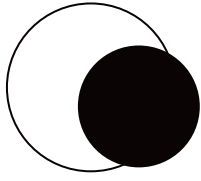
* 2013年3月8日受賞(日本生態学会での2013年度)

(※受賞者の職位は、受賞時点のもの)

13 「兵庫県立大学 20 周年記念シンポジウム」を開催

当館の職員の半数近くが兼務する兵庫県立大学自然・環境科学研究所も、今年で 20 周年を迎えました。これを記念して、2012 年 12 月 2 日（日）に公開シンポジウムを神戸市中央区のホテル北野プラザ六甲荘にて開催しました。当日は、約 200 名近くのかたにご参加いただきました。シンポジウムの目的は、当研究所がこれまでに行ってきた研究や地域貢献に関する成果紹介と今後の展望についての議論が目的です。まず、基調講演では、哲学者の内山節氏より、人と自然のつきあい方と科学の役割についてご講演いただきました。震災復興にまつわる自然との関わり方や古来からの自然観やローカルな共同体の意義などをまじえて、スライドなどは使わず、たつぷりと 1 時間近くのご講演を頂きました。このあと、当研究所の 5 つの系からこれまでの取り組み等についてプレゼンテーションを行いました。生物多様性や恐竜化石、コウノトリの野生復帰、景観園芸と緑環境、野生動物の問題、宇宙天文への理解といった地域資源の発掘や活用・マネジメントについて、大学の研究者が県の基幹プロジェクトとなる公共施設の職員を兼務する形式での活動実績について議論が取り交わされました。とくに論点になったのは、研究成果と社会をどのように繋ぐのか、といった点でした。一方通行の知識供与ではなく、地域ニーズとの折り合いをつけて行くと同時に地域との双方向性をもった研究をベースとした交流機会の重要性が各系に共通する課題であるとの議論が展開されました。参加者のアンケートにも、地域貢献への期待以上に、基盤となる研究成果への期待が大きく、研究内容をもっとしっかりと聞きたいと意見が多数を占めました。20 周年を機会に、研究の高度化とサイエンスコミュニケーションの充実を図ることが重要課題であると再認識できました。





平成 24 年度のタスクフォース事業報告

タスクフォース(組織群)について

従来の組織群とは別に平成 20 年度から導入したものである。各タスクフォースは、短期の課題を達成するために結成したものである。構成員は、リーダーおよびサブリーダー、その他であり、人員は、実情に応じて年度途中でも変更可能にしている。また、新たなタスクフォースを発足できるようにしている。平成 23 年度は 2 つのタスクフォース(恐竜・化石、マーケティング)が結成された。

■ 恐竜・化石 タスクフォース

(1) 新たな発掘調査地の策定

・平成24年7月に地質調査(のり面およびボーリング調査)を行った。その結果県立丹波並木道中央公園内には脊椎動物化石含有層が存在し、同公園駐車場近辺において地表近くに現れると推定された。また、篠山層群分布域内で予定されている工事について関係者より情報提供を受け、関係者に工期中の化石探索への協力要請をした。

(2) 篠山層群恐竜化石発掘調査検証委員会の実施

・同検証委員会を2回(平成 24 年 6 月 23 日および同年 8 月 27 日)開催。これまでの発掘調査・利活用に対する評価と今後の発掘調査・利活用に対する提言を「篠山層群恐竜化石等発掘調査 評価と提言報告書」にまとめ、そのPDFを博物館のホームページ上で公開した(平成 25 年 3 月 21 日)

(3) 国際シンポジウムの開催

・平成 25 年 3 月 16 日に恐竜化石国際シンポジウムをひとはくで、同月 17 日に、サイエンスカフェ、地域づくりフォーラムを丹波市山南町やまなみホールにおいて開催した。また平成24年11月に、丹波並木道中央公園で行われた関連イベントに対する支援も行った。

(4) まちづくり推進に係る恐竜化石を活かした教育普及活動の充実

・たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会発行「たんば恐竜化石 おでかけ探検マップ」への協力・監修をした

・丹波市小学校理科教員にたいする「篠山層群の地質と化石」をテーマとした講座・野外実習を開催した

・篠山市教育委員会主催の小学校校外学習への協力をした

・並木道中央公園主催「丹波なみきみちまつり 2012」の展示協力・監修を行った

・丹波市ちーたんの館の企画展展示協力・監修、クリーニング指導、助言を行った

・篠山市太古の市民研究所、クリーニング運営への助言、資料提供を行った

・人材育成セミナーとして「丹波の恐竜化石ミニレクチャーと恐竜復元模型ワークショップ」「丹波の恐竜化石産地見学バスツアー」「竜と獣の道学・ダブルセミナー」および「竜と獣の道学・県外バスツアー」をたんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会および宝塚こどもみらい協議会と共催でおこなった

(5) 展示および演示コンテンツの充実

・恐竜復元アーティストとの協働を丹波市が企画している復元画・フィギア作成に監修者として参加する形で進めた。竜脚類、ティラノサウルス類、デイノニコサウルス類、イグアノドン類、基盤的ネオケラトプス類、ササヤマミロス(真獣類)、カエル類および竜脚類の復元画とフィギアが完成した。

(6) 三田の化石発掘体験広場の活用

・トライやるウィーク(平成 24 年 6 月)およびセミナー(平成 23 年 12 月)にて三田の化石発掘体験広場を活用した。

(7) 研究成果や事業の新聞等への報道推進

- ・展示特別企画「丹波の恐竜化石発掘～6年間の軌跡～」について(平成 24 年 4 月 5 日)
- ・篠山層群恐竜化石発掘調査検証委員会の開催について(平成 24 年 6 月 7 日)
- ・竜脚類の下顎の化石の発見(篠山層群恐竜化石発掘調査検証委員会)について(平成 24 年 6 月 23 日)
- ・第2回篠山層群恐竜化石発掘調査検証委員会の開催及び県立丹波並木道中央公園における地質調査の結果について(平成 24 年 8 月 27 日)
- ・ひょうご恐竜化石国際シンポジウムの開催について(平成 24 年 12 月 6 日)
- ・兵庫恐竜化石国際シンポジウムの取材(平成 25 年 3 月 16 日)
- ・篠山層群から発見された化石の復元について(平成 25 年 3 月 17 日、丹波市山南支所)
- ・「篠山層群恐竜化石等発掘調査検証委員会」の評価と提言及び報告書について(平成 25 年 3 月 21 日、資料配布)
- ・篠山層群から発見されたほ乳類化石にかかる論文発表について(平成 25 年 3 月 27 日)

(8) 化石クリーニング作業、および調査研究の推進

- ・篠山市宮田産の哺乳類化石(ササヤマミロス・カワイイ)の記載論文を公表した(平成 25 年 3 月 27 日)
- 以上のように、今年度の重点事業をほぼ当初の計画どおりに実行した。また、そのことにより次年度以降の活動にもつながる成果を得ることができた。

■マーケティングタスクフォース

(1) ひとつはく事業実施に関わる県民ならびに企業との連携

- ・広告協賛企業数は 44 団体に上ったが、これは昨年度実績よりも 11 団体の減少となった。
- ・20 周年記念事業説明パンフレットの編集・発行ならびに、記念事業を実施するために必要な資金を寄付金として募集する事業を支援した。

(2) 外部資金を活用したひとつはく手帖の出版

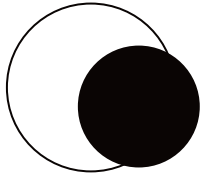
- ・44 団体から広告協賛金を獲得することができたが、これは金額ベースで昨年度より 25 万以上の減額となった。ひとつはく手帖の発行を「ひとつはくセミナー実行委員会」ならびに「ひとつはく 20 周年記念事業実行委員会」による協同発行とすることで、例年と同じ頁数のひとつはく手帖を出版できるだけの資金を調達できた。次年度以降は、さらなる協賛先の開拓が重要な課題である。

(3) 20 周年記念事業実行委員会事務局運営

- ・同委員会事務局会議の運営を支援し、各種事業が円滑に実施されるよう調整を行った。

(4) コラボレーション組織の検討

- ・人と自然の博物館と協同する新組織設立に向けて検討ならびに資料作成を行った。



平成 24 年度事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標は、いわば博物館の行動の指針となる大項目であり、これが全部で 9 項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標値(指標)が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として「措置」が設定されている。措置では、中期目標の達成と博物館活動の活性化に資する具体的な項目について、その行動の方針と、具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に即して、平成 24 年度の博物館の活動内容とその自己評価、および平成 25 年度の事業方針を整理したものである。また、中期目標を支える措置の項目については、それぞれについての目標値・実績・達成度(%)を示した。

なお、平成 19 年度に中期目標と指標、および措置について、平成 14 年度から平成 18 年度の活動成果をふまえて、さらに社会のニーズへの対応を考慮して修正を行った。平成 24 年度は、平成 22-23 年度の実績や達成状況、博物館の将来構想を吟味したうえで中期目標と措置の最終案を設定し、それに従って事業を進めた。

1 研究

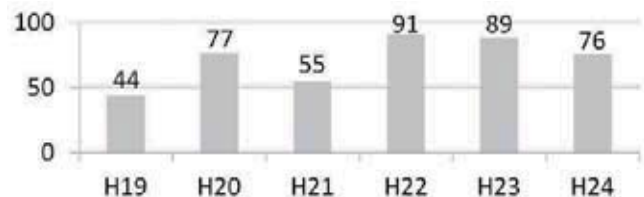
研究
推進室

兵庫から世界を対象に自然・環境に関する調査研究を行い、その成果を新しいプログラムやコンテンツ開発等の事業にフィードバックさせます。

1-1 学術論文数

学会等の査読を経て掲載された学術論文数

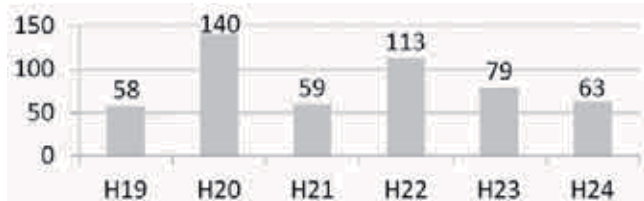
中期目標：40本/年
平成24年度：76本(190%)



1-2 一般向け著書数(総説・その他)

自費出版を除く一般向け著書、雑誌・新聞等の執筆数

中期目標：80本/年
平成24年度：63本(79%)



平成24年度の取組みについて

平成23年度に引き続き、全ての博物館活動の基礎となる「自然・環境」また「人と自然の共生」に関する研究を進め、その成果について研究員あたり最低年間1報を学会誌等で発表し、さらに一般市民向けの著書・新聞・雑誌等でもそのエッセンスを積極的に公表することを目標に掲げました。

平成24年度の達成状況と自己評価

学術論文の公表数は、第2期中期目標期間中最多となった平成22年度には及びませんでした。計76報と目標値を大きく上回りました。いっぽう一般向け著書等は目標値を大幅に上回った平成22年度に比べ63編と大きく減少してしまい、目標値にもひとつ及びませんでした。本年度も学術論文数、一般向け著書数とも研究員の間で偏りがあり、最低限の目標がすべての研究員において達成されたわけではありませんでした。

平成25年度の取組に向けて

最低限の学術論文また一般向け著書の公表が、博物館の総体として、またひとりひとりの研究員においてももれなく達成されるよう、引き続き努力を重ねることが肝要です。より多くの研究成果をあげるため、科学研究費補助金をはじめとした助成金の獲得にむけ、勉強会の開催・情報の共有を推進します。また、「総合共同研究」などの研究部横断的な課題にも取り組み、研究成果の多様化・学際化にも努力します。

2 資料

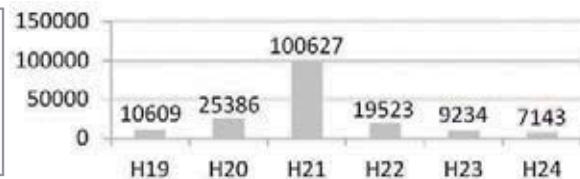
研究
推進室

質の高い特色ある資料の収集を行い、学術利用のみならず「演示」への利用を積極的に推進します。

2-1 資料の登録点数

「ひとはく資料データベース」への年間登録件数

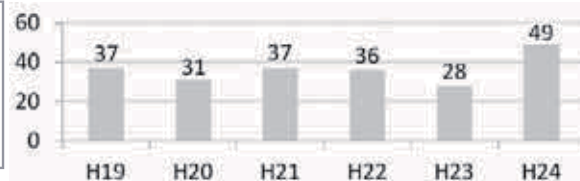
中期目標：10,000 点/年
平成 24 年度：7,143 点(72%)



2-2 資料の利活用件数

資料の館外利用件数(貸出資料件数・館外展示件数)とマルチメディアデータ等の提供件数の合計

中期目標：50 件/年
平成 24 年度：49 件(98%)



平成 24 年度の取組みについて

収蔵資料および環境情報の収集・保存またその研究等への利活用は、博物館の研究活動とともに博物館活動の根幹をなす。資料収集方針に従った研究員自らの環境情報を含む資料収集、県内外の自然史資料の受贈手続きを進めること。またこれらの資料や情報は利活用されて初めてその意義を発揮することから、登録件数だけでなく公開件数やその利活用の件数もその目標にあげました。

平成 24 年度の達成状況と自己評価

収蔵資料の登録点数は 7,143 点とこの 5 年間で最低の値となり、23 年度に引き続き年間一万点を切ってしまいました。登録資料は、館 HP の他サイエンスミュージアムネットや地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) でもデータを登録し、全世界からアクセス可能で、閲覧・利用することができます。画像等のマルチメディアを含む博物館資料の貸し出し件数・館外展示などの「利活用件数」は目標の 98% (49 件) とほぼ目標を達成。

平成 25 度の取組に向けて

研究とともに博物館活動の根幹をなす、資料収集方針に従った資料の収集・受贈・整理・登録は、分野に偏ることなく継続します。収蔵資料にもとずいた新種記載論文、収蔵資料を活用しての論文などの情報を整理します。使われることによって初めて価値を発揮する、博物館資料・環境情報の利活用件数を増やすため、資料・情報のインターネットによる公開や、県民や専門家にとって魅力的なコレクションに関する広報の充実を図ります。また特注ゼミ・魅せる収蔵庫・キャラバン・ゆめはく号等での演示に活用する「環境学習ツール」の整備を進めます。

3 生涯学習の支援

生涯学習
推進室

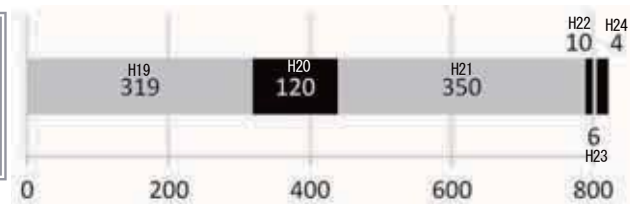
段階的・連続的な学習プログラムを提供し、地域研究員・連携活動グループを育成します。これらの「担い手」や他団体との連携を促進し、博物館事業の拡大を図ります。

3-3 地域研究員・連携活動グループ登録者数

地域研究員と連携活動グループ登録者数の合計

中期目標：500人(H23時点)

平成24年度：809人(162%)



3-4 他団体との連携プログラム数

共催事業、協力事業、後援事業、館外展示件数の合計(地域研究員・連携活動グループによるものを含む)

中期目標：100件/年

平成24年度：103件(103%)



平成24年度の取組みについて

1) ひとはくを訪れて、自然・環境に関心をもつきっかけとなる展示・演示を展開する、2) ひとはくフェスティバルでのビジター数2万人、傘下関連団体数50(昨年度並み)を目指す、3) 地域研究員、連携活動グループの活動推進、4) 学校との連携や博物館の活用促進、の4項目と、開館20周年記念事業を主な取り組みの骨子としました。

平成24年度の達成状況と自己評価

展示事業では、ひとはく開館20周年記念事業として、これまでの研究・資料収集活動の成果を披露し、演示でより活用できるように、本館展示室2階に「ひとはく多様性フロア：魅せる収蔵庫トライアル」を新設しました。館内展示としては29件の企画展示・ミニ展示を開催、この内、県民・学校からの出展も8件になり、特別な展示予算が無い状況下で、ひとはくを訪れて、自然・環境に関心をもつきっかけとなる展示・演示を展開する目標をできたと考えています。フェスティバルは「ひとはく二十歳」をテーマに、移動博物館車ゆめはくの公開、多様性フロアの研究員演示、芝生ステージの20周年関連イベントなどを企画し、のべ50団体(ミュージアムワールド28、ステージ12、まんぷく屋台10)の参加を得て、過去最高のビジター数27,593人を集めることができました。スクールパートナー事業では、昨年度に続いて実施した第二回「いきものかわらばん」に661点の応募があり、児童の自然環境への興味や小中高校の来館促進などの狙いを果たすことができたと考えています。「共生のひろば」は、今年度は里山関係の市民団体や高校連携交流団体からの新規の発表がありました。発表件数は例年並みの52件、聴講者数は例年より若干少ない224名となり、発表者を完全に公募するなど、今後は実施形式を検討する必要があると考えています。

平成25年度の取組に向けて

開館21年を迎え、ひとはくの次期新戦略として策定した「21年目のひとはくの新展開」を指針として、新館構想の実現化に向けた生涯学習支援の新展開を策定、実施していきます。

4 シンクタンク活動の支援

研究・
シンクタンク
推進室

自然・環境に関する県政課題に対して、適切な助言や提言等を行います。また、企業や行政団体等のニーズに応え、先駆的な調査研究を積極的に受託します。

4-1 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会及びプロジェクト参画数

中期目標：1,000 件/年

平成 24 年度：964 件(96%)

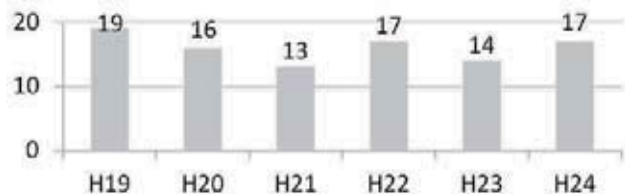


4-2 受託研究件数

調査研究受託契約件数

中期目標：15 件/年

平成 24 年度：17 件(113%)



平成 24 年度の取組みについて

平成 23 年度に引き続き、県・市また国関連部局の委員会・審議会等への学識経験者としての参画を進めました。目標値も昨年度に引き続き、県職員等の来館相談目標数を 1,000 件に設定しました。また、関連部局・施設、また企業とともに地域の問題を解決する受託研究の目標獲得件数を 15 件に設定しました。

平成 24 年度の達成状況と自己評価

博物館研究員の県政関連の委員会・審議会等への学識経験者としての参画数は 299 件 (299%) にのぼり、それに関連して博物館に来訪する県職員等関係者の来館は 964 件で目標を達成しました。受託研究はここ数年ほぼ横ばい傾向で、24 年度は 17 件で目標を上回りました。受託研究金総額は 2,430 万円に達し、平成 23 年度の総額の約 1,990 万円を上回り目標に達しました。

平成 25 年度の取組に向けて

博物館のシンクタンク活動が行政施策また県民の活動に活かされる状態にあり、野外調査や研究・プログラム開発などの多様な事業に及んでいます。COP10 で採択された目標や生物多様性ひょうご戦略の地域での具体的な活動を推進するための財政基盤の確保として、受託研究の獲得目標を昨年度に引き続き 20 件、総額 2,000 万円とします。また、昨年に引き続き広域圏を対象とした生物多様性協働の推進を目標とします。

5 マーケティング・マネジメント

企画調整室

情報化社会に対応した情報提供を拡大し、広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を高めます。

5-1 ホームページアクセス件数

ホームページに対するアクセス件数

中期目標：300千件/年

平成24年度：280千件(93%)

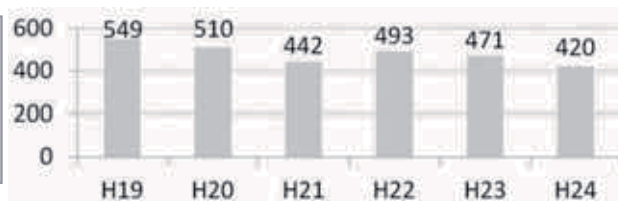


5-2 メディア等出演件数

新聞・雑誌等記事掲載件数、テレビ・ラジオ等への出演件数の合計

中期目標：500回/年

平成24年度：420回(84%)



平成24年度の取組みについて

平成24年は、ひとはくの開館20周年でした。年度を通して、様々なパートナーの皆様とこれまでの20年を振り返り、これからの10年をどう歩むか共に考える機会を設けました。それらの成果を元に、「ひとはく将来検討委員会」（委員長：熊谷信昭氏）の委員の皆様から助言いただき、「ひとはく将来ビジョン」をとりまとめました。

事業に関しては、上述した20周年記念関連事業を開催すると共に、これまで個別に深化してきた館内事業、地域展開、キッズプログラムなどを有機的に結びつけるべく、事業の一部再編や組織体制の改良を平成25年度に向けて行いました。

平成24年度の達成状況と自己評価

ホームページに対するアクセス件数は、数値は93%とほぼ目標を達成しましたが、20周年事業やこれからの取り組みを広く発信するべき年度でもあり、更なる改善が必要です。一方で、20周年記念事業を通して、ひとはくの取り組みを伝える主な計画やパンフレットは揃いました。

平成25年度の取組に向けて

開館21年目の年となる平成25年度は、24年度に検討したひとはく将来ビジョンや、整備した移動博物館車「ゆめはく」事業を実際に推進していく初年度となります。ただ事業を実施するだけでなく、事業に参加いただけなかった県民の皆様とも成果を共有し、共に生涯学習事業を進めていくためのきっかけとして、様々な媒体を通じて活動を伝えていく必要があります。また、パートナーの皆様のご活動も、ひとはくが直接行う事業と共に広く伝えていきたいと考えます。

5 マーケティング・マネジメント

企画調整室

効率的で健全な博物館運営を目指します。

5-3 二酸化炭素排出量の削減

対平成 18 年度比での削減率

年度目標：-6%(H18 年度比)

平成 24 年度：-25%



5-4 中期目標の達成度

中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合

年度目標：80%

平成 24 年度：48%



平成 24 年度の取組みについて

開館 20 周年の区切りを迎え、ひとはく将来ビジョンを策定することになったため、平成 24 年度は第 2 期中期目標を 1 年間延長して推進しました。新たに策定した第 3 期中期目標は、ひとはくの将来像「創造と共生の舞台・兵庫で参画する皆さんが共演する生涯学習院」を目指すべく、地域研究員・連携活動グループ等が活躍する舞台を提供することや、収蔵資料の利活用の推進など、これまで以上に博物館の資源を活かし地域とのつながりを重視する内容になりました。また、県外での取り組みとしては、東日本大震災からの復興に博物館として貢献できることとして、被災地キャラバン事業や復興計画策定支援などを継続しました。

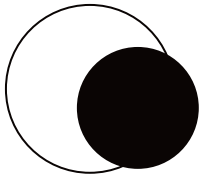
平成 24 年度の達成状況と自己評価

電気、水道、ガスの使用量から算出する二酸化炭素排出量は、25%削減と第 2 期中期目標で最高水準を達成しました。一方で、中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合（達成度）は 48%に留まりました。後者の理由として、館事業および体制が第 2 期中期目標の設定時から変わってきていることもあるため、現状に即した新たなひとはくの展開とそれを実現するための中期目標に更新しました。

平成 25 年度の取組に向けて

平成 25 年度は、これまで以上に県民の皆様の参画と協働をもって、事業に取り組むこととなります。そのために、従来の生涯学習事業およびシンクタンク事業を参画と協働型に進化させると共に、より効率的な推進体制による具体行動が必要となります。

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

○主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス
ドイツ・メッスル産化石一式
ポプロフォネウス
アマリカマストドン全身骨格
ヒブセロサウルス卵化石
ユーステノプテロン
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
石鉄隕石
隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
鳥類剥製
甲殻類剥製
軟体動物含浸標本
貝類含浸標本
鳥類生態写真
魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)
ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)
チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)
(台湾・中国産 1,300 点)
チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)
チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)
シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)
フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)
甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)
(高橋コレクション 7,248 点)
ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹
外国産木材樹幹
屋久杉輪切り (年輪) 標本
種子標本 (種子コレクション)

[映像資料]

兵庫の自然シリーズビデオ本
生物系ビデオ本
地球大紀行再編集ビデオ本

2) 主な受贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点 (堀冶三郎氏)
神戸層群産植物化石 2,656 点 (高岡得太郎氏)
日本産中生代貝類化石 890 点 (市川浩一郎氏)
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点 (仙頭鷹雄氏)
備北・勝田層群産中新世生化石 187 点 (岸本眞五氏)
岩手県一関地域産中新世貝類化石 80 点 (林広樹氏)
長野県富草層群産中新世貝類化石 49 点 (小関正嗣氏)
兵庫県養父市産化石 800 点 (長岡桂介氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点 (シルバー生野)

[動物]

貝類標本 10,000 点 (菊池典男氏)
鳥類標本 620 点 (西堀静江氏)
鳥類標本 130 点 (柴田嘉三氏)
鳥類標本 15,000 点 (小林登美子氏)
無脊椎動物標本 100 点 (土井敏男氏)
トラ本剥製 1 点 (伊丹検察庁)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点 (田中梓氏)
チョウ類等標本 14,000 点 (柴田篤弘氏)
チョウ類等標本 5,700 点 (山本廣一氏)
チョウ類等標本 11,000 点 (小林登美子氏)
チョウ類標本 13,132 点 (佐藤英次氏)
カリバチ類タイプ標本 367 点 (常木三澄子氏)
ハバチ類標本 14,000 点 (猪股光子氏)
ゴミムシ類標本 5,700 点 (大倉孝子氏)
ハネカクシ科等標本 114 点 (林 靖彦氏)
ゾウムシ科標本 2,221 点 (中村剛之氏)

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点 (中西田鶴子氏)
シダ類標本 4,000 点 (稲田政子氏)
高等植物標本 20,000 点 (細見末雄氏)
日本産植物標本 1,045 点 (松岡成久氏・吉田誠治氏・友永常太郎氏)

平成 24 年度の主な受贈標本

東正雄コレクション (昆虫)・堀田久コレクション (昆虫・植物)・坂根コレクション (鳥類)・河野洋コレクション (昆虫)・春沢圭太郎コレクション (昆虫)・小林禱樹コレクション (植物)・丸岡道行コレクション (植物)・篠山層群化石 (足立和圭)・栗田博子コレクション (植物)・永瀬幸一コレクション (シダ植物)・牛島コレクション 2012 (植物)・神戸層群珪化木 (筒井平)・高野哲司コレクション 2012 (植物)・清水孝之コレクション (植物)・保科コレクション (昆虫)・松岡成久コレクション 2012 (植物)・白岩卓巳コレクション 2012 (植物)

○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

1) システム構成



① 収蔵品管理システム～ひとはくデータベース～

約150万点の収蔵品を管理するシステムで、収蔵品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収蔵品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のマルチメディアデータや収蔵品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末から Web ブラウザを利用して行う。

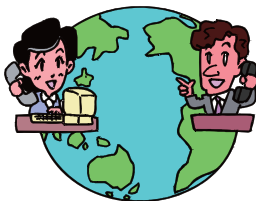


② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末から Web ブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



③ 普及広報システム

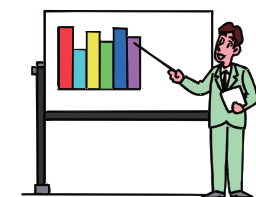
平成8年度より館内に独自の Web サーバを設置し、インターネットによる情報発信を実施している。現在の発信内容は、新着情報、ひとはくブログ、博物館について、セミナー・学習素材、展示情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容など、内容の充実を図っている。



④ 地理情報システム (GIS)

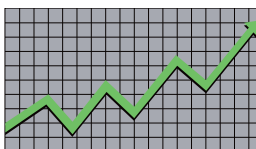
収蔵品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



⑤ 研究支援システム

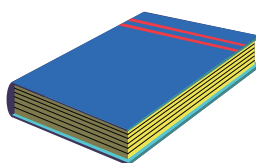
館内 LAN を利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになっている。顕微鏡の精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っている。



⑥ 運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末から Web ブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

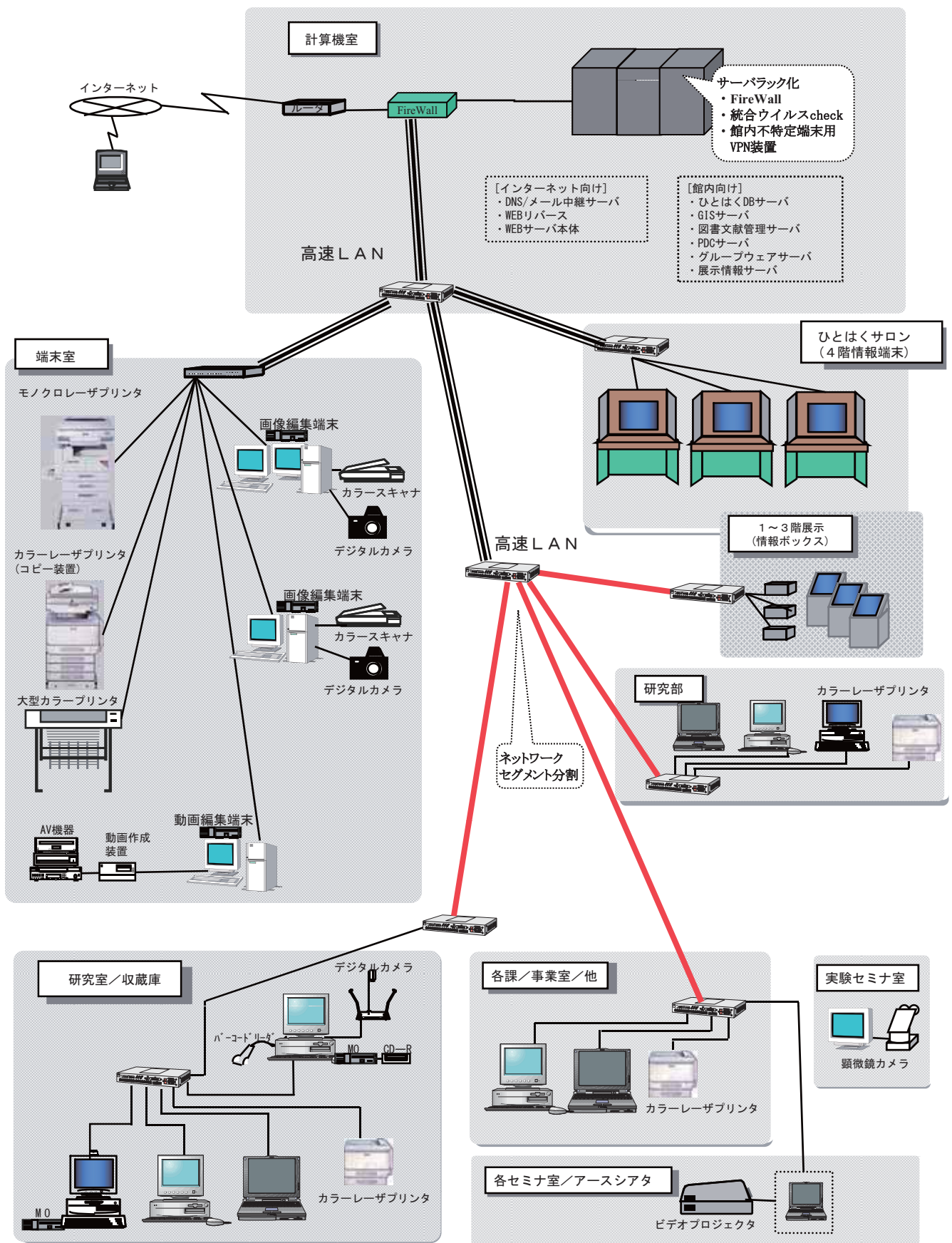
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



⑦ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する11万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

2) システム概要図



〇条例等

兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号)

(沿革)

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号改正
平成24年3月21日条例第5号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
- (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。

(4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。

(5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例5号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた

者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則 (平成15年3月17日条例第7号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成16年3月26日条例第7号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成18年9月28日条例第53号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第9号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成22年3月19日条例第6号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。(後略)

別表第1 (第5条関係)

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	200円	150円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	150円	100円	
高校生	100円	70円	

全部改正 [平成22年条例6号]

別表第2 (第5条関係)

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000円	1,600円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	1,500円	1,200円	
高校生	1,000円	800円	

全部改正 [平成22年条例6号]

別表第3 (第9条関係)

区分	使用料			備 考
	開館前12時まで	13時から開館まで	開館後12時まで	
ホール	5,500円	7,000円	12,500円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例(平成12年兵庫県条例第12号)別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額(一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあつては、当該入			

	札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額	
附属設備	別に教育委員会規則で定める額	

全部改正 [平成15年条例7号]、一部改正 [平成16年条例7号・18年53号・19年9号・22年6号]

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

(平成4年3月27日)
(教育委員会規則第8号)

[沿革]

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正

平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正

平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正

平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正

平成22年3月31日教育委員会規則第6号

平成23年3月29日教育委員会規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館(以下「博物館」という。)の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日)とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があつた場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(展示品の利用)

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

(施設の利用の許可等)

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書(様式第2号。以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員

会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書（様式第3号。以下「利便施設利用許可申請書」という。）に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書（以下「利用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書（様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。）に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。

6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

（利用等の許可の基準等）

第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、条例第6条又は条例第9条第1項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文章で不許可の通知をするものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があるとき。

2 第6条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、博物館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付することができる。

（使用料の額）

第10条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

（特別観覧料及び使用料の納付）

第11条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）

第12条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。 観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当する額
- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めたとき。 観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額

（利用等の許可の基準等）

第13条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。 観覧料等に相当する額
- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。 当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。 当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等返還請求書（様式第5号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（補則）

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項（観覧時間に係る部分に限る。）、第4条から第6条まで、第9条（特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。）、第10条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）並びに第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成15年3月25日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

別表第1（第6条関係）

区 分	特別観覧料（1点1回につき）		
熟 覧	150円		
模写・模造	2,000円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150円	1,000円
	原色	300円	2,000円

備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。

2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。

3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2（第9条関係）

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,400円	5,600円	10,000円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 2,000円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 3,000円
持込み電気器具用コンセント （ミキシングセットを持込む場合）	持込み器具1式につき 5,000円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号
(第6条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 - - 番

次のとおり申請します。

品	目	点	数	所	有	者	備	考
観覧希望日時		年 月 日 時から 時まで						
研究の方法		熟覧 構写 構造 撮影						
研究の目的								

様式第2号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 - - 番

次のとおり申請します。

利用目的	
利用室名	
附属設備の名称	
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
利用者数	
※使 用 料	円
※備 考	

(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

様式第3号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 - - 番

次のとおり申請します。

利便施設の用途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※使 用 料	円
※備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第4号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 - - 番

次のとおり申請します。

変更の内容	事 項	変 更 前	変 更 後
変更の内容	利便施設の用途		
	利用許可を受けようとする利便施設		
	利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで
変 更 の 理 由			

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号
(第13条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 - - 番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返 還 請 求 の 内 容	※還付金の内訳
利 用 等 の 日 時	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
既 納 付 額	円
返還を受けようとする理由	
※ 還 付 率	パーセント
※ 還 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議 (平成4年3月27日)
会の組織及び運営に関する規則 (教育委員会規則第9号)
(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（補則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程

（平成4年3月31日）
教育長訓令第2号

（趣旨）

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則（平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。）第16条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（権限の委任）

第2条 教育長は、規則第15条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第12条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育長訓令第4号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日教育長訓令第2号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

教育委員会 行政組織規則 （抜粋）

（平成4年3月31日）
教育長訓令第2号

（沿革）

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、平成19年3月30日第5号

第1章 総則

（目的）

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適かつ率率的な遂行を図ることを目的とする。

（機関の分類）

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

（機関の定義）

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

（行政機能の発揮）

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

（規定の範囲）

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

（組織の特例）

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

（位置）

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

（業務）

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- （1）自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- （2）博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- （3）博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- （4）博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- （5）自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- （6）貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- （7）自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- （8）他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- （9）前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

（組織）

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部

総務課

情報管理課

生涯学習課

自然・環境評価研究部

自然・環境マネジメント研究部

自然・環境再生研究部

（事業推進部の事務）

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- （2）大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- （3）自然、生命及び環境に関する学術研究会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- （4）自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- （5）その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

（総務課の事務）

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）公印の保管に関すること。
- （2）文書の收受、発送、保存等に関すること。
- （3）職員の進退及び服務に関すること。
- （4）給料その他の諸給与に関すること。
- （5）児童手当に関すること。
- （6）会計経理に関すること。

- (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
- (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
- (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

(情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (4) 情報機器の管理に関すること。
- (5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含

む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。

(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、そ

の職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることがある。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長（県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。）若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、(副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職名	職務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
条例第16号

[沿革]

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

[設置]

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成15年3月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第15号)

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例(平成17年兵庫県条例第14号)の施行の日から施行する。

附 則 (平成19年2月28日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

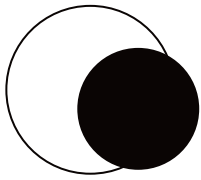
附 則 (平成19年3月16日条例第25号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する

博物館協議会委員名簿

区 分	役 職	氏 名
学校関係者	三田市教育委員会学校教育部長	佐久間 学
〃	神戸市西神中学校長	森川豊文
〃	県立伊川谷北高等学校長	梶原愛子
社会教育関係者	県立考古博物館長	石野 博信
〃	神戸松蔭女子学院大学教授 (兵庫県社会教育委員)	寺見陽子
〃	兵庫県ライフデザイン研究所 FLAP 代表	岩木啓子
学識経験者	大阪市自然史博物館長	山西良平
〃	大阪府立大学大学院教授	上甫木昭春
〃	兵庫県立大学環境人間学学部教授	岡田眞美子
〃	兵庫県立大学副学長	新免輝男
〃	三田市長	竹内英昭
〃	関西学院大学総合政策学部教授	角野幸博
〃	キッズプラザ大阪企画運営グループプランナー	石川梨絵
公募委員	香美町ジオパーク推進員	今井裕子
公募委員	NPO 法人人と自然の会	長里芙美子

平成 24 年 4 月現在



個人別成果報告に関する資料

No. 0

●館長

岩槻 邦男, Kunio IWATSUKI

昭和9 (1934) 年兵庫県生. 京都大学大学院理学研究科博士課程終了. 理学博士.

東京大学名誉教授

所属学協会: (社) 日本植物学会 (編集顧問、元会長ら)、(社) 日本植物園協会 (名誉会員、元会長ら)、日本植物分類学会 (元会長ら)、日本シダ学会、生きもの文化誌学会、熱帯生態学会、植物形態学会; 国際植物園連合 (元会長)、国際植物分類学連合 (元理事ら)、国際植物形態学会 (評議員)、アメリカ植物分類学会 (名誉会員)、国際シダ学連合、インドシダ学会 (名誉会員)、アメリカシダ学会、イギリスシダ学会

<研究開発>

1. 調査研究

■論文・著書

Lin, Su-juan, A.Ebihara, D.-D.Wang & K.Iwatsuki. 2011. Systematic Studies of *Polystichum* (Dryopteridaceae) in Japan (I): *P. fibrillosopaleaceum* var. *marginale* is a Diploid Hybrid between *P. fibrillosopaleaceum* and *P. igaense*. Amer. Fern J. 101: 295-306.

岩槻邦男: 生命のつながりをたずねる旅 ミネルヴァ書房 2012/5.

岩槻邦男・仁王以智夫 (共著): 微生物と植物から見た共生 ミネルヴァ書房 2012/9.

五十嵐敬喜、岩槻邦男、西村幸夫、松浦晃一郎 (編著): 百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に (株) ブックエント 2013/2.

兵庫県立人と自然の博物館 (編): みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ 2012/9.

■その他著作 (一部)

岩槻邦男: 日本の植物保全戦略 岩槻邦男 (編): 日本の植物保全戦略 2012/3.

岩槻邦男: 『種の起原』ダーウィン: 東京大学出版会『UP』編集部 (編) 東大教授が新入生にすすめる本 2012年4月.

Iwatsuki, K.: 'Introduction' and 'Disater and Biodiversity -- What we learn from the Great East Japan arthquake -- In I.Iwatsuki & A.Domoto (superv.) 'Catastrophic Disaster and Biodiversity' 1~7.(August)

岩槻邦男: 博物館と社会教育 『社会教育』795: 4~5 (9月号: 今月の言葉)

岩槻邦男: 「人、里、ずっと」、「里山のこころは日本人のこころ」(田部井淳子さんとの対談) "hitosato" No 1:2-3.

岩槻邦男: 教育と学習 『日本教育』416:5 巻頭随想、わたしの提言

岩槻邦男: 成人する人と自然の博物館 『ひょうご』会員サロン

岩槻邦男: 雑種シダの種形成——進化における収斂と網状進化 ビオストーリー18:100~105(11月)

岩槻邦男: 60周年記念講演要旨: 植物とつきあう——生涯学習と学会・植物園 植物地理・分類研究 60: 1~4 (12月—実際は2013年4月)

五十嵐敬喜・岩槻邦男・白石太一郎・西村幸夫・松浦晃一郎: 座談会「現在と古墳の接点を探る——百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録をめぐる」

五十嵐ら (編) 『古墳文化の煌めき 百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に』75~106 (1012年2月)

岩槻邦男: 世界遺産条約の主要概念の推進 「世界遺産条約採択40周年記念最終会合報告」86~88 (3月)

■学会役員など

(社) 日本植物園協会、名誉会員、元会長ら

(社) 日本植物学会、元会長、編集顧問ら

アメリカ植物分類学会、名誉会員

インドシダ学会、名誉会員

インドネシア学術機構 (LIPI)、科学顧問

マレーシア植物誌委員会、評議員

国際植物形態学会、評議員

Indian Fern Journal (印)、編集顧問

2. 資料収集・整理

■資料収集

ベトナム産シダ植物 (1990年代東大隊採集品) の同定

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演など

岩槻邦男 (2012.5.12) どきどき斉塾、一庫臨地講演「里山は日本人のこころ——人と自然の共生を考える」

岩槻邦男 (2012.5.19) 山陰ジェオパークフォーラムで挨拶

岩槻邦男 (2012.5.24) 西宮生涯学習大学「人と自然——生きる歓び、学ぶ歓び」

岩槻邦男 (2012.6.1) 植物地理分類学会60周年記念講演 (福井県越前市) 「植物とつきあう——生涯学習と学会、植物園」

岩槻邦男 (2012.6.8) こどもひかりプロジェクト設立

大会（仙台）

岩槻邦男（2012.6.17） ボルネオジャングルスクール
事前学習会「ボルネオジャングル体験スクール——
ボルネオの自然と人から学ぶ」

岩槻邦男（2012.8.18） MAB-Japan 公開シンポ（東京）
「ユネスコ MAB 計画と日本における取り組み——
綾のエコパーク登録とこれから」

岩槻邦男（2012.10.2） 世界遺産 40 周年記念シンポ（鹿
児島）「世界遺産と日本——自然遺産を考える」

岩槻邦男（2012.10.11） ひとつは開館 10 周年記念式
典

岩槻邦男（2012.11.1） コスモス国際賞受賞者講演会
（大阪）

岩槻邦男（2012.11.6） 世界遺産 40 周年記念事業閉幕
シンポ（京都）

岩槻邦男（2012.11.13） 国際植物園連合 13 回大会基
調講演（中国広州）
「Botanic Gardens in the Society – IABG: Its Present and
Future」

岩槻邦男（2012.11.17） 国際生物多様性 10 年委地域
フォーラム（福岡）

岩槻邦男（2012.12.9） 日本シダの会講演（東京）「シ
ダ植物に学ぶ——シダに触発される科学論」

岩槻邦男（2012.12.14） 丹波の森大学講義「シダ植物
に学ぶ——シダ植物が見る科学論」

岩槻邦男（2012.12.15） 北摂里山大学講義「北摂里山
は日本人のこころ——日本人と花・みどり」

岩槻邦男（2013.2.6） 百舌鳥・古市古墳群シンポ（堺）
フォーラム出席 岩槻邦男（2013.2.21） 兵庫県博物
館協会講演「博物館と生涯学習——まなぶ歓びをす
べての人に」

岩槻邦男（2013.2.22） 伊丹市教委講演「まなぶ歓び
と人——生涯学習で生き甲斐を」

岩槻邦男（2013.3.10） 生物多様性 JAPAN フォーラ
ム（東京）

岩槻邦男（2013.3.16） 丹波化石国際シンポ

新聞取材等

2012 年 10 月 3 日 「暫定リスト提出を明言」南海日々

2012 年 10 月 28 日 『みんなで楽しむ新しい博物館の
こころみ』紹介 毎日新聞

2012 年 12 月 7 日 「外来種：無秩序な導入脅威に」
読売新聞

2012 年 1 月 15,30 日など 世界自然遺産検討懇談会関
連記事 北海道新聞
（その他多数）

■地域研究員養成事業

成果発表

2013.2.11, 共生のひろばでコメンテーターとして参
加, 館長賞の授賞を行った。記録は報告集に登載

2.シンクタンク事業

■行政支援

政府機関等委員

環境省関係委員（特定外来種検討委員会委員、世界自
然遺産検討の懇談会座長、SATOYAMA イニシアテ
ィブ委員、他）

（独）理化学研究所、名誉相談役

（独）国立科学博物館評議員、アドバイザー；同筑波
実験植物園運営委員会、会長

（国）自然科学研究機構国立遺伝学研究所アドバイザ
ー；同生物資源委員会、幹事

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員
会、委員長

法人等役員

国際生物学賞委員会、委員

コスモス国際賞委員会、委員

日本国際賞審査委員会、委員、選考部会長

（財）WWF-ジャパン、顧問

（財）藤原ナチュラルヒストリー振興財団、特別顧問

（財）松下幸之助記念財団評議員

（財）日本自然保護協会、参与

（財）国際花と緑の博覧会記念協会、参与

（財）科学技術振興財団、研究植物園助成選考委員

（NPO）聚、グリーンセイバー実行委員長

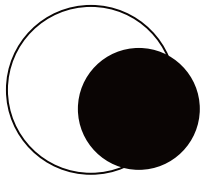
（NPO）バルデ、理事

（IUCN メンバー）生物多様性 JAPAN、代表

兵庫県関係委員

（財）ひょうご科学技術協会、理事

JICA 青年協力隊ひょうご応援団、会長



個人別成果報告に関する資料 No. 1

● 自然・環境評価研究部 地域環境地質研究グループ／
埋蔵自然遺産研究グループ

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

自然・環境評価研究部／地域環境地質研究グループ
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部
門 教授。
昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士
課程修了. 日本地質学会, 日本古生物学会, The Cushman
Foundation for Foraminiferal Research, The Paleontological
Society 等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

マーケティング タスクフォース
恐竜・化石タスクフォース
ひょうご恐竜化石国際シンポジウム実行委員会事務局

2.研究開発部門

博物館学術交換図書の整理
旧地球科学研究部紀要担当, 「人と自然」第23号編集
委員

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.中・古生代基盤岩の地質構造発達史
- 2.古生代後期・中生代有孔虫化石群集解析
- 3.「小林文夫コレクション」の世界

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテ
ンツの探索とその活用」, 研究分担者

■論文・著書

Kobayashi, F. (2012) Middle and Late Permian foraminifers
from the Takachiho area, Chichibu Belt, Kyushu, Japan:
Implications for faunal events. *Journal of Paleontology*,
86(4): 670-688.

Kobayashi, F. (2012) Late Paleozoic foraminifers from
limestone blocks and fragments of the Permian Tsunemori
Formation and their connection to the Akiyoshi
Limestone Group, Southwest Japan. *Paleontological
Research*, 16(3): 219-243.

Kobayashi, F. (2012) Permian non-fusuline foraminifers of
the Akasaka Limestone (Japan). *Revue de Paléobiologie*,
31(2): 313-335.

Kobayashi, F. (2012) Additonal description of Middle
Permian (Wordian/Capitanian) fusulines of the Akasaka

Limestone (Japan). *Revue de Paléobiologie*, 31(2):
337-345.

Kobayashi, F. and Wernli, R. (2013) Latest Jurassic to earlier
Early Cretaceous foraminifers from the Torinosu-type
limestone blocks in Southwest Japan: Constraints on
chronologic calibration of the Torinosu-type limestone.
Journal of the Geological Society of Japan, 119(1): 25-38.

小林文夫 (2013) 新潟県蒲原山地西部のペルム紀
(Guadalupian) フズリナ化石. *地質学雑誌*, 119(3):
217-221.

■その他著作

Kobayashi, F. and Wernli, R. (2012) Late Jurassic to Early
Cretaceous (Kimmeridgian to Barremian) foraminifers of the
Southern Jura and Salève Mountains, France. *Humans and Nature*,
(23): 101-128.

小林文夫 (2012) 小林文夫コレクション(有孔虫など)
in 「ひとくはく20年のお宝」, ひとくはく新聞
2012/12/26号.

■学会役員など

日本地質学会, 代議員.

日本地質学会, 関西支部行事委員.

Rivista Italiana de Paleontologia e Stratigrafia, レフェリー.
地質学雑誌, レフェリー.

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2012.12, 石灰岩岩石薄片の作成と登録(2807
点) 山口県秋吉石灰岩, 岡山県阿哲石灰岩(小林文
夫コレクション).

2012.4-2012.12, 石灰岩薄片写真資料(650点, 小林文
夫コレクション).

2012.4-2013.2, 石灰岩岩石資料の整理と登録(509点,
小林文夫コレクション).

■整理同定担当資料

小林文夫コレクション(中・古生代石灰岩岩石薄片).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2012.4, 「星砂の観察」, 博物館. (特注セミ
ナー, 大阪府立泉北高等学校生徒・教員120名)

小林文夫, 2012.5, 百丈岩・鎌倉峡ハイキング, 現地
(15名)

小林文夫, 2012.5, 「東六甲の地形・地質観察」, 現地
(15名)

- 小林文夫, 2012.6, 「神戸の地盤と土石流災害」, 博物館 (5名)
- 小林文夫, 2012.7, 「篠山川流域の篠山層群・超丹波帯」, 現地 (特注セミナー, 神戸市中学校理科部会・教員33名)
- 小林文夫, 2012.8, 「白崎石灰岩の起源, 石灰岩の研磨」, 博物館 (特注セミナー, 和歌山県立海南高等学校SSCクラス生徒・教員48名)
- 小林文夫, 2012.11, 「篠山川流域の篠山層群・超丹波帯」, 現地 (特注セミナー, 兵庫県高等学校理科部会・教員6名)
- 小林文夫, 2012.11, 「海岸砂の微生物を集めよう」, 博物館 (11名)
- ◎小林文夫, 2012.6, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 48名)
- ◎小林文夫, 2012.7, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 32名)
- ◎小林文夫, 2012.9, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 36名)
- ◎小林文夫, 2012.11, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 27名)

館外講演など

- 小林文夫, 2012.6. 「古代の生きものと地質学」, 篠山市高齢者大学講師, 篠山市民センター (92名).
- 小林文夫, 2012.6. 「古代の生きものと地質学」, 篠山市高齢者大学, 講師, 篠山市みたけ会館 (18名)
- 小林文夫, 2012.6. 「教科書的でない川, 武庫川」2回, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 仁川下流域 (27名).
- 小林文夫, 2012.9. 「日本の恐竜化石含有層—恐竜化石を含む地層はどのようにしてできたか—」, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会人材育成セミナー, 講師 (56名).
- 小林文夫, 2012.10.フレミラ特別講座「東六甲の大地のつくりと地域環境課題」, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 仁川~甲山(47名).
- 小林文夫, 「人と自然の共生—人口問題を捉え, 地球環境と自然の共生を考える—」, 三田市高齢者大学研修会セミナー, 講師, 三田市中央公民館 (86名).

兵庫県立大学・大学院教育

地域地質論 (主任)

■研究生等の受入

博物館実習

2011.8.6-8.20, 大学生3名.

2.シンクタンク事業

■行政支援

相談・指導助言

2011.12, 新聞取材記事「海の一生」In いのちの不思議, ひとはく便り-11-. 神戸新聞
来訪者21件, 35名. 電話・FAX相談14件.

■行政支援

佐藤裕司 Hiroshi SATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所 共生博物部門 兼任

昭和32年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修

了。学術博士(神戸大学)。日本第四紀学会、日本陸水学会、日

本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース(渉外担当)

2.研究開発部門

研究部長代理、研究部門会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1.完新世の相対的海水準変動に関する研究

2.兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究

3.淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」、研究代表者。

■論文・著書

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Detman, D.L. and Sato, H. (2013) Midlatitude cooling caused by geomagnetic field minimum during polar reversal. PNAS (Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America), 110, 1215-1220.

Rashid, T., Suzuki, S., Sato, H., Monsur, M.H. and Saha, S.K. (2013) Relative sea-level changes during the Holocene in Bangladesh. Journal of Asian Earth Sciences, 64, 136-150.

◎佐藤裕司・杉野伸儀・永野正之・米井 聡・藤本卓矢・東山真也(2013)安室川(兵庫県上郡町)に生育する淡水産紅藻チスジノリ(*Thorea okadae* Yamada)の生活史と季節変化. 藻類, 61, 1-5.

■その他著作

◎佐藤裕司(監修)(2012)加東のため池. 189 pp. 加東市

■研究発表

北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・David L. Dettman・佐藤裕司(2012)地球磁場の減少によって生じた気候寒冷化. 日本地球惑星科学連合2012年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.(5月)

Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Dettman, D.L. and Sato, H.(2012) Climate variations and floral changes during the

Mid-Pleistocene transition around Osaka Bay, Japan. The 9th East Asia International Workshop on Present Earth Surface Processes and Long-term Environmental Changes in East Asia – from Continent to Island Arc -. Kobe (10月)

◎田中哲夫・佐藤裕司(2013)キリンビオトープ池におけるカワバタモロコの定着過程, 第60回日本生態学会, グランシップ, 静岡市(3月)

■学会役員など

2012.5, 日本第四紀学会・査読

2012.7, 日本珪藻学会・査読

■助成を受けた研究

「恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開」(科学研究費補助金・基盤研究(C))
代表者(H.24 220万円/H.24-26 400万円).

「地磁気逆転期における寒冷化イベントの発生原因の解明」(科学研究費補助金・基盤研究(B))分担者

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2013.3 現生淡水藻類の標本採集. 丹波市・上郡町など.

■整理同定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2012.4.21, 22, 5.12, 13, 「ため池をさぐる」, 博物館・野外. (全4回, のべ32名)

佐藤裕司, 2012.8.8, 「水中の微生物観察 ー解説と写真撮影ー」, 博物館. (全1回, 15名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2012.10.12, 19, 高校連携セミナー「ビオトープ池を調べる」, キリンビール(株)神戸工場, (のべ2名)

佐藤裕司, 2012.10.6, 7, 「湧き水を訪ねる」, 博物館・野外. (全2回, のべ20名)

佐藤裕司, 2012.7.31, 特注セミナー「丹波の恐竜化石, 展示解説」, 博物館. 阪南理科教育研究会(25名)

佐藤裕司, 2012.8.26, 特注セミナー「展示解説」, 博物館. 地域と環境科学研究会(12名)

オープンセミナー

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.7.1. (28名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.9.2. (21名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.10.21. (13名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2012.12.16. (17名)

館外講演

2012.6.5, 中央公民館セミナー「水をめぐる諸問題」, 三田市中央公民館. (80名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学全学共通教育科目「共生生物学」(オムニバス形式, 代表)

大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」

兵庫県立大学生涯学習公開講座アカデミック・ツーリズム

「六甲100年の森と『ひとはく』展示ウォッチング」
(参加者13名, 2012.11.17)

■キャラバン事業

副担当

加東市との協力協定事業(加東市ノーベル大賞事業)

成果発表

2013.2.11, 共生の広場「加東市のため池調査から見えてきたもの」, 岸本清明(指導助言)

■連携事業

協力事業

2012.8, 「第16回 自然から学ぶ 特別集中実技セミナー」講師, NPO 法人野生生物を調査研究する会

■学校教育支援

学校団体対応

2012.5.17, 伊丹市立鈴原小学校(66名)「水のはなし」

講師派遣

2012.10.18, 加東市立東条東小学校「加東市ノーベル大賞, 応募作品審査」

■フェスティバル等

2012.11 ひとはくフェスティバル(分担)

2013.03.16, 17, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム, 博物館, 丹波市(会場運営)

■展示

企画展

特別企画「丹波の恐竜化石発掘 ～六年間の軌跡～」
(分担)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究」分担者, キリンビール株式会社神戸工場.

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 4名.

■行政支援

委員会等(計5件)

2012.4-2013.3, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会・企画運営委員会, 委員, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会

2012.4-2013.3, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課

2012.4-2013.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市教育委員会

2012.6-2013.3, 加東市とひとはく協力協定連携推進会議, 委員, 加東市教育委員会

2012.7-2015.6, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省

自然環境局野生生物課

相談・指導助言

来訪者17件, 32名. 電話・FAX相談11件, メール相談18件.

先山 徹, Tohru SAKIYAMA

自然・環境評価研究部
地域環境地質研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門/
ジオ環境研究部門 准教授.

昭和29年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程
修了. 日本地質学会, 日本鉱物科学会, 地学団体研究会,
日本地学教育学会, 日本科学教育学会, 日本サイエンス
コミュニケーション協会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

ジオパークマネージャー

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 火成岩類の岩石学的研究
2. 兵庫県下の地質多様性の評価と活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割—持
続可能なサポートシステム構築に関する研究—」, 研
究代表者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コン
テンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎先山 徹 (2013) 花崗岩の識別と帯磁率に
よる産地同定. 市村高男(編)「御影石と中世の流通
—石材識別と石造物の形態・分布—, 45-58, 高志書
院, 東京都.

◎松原典孝・先山 徹 (2012) 堆積相解析に基づいた
兵庫県香美町下浜の県指定天然記念物“漣痕化石”の
再検討. 人と自然, no.23, 39-51.

■その他著作

◎先山 徹・松原典孝・三田村宗樹 (2012) 山
陰海岸におけるジオパーク活動—大地と暮らしのか
かわり—. 地質学雑誌, 118 補遺, 1-20.

■研究発表

SAKIYAMA, T., ISHIDA, H., FUJIMOTO, M.,
YAMAZAKI, Y., SAWADA, Y., TAKANO, A. and
MATSUBARA, N. (2012) “Geo-Caravan” - Outreach
Programs by the Museum in the San-in Kaigan Geopark.
5th International UNESCO Conference on Geoparks in
Unzen Volcanic Area Global Geopark, 島原復興アリ
ーナ, 長崎県島原市.

MATSUBARA, N. and SAKIYAMA, T. (2012)
Preservation and Utilization of Epicentral Earthquake
Heritage in the San'in Kaigan Geopark. 5th International
UNESCO Conference on Geoparks in Unzen Volcanic
Area Global Geopark, 島原復興アリーナ, 長崎県島

原市.

先山 徹 (2012) ジオキャラバン: 山陰海岸ジオパー
クにおける博物館と連携したアウトリーチプログラ
ム. 2012年地球惑星科学連合大会, 幕張メッセ国際
会議場, 千葉市.

松原典孝・先山 徹 (2012) 山陰海岸ジオパークにお
ける直下型地震遺産の保存と活用. 2012年地球惑星
科学連合大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

先山 徹・松原典孝 (2012) 山陰海岸ジオパーク地域
の新第三紀北但層群における貫入岩類の K-Ar 年代
と層序の再検討. 日本地質学会第119年学術大会,
大阪府立大学, 堺市.

松原典孝・先山 徹 (2012) 山陰海岸ジオパーク香住
海岸における中新世ペペライトの産状と形成過程.
日本地質学会第119年学術大会, 大阪府立大学, 堺
市.

先山 徹・松原典孝 (2012) 松葉ガニと但馬牛—山陰
海岸ジオパークの地質的背景が産み出した食の名品
日本地質学会第119年学術大会, 大阪府立大
学, 堺市.

先山 徹 (2012) 山陰海岸ジオパークにおける生涯
学習—兵庫県立人と自然の博物館によるアウトリー
チ—. 山陰海岸ジオパーク国際学術会議, 新温泉町
夢ホール, 新温泉町.

井口博夫・先山 徹・藤本真里・松原典孝 (2012) ジ
オパークを大学教育に活かす. 山陰海岸ジオパーク
国際学術会議, 新温泉町夢ホール, 新温泉町.

松原典孝・先山 徹 (2012) 堆積相解析に基づいた兵
庫県香美町下浜の県指定天然記念物“漣痕化石”の再
検討と教育的意義. 山陰海岸ジオパーク国際学術会
議, 新温泉町夢ホール, 新温泉町.

■学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員.
地学団体研究会, 常任エディター.

■助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学
習プログラム構築と博物館の役割. 文部科学省科学
研究費基盤研究(B), 研究代表者(金額390万円/897
万円).

西日本における中世石造物の成立と地域的展開—石材
と形態・様式に着目して—文部科学省科学研究費基
盤研究(B), 研究分担者(金額39万円/741万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4—2013.3 山陰海岸ジオパーク地域の地質資料
の収集(北但層群凝灰岩類など). 豊岡市, 香美町,
新温泉町など.

■整理同定担当資料

岩石・鉱物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 先山 徹, 2012.4, 「コウノトリと玄武洞, 豊岡の火山めぐり」, 豊岡市 (32名)
- 先山 徹, 2012.5, 「山陰海岸ジオハイキング 諸寄〜浜坂コース」, 新温泉町 (36名)
- 先山 徹, 2012.7, 「ふしぎな鉱物の世界にふれてみよう」, 香美町 (8名)
- 先山 徹, 2012.7, 「地球の磁石と磁石の性質を持つ石」, 豊岡市 (22名)
- 先山 徹, 2012.8, 「兵庫の岩石と大地の成り立ちを知ろう」, 博物館 (30名)
- 先山 徹, 2012.9, 「竹野海岸の地層を見よう」, 豊岡市 (24名)
- 先山 徹, 2012.10, 「香美町小代の地層と火山」, 香美町 (21名)
- 先山 徹, 2012.10, 「研究員と行く, 世界ジオパークバスツアー: 鳥取砂丘と浦富海岸」, 鳥取市 (15名)
- 先山 徹, 2012.12, 「山陰海岸ジオパークの大地を知ろう」, 豊岡市 (23名)
- 先山 徹, 2012.12, 「山陰海岸ジオパークの大地を知ろう」, 香美町 (17名)
- ◎先山 徹・加藤茂弘, 2012.8-2013.2, 「石ころクラブ」, 博物館 (全8回, 188名)
- 先山 徹・加藤茂弘, 2012.9, 「石めぐりハイキング: 香美町余部の鉄道橋と海岸」 香美町 (26名)
- 加藤茂弘・先山 徹, 2012.6, 「春の石めぐりハイキング〜ジオパークの石めぐり: 神鍋火山と溶岩〜」, 豊岡市 (31名)

館外講演など

- 先山 徹, 2012.6, 「小代ジオガイド養成講座」, 香美町小代区 (16名)
- 先山 徹, 2012.7, 「鉱物クラブ巡検」, 篠山市・丹波市 (20名)
- 先山 徹, 2012.7, 「兵庫県教員理科研修」, 香住文化会館・兵庫県高等学校科学研究会 (60名)
- 先山 徹, 2012.7, 「山陰海岸ジオパークバスツアー」, 香美町・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 (40名)
- 先山 徹, 2012.8, 「香美町教員研修」, 香美町文化会館・香美町教育委員会 (150名)
- 先山 徹, 2012.8, 「香美町職員ジオパーク研修1」, 香美町村岡区中央公民館・香美町 (30名)
- 先山 徹, 2012.8, 「香美町職員ジオパーク研修2」, 香美町役場・香美町 (40名)
- 先山 徹, 2012.9, 「大地・大気・生命が作り出した今の地球環境」, ひょうご県民会館・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 (24名)
- 先山 徹, 2012.10, 「芦屋市公民館周期講座」, 芦屋市市民会館・芦屋市教育委員会 (60名)
- 先山 徹, 2012.10, 「山陰海岸ジオパークバスツアー」,

香美町・サイエンスカフェはりま (40名)

- 先山 徹, 2012.10, 「鉱物クラブ巡検」, 京丹後市・鉱物クラブ (26名)
- 先山 徹, 2012.10, 「香美町ジオパークマスター講座1」, 香美町中央公民館・香美町商工観光課 (16名)
- 先山 徹, 2012.10, 「香美町ジオパークマスター講座2」, 香美町中央公民館・香美町商工観光課 (12名)
- 先山 徹, 2012.10, 「甲山の岩石」, 西宮市・六甲山自然案内人の会 (40名)
- 先山 徹, 2012.11, 「ジオパーク, 兵庫の大地と暮らしの物語」, ひょうご県民会館・ひょうご震災記念21世紀研究機構 (24名)
- 先山 徹, 2012.12, 「宝塚の岩石」, 宝塚市・フレミラ宝塚 (30名)
- 先山 徹, 2012.12, 「中山寺の岩石」, 宝塚市・フレミラ宝塚 (20名)
- 先山 徹, 2012.12, 「香美町ジオパークマスター講座」, 香美町中央公民館・香美町商工観光課 (12名)
- 先山 徹, 2013.2, 「山陰海岸ジオパークガイド基礎講座」, 鳥取市・山陰海岸ジオパーク推進協議会 (138名)
- 先山 徹, 2013.3, 「ジオパークと自然環境」, 豊岡市市民会館・但馬県民局 (40名)
- 先山 徹, 2013.3, 「山陰海岸ジオパークの運営と研究者の役割」, 島根大学・島根大学くまびきジオパークプロジェクトセンター (28名)
- 先山 徹, 2013.3, 「山陰海岸ジオパークの風景と地質」, 三田市中央公民館 (98名)

兵庫県立大学・大学院教育

- 人と自然の共生 (分担)
- ジオパークと地域 (分担)

■キャラバン事業

主担当

- 2013.3 鳥取市・鳥取砂丘ジオパークセンター テーマ「鳥取砂丘の自然と人の暮らし」

セミナー担当

- 2012.3 鳥取砂丘の生き物・農産物・ジオパーク (講師・企画運営)
- 2012.3 模型を作ろうー砂丘の大地 (企画運営)

■連携事業

共催事業

- 2012.4-2013.3, ひとくはくジオパークセミナーin 豊岡. 豊岡市 (セミナーの実施)
- 2012.4-2013.3, ひとくはくジオパークセミナーin 香美町. 香美町 (セミナーの実施)
- 2012.4-2013.3, ひとくはくジオキャラバン. 山陰海岸ジオパーク推進協議会 (キャラバンの実施)

協力事業

- 2012.11, 山陰海岸ジオパークフェスティバル2012, 山陰海岸ジオパーク推進協議会 (展示制作)

■研修生等の受入

博物館実習

2012.8. 神戸大学理学部学生2名, 高知大学理学部学生1名.

2.シンクタンク事業

■受託研究

「山陰海岸ジオパークにおけるジオキャラバンの実施とその評価に関する研究」. 山陰海岸ジオパーク推進協議会. (40万円)

■行政支援

委員会等 (計5件)

2012.4-2013.3 山陰海岸ジオパーク運営委員会, 委員, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2012.4-2013.3 山陰海岸ジオパーク学術部会, 兵庫分会長, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2012.4-2013.3 松江市史編纂委員会松江城部会, 委員, 松江市.

2012.7-2013.3 兵庫県文化財審議会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2013.1-2013.3 玄武洞整備検討委員会, 委員長, 豊岡市.

相談・指導助言

来訪者5件, 5名. 電話・FAX相談2件, メール相談3件.

2012.4-2013.3, 岩石・鉱物の名称等についての質問対応.

加藤 茂弘, Shigehiro KATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/研究・シンクタンク推進室
主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本第四紀学会, 日本活断層学会, 日本人類学会, 日本地理学会, 日本地質学会, 日本地形学連合, 東北地理学会, ナイル・エチオピア学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室 副室長

ひとはくフェスティバルマネージャー

広報・出版支援マネージャー

地域展開推進室 地域担当 (淡路地区)

2. タスクフォース部門

「ひとはく多様性フロア～魅せる収蔵庫トライアル～」
展示コーディネーター

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・修復・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Beyene, Y., Katoh, S., WoldeGabriel, G., Hart, W.K., Uto, K., Sudo, M., Kondo, M., Hyodo, M., Renne, P.R., Suwa, G. and Asfaw, B. (2013) The characteristics and chronology of the earliest Acheulean at Konso, Ethiopia. PNAS (Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America), 110(5), 1584-1591.

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Dettman, D.L. and Sato, H. (2013) Midlatitude cooling caused by geomagnetic field minimum during polarity reversal. PNAS (Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America), 110(4), 1215-1220.

■その他著作

◎加藤茂弘 (2012) フェスティバルを開催しました, ひとはく新聞 (12月26日).

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

加藤茂弘・兵頭政幸・ヨナスベイエネ・ブルハニア スフォ・諏訪 元 (2012.5) 東アフリカ, エチオピア

地溝帯南部に分布する鮮新～更新統コンソ層の古地磁気層序. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・David L. Dettman・佐藤裕司・松下まり子 (2012.5) 地球磁場の減少によって生じた気候寒冷化. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

◎窪田高宏・山口 覚・上田哲士・村上英記・加藤茂弘・三島稔明・南 雄一郎 (2012.5) 山崎断層系安富断層・暮坂峠断層の地下比抵抗構造の研究(2). 日本地球惑星科学連合 2012 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

戸田 茂・黒田康朗・鈴木 茜・佐藤正利・脇田 懸・加藤茂弘・岡田篤正 (2012.5) 近畿トライアングル北部, 三方断層に伴う袋状埋積谷における反射法地震探査. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Dettman, D.L. and Sato, H. (2012.8) Cyclic vegetation changes during the Mid-Pleistocene climate Transition around Osaka Bay, southwest Japan. IPC (国際花粉学会議) XIII/ IOPC (国際古植物学会) IX 2012 Congress, 中央大学, 東京都.

◎Takahashi, A., Handa, K., Yamakawa, C., Kato, S., Furutani, H. and Okugishi, A. (2012.8) Vagatation reconstruction based on the plant fossils from the Fukuchi Peat Bed along the Fukuchi River in the southeastern area of the Chugoku Mountain, western Japan. IPC (国際花粉学会議) XIII/ IOPC (国際古植物学会) IX 2012 Congress, 中央大学, 東京都.

小滝篤夫・加藤茂弘・河合小百合・石田志朗 (2012.9) 京都府京丹後市丹後町袖志のAT火山灰層と古環境. 日本地質学会第 119 年学術大会, 大阪府立大学, 堺市.

諏訪 元・加藤茂弘・兵頭政幸・Yonas Beyene・Berhane Asfaw (2012.10) エチオピア南部, 初期アシュール型石器を伴うコンソ累層の層序年代について. 第 66 回日本人類学会大会, 慶應義塾大学, 東京都.

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Dettman, D.L. and Sato, H. (2012.10) Climate vegetations and floral changes during the Mid-Pleistocene transition around Osaka Bay, Japan. East Asia International Workshop on Present Earth Surface Processes and Long-term Environmental Changes in East Asia, 神戸大学, 神戸市.

◎小田佑介・山口 覚・窪田高宏・村上英記・加藤茂弘・上嶋 誠 (2013.1) 山崎断層帯大原断層東端部および土方断層の地下比抵抗構造. 平成 24 年度 CA 研究会, 石岡市中央公民館, 石岡市 (京都府).

■学会役員など

日本活断層学会, 普及教育専門委員会委員 (2010 年 6 月-2012 年 5 月).

日本第四紀学会, 編集委員 (2009 年 9 月-2013 年 8 月).

日本第四紀学会, 渉外委員会委員 (2011年9月~2013年8月).

国際地理学会 (IGU) 京都地域会議組織委員会, 日本第四紀学会代表委員 (企画・プログラム班委員) (2010年9月~2014年3月).

地理学評論, レフェリー (2012年9月)

■助成を受けた研究

地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開. 文部科学省科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 研究代表者 (金額 117 万円/総額 351 万円)

袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価. 文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究B), 研究分担者 (金額 104 万円/総額 273 万円)

ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実. 文部科学省科学研究費補助金 (特別推進研究), 研究分担者 (金額 3614 万円)

地形学・地震学および地球電磁気学的手法を統合的に用いた断層地下構造の解明—地表から起震断層まで—. 東京大学地震研究所共同利用研究助成, 研究分担者 (金額 20 万円)

■海外調査

2012.7 台湾 (921 地震教育園区車龍埔断層保存館内のトレンチ展示の保存状況調査)

2013.1 台湾 (921 地震教育園区と竹山車龍埔断層保存館における地震断層の保存・活用状況に関する調査)

2013.2-3 エチオピア (チョローラ層分布域での中新世類人猿化石の探索)

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.9 太田スコリア・始良 Tn 火山灰・神鍋スコリア露頭のはぎとり標本作成. 兵庫県豊岡市日高町太田.

2013.2-3 エチオピア, アファー地溝帯南部のチョローラ層中の火山灰, 軽石層など.

■整理同定担当資料

第四紀堆積物 (火山灰, ボーリングコア等, 活断層・地層のはぎとり標本等).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘・先山 徹, 2012.6, 「春の石めぐりハイキング〜ジオパークの石めぐり: 神鍋火山と溶岩〜」, 豊岡市神鍋高原周辺. (31 名)

加藤茂弘, 2012.6, 「見直される近未来の南海地震像」, 人と自然の博物館. (26 名)

加藤茂弘, 2012.7, 「火山灰を調べる: 上級編 (全2回)」, 人と自然の博物館. (10 名)

加藤茂弘, 2012.7, 「火山灰を調べる: 上級編 (全2回) 追加版 1」, 人と自然の博物館. (12 名)

加藤茂弘, 2012.7, 「火山灰を調べる: 上級編 (全2回) 追加版 2」, 人と自然の博物館. (10 名)

◎加藤茂弘, 2012.5, 「ペーパークラフトで学ぶ活断層と地震」, 人と自然の博物館.

◎加藤茂弘, 2012.6, 「ペーパークラフトで学ぶ火山のしくみ」, 人と自然の博物館.

◎加藤茂弘, 2012.7, 「偏光顕微鏡で見る岩石と鉱物」, 人と自然の博物館.

◎加藤茂弘, 2012.8, 「ペーパークラフト『動く断層』を作ろう」, 南あわじ市玉青館.

加藤茂弘, 2012.8, ギャラリートーク「鯨絵の魅力に触れる」, 南あわじ市玉青館.

◎加藤茂弘・古谷 裕・石田弘明ほか, 2012.7, 「かんたん! アンモナイト化石のレプリカ作り」, 道の駅キヤラバン in 淡路ハイウェイオアシス, 淡路ハイウェイオアシス.

◎加藤茂弘・古谷 裕・上田萌子ほか, 2013.1, 「かんたん! アンモナイト化石のレプリカ作り」, あわジオフェスティバル 2013, 淡路市国営明石海峡公園ビジター棟.

◎加藤茂弘・高野温子・沢田佳久・上田萌子・塚本健二, 2013.1, 「ゆめはくの展示解説」, あわジオフェスティバル 2013, 淡路市国営明石海峡公園ビジター棟前広場. (100 名)

先山 徹・加藤茂弘, 2012.6-2013.2, 「石ころクラブ」, 人と自然の博物館. (全9回, 162 名)

先山 徹・加藤茂弘, 2012.9, 「石めぐりハイキング: 香美町余部の鉄道橋と海岸」, 香美町余部周辺. (26 名)

特注セミナー

加藤茂弘, 2012.7.3, 「見直される近未来の南海地震」, 大阪市シニア自然大学花組, 人と自然の博物館.

加藤茂弘, 2012.7.4, 「見直される近未来の南海地震」, 大阪市シニア自然大学緑組, 人と自然の博物館.

加藤茂弘, 2012.7.6, 「見直される近未来の南海地震」, 大阪市シニア自然大学風組, 人と自然の博物館.

加藤茂弘, 2013.3.23, 「見直される近未来の南海地震」, 三田高齢者大学, 人と自然の博物館. (450 名)

館外講演

加藤茂弘, 2012.9.8, 「近畿地方の活断層と近未来の大地震」, 阪神南地域ひょうご防災リーダー講座講師, アルカニックホール尼崎. (80 名)

加藤茂弘, 2012.10.5, 「活断層を知る: 大地を作る働きと地震災害」, 兵庫講座講師, 兵庫県民会館. (20 名)

加藤茂弘, 2012.11.25, 「近畿地方の活断層と近未来の大地震」, 丹波・篠山地域ひょうご防災リーダー講座講師, 丹波の森公苑. (55 名).

加藤茂弘, 2012.11.28, 「近未来の東南海・南海地震と西南日本の内陸地震」, 阪神シニアカレッジ2年生, 講師, 宝塚ソリオ. (142 名)

加藤茂弘, 2012.11.29, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ4年生, 講師, 宝塚

ソリオ。(82名).

加藤茂弘, 2012.12.5, 「中山寺周辺の活断層を歩く」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚。(30名)

加藤茂弘, 2012.12.5, 「宝塚の活断層と大地震の長期予測」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚。(30名)

加藤茂弘, 2013.1.14, 「野島断層保存館見学会」, 野島断層親子体験教室講師, 北淡震災記念公園セミナーハウス。(50名).

加藤茂弘・古谷 裕ほか, 2013.1.14, 「恐竜のお面を作ろう」ほか, 野島断層親子体験教室講師, 北淡震災記念公園セミナーハウス。(50名).

非常勤講師

2012.9.4-2012.9.7 「自然地理学講義および演習」, 兵庫教育大学.

非常勤講師

2013.1.19 神戸の活断層と地震. 毎日放送神戸支局.

■キャラバン

副担当

2012.6.16-8.4, 淡路地区「道の駅キャラバン in 淡路ハイウェイオアシス」, 淡路市淡路ハイウェイオアシス.

■連携事業

連携グループ等

南あわじ地学の会 (副担当)

東中国クマ集会 (副担当)

共催事業

2012.6-11, 「福知溪谷の泥炭層」(展示品の作成と設営), 宍粟市役所・宍粟市歴史民俗資料館.

2012.7.14-9.2, 平成24年度特別展「鯨絵展～鯨絵に見る江戸庶民のころ～」, 南あわじ市玉青館, 南あわじ市.

2012.12.22-2013.1.14, 「あわジオフェスティバル2013」, 国営明石海峡公園, 淡路市.

協力事業

2012.8, 「あわジオフェスティバルー夏」, 国営明石海峡公園, 淡路市.

2013.1.14, 「野島断層普及講演会および野島断層親子体験教室」, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.8, 中学生4名, ボーリングコアの整理ほか

学校団体対応

2012.4.27, 「兵庫県南部地震と阪神・淡路大震災」, 講師, 神戸中華同文中学校1年生(150名).

2012.11.27, 「六甲山とその周辺の地形・地質の成り立ち」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生。(40名)

講師派遣

2012.5.17, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中

学校3年生。(5名)

2012.6.7, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2012.7.19, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2012.9.20, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2012.10.11, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2012.11.15, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2013.1.24, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2013.2.7, 「我々はどこから来たか」, Project 学習Ⅲ『目指せ, 未来の研究者!』講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生。(5名)

2012.6.29, 「近未来の南海地震について」, 講師, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生。(40名)

■フェスティバル等

ひとはくフェスティバル2012 実行委員会 幹事長.

着ぐるみ出演, ミュージアム・ワールド担当.

ひとはく多様性フロアでの演示.

■展示

常設展

2012.5-2013.3, 2階常設展示「ひとはく多様性フロア～魅せる収蔵庫トライやる～」(分担者; 展示内容や展示品の企画・製作・設営と20周年式典での案内など).

企画展

2012.6-2012.7, 共催展示「宍粟市で見つかった9千年前の種と葉っぱ」(分担者; 展示品の製作と設営など).

ミニ企画展

2013.2.9-2013.3.31, トピックス展「地磁気の減少が寒冷化を招いたか?」(責任者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究(研究代表者), 淡路市教育委員会, 金額27万円.

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内

■行政支援

委員会等(計3件)

2012.6-2013.3, 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教育委員会.

2012.6-2013.3, 平成24年度土地履歴調査地区調査委

員会, 委員, 国土交通省国土政策局国土情報課.

2012.11-2013.3, 平成 24 年度治水地形分類図更新 治水地形判定委員会 (近畿地区), 委員, 国土交通省国土地理院.

相談・指導助言

来訪者 20 件, 40 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 120 件.

2012.6-2012.2, 土地分類基本調査図 (土地履歴調査)

「奈良」, 「桜井」, 「大阪東北部」, 「大阪東南部」, 「大阪西北部」, 「大阪西南部」製作における指導・助言, 株式会社パスコ.

2012.11-2013.2, 治水地形分類図の作成における地形判読作業と指導・助言, 朝日航洋株式会社.

2012.12, 野島断層保存館内の地震断層の保存・修復作業の指導・助言, 淡路市教育委員会.

2013.1, 台湾の竹山車籠埔断層保存館内の地震断層トレンチの保存と展示に関する指導・助言, 台湾国立自然科学博物館.

古谷 裕, Hiroshi FURUTANI

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授.

昭和27年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会, 日本地学教育学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

キッズひとはく推進室 室長

<研究開発>

■特別課題研究(個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究
3. 子どもたちに対する地学教育に関する研究

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 分担者.

■その他著作

古谷 裕 (2012) みんなの福島展&Kids キャラバン in 東北, ひとはく新聞, 2012年6月30日号.

■ブログへの情報提供

3件

■研究発表

古谷 裕・池田忠広・長野泰幸・前田 昇・永井宗治・四宮徳章 (2012) 中生代白亜紀篠山層群産小動物化石の3D拡大模型の製作 ~化石・現生のトカゲやカエル骨格の拡大模型~, 兵庫県立大学シンポジウム, イーグレ姫路, 姫路市.

■助成金を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者,

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2013.1 化石・地質資料, 高知.
- 2013.3 化石・岩石資料, 広島・宮崎.

■整理同定担当資料

化石(無脊椎動物化石, 微化石).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎古谷 裕, 2012.5, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館.
- ◎古谷 裕, 2012.5, 「いろいろな化石を見よう触ろう」,

博物館.

◎古谷 裕, 2012.6, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館.

◎古谷 裕, 2012.5, 「いろいろな化石を見よう触ろう」, 博物館.

古谷 裕, 2012.7, 「南あわじで地層を見る」, 南あわじ市・博物館.

古谷 裕, 2012.8, 「身近な石ころを調べる」, 博物館.

古谷 裕, 2012.8, 「石ころの中の化石を調べる」, 博物館.

◎古谷 裕, 2012.5, 「いろいろな化石を見よう触ろう」, 丹波市.

◎古谷 裕, 2012.9, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館.

古谷 裕, 2012.10, 「丹波で地層を見る」, 丹波市,

◎古谷 裕, 2012.5, 「いろいろな化石を見よう触ろう」, 博物館.

◎古谷 裕, 2013.2, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館.

◎古谷 裕, 2013.3, 「いろいろな化石を見よう触ろう」, 博物館.

館外講演など

古谷 裕, 2012.6 「丹波の地層と化石ー古代の生きものと地質学ー丹波地域の地層と化石ー」講師, 篠山市八上多目的研修センター高城会館. (40名)

古谷 裕, 2012.6 「丹波の地層と化石ー古代の生きものと地質学ー丹波地域の地層と化石ー」講師, 篠山市岡野多目的研修センター. (40名)

古谷 裕, 2012.7 「古生物・地質学から見た宝塚」講師, 宝塚市立東公民館

古谷 裕, 2012.7 「兵庫県立人と自然の博物館のキッズ事業」講師, 大阪国際大学(会場, 加東市)

古谷 裕, 2013.2 「宝塚の地層と化石」, 講師, フレミラ宝塚

古谷 裕, 2013.2 「街の中で化石探し」, 講師, フレミラ宝塚

非常勤講師

2012.10ー2013.3. 「地学実習」, 神戸女学院大学.

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2012.4 西宮阪急 テーマ「化石を見よう触ろう, つくろう」

2012.4 福島県立博物館「身近なしぜん発見隊 by ひとはく」

2012.4 福島県郡山市「化石のレプリカづくり, 化石を見よう触ろう」

2012.6 石巻市立貞山小学校「化石を調べると何がわかる?」

2012.7 仙台市六郷児童館「ひとはく Kids キャラバン in 六郷児童館」

2012.7 仙台市七郷児童館「ひとはく Kids キャラバン in 七郷」

2012.7 福島県会津美里町「ひとはく Kids キャラバン in 会津美里町」

2012.7 宝塚市立安倉児童館「大昔の生きもの①宝

塚の石・化石

- 2012.8 宝塚市立高司児童館「大昔の生きもの②絶滅した生きものたち（アンモナイトのレプリカづくり）」
- 2012.8 三田市三田ホテル「おおむかしの生きもの」
- 2012.8 神戸市立有野児童館「大昔の生きもの・化石のレプリカづくり」
- 2012.8 神戸市立地域人材支援センター「ひとはく Kids キャラバン in 神戸・ふたば」
- 2012.8 神戸市立松原児童館「化石はおしえてくれる～小さな化石の声を聞こう～」
- 2012.9 西宮市くるみ幼稚園「おおむかしのいきもの アンモナイトとなかよくなるろう」
- 2012.9 宝塚市立中筋児童館「大昔の生きもの アンモナイト（化石）のれぷりかづくり」
- 2012.10 キッズプラザ大阪「キッズひとはく大使モニターツアー」
- 2012.11 香美町立福岡保育所「ひとはくキッズキャラバン in 福岡保育所」
- 2012.11 三田入江学園さち幼稚園「おおむかしのいきもの～アンモナイトと仲良くなるろう」
- 2012.11 三田つつじがおか幼稚園「おおむかしのいきもの～たんばのきょうりゅうと小さな生きもの～」
- 2012.11 宝塚市立西谷児童館「大むかしの生きもの・アンモナイトのレプリカづくり」
- 2012.12 丹波市立山南住民センター「丹波竜の近くにいたちいさなカエル～ぴよんぴよん カエルに へんしん！～」
- 2012.12 神戸市立本山児童館「化石はおしえてくれる～大むかしの生きもの移り変わり～」
- 2013.1 佐用町さよう文化情報センター『おおむかしのいきもの 「佐用町の化石と石」を学ぼう with ゆめはく』
- 2013.3 宮城県石巻市「ひとはく Kids キャラバン in 石巻」
- 2013.3 福島県田村市「ひとはく Kids キャラバン in 田村」

展示作成

- 2009.8 阪神北地域 阪神間の住環境に関する歴史（古絵葉書）

セミナー担当

- 2009.8 阪神北地域 ひとはく博士の展示解説セミナー（講師・企画運営）
- 2009.8 武庫川の生き物調査（企画運営）
- 2009.8 学校ビオトープセミナー（企画運営）

■連携事業

連携グループ等

- 南あわじ地学の会（主担当）
- 篠山層群をしらべる会（顧問）

共催事業

- 2012.7.22～9.3 「石が持つ魅力～化石・鉱物・岩石と宝石の世界」
南あわじ市教育委員会 南あわじ地学の会（展示制作）

■学校教育支援

トライやるウィーク

- 2012.6.5-8, 三田市立狭間中学校 2名, 丹波市立山南中学校 2名.

学校団体対応

- 2012.5 篠山市立西紀北幼稚園（26名）.
- 2012.10 大阪府立千里高等学校 1年生, 2年生（20名）.
- 2012.12 三田市立弥生小学校 6年生（36名）.
- 2012.12 豊能町立東ときわ台小学校（51名）.

講師派遣

- 2012.10 「仁川小学校周辺の岩石・化石」, 講師, 西宮市立仁川小学校（152名）.
- 2012.12. 「安井小学校周辺の岩石・化石」, 講師, 西宮市立安井小学校 6年生（40名）.

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 地学系収蔵庫等の案内, 3回, 20名.

■受託研究

- 野島断層の保存・活用に関する研究, 淡路市教育委員会, 金額 27万円. (分担者)

相談・指導助言

- 来訪者 5件, 10名. 電話・FAX 相談 3件, メール相談 0件.

三枝 春生, Haruo SAEGUSA

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授.

昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本
人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会
等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース リーダー

<研究開発>

■特別課題研究(個人研究)

- 1.後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
- 2.恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者

■論文・著書

◎Kusuhashi, N., Tsutsumi, Y., Saegusa, H., Horie, K.,
Ikeda, T., Yokoyama, K. and Shiraiishi, K. 2013. A new
Early Cretaceous eutherian mammal from the Sasayama
Group, Hyogo, Japan. *Proceedings of the Royal Society B*
280 (1759): 20130142. doi:10.1098/rspb.2013.0142.

■その他著作

◎三枝春生(2012) 竜脚類の下顎の化石の発見.ひとはく
新聞(ハーモニー78号:2012.10)

◎Wada, K., Ikeda, T., Saegusa, H. and Shinya, A. (2012) Stylus
sharpening instrument for fossil preparation. *Abstracts of Papers,*
Seventy-second Anniversary Meeting, Society of Vertebrate
Paleontology, 119

■ブログへの情報提供

メールマガジン ひとはくレター 第63号
2012/7/31 恐竜の下顎発見!

■研究発表

◎三枝春生・池田忠広・半田久美子(2012)篠山層群恐竜
化石の追加標本について. 日本古生物学会2012年年会,
名古屋大学, 名古屋市

国府田良樹・小池 渉・三枝春生・安藤寿男・飯泉克
典・星加夢輝・長谷川善和・鈴木久仁博(2012) 茨
城県常陸大宮市から発見された中新世長鼻類
Stegolophodon 属頭蓋化石. 日本古生物学会2012年年会,
名古屋大学, 名古屋市

◎Wada, K., Ikeda, T., Saegusa, H. and Shinya, A. (2012) Stylus
sharpening instrument for fossil preparation. *Abstracts of Papers,*

Seventy-second Anniversary Meeting, Society of Vertebrate
Paleontology, Raleigh Convention Center, Raleigh, NC, USA

■助成を受けた研究

課題名: 恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養
と環境教育への展開(代表佐藤裕司), 分担者
平成24年度特別教育研究助成金「恐竜等篠山層群産脊椎動
物化石の研究」研究代表者(金額65万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.7, 篠山市産恐竜化石の発掘, 篠山市.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石(哺乳類, 恐竜類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎三枝春生, 2012.4-2013.3, 「オープンセミナー・解説!
丹波の恐竜化石」, 博物館. (全4回, 50名)
 - 三枝春生, 2012.5, 「丹波の恐竜化石第六次発掘報告会」,
博物館. (16名)
 - 三枝春生, 2012.4.20, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」,
追手門学院小学校 博物館. (161名)
 - 三枝春生, 2012.8.7, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」,
常翔啓光学園サイエンス部 博物館. (12名)
 - 三枝春生, 2012.9.22, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」,
香川県立三本松高等学校 博物館. (33名)
 - 三枝春生, 2012.9.23, 「最新の世界の恐竜化石情報」,
竜と獣の道学セミナー, 博物館. (22名)
 - 三枝春生, 上田萌子 2011.9, 「福井県立恐竜博物館ツア
ー」, 竜と獣の道学セミナー, 白山市白峰化石調査
センター, 福井県立恐竜博物館. (15名)
 - 三枝春生, 2012.10.18, 特注セミナー 「丹波の恐竜化
石」, 大阪教育大学附属小学校 博物館. (118名)
 - 三枝春生, 2012.10.26, 「兵庫の恐竜」, 県立有馬高等学校
連携セミナー, 博物館. (42名)
 - 三枝春生, 2011.12.1, 「三田哺乳類化石産地見学会」, 化
石発掘体験広場・博物館. (6名)
 - 三枝春生, 2013.3.16, 「篠山層群, これまでの発掘の成
果」, 国際シンポジウム「白亜紀前期の恐竜研究最前
線」, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム, 博物館.
(350名)
 - 三枝春生, 2013.3.24, 「恐竜と哺乳類の2億3千万年」,
博物館. (9名)
- #### 館外講演など
- 三枝春生, 2012.10.11, 兵庫県阪神シニアカレッジ講
座, 「哺乳類の進化」, 阪神シニアカレッジ宝塚学習
室(2回, 119名).
 - 三枝春生, 2011.10.17 「丹波竜の発掘」, 兵庫さんすい
会, 兵庫県民会館(100名).
 - 三枝春生, 2012.11.10, まちかどキャンパス「丹波の

恐竜化石発掘調査」, 神戸市シルバーカレッジ, こうべ市民福祉振興協会, 北神区民センター (400名). 小田隆, 徳川広和, 對比地孝亘, ジェームズ・カークランド, 徐 星, ロマン・アミヨ, 柴田正輝, 楠橋直, 山田敏弘, 三枝春生 2013.3.17, サイエンスカフェ 丹波市恐竜復元画プロジェクト「篠山層群の化石から白亜紀の生き物を復元する」, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム, 丹波市, やまなみホール. (136名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (野外実習分担)

ラジオ・テレビ等出演

2012.5.13, 県民情報番組「ひょうごワイワイ」サンテレビ

2012.7.23, 竜脚類の下顎の化石の発見 (篠山層群恐竜化石発掘調査検証委員会) について, NHK 神戸, 読賣テレビ, 関西テレビ, サンテレビ

2012.8.26, 篠山層群恐竜化石発掘調査検証委員会および県立丹波並木道中央公園の発掘調査結果に関するニュース, NHK, サンテレビほか

2012.9.8, 梅田淳のニュース・ハイブリッド ぶっちゃけインタビュー, ラジオ大阪

2013.3.13, イブニングひょうご, ラジオ関西

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (主担当)

ラボーンズ (副担当)

共催事業

2012.11, 第一回丹波なみきみちまつり 2012, 兵庫県立丹波並木道中央公園

協力事業

2012.4-2013.3, 丹波竜化石工房 (ちーたんの館) 拡充工事, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課 (展示監修・制作)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.5, 三田市立狭間中学校 2名, 丹波市立山南中学校 2名.

■展示

企画展

2012.4.28-2013.3.31, 展示特別企画「丹波の恐竜化石発掘—6年間の軌跡」(分担者)

ミニ企画展

2012.7.7-2012.8.31, 「丹波市産竜脚類の下顎化石」速報展示 (責任者)

2012.9.8-2012.10.21, 「丹波並木道中央公園恐竜化石調査速報展」臨時展示 (責任者)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計3件)

2012.5-2013.3, 篠山層群復元画プロジェクト, 委員, 丹波市.

2012.5-2013.3, ミエゾウ全身骨格復元検討委員会, 委員, 三重県.

2013.3. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員, 篠山市.

相談・指導助言

来訪者 4件, 8名. 電話・FAX 相談 14件, メール相談 37件.

2012.4-2013.3, 丹波市山南町「ちーたんの館」, 展示指導 (株) 日展.

2012.12-2013.3, 丹波市恐竜化石保護条例の一部改正, 丹波市.

半田 久美子, Kumiko HANDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和45年栃木県生. 大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム実行委員会事務局, 山南化石工房クリーニングスタッフ支援, ボランティア顕彰式担当

2.研究推進室部門

研究推進室 副室長, 研究企画開発マネージャー 総合共同研究・部門研究の推進および進行管理, 科研費勉強会の開催

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.新生代における植生・植物相の変遷史
- 2.花粉の形態分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

半田久美子・池田俊夫・藤原卓 (2012) 京都府南部木津川東岸の新时期新生代層 (第十一報) -大阪層群最下部層から産出した前期更新世の花粉化石群-. 地学研究, 61, 11-21.

■その他の著作物

◎半田久美子 (2012) 昔々の兵庫の植物-化石から分かること. 『兵庫の植物, その多様性と成り立ち』, 32-39, 公益財団法人日本植物学会, 東京.

■研究発表

Handa, K. and Yokoyama, A. (2012) Cleared leaf collection of modern Japanese species for studying the Eocene-Oligocene Kobe Flora. IPC XIII/ IOPC IX 2012 Congress, Tokyo.

Takahashi, A., Handa, K., Yamakawa, C., Kato, S., Furutani, H. and Okugishi, A. (2012) Vegetation reconstruction based on the plant fossils from the Fukuchi Peat Bed along the Fukuchi River in the southeastern area of the Chugoku Mountain, western Japan. IPC XIII/ IOPC IX 2012 Congress, Tokyo.

■学会役員など

日本花粉学会, 図書幹事.

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2013.3, 神戸層群産植物化石. 三木市.

■受贈担当資料

2012.5, 松尾コレクション (サルノコシカケ科化石). 1点.

2013.2, 篠山層群産植物化石 (山田コレクション). 164点.

2013.2, 篠山層群産化石 (足立コレクション). 31点.

■整理同定担当資料

植物化石, 葉脈標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2012.6, 「福知溪谷の泥炭層から分かること」, 博物館. (12名)

半田久美子, 2012.6, 「福知泥炭層の花粉化石を調べよう」, 博物館. (9名)

半田久美子・高橋 晃, 2012.7, 「福知泥炭層の種子や木材の化石を調べよう」, 博物館. (10名)

半田久美子・高橋 晃, 2012.8, 「泥炭層の中の植物化石を調べよう」, 博物館. (8名)

◎半田久美子, 2012.4-2012.12, 「植物化石のクリーニング実演」, 博物館 (3回, 100名)

館外講演

半田久美子, 2012.8, 「丹波の恐竜と北神の化石」, 講師, 北区区民センター (24名)

半田久美子, 2012.8, 「宍粟市でみつかった9000年前のタネ・はっぱ・虫」, 講師, 宍粟市役所 (40名).

半田久美子, 2012.9, 「昔々の兵庫の植物-化石から分かること」, 日本植物学会第76回大会公開講演会「兵庫の植物, その多様性と成り立ち」, 講師, イーグレ姫路あいめっせホール (400名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2012.7-9, ひとくキャラバン in 道の駅みき (分担者), 播磨地域, 道の駅みき.

2012.7, 三木木工ものづくりイベント (分担者), 三木商工会議所, 道の駅みき.

■ミニキャラバン事業

2012.7-9, ミニキャラバン (分担者), 瑞宝園, 瑞宝園.

2013.2, 学校キャラバン (分担者), 丸橋小学校, 宝塚市.

■連携事業

共催事業

2012.4-5, 淡路夢舞台薔薇祭2012, 兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物園 (企画助言, 資料貸出)

2012.8-10, 「宍粟市で見つかった9000年前のタネ・はっぱ・虫」, 宍粟市教育委員会 (展示作成, 資料貸出).

2012.8, 「石が持つ魅力-化石・岩石・鉱物と宝石の世

界」, 南あわじ地学の会・南あわじ市教育委員会, パ
ルティ (資料貸出)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.5-8, 三田市立狭間中学校 2 名, 丹波市立山南中
学校 2 名.

学校団体対応

2012.7, 宍粟市立城下小学校 3 年生 (46 名) .

講師派遣

2012.5-2013.2, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生

2012.10, 宍粟市立下見方小学校 6 年生

■フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル 2012, 「芝生ステー
ジ」 (責任者).

■展示

企画展

2012.4- 展示特別企画「丹波の恐竜化石発掘-6 年間の
軌跡-」 (分担者)

ミニ企画展

2012.6.2-7.16 ミニ企画展「宍粟市でみつかった 9000
年前のタネ・はっぱ・虫-福知溪谷の泥炭層」責任
者.

2012.10- 常設展「ひとつはく多様性フロア-魅せる収蔵
庫トリアル」 (分担者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 1 件)

2012.7- 2013.3 加東市とひとつはく協力協定連携推進会
議委員

相談・指導助言

来訪者 3 件, 5 名. 電話・FAX 相談 80 件.

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／研究・シンクタンク推進室
主任研究員

昭和43年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科地学専攻
単位取得退学. 博士(理学). 日本古生物学会, 日本地質
学会, 日本貝類学会, Paleontological Society (USA)所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室 副室長

事業推進会議運営. 第3期中期目標とりまとめ. 兵庫
県立人と自然の博物館開館20周年記念事業「ひとは
くアニバーサリー」事務局. ひとはく将来検討委員
会事務局. 視察対応.

2.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース, 篠山層群恐竜化石発掘調
査検証委員会事務局. ひょうご恐竜化石国際シンポ
ジウム運営. 展示特別企画「丹波の恐竜化石発掘 6
年間の軌跡 ～」, ポスター・チラシ・HP バナーデザ
イン. トピックス「篠山で見つかった日本最古の真
獣類化石 ～ササヤマミロス・カワイイ展～」, ポスタ
ー・チラシ・HP バナーデザイン.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.新生代貝類の分類・古生態・古生物地理に関する研究
- 2.日本の古生物学史に関する研究

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究(研究期間:平
成23年度～24年度)」, 研究分担者.

■論文・著書

◎奥村よほ子・松原尚志・佐藤たまき・大橋智之(2013)
平成23年度陸前高田市立博物館地質標本救済事業
参加報告. 化石, no. 93, 97-106.

■研究発表

松原尚志(2012)北西太平洋地域産古第三紀 ～新第三
紀マクガイ属(二枚貝綱)の分類・古生態・分布.
日本古生物学会2012年年会, 名古屋大学, 名古屋.
松原尚志(2012)日本産新第三紀 ～現生モシオガイ科
について. 日本古生物学会2012年年会夜間小集会
「現生種最古の化石記録を探る:貝類版EOS 計画」,
名古屋大学, 名古屋.
松原尚志(2013)日本産古第三紀モシオガイ科(二枚貝
綱)の分類と分布. 日本古生物学会第162回例会,
横浜国立大学, 横浜.

■学会役員など

日本貝類学会, ちりばたん編集委員.
日本地質学会, 地質学雑誌特集号編集委員.

■助成を受けた研究

日本産古第三紀内湾性貝類化石群の時代の変遷に関す
る研究(課題番号22540484). 研究代表者. 日本学
術振興会科学研究費補助金基盤研究(C). (65万円/
220万円)

最古の現生種化石記録から探る現生貝類群集の成立:
その時期と古環境背景(課題番号22540477). 研究
分担者(代表者:近藤康生, 高知大学). 日本学術振
興会科学研究費補助金基盤研究(C). (12万円/220
万円)

明治・大正・昭和前期の論文に記載された古生物証拠
標本の所蔵調査(課題番号23501222). 研究分担者
(代表者:伊藤泰弘, 東京大学). 日本学術振興会科
学研究費補助金基盤研究(C). (25万円/390万円)

2.資料収集・整理

～■資料収集

2012.9 古第三紀貝類化石. 北海道芦別市.
2012.10 古第三紀貝類化石. 福島県いわき市.

■整理同定担当資料

新生代貝類化石.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

松原尚志, 2012.5, 一般セミナー「ピカリア化石のレ
プリカをつくろう!」, 人と自然の博物館(10名).
松原尚志, 2012.8, 一般セミナー「サメの歯化石をクリ
ーニングしてみよう」, 人と自然の博物館(22名).
松原尚志, 2012.10, 一般セミナー「小さな化石の抽出と
観察～中期中新世の有孔虫～」, 人と自然の博物館(6
名).
松原尚志, 2012.4.1, 7.15, 8.19, 11.25 オープンセミナー
「解説 丹波の恐竜化石」(4回69名).

館外講演など

2013.1 「兵庫県の化石」. 篠山市高齢者大学たんなん
学園, 講師. 篠山市四季の森生涯学習センター(281
名).

■連携事業

共催事業

2012.10～11, 西宮市貝類館第14回特別展「太古の生
物! オウムガイ・アンモナイト展」. 西宮市.
2012.11, オープンセミナー「アンモナイト化石のレプ
リカをつくろう」. 西宮市貝類館(44名).

協力事業

2012.8, 夏休み特別展「化石展」. 開催協力. 二戸市立
二戸歴史民俗資料館, 二戸市.

■学校教育支援

学校団体対応

2012.6, 岡山大学理学部地球科学科 (51名) .

■研究生等の受入

博物館実習

2012.8.10-8.11, 神戸大学理学部学生 2名, 高知大学理学部学生 1名.

■展示

ミニ企画展

2012.4.28-2013.3.31, 展示特別企画「丹波の恐竜化石発掘～6年間の軌跡」(分担者).

2013.3.30-2013.6.30, トピックス「日本最古の真獣類化石～ササヤマミロス・カワイイ展」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1回, 2名.

相談・指導助言

来訪者 4件, 7名. 電話・FAX相談6件, メール相談15件.

専門家招聘

2012.8 埋蔵文化財調査. 二戸市教育委員会.

■学会開催等支援

2012.6 日本古生物学会 2012 年年会, 分類・博物館学の部, 座長. 名古屋大学.

2012.6 日本古生物学会 2012 年年会, 夜間小集会「現生種最古の化石記録を探る: 貝類版 EOS 計画」, 世話人, 名古屋大学.

池田 忠広, Tadahiro IKEDA

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 特任助教
昭和53年鹿児島県生. 鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程生命物質システム修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本爬虫両類学会, Society of Vertebrate Paleontology 等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

地域展開推進室 丹波地域担当
篠山層群恐竜化石等発掘調査検証委員会
ひょうご恐竜化石国際シンポジウム 事務局運営 (会計・編集委員)

2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース サブリーダー
発掘・調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 下部白亜系篠山層群産小型両生爬虫類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

■共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■総論文・著書

- ◎池田忠広 (2012) 生涯学習支援—恐竜化石をとおして—. 兵庫県立人と自然の博物館編「みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ」 pp.47-76, 研成社.
- ◎池田忠広 (2012) 書評 フィールドの生物学—⑥— 右利きのヘビ仮説—追うヘビ, 逃げるカタツムリの右と左の今日進化 細将貴. 2012年. 194 p. 東海大学出版会 日本熱帯生態学会ニューズレター No. 88.
- ◎池田忠広 (2012) トカゲ, 恐竜と共に生きた小さな生きもの. 林原自然科学博物館 (編), 「発掘! モンゴル恐竜化石展」, 58-59, 読売新聞大阪本社企画事業部.

Kusuhashi, N., Tsutsumi, Y., Saegusa, H., Horie, K., Ikeda, T., Yokoyama, K. and Shiraiishi, K. 2013. A new Early Cretaceous eutherian mammal from the Sasayama Group, Hyogo, Japan. Proceedings of the Royal Society B 280 (1759): 20130142. doi:10.1098/rspb.2013.0142

■その他著作

Wada Kazumi, Tadahiro Ikeda, Haruo Saegusa, and Akiko Shinya. 2012. Stylus sharpening instrument for fossil

preparation. Journal of Vertebrate Paleontology, 32(1, supplement): 119.

池田忠広 2012. 講演要旨 「丹波の恐竜時代のトカゲたち」化石研究会 化石研ニュース No.115

池田忠広 (2012) 丹波の恐竜化石発掘〜6年間の軌跡〜. 人博コラム, ひとほく新聞(6月30日).

池田忠広・和田和美 (2012) 米国古脊椎動物学会にて発表. 人博コラム, ひとほく新聞(6月30日).

■研究発表

池田忠広 (2012) 丹波の恐竜時代のトカゲたち. 化石研究会 特別講演会「恐竜時代を生き抜いたトカゲたち」岸和田市立きしわだ自然資料館.

Wada Kazumi, Tadahiro Ikeda, Haruo Saegusa, and Akiko Shinya. 2012. Stylus Sharpening instrument for fossil preparation. 72th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Raleigh Convention Center. Raleigh, NC, USA.

古谷裕・池田忠広・長野泰幸・前田昇・永井宗治・四宮徳章 (2012) 中生代白亜紀篠山層群産小動物化石の3D拡大模型の製作〜化石・現生のトカゲやカエル骨格の拡大模型〜. イーグレ姫路 (兵庫県立大学シンポジウム), 姫路.

■海外調査

2012.10 米国 シカゴ・フィールド博物館

2. 資料収集・整理

■資料収集

2012.7-8 篠山層群産脊椎動物化石の収集. 県立丹波並木道中央公園, 篠山市.

■整理同定担当資料

爬虫両棲類化石 (無尾目, 有鱗目).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎池田忠広, 2012.5,6, 2013.3 「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (5回 119名)

池田忠広, 2012.5,10 「恐竜について学ぼう」, 博物館. (2回 134名)

池田忠広, 2012.6, 「ヘビの世界」, 博物館. (13名)

池田忠広, 2012.6, 「化石のクリーニングとは」, 博物館. (2名)

池田忠広, 2012.6,8,10 「丹波の恐竜化石発掘セミナー」, 博物館. (4回 123名)

池田忠広, 2012.7,11 「丹波の恐竜化石」, 博物館. (3回 143名)

◎池田忠広, 2012.8 「展示解説と化石のレプリカ作り」, 丹波竜化石工房. (5回 82名)

池田忠広・ラボーンズ, 2012.8, 「丹波の恐竜化石と小動物化石」, 博物館. (18名)

池田忠広, 2012.8, 「恐竜化石展示解説と石割化石調査

会」, 博物館. (16名)

池田忠広, 2012.10, 2013.3 「恐竜化石展示解説」, 博物館. (3回 143名)

◎池田忠広, 2012.11 「君も発掘調査隊員!! 丹波の恐竜化石を探し出そう」, 博物館. (3回 110名)

◎池田忠広, 2013.1 「多様で不思議なへびの世界, へびの化石について」, 博物館. (49名)

池田忠広・ラボーンズ, 2013.2, 「丹波の恐竜化石発掘セミナー」, 博物館. (3回 83名)

◎池田忠広・古谷裕, 2013.3 「恐竜の歯をくらべてみよう」, 博物館. (36名)

館外講演など

池田忠広, 2012.8 「丹波の恐竜化石ミニレクチャー」, 講師, 宝塚こども未来協議会 宝塚アピアホール. (166名)

池田忠広, 2012.11 「丹波の恐竜時代のトカゲたち」, 講師, 岸和田市民会館. (166名)

池田忠広, 2012.12 「丹波の恐竜化石」, 講師, 佛教大学 四条センター. (54名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

成果発表

2013.2 共生の広場 「化石処理用チゼル針半自動研磨機の開発」, 和田和美 (ラボーンズ) (指導・協働)

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (アドバイザー)

ラボーンズ (主担当)

成果発表

2013.2 共生の広場 「化石処理用チゼル針半自動研磨機の開発」, 和田和美 (ラボーンズ) (指導・協働)

共催事業

2012.8, 丹波の恐竜化石と小動物化石, 人博教職員セミナー

協力事業

開催年月, 事業名, 主催団体名 (関わり方: 展示制作, セミナーの実施, シンポジウム開催支援など)

2009.11, 六甲山ウォーク 2007, 国土交通省六甲砂防事務所 (展示制作)

2012.4~ 篠山層群復元画丹波プロジェクト 丹波市 (製作委員)

2012.12 丹波竜フェスタ「よみがえれ! 丹波竜 篠山層群復元プロジェクト in 丹波」丹波市 (協力事業)

■学校教育支援

講師派遣

2012.8. 「篠山層群から産出した恐竜化石」, 講師, 丹波市教職員 (30名).

■研究生等の受け入れ

博物館実習

2012.8.18. 神戸大学 2名, 高知大学 3名, 近畿大学 1名, 岡山理科大学 2名, 北海道大学 1名, 神戸芸術工科大学 1名, 関西学院大学 1名, 関西学院大学文学部 1名,

甲南女子大学 1名.

■展示

企画展

2012.4.28-2013.3.31, 展示特別企画「丹波の恐竜化石発掘~6年間の軌跡~」(責任者).

ミニ企画展

2012.12.8-2013.1.6, ミニ企画展「ひとはく干支展~巳さんようこそ」(分担者).

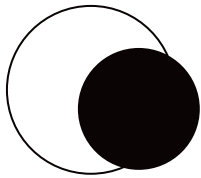
2.シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計5件)

2012.4~. 恐竜まちづくり委員会, 委員, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会.

2012.4~. 森の円卓会議, 委員, 兵庫県立丹波並木道中央講演.



個人別成果報告に関する資料 No. 2

● 自然・環境評価研究部 森林多様性研究グループ / 昆虫共生系研究グループ

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

自然・環境評価研究部
森林多様性研究グループ / 生涯学習推進室
研究部長
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部
門 教授.
昭和29年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程
単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類
学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学
会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

総合調整
事業推進部長代理

2.研究開発部門

自然・環境評価研究部 部長
研究部における諸事業推進の統括

<研究開発>

1.調査研究

● 特別課題研究 (個人研究)

- 1.兵庫県内各地の植物の分類・地理学研究
- 2.木本植物の組織形態学・解剖学的研究
- 3.植物を素材とする自然史教育・環境学習の展開

● 共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究代表者.

● その他著作

- ◎高橋 晃 (責任編集) 2012.9 兵庫の植物、その多様性と成り立ち. p47. 公益社団法人 日本植物学会. 東京
- ◎高橋 晃 2012.9 兵庫の植物、1万年前と今. 高橋 晃 (責任編集)『兵庫の植物、その多様性と成り立ち』, 公益社団法人 日本植物学会, pp. 40-47.
- ◎高橋 晃・高野温子・布施静香 2012.9 写真集—兵庫の植物. p45. 公益社団法人 日本植物学会, 東京.

● 研究発表

- ◎Takahashi, A., Handa, K., Yamakawa, C., Kato, S., Furutani, H. & Okugishi, A. 2012. Vegetation reconstruction based on the plant fossils from the Fukuchi Peat Beds along the Fukuchi River in the south-eastern area of the Chugoku Mountains, western Japan. IPC/IOPC 2012 Tokyo, Japan.
- ◎高橋 晃 2012.9 兵庫の植物、1万年前と今. 日本

植物学会第76回大会公開シンポジウム. イーグレ姫路, 姫路市.

● 学会役員など

日本植物学会第76回姫路大会準備委員会委員

● 助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割, 科学研究費・基盤研究 (B), 研究分担者. (分担金 20 万円 / 総額 300 万円)

2.資料収集・整理

● 資料収集

- 2012.5 種子植物, 神奈川県箱根地域.
- 2012.6 種子植物, 姫路市安富町.
- 2012.9 種子植物, 山形県最上地域.
- 2012.9 種子植物, 養父市氷ノ山.

● 受贈担当資料

- 2012.4.1 植物標本コレクション, 頌栄短期大学, 寄贈, 25 万点.
- 2012.5.10 材鑑証拠さく葉標本 (2010 紀南), 森林総合研究所, 交換, 183 点.
- 2012.5.10 大阪自然史博交換標本 2010, 大阪市立自然史博物館, 交換, 100 点.
- 2012.5.10 大阪自然史博交換標本 2011, 大阪市立自然史博物館, 交換, 150 点.
- 2012.5.10 材鑑証拠さく葉標本 (2011 熊本), 森林総合研究所, 交換, 198 点.
- 2012.5.10 材鑑証拠さく葉標本 (2011 奥多摩), 森林総合研究所, 交換, 117 点.
- 2012.7.4 材鑑プレパラート標本 (2007 四万十), 森林総合研究所, 交換, 154 点.
- 2012.7.4 材鑑証拠さく葉標本 (2012 愛媛), 森林総合研究所, 交換, 170 点.
- 2012.8.14 材鑑標本 (2012 愛媛), 森林総合研究所, 交換, 122 点.
- 2013.1.19 高知県立牧野植物園さく葉標本, 高知県立牧野植物園, 交換, 200 点.
- 2013.2.20 材鑑プレパラート標本 (2007 岐阜三重), 森林総合研究所, 交換, 162 点.
- 2013.3.27 材鑑標本 (2012,2013 森総研所内), 森林総合研究所, 交換, 12 点.

● 整理同定担当資料

種子植物 (日本産、外国産)、材鑑標本・プレパラート標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

・セミナー

館主催セミナー

- ◎高橋 晃 2012.4 オープンセミナー, ボルネオ・ジャングルのめずらしい生きもの, (2回). 博物館. (58名)
- 高橋 晃 2012.5 木材化石による9000年前の植生復元1. 高校連携セミナー, 三田祥雲館高校. 博物館. (15名)
- 高橋 晃・布野隆之 2012.5 ハチ北高原春の散策ツアー1, 2. 春の植物観察とバードウォッチング. 香美町ハチ北高原. (14名)
- 布施静香・高橋 晃 2012.5 春の山陰海岸～香住の花々. 香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会(共催)、香美町 (19名)
- 高橋 晃 2012.5 木材化石による9000年前の植生復元2. 高校連携セミナー, 三田祥雲館高校. 博物館. (13名)
- 高橋 晃 2012.6 木材化石による9000年前の植生復元3. 高校連携セミナー, 三田祥雲館高校. 博物館. (13名)
- 高橋 晃 2012.6 山の樹木を見分ける. グリーンステーション鹿ヶ壺, 姫路市安富町. (23名)
- 半田久美子・高橋 晃 2012.7 福知泥炭層の種子や木材の化石を調べよう. 博物館. (10名)
- 高橋 晃・上田萌子・八尾滋樹・阪上勝彦 2012.7-8 第14回ボルネオジャングル体験スクール, マレーシア・サバ州. (26名)
- 半田久美子・高橋 晃 2012.8 泥炭層の中の植物化石を調べよう. 教職員セミナー, 博物館. (8名)
- 高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2012.9 植物画を描こう1, 2. 博物館. (17名)
- ◎高橋 晃 2012.11 オープンセミナー, 落ち葉をはりつけ絵をかこう, 博物館. (30名)
- ◎橋本佳明・高橋 晃・布施静香 2012.11 オープンセミナー, 生物系収蔵庫ツアー, 博物館. (34名)
- ◎高橋 晃・橋本佳明・布野隆之・八尾滋樹 2013.3 オープンセミナー, 生物系収蔵庫ツアー, 博物館. (43名)

兵庫県立大学・大学院教育

- 2012.4-2013.3 全学 人権啓発委員会委員
- 2012.4-2013.3 環境人間学研究科 教務委員会委員
- 2012.4-2013.3 環境人間学研究科 キャリアデザイン委員会委員
- 2012.6 環境人間学研究科担当科目「生物多様性特別演習」, (主任)
- 2012.8 環境人間学研究科 入試採点委員
- 2013.2 環境人間学研究科共生博物部門博士前期課程・修士論文審査 (副査2名)

非常勤講師など

- 2012.4-2012.9 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

・連携事業

連携グループ等

- GREEN GRASS (アドバイザー, 担当: 植物画研究

会、主催事業等運営支援)

ハチ北高原自然協会 (アドバイザー, 担当: 自然案内人講座等運営支援)

地域研究員: 福岡忠彦 (アドバイザー, 担当)

地域研究員: 西野雅満 (アドバイザー, 担当)

地域研究員: 西野眞美 (アドバイザー, 担当)

地域研究員: 林 美嗣 (アドバイザー, 担当)

地域研究員: 増井啓治 (アドバイザー, 担当)

地域研究員: 松岡成久 (アドバイザー, 担当)

地域研究員: 法西 浩 (アドバイザー, 副担当)

成果発表

2013.2 第8回共生のひろば, 六甲山のブナ林における植物相の種多様性, 増井啓治 (植物リサーチクラブの会) (指導・助言)

2013.2 第8回共生のひろば, まちっ子の森から六甲山頂・散歩道づくりへ, 堂馬英二 (六甲山を活用する会) (指導・助言)

協力事業

2012.6-2013.3 平成24年度六甲山環境整備協議会「二つ池環境学習林」の指導者派遣, 六甲山記念碑台周辺, 六甲山を活用する会 (アドバイザー).

2013.1 冬の六甲山「子どもパークレンジャーを目指そう!」, 六甲山小学校・記念碑台周辺, 六甲山を活用する会 (アドバイザー).

2013.3-2013.6 コレクション展「いのちの色 美術に息づく植物」, 兵庫県立美術館 (解説協力).

・研究生等の受入

研修生

2012.10.28 JICA 研修: 生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース, 博物館資料の保存と管理, 講師, EnVision 環境保全事務所.

・フェスティバル等

2012.11 ひとくフェスティバル, 着ぐるみ運営担当

2013.2 第8回共生のひろば, 茶話会準備担当

・展示

ミニ企画展

2012.6-7 宍粟市でみつかった9000年前のタネ・はっぱ・虫 (分担)

2.シンクタンク事業

・受託研究

「宝塚市産維管束植物に関する資料整理業務」. 株式会社総合環境計画大阪支社. 研究代表者 (20万円)

・収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回, 88人

委員会等 (計5件)

2012.4 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境省自然環境局.

2012.4 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2012.4 三田市環境審議会委員, 三田市経済環境部.

2012.4 県立北摂三田高校評議員.

2012.4 六甲山環境整備協議会, アドバイザー, 六甲

山を活用する会.

相談・指導助言

電話・メール・手紙等による相談 8件(6名)

来訪者 10名

秋山 弘之, Hiroyuki AKIYAMA

自然・環境評価研究部
森林・昆虫研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授.
昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国蘚苔類学会, 英国蘚苔類学会, 米国植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

ひとはく 20周年記念事業委員会事務局

2.タスクフォース

マーケティング TF リーダー (ひとはく手帖広告協賛とりまとめ, 新組織立案担当)

3.研究開発部門

研究関係とりまとめ担当

<研究開発>

1.調査研究

•特別課題研究 (個人研究)

- 1.近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
- 2.東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
- 3.タイ国インタノン山蘚類相の研究

•共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

•論文

Akiyama, H., T. Matsuoka & T. Yamaguchi. (2012).
Biosystematic studies of the *Dumortiera hirsuta* complex (Dumortieraceae, Hepaticae), 2. Monoploid and diploid diversification in the Hawaiian Islands. *Polish Botanical Journal* 57(1): 81-93.

Akiyama, H. (2012). Contributions to the moss flora of Borneo, 2. *Schoenobryum concavifolium* (Cryphaeaceae, Musci), new to Borneo. *Tropical Bryology* 34: 12-14.

秋山弘之 (2012). アジア産蘚苔類の分類・研究ノート 25. 近畿地方から見つかったイトウロコゴケ. *蘚苔類研究* 10(7): 221-222.

秋山弘之 (2012). アジア産蘚苔類の分類・研究ノート 26. 日本産ネジレイトゴケから新たに見つかった3細胞性無性芽と早落性小枝. *蘚苔類研究* 10(7): 223-225.

•著書

「新しい植物分類学 II」(分担執筆) 講談社(東京).

•その他著作

秋山弘之 (2012). 新・コケ百選 第9回 キンシゴケ科 (セン類). *蘚苔類研究* 10(7): 230-233.

秋山弘之 (2012). 新・コケ百選 第11回 シツポゴ

ケ科1 (セン類). *蘚苔類研究* 10(9): 309-312

秋山弘之・Benito C. Tan. (2012). 中国産 *Horikawaea dubia* (蘚類ヒムロゴケ科) で新たに見いだされた胞子体とその意義. *蘚苔類研究* 10(9): 298. (第41回日本蘚苔類学会北海道大会講演要旨)

秋山弘之 (2012). 書評: フィールドの観察から論文を書く方法. *蘚苔類研究* 10(8): 271-271.

•ブログへの情報提供

12件

•研究発表

秋山弘之 (2012.3). 学会賞受賞記念講演「白山, セラム, ボルネオ, そしてこれから」 日本植物分類学会第11回大阪大会.

秋山弘之・Benito C. Tan. (2012). 中国産 *Horikawaea dubia* (蘚類ヒムロゴケ科) で新たに見いだされた胞子体とその意義. 第41回日本蘚苔類学会北海道大会

•学会役員など

日本植物分類学会 評議員, 学会誌 (英文) 副編集長, 学会誌 (和文) 編集委員

日本蘚苔類学会 会長, 学会誌編集委員.

公益財団法人平岡環境科学研究所 理事.

京都府希少野生生物生息地等保全地区検討委員

環境省希少野生動植物保存推進員

International Association of Bryologists, Council

(2012-2016)

•助成を受けた研究

日本学術振興会科学研究費基盤研究(C) 広域分布する蘚苔類における地域集団間分岐の解明 (代表者)

日本学術振興会科学研究費基盤研究(A) 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域インベントリー (分担者)

2.資料収集・整理

•資料収集

2012.4-2013.3 蘚苔類 (三田市、宝塚市、西宮市、神戸市、篠山市、香美町、南光町)

2012.4-2013.3 蘚苔類 (京都府)

•整理同定担当資料

植物 (蘚苔類、菌類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

◎秋山弘之, 2012.7 夏のキノコかんさつ ~一庫公園~ (全1回, 13名)

◎秋山弘之, 2012.7 コケ植物をみてみよう1 ~但馬高原植物園~ (全1回, 8名)

◎秋山弘之, 2012.10 ハチ北高原秋の自然観察ツアー (全2回, 24名)

◎秋山弘之, 2012.10 コケ植物をみてみよう2 ~道場~ (全1回, 15名)

- ◎秋山弘之, 2012.10 秋のキノコかんさつ1 ～神戸森林植物園～ (全1回, 12名)
- ◎秋山弘之, 2012.10 秋のキノコかんさつ2 ～有馬富士公園～ (全1回, 31名)
- ◎秋山弘之, 2012.5 「オープンセミナー ツノゴケをみてみよう」博物館 (全1回, 49名)
- ◎秋山弘之, 2012.10 「オープンセミナー キノコのことがよくわかる」博物館 (全1回, 52名)
- ◎秋山弘之, 2013.3 「オープンセミナー かたいキノコをさわってみよう」博物館 (全1回, 69名)

館外講演など

秋山弘之, 2012.11 「観る知る感じる紅葉のつどい(キノコ観察と講演)」丹波少年の家 47名

兵庫県立大学・大学院教育

「人と自然の共生」(分担 3回)

•ミニキャラバン事業

ミニキャラバン 有馬富士フェスティバル 4月29日

•連携事業

高校連携セミナー「環境とともに生きる-小さな植物の戦略に学ぶ」 有馬高校 5月11日 49名

•フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 場内整理

2.シンクタンク事業

•行政支援

委員会等 (計3件)

2012.4 環境省絶滅危惧植物(蘚苔類)調査担当委員

2012.4 環境省希少野生動植物保存推進員

2012.4 京都府レッドデータブック専門委員

相談・指導助言

来訪者12件, 16名. 電話・FAX相談11件, メール相談13件.

高野 温子, Atsuko TAKANO

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進グループ

主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 米国植物分類学会, 日本植物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 副室長

移動博物館車ラッピングデザイン審査委員会, 京丹後ジオキャラバン, 連携事業実績, キャラバン事業等HP発信

<研究開発>

1.調査研究

・特別課題研究(個人研究)

1. 兵庫県産維管束植物の分類学的研究
2. ショウガ科の分類学的研究
3. シソ科植物の分類学的研究

・論文・著書

◎三橋弘宗・北村俊平・山崎義人・上田萌子・田中哲夫・加藤茂弘・高野温子・布施静香・赤澤直樹・石田弘明.2012. 海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作. 展示学 52:132-133.

Takano,A.,Johnny Gisil, Monica Suleiman. 2013. Floral size variation causes differentiation of pollinators and genetic parameters in *Alpinia nieuwenhuizii*, a flexistylous ginger (Zingiberaceae). Plant Syst. Evol. DOI

10.1007/s00606-013-0768-z

・その他著作

高野温子 (2012) ジオキャラバン 2012年もはじまりました!ひとく新聞(2012/6/30号/ハーモニー77号). 3pp.

高橋晃・高野温子・布施静香 (2012) 写真集 兵庫県の植物, 公益社団法人 日本植物学会. 東京.

高野温子 (2012) オチフジの不思議な生活と分布. 高橋晃 (編)「兵庫の植物, その多様性と成り立ち」日本植物学会第76回大会. 公益社団法人 日本植物学会. 東京. Pp.16・25.

高野温子 (2012) 多可郡多可町から県内2ヶ所目のタシロラン生育地の報告. 兵庫県植物誌研究会会報 NO.93. p.2.

高野温子 (2012) 発進しました!ゆめはく ひとく新聞(2012/12/26号/ハーモニー79号). 3pp.

高野温子 (2012) 書評「改訂増補 淡路島の植物誌」. 日本植物分類学会NL 47:17-18.

・ブログへの情報提供

1件

・研究発表

Sakiyama,T., Ishida, H., Fujimoto, M., Yamazaki, Y., Sawada, Y., Takano, A., and Matsubara, M. 2012.

Outreach Programs by the Museum in the San'in Kaigan Geopark. 5th International UNESCO Conference on Geoparks. Shimabara, Nagasaki.

三橋弘宗・北村俊平・山崎義人・上田萌子・田中哲夫・加藤茂弘・高野温子・布施静香・赤澤宏樹・石田弘明.2012. 海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作.日本展示学会第31回大会. 東京学芸大学.

高野温子・Gisil, J., Suleiman, M. 2012. 種分化の始まり? *Alpinia nieuwenhuizii* (ショウガ科) 集団の形態的・遺伝的分化. 日本植物学会第76回大会. 兵庫県立大学.

高野温子. 2012. オチフジの不思議な生活と分布. 日本植物学会第76回大会公開講演会. イーグレ姫路.

高野温子. 2012. ひとくのIPMについて.西日本自然史系博物館ネットワーク技術講習会.大阪市立自然史博物館.

高野温子.2013.ゆめはくの活用について.科学系博物館連携協議会 近畿ブロック懇話会. 博物館.

・学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー.

African Journal of Biotechnology レフェリー

Journal of Plant Research レフェリー

日本植物分類学会和文誌「分類」レフェリー

日本植物学会 第76回大会ロゴ作成担当委員.

・助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額30万円).

2.資料収集・整理

・資料収集

2012.4 維管束植物. 佐用町, 宍粟市.

2012.5. 維管束植物. 宍粟市, 豊岡市.

・寄贈担当収集

2012.9. 維管束植物コレクション(丸岡道行コレクション). 385点.

2012.12. 維管束植物コレクション(松岡成久コレクション). 4点.

2012.12. 維管束植物コレクション(白岩卓巳コレクション). 1点.

2012.12. 維管束植物コレクション(高野哲司コレクション). 19点.

2013.1. 維管束植物コレクション(清水孝之コレクション). 5点.

2013.1. 維管束植物コレクション(小林禧樹コレクション). 900点.

・整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

- ◎高野温子, 2012. 4, 「花を大きくしてみると？」博物館 (27名)
- ◎布施静香・高野温子・高橋晃, 2012. 5. 「香住海岸の花々」香美町. (19名)
- ◎高野温子, 2012. 5, 「豊岡の海浜植物を観察しよう」豊岡市. (19名)
- 高野温子, 2012. 6, 「新しい植物の分類体系について」博物館 (25名)
- ◎高野温子, 2012.6, 「花を大きくしてみると？」博物館 (22名)
- ◎高野温子・先山 徹 2012.10, 「ゆめはく体験」博物館 (60名)
- ◎高野温子, 2013.3, 「花を大きくしてみると？」博物館 (30名)

館外講演

- ◎高野温子, 2012. 9, 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座「但馬文教府みてやま学園」第3回専門講座「但馬の植物相について」, 講師, 専門講座B (40名).

ラジオ・テレビ等出演

- 2012. 4-5, 「京丹後ジオキャラバンについて」, たんごFM
- 2012.6, 「プラスチネーション標本について」, NHK ラジオ第一放送

•キャラバン事業

主担当

- 2012.4-6. 京丹後ジオキャラバン テーマ「ジオパークを彩る植物」

展示作成

- 2012. 4. ジオキャラバン「ジオパークを彩る植物」パネル、クイズパネル

セミナー担当

- 2013. 1. おゆまるで化石レプリカをつくろう in あわじおフェスティバル 国営淡路海峡公園(分担者) 150名.

•ミニキャラバン事業

- 2012. 8, ミニキャラバン サマーファミリーバイキング (主担当), 三田ホテル. 76名.
- 2012.10, ゆめはくキャラバン in 有馬富士フェスティバル (分担者) 有馬富士公園. 6000名.
- 2012.11, ゆめはくキャラバン in 陵北小学校 (主担当) 331名.
- 2012.12. ゆめはくキャラバン in パール訪問看護センター 15名.
- 2013. 1. ゆめはくキャラバン in 国営淡路海峡公園(分担者) 100名.
- 2013. 3. ゆめはくキャラバン in 丹波ちーたんの館(分担者) 80名.

•学校教育支援

学校団体対応

- 2012. 4, 兵庫県立大学附属中学校1年生 (40名).
- 2012. 4, 宝塚北高校グローバルサイエンスコース1年生 (40名).
- 2012. 8, 和歌山県立海南高校 (18名)
- 2012. 8, 高知県立高知小津高校 (20名)
- 2012.12, 兵庫県立相生高校 (40名)
- 2012.12, 兵庫県立姫路飾西高校 SSC クラブ (40名)

•展示

ミニ企画展

- 2012.4.20-5.27, ミニ企画展示「琴引浜鳴き砂文化館のハルゼミの企画展紹介」(責任者).
- 2012.8.4-8.19, 移動博物館車ラッピングデザイン応募作品展 (分担者)
- 2012.9.8-10.14, 移動博物館車ラッピングデザイン入選作品展 (分担者)

2.シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

- 生物系収蔵庫等の案内, 3回, 78名

•行政支援

相談・指導助言

- 来訪者2件、電話相談1件、メール相談12件.

•学会開催等支援

- 2012.10 西日本自然史系博物館ネットワーク技術講習会 (総合防除) 開催. 46名.

布施 静香, Shizuka FUSE

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/キッズひとはく推進室

主任研究員

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

キッズひとはく推進室 副室長

室長補佐, キッズひとはく大使・ひとはくキッズかわらばんの実施等

2.研究開発部門

資料担当

<研究開発>

1.調査研究

・特別課題研究(個人研究)

1. 単子葉植物の系統推定に関する研究
2. カラスザンショウとイヌザンショウの性表現に関する研究
3. ショウジョウバカマ属の分類学的研究

・共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割-持続可能なサポートシステム構築に関する研究-」, 研究分担者.

総合共同研究「北摂地域の里地里山エリア」研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

・論文・著書

◎三橋弘宗・北村俊平・山崎義人・上田萌子・田中哲夫・加藤茂弘・高野温子・布施静香・赤澤直樹・石田弘明(2012)海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作. 展示学, 52:132-133.

◎S. Fuse, N. S. Lee and M. N. Tamura (2012) Biosystematic studies on the family Nartheciaceae (Dioscoreales) I. Phylogenetic relationships, character evolution and taxonomic re-examination. Plant Systematics and Evolution 298(8):1575-1584.

◎布施静香(2012)ショウジョウバカマ属の分類・六甲山で見られる奇妙な個体の正体は?. 所収:高橋晃(責任編集),「兵庫の植物、その多様性と成り立ち・最終氷期前から現在にいたる兵庫の植物相の成り立ちを考える」, 公益財団法人日本植物学会, 東京.

・その他著作

布施静香・高瀬優子(2012)ひとはくの新しい仲間・キッズひとはく大使. ひとはく新聞(ハーモニー), 77:2.

高橋晃・高野温子・布施静香(2012)写真集兵庫の植物. 公益財団法人日本植物学会, 東京.

高瀬優子・布施静香(2012)ひとはく Kids キャラバンのめざすもの・地域で「小さなサイエンティスト」を育む輪を広げる. 社会教育, 67巻9月号(通巻

第795号), 44-47.

栗原祐司・清水文美・武田重昭・布施静香・八木剛(2012)ひとはく二十歳を語ろう. ミュゼ, 102:12-17.

大谷剛・布施静香(2012)ひとはく「しぜんかわらばん2012」・「キッズかわらばん」を実施しました!. ひとはく新聞(ハーモニー), 79:3.

・ブログへの情報提供

4件

・研究発表

三橋弘宗・北村俊平・山崎義人・上田萌子・田中哲夫・加藤茂弘・高野温子・布施静香・赤澤直樹・石田弘明(2012)海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作. 日本展示学会第31回研究大会, 東京学芸大学, 東京.

布施静香・山本伸子・高橋晃・キッズひとはく推進室(2012)被災した植物標本の修復と関連する情報の一般公開および復興支援キャラバンについて. 東日本大震災と自然史系博物館 被災自然史標本の修復技法と博物館救援体制を考える研究集会, 大阪市立自然史博物館, 大阪.

布施静香(2012)ひとはく Kids キャラバンのめざすこと. こども☆ひかりフォーラム, こどもひかりプロジェクト, 仙台メディアテーク, 仙台.

布施静香(2012)ショウジョウバカマ属の分類・六甲山で見られる奇妙な個体の正体は?. 日本植物学会第76回大会公開シンポジウム「兵庫の植物、その多様性と成り立ち・最終氷期前から現在にいたる兵庫の植物相の成り立ちを考える」, 日本植物学会, イーグレひめじ, 姫路.

布施静香(2012)ショウジョウバカマ属(シユロソウ科)の分類. 平成24年度近畿植物学会講演会, 一般講演, 近畿大学, 奈良.

小館誓治・高瀬優子・古谷裕・布施静香(2013). ひとはく Kids キャラバンのめざすもの ~博物館と幼稚園、児童館、高齢者大学等をつなぐ. 全国科学館協議会第20回研究発表大会, 愛媛県総合科学博物館, 新居浜.

・学会役員など

種生物学会, 会計幹事.

種生物学会, 監査委員.

種子植物談話会, 事務局・世話人.

Kew Bulletin, レフェリー.

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, レフェリー.

Journal of Systematics and Evolution, レフェリー.

・助成を受けた研究

特異な性の維持機構とその進化-全く新しい性表現を持つ植物からのアプローチ. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(B), 研究代表者(金額110万円/350万円).

・賞罰

種生物学会 第6回片岡奨励賞

日本植物分類学会 2012年度奨励賞

2.資料収集・整理

・資料収集

2012.4-9. 種子植物. 猪名川町, 神戸市.

・受贈担当資料

2012.7 種子植物 (栗田博子コレクション). 34 点

2012.9 種子植物 (牛島コレクション). 26 点

2012.10 シダ植物 (永瀬幸一コレクション). 31 点

・整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1.生涯学習事業

・セミナー

館主催セミナー

布施静香・高橋晃・高野温子, 2012.5, 「春の山陰海岸
～香住の花々」, 香美町. (19 名)

◎布施静香, 2012.5, 「花を大きくしてみると?」, 博
物館. (67 名)

布施静香, 2012.7, 「夏休みに「きれいな」植物標本を
つくろう!」, 博物館. (15 名)

布施静香, 2012.8, 「街の中でトトロに会うために・植
物豆知識」, 博物館. (17 名)

◎布施静香, 2012.12, 「花を大きくしてみると?」, 博
物館. (26 名)

◎布施静香, 2013.1, 「花を大きくしてみると?」, 博
物館. (34 名)

館外講演など

布施静香, 2012.6, 「明石公園の植物観察会」, 明石市
立文化博物館, 明石公園 (15 名).

・キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2012.7 キッズポート保育園 ひとつはく Kids キャラ
バン

2012.8 神戸市立好徳児童館 ひとつはく Kids キャラ
バン

2012.8 野上児童館 ひとつはく Kids キャラバン

2012.9 宝塚市ひばり子ども館 ひとつはく Kids キャ
ラバン

2012.10 神戸市大日丘児童館 ひとつはく Kids キャラ
バン

2012.11 キッズポート保育園 ひとつはく Kids キャラ
バン

セミナー担当

2012.4 福島県立博物館 ひとつはく Kids キャラバン
(復興支援)「身近なしぜん発見隊」

2012.6 石巻市立貞山小学校 ひとつはく Kids キャラバ
ン (復興支援)「実のやくわり、タネのやくわり」

2012.6 仙台市科学館 ひとつはく Kids キャラバン (復
興支援)「タネで遊ぼう」

2012.6 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館 ひ
とはく Kids キャラバン (復興支援)「タネで遊ぼう」

・連携事業

共催事業

2012.8, 折爪岳しぜんかわらばん, こどもひかりプロ
ジェクト (実施)

2012.8, 古道・岩井沢しぜんかわらばん, こどもひか
りプロジェクト (実施)

協力事業

2012.4, バイオミクリ研究会, パナソニック株式会
社 (展示協力)

・学校教育支援

学校団体対応

2012.4, 大阪大学理学部生物科学科 (69 名)

・フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 「キッズかわらば
ん表彰式」 (責任者).

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 「わくわく☆ネイ
チャーテクノロジー」 (分担者).

・展示

ミニ企画展

2013.3.9-4.21, ミニ企画展示「東北しぜんかわらばん」
(分担者).

2.シンクタンク事業

・収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 24 回, 181 名.

・行政支援

委員会等 (計 1 件)

2005.4-, 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員,
環境省

相談・指導助言

来訪者 6 件, 7 名. 電話・FAX 相談 7 件, メール相談
15 件.

太田 英利, Hidetoshi Ota

自然・環境評価研究部
昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和 34 年愛知県生 京都大学大学院理学研究科修士課程修了. 博士 (理学). 日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 研究開発部門

研究推進室 室長

<研究開発>

1. 調査研究

• 特別課題研究 (個人研究)

1. アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
2. 東アジアにおけるウミヘビ類の多様性と分類の再検討
3. 爬虫類を中心とした四足動物における分子を指標とした系統関係の推定
4. 四足動物における核型再編プロセスの解明
5. 琉球列島を中心とした日本産爬虫・両生類の自然
6. わが国における外来種の在来生物相へのインパクト

• 共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

• 論文・著書

- Nishikawa, K., M. Matsui, H.-S. Yong, N. Ahmad, P. Yambun, D. M. Belabut, A. Sudin, A. Hamidy, N. L. Orlov, **H. Ota**, N. Yoshikawa, A. Tominaga, and T. Shimada. 2012. Molecular phylogeny and biogeography of caecilians from Southeast Asia (Amphibia, Gymnophiona, Ichthyophiidae), with special reference to high cryptic species diversity in Sundaland. *Molecular Phylogenetics and Evolution* 63: 714-723.
- Honda, M., Matsui, M., Tominaga, A., **Ota, H.**, and Tanaka, S. 2012. Phylogeny and biogeography of the Anderson's crocodile newt, *Echinotriton andersoni* (Amphibia: Caudata), as revealed by mitochondrial DNA sequences. *Molecular Phylogenetics and Evolution* 65: 642-653.
- Uno, Y., Nishida, C., Tarui, H., Ishishita, S., Takagi, C., Nishimura, O., Ishijima, J., **Ota, H.**, Kosaka, A., Matsubara, K., Murakami, Y., Kuratani, S., Ueno, N., Agata, K., and Matsuda, Y. 2012. Inference of the

protokaryotypes of amniotes and tetrapods and the evolutionary processes of microchromosomes from comparative gene mapping. *PLoS ONE* 7(12): e53027. doi:10.1371/journal.pone.0053027.

太田英利. 2012 琉球列島を中心とした南西諸島における陸生生物の分布と古地理—これまでの流れと今後の方向性—. *月刊地球* 34(7):427-436.

貴島靖仁・太田英利・那須哲夫・森田哲夫・末吉豊文・星野一三雄・岩本俊孝. 2012. 日南市に生息する国内移入種オキナワキノボリトカゲの生息密度及び生息環境に関する研究. *九州両生爬虫類研究会誌*(3):57-65.

Kuraishi, N., M. Matsui, A. Hamidy, D. Belabut, N. Ahmad, H.-S. Yong, J.-P. Jiang, **H. Ota**, H. Thong, K. Nishikawa. 2013. Phylogenetic and taxonomic relationships of the *Polypedates leucomystax* complex (Amphibia). *Zoologica Scripta* 42: 54-70.

©Böhm M., Collen B., Baillie J.E.M., Chanson J., Cox N., Hammerson G., Hoffmann M., Livingstone S.R., Ram M., Rhodin A.G.J., Stuart S.N., van Dijk P. P., Young B., Aftuang L.E., Aghasyan A., Aguayo A.G., Aguilar C., Ajtic R., Akarsu F., Alencar L.R.V., Allison A., Ananjeva N., Anderson S., Andrén C., Ariano-Sánchez D., Arredondo J.C., Auliya M., Austin C.C., Avci A., Baker P.J., Barreto-Lima A.F., Barrio-Amorós C.L., Basu D., Bates M.F., Batistella A., Bauer A., Bennett D., Böhme W., Broadley D., Brown R., Burgess J., Captain A., Carreira S., Castaneda M.R., Castro F., Catenazzi A., Cedeño-Vázquez J.R., Chapple D., Cheylan M., Cisneros-Heredia D.F., Cogalniceanu D., Cogger H., Corti C., Costa G.C., Couper P.J., Courtney T., Cnornbrnja-Isailovic J., Crochet P.-A., Crother B., Cruz F., Daltry J., Daniels R.J.R., Das I., de Silva A., Diesmos A.C., Dirksen L., Doan T.M., Dodd K., Doody J.S., Dorcas M.E., Duarte de Barros Filho J., Egan V.T., El Mouden E.H., Embert D., Espinoza R. E., Fallabrino A., Feng X., Feng Z.-J., Fitzgerald L., Flores-Villela O., França F.G.R., Frost D., Gadsden H., Gamble T., Ganesh S.R., Garcia M.A., García-Pérez J.E., Gatus J., Gaulke M., Geniez P., Georges A., Gerlach J., Goldberg S., Gonzalez J.-C.T., Gower D.J., Grant T., Greenbaum E., Grieco C., Guo P., Hamilton A.M., Hammerson G., Hare K., Hedges B., Heideman N., Hilton-Taylor C., Hitchmough R., Hoffmann M., Hollingsworth B., Hutchinson M., Ineich I., Iverson J., Jaksic F.M., Jenkins R., Joger U., Jose R., Kaska Y., Kaya U., Keogh J.S., Köhler G., Kuchling G., Kumluta Y., Kwet A., La Marca E., Lamar W., Lane A., Lardner B., Latta C., Latta G., Lau M., Lavin P., Lawson D., LeBreton M., Lehr E., Limpus D., Lipczynski N., Livingstone S., Lobo A.S., López-Luna M.A., Luiselli L., Lukoschek V., Lundberg M., Lymberakis P., Macey R., Magnusson W.E., Mahler D.L., Malhotra A., Mariaux J., Maritz B., Marques O.A.V., Márquez R., Martins M.,

- Masterson G., Mateo J.A., Mathew R., Mathews N., Mayer G., McCranie J.R., Measey G.J., Mendoza-Quijano F., Menegon M., Métrailler S., Milton D.A., Montgomery C., Morato S.A.A., Mott T., Muñoz-Alonso A., Murphy J., Nguyen T.Q., Nilson G., Nogueira C., Nunez H., Orlov N., **Ota H.**, Ottenwalder J., Papenfuss T., Pasachnik S., Passos P., Pauwels O.S.G., Pérez-Buitrago N., Pérez-Mellado V., Pianka E.R., Pleguezuelos J., Pollock C., Ponce-Campos P., Powell R., Pupin F., Quintero Díaz G.E., Radder R., Ramer J., Rasmussen A. R., Raxworthy C., Reynolds R., Richman N., Rico E.L., Riservato E., Rivas G., Rocha P.L.B., Rödel M.-O., Rodríguez Schettino L., Roosenburg W.M., Sadek R., Sanders K., Santos-Barrera G., Schleich H.H., Schmidt B.R., Schmitz A., Sharifi M., Shea G., Shi H., Shine R., Sindaco R., Slimani T., Somaweera R., Stafford P., Stuebing R., Sweet S., Sy E., Temple H., Tognielli M.F., Tolley K., Tolson P.J., Tuniyev B., Tuniyev S., Üzümlü N., van Buurt G., Van Sluys M., Velasco A., Vences M., Veselý M., Vinke S., Vinke T., Vogel G., Vogrin M., Vogt R.C., Wearn O.R., Werner Y.L., Whiting M.J., Wiewandt T., Wilkinson J., Wilson B., Wren S., Zamin T., Zhou K., Zug G. 2013. The conservation status of the World's reptiles. *Biological Conservation* 157: 372-385.
- ◎Tominaga, A., M. Matsui, N. Yoshikawa, K. Nishikawa, T. Hayashi, Y. Misawa, S. Tanabe, and **H. Ota**. 2013. Phylogeny and historical demography of *Cynops pyrrhogaster* (Amphibia: Urodela): Taxonomic relationships and distributional changes associated with climatic oscillations. *Molecular Phylogenetics and Evolution* 66: 654-667.
- ◎Kaiser, H., B. I. Crother, C. M. R. Kelly, L. Luiselli, M. O'Shea, **H. Ota**, P. Passos, W. D. Schleich, and W. Wuster. 2013. Best practices: In the 21st century, taxonomic decisions in herpetology are acceptable only when supported by a body of evidence and published via peer-review. *Herpetological Review* 44:8-23.
- **その他著作**
- ◎**太田英利**. 2012. 博物館における研究. 101-121 頁, 岩槻邦男 (編), みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ. 研成社, 東京.
- ◎**太田英利**. 2013. 「ひょうご恐竜化石国際シンポジウム」開催される. 兵庫県立大学メールマガジン 30, 兵庫県立大学.
- **研究発表**
- 岩本俊孝・貴島靖仁・永田篤教・芳野香織・那須哲夫・武市知美・森田哲夫・加藤悟郎・星野一三雄・末吉豊文・**太田英利**. 2012. 宮崎県日南市に移入・定着したオキナワキノボリトカゲの分布範囲及び生息状況について. 日本動物学会九州支部・九州沖縄植物学会・日本生態学会九州地区会合同佐賀大会. 佐賀大学
- Honda, M., T. Kurita, M. Toda, and H. Ota 2012. Phylogenetic relationships, genetic divergence and biogeography of *Goniurosaurus kuroiwaie* (Squamata: Eublepharidae) from the Central Ryukyus, Japan. The 7th World Congress of Herpetology. University of British Columbia, Van Couver, Canada
- ◎**Ota, H.**, M. Takeuchi, K. Kawamura, H.-S. Oh, N. Orlov, and N. Ananjeva. 2012. Systematics and biogeography of the soft-shell turtles, *Pelodiscus sinensis* sensu lato. The 7th World Congress of Herpetology. University of British Columbia, Van Couver, Canada
- ◎**太田英利**・竹内美里・呉弘植・ニコライ=オルロフ・ナターリア=アナンジェ・ワ・河村功一. 2012. 日本とその周辺におけるニホンスッポン種群の遺伝的多様性と分類. 日本爬虫両棲類学会第 52 回大会. 愛知学泉大学.
- ◎湯橋翔・**太田英利**. 2012. 淡路島における淡水生カメ類の分布パターン. 日本爬虫両棲類学会第 52 回大会. 愛知学泉大学.
- 太田英利. 2012. 自然分散か人為分散か・フィリピン北部から台湾南東部にいたる海洋島群の陸生動物相. 第 45 回ヤミ族文化研究会. 慶応義塾大学日吉学舎
- ◎**太田英利**. 2013. 保全生物学における「種」の功罪. 第 12 回日本分類学会連合公開シンポジウム (分類学があらためて「種」と向き合うとき). 国立科学博物館.
- ◎**太田英利**. 2013. 生物多様性とその保全 -琉球弧の陸生動物を例として-. 兵庫県立大学環境科学セミナー. 兵庫県立大学姫路新在家キャンパス
- ◎**太田英利**. 2013. 生物多様性モニタリングの指標としての両生類. 生物多様性ジャパンフォーラム「大規模災害と生物多様性」. 中央大学
- **学会役員など**
- 日本爬虫両棲類学会, 英文誌編集委員, 評議員
 沖縄生物学会, 学会誌編集委員
 Asian Herpetological Research Society, 学会誌編集委員
 BioFormosa, 学術雑誌編集委員
 Hamadryad, 学術雑誌編集委員
 Tropical Natural History, 学術雑誌編集委員
 Linnean Society of London, 特別会員 (Fellow [F.L.S.])
 日本進化学会, 評議員 (7月まで)
 Russian Journal of Herpetology, 学術雑誌編集委員
 Animal Systematics, Evolution and Diversity, 学術雑誌編集委員
- 投稿原稿の査読:**
 Zootaxa, Current Herpetology, Journal of Zoology, Asian Herpetological Research, 沖縄生物学会誌, Zoological Science, Journal of Herpetology, Biology Letters, Biological Invasions, Zoologica Scripta, Tropical Natural History, 人と自然, Zoo Keys, Acta Herpetologica, Zoological Studies, Journal of Biogeography など計 42 件
- **助成を受けた研究**
 東アジアの広域に見られるニホンスッポン種群の個体群分類

学的研究 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 221 万円/559 万円).

2.資料収集・整理

•資料収集

2012.6, 8-9 セミナー関連資料 (カエル類, ヤモリ類など) の収集. 沖縄県, 鹿児島県など.

•整理同定担当資料

爬虫類 (有鱗目, カメ目, ワニ目), 両生類 (無尾目, 有尾目)

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

太田英利, 2012.4.14, 「生き物たちの四季—春」, 博物館. (11 名)

◎太田英利, 2012.8.8, 「外来種の現状と対策」, 博物館. (15 名)

◎太田英利, 2012.10.28, 「生き物たちの四季—秋」, 博物館. (17 名)

◎太田英利, 2012.9.29, 「動物の体のつくりとしくみ 1. 両生類」, 博物館. (5 名)

太田英利, 2012.10.27, 「動物の体のつくりとしくみ 2. 爬虫類」, 博物館. (4 名)

太田英利, 2012.2.24, 「生き物たちの四季—冬」, 博物館. (8 名)

館外講演など

◎太田英利, 2012.5, 「爬虫類・両生類からみた山陰」 公開シンポジウム「山陰海岸の生物地理」. 山陰海岸ジオパーク館 (35 名)

太田英利, 2012.9, 「琉球列島の陸生動物相とその形成史」 大学生のための自然史講座「日本の自然史から見える生物多様性」. 国立科学博物館 (33 名)

太田英利, 2012.11, 「基調講演: 南西諸島の陸生動物相と古地理-特に爬虫類・両生類を中心に」 平成 24 年度バイオコンファレンス. 首都大学東京 (100 名)

太田英利, 2012.12, 「基調講演: 両生類・爬虫類からみた琉球弧の動物相の成立」. シンポジウム「奄美群島の生物多様性 2-琉球弧の生物多様性の成り立ち」. 鹿児島大学 (120 名).

◎太田英利, 2013.3, 「特別講演・トークショー. 学者としての千石正一: なぜ彼は標本を集めたのか」, 国立科学博物館 (75 名).

兵庫県立大学・大学院教育

系統分類学特論 (主任)

特別ゼミナール (補助)

特別研究 (補助)

ラジオ・テレビ出演等

2013.2, 「沖縄県石垣島で繁殖する外来種グリーンイグアナの解説」, フジテレビ「大日本アカン警察」

•連携事業

成果発表

2013.2 第 8 回共生の広場「西池・黒池の外来カメ調査報告」, 兵庫県立伊丹北高等学校自然科学部 (顧問: 谷本卓弥教諭) (試料収集補助, アドバイス)

•学校教育支援

フェスティバル等

2012.10 ひとつはく 20 周年記念アニバーサリー, 「来賓対応」

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 「出店の設置・撤収時の整理」, 「ゆるきゃら着ぐるみの警護」

2013.2 共生のひろば, 「口頭発表」 審査委員

2013.2 ひょうご恐竜化石国際シンポジウム「パネルディスカッション司会」

•展示

2012.10 魅せる収蔵庫トライアルにおける, 手に取れるスッポン, ミシシippia カミミガメ骨格標本の準備, 提供

2013.1 巳年展における, 国産ヘビ類液新標本の準備, 提供

2.シンクタンク事業

•行政支援

委員会等 (計 14 件)

2012.4-. 世界自然保護基金日本委員会 (WWF ジャパン) 運営委員, WWF ジャパン

2012.4-. 雑誌「SEEDer」編集委員, 総合地球環境学研究所—昭和堂印刷.

2012.5-. 環境省希少野生植物種保存推進員, 環境省

2012.5-. 絶滅の恐のある野生動物の種の選定・評価検討会 爬虫・両生類分科会委員, 環境省

2012.10-. 絶滅危惧種アベサンショウウオ保護増殖等検討会委員, 環境省

2012.12-. 世界自然遺産指定に向けた琉球・奄美諸島評価検討会委員, 環境省

2013.1-. オオヒキガエル防除事業対策会議委員, 環境省

2013.2-. 琉球列島における要注目外来種選定委員会委員, 環境省

2012.7-. 生物多様性ひょうご戦略推進委員会委員, 兵庫県

2012.7-. 新石垣空港環境モニタリング委員会委員, 沖縄県

2012.9-. 西表島エコロード検討委員会委員, 沖縄県

2012.4-. 「生物多様性いたみ」検討委員会委員, 伊丹市

2012.6-. 中央環境審議会外来生物対策検討委員会委員, 環境省

2012.8-. 新たな世界自然遺産候補地の考え方に係る懇談会委員, 環境省

相談・指導助言

来訪者 28 件, 83 名. 電話・FAX 相談 99 件, メール相談 204 件.

橋本 佳明, Yoshiaki HASHIMOTO

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授
昭和31年大阪府生 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程
修了、学術博士 昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

生涯学習推進室 室長

<研究開発>

1.調査研究

•特別課題研究(個人研究)

- 1.膜翅目昆虫(アリ類等)の系統分類学的研究
- 2.熱帯雨林生物多様性に関する研究
- 3.昆虫を素材にした環境教育システムの研究
- 4.共生生物学

•共同研究

総合共同研究「山陰ジオパーク」, 研究分担者.
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

•論文・著書

HASHIMOTO Y. & YAMANE S. (2012) Comparison of foraging habits between four sympatric army ant species of the genus *Aenictus* in Sarawak, Borne. *ASIAN MYRMECOLOGY* Vol.7 (in press).

KISHIMOTO K., ITIOKA T. & HASHIMOTO Y. et al (2012) Effects of remnant primary forests on ant and dung beetle species diversity in a secondary forest in Sarawak, Malaysia. *Journal of insect conservation* Vol.16:1-15.

WEEYAWAT JAITRONG & YOSHIKI HASHIMOTO (2012) Revision of the *Aenictus minutulus* species group (Hymenoptera: Formicidae: Aenictinae) from Southeast Asia. *Zootaxa* 3426:29-44

•その他著作

橋本佳明他(2012) 人博新聞3件
橋本佳明(2012) ひとつはく20年のあゆみ 人博

•ブログへの情報提供

6件

•研究発表

橋本佳明他(2011)擬態現象を生物多様性創出・維持機構として解析する: サラワク州ランビル熱帯雨林におけるアリ類垂直分布構造とアリグモ属のアソシエーション. 日本昆虫学会第72回大会
山崎健史・橋本佳明・遠藤知二(2012)アリ擬態によるアリグモ類の形態の多様化. 日本蜘蛛学会第44回大会

•学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員.
Asian myrmecology レフェリー

Revista Brasileira de Entomologia レフェリー

•助成を受けた研究

アリーアリ擬態クモ共生系の食物連鎖構造の解明: 多様性創出は生態系安定に寄与するか 文部科学省科学研究費 基盤C 研究代表者 (170万円/430万円)

•海外調査

2012.9 マレーシア・サラワク州
2013.3 タイ国 サケラート

2.資料収集・整理

•資料収集

マレーシア・サラワク州, タイ国 サケラート等アリ類標本収集

•整理同定担当資料

チョウ類コレクション(3,000点)の整理登録等実施

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

- 生物多様性を計測する(技術編), 博物館セミナー (12名)
子どもの目が輝く自然体験学習(講義編), 博物館セミナー・指導者養成セミナー (20名)
子どもの目が輝く自然体験学習(実習編), 博物館セミナー・指導者養成セミナー (20名)
栗林写真展トークショー, 博物館オープン (85名)
ボルネオジャングルスクール体験スクール卒業生のつどい (40名)
◎生物系収蔵庫ツアー, 博物館オープン (11月27名)
◎生物系収蔵庫ツアー, 博物館オープン (3月30名)
◎多様性フロア, 博物館オープン3回 (100名)

館外講演など

- 「生物多様性を学ぶ」, 兵庫県立福崎高校特別非常勤講師, 福崎高校 (40名)
「CTスキャンを活用した昆虫形態学」講師, 東北大学 (7名)
「国際理解に必要なもの-生物多様性と地球環境問題」, 兵庫県立鈴蘭台高校 (130名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (分担 2回)

ラジオ・テレビ等出演

NHK 神戸「栗林写真展の紹介」

•キャラバンおよび地域研究員養成事業

神戸青少年科学館キャラバン

連携事業

バリフラワーショー「おもしろ昆虫・植物展」, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (展示制作)
奇跡の星の植物館少年少女自然科学教室, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (開催支援)
ラン展, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (展示制作)

•学校教育支援

学校団体対応

三田市幼稚園 (60 名)

研究生等の受入

岩山裕子 (兵庫県立大学人間環境学部修士 1 回生) 熱帯季節林における土壌生態系からの CO2 排出系の変動, 修論研究指導

坂本広道 (兵庫県立大学人間環境学部修士 1 回生) 画像認識技術によるアリ擬態類似の計測, 修論研究指導

• フェスティバル等

生涯学習推進室室長としてフェスティバル実行委員会委員等を担当

生涯学習推進室室長として, ひとくはく 20 周年記念式典等の記念行事実施

生涯学習推進室室長として, しぜんかわらばん, 共生のひろば等の事業実施

• 展示

本館 2 階新展示「多様性フロア: 魅せる収蔵庫トライアル」開設

2. シンクタンク事業

• 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫公開 4 回 (35 名).

• 行政支援

相談・指導助言

千葉県博, 栃木博等視察対応 4 件, 8 名.

フランス国アペロン県視察対応 (8 名) 等

電話・FAX 相談 10 件, メール相談 8 件対応

八木 剛, Tsuyoshi YAGI

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和43年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程
修了. 農学修士. 日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

マーケティングタスクフォース サブリーダー

<研究開発>

1.調査研究

・特別課題研究(個人研究)

1. 昆虫分布の解釈に関する研究
2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

・共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」, 研究分担者.

・その他著作

◎八木 剛 (2012) レッドデータブックはだれがどうやってつくるのか?. 八木 剛. きべりはむし, 35(1), 31-38.

◎八木 剛 (2011) ひとくが、昆虫少年を、応援しつづける理由. ひとく新聞 73号. 1.

・ブログへの情報提供

10件

・研究発表

八木 剛 (2013) 課題整理-さてこれからどうしよう?. 超・実践型公開研究会 2013 東北のこどもたちを笑顔に! ~ミュージアムのパワーが集まって光を届けるための新しいしくみづくり~, こどもひかりプロジェクト, 九州国立博物館, 太宰府市.

八木 剛 (2013) 課題整理-さてこれからどうしよう?. 超・実践型公開研究会 2013 東北のこどもたちを笑顔に! ~ミュージアムのパワーが集まって光を届けるための新しいしくみづくり~, こどもひかりプロジェクト, 日本科学未来館, 東京都江東区.

・学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事.

2.資料収集・整理

・資料収集

2012.5-7, ホタル類. 福島県, 岩手県

2010.4-10, 各種昆虫類. 明石市, 佐用町, 香美町

・整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

・セミナー

館主催セミナー

八木 剛, 2012.4-2012.3. 「ユース昆虫研究室」. 明石市立文化博物館・博物館. (全12回, 150名).

八木 剛, 2012.6-9. 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 博物館 (全3回, 21名).

NPO 法人人と自然の会・八木 剛, 2012.5, 「入会セミナー」, 博物館 (5名).

名川流域ひめぼたるネットワーク, 2012.5. 「ヒメボタルと飛行機を見る夕べ」, 猪名川河川敷, 伊丹市 (60名).

◎ひとくはく連携グループ run・run・plaza, 八木 剛, 2012.7-8, 「ひとくはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール」博物館・ハチ北高原, (全5回, 78名)

八木 剛, 2012.8. 「夏期教職員セミナー: 体験学習! 虫とりペナントレース バッタ編」, 博物館. (10名)

八木 剛, 2012.8. 「夏期教職員セミナー: 体験学習! 虫とりペナントレース トンボ編」, 博物館. (10名)

◎八木 剛, 2012.5-7, 「オープンセミナー: ホタルシアター」博物館, (全3回, 120名)

◎八木 剛, 2012.7, 「オープンセミナー: 昆虫少年の日」博物館, (全1回, 10名)

◎八木 剛, 2012.8, 「オープンセミナー: 感動! セミの羽化」深田公園, (全1回, 30名)

◎八木 剛, 2012.8, 「オープンセミナー: むしむしいけん」博物館, (8日間)

八木 剛・フロアスタッフ, 2012.9, 「オープンセミナー: ふかだん「バッタとり」」, 博物館・深田公園 (全1回, 48名)

館外講演

八木 剛, 2012.4, 「東日本大震災と自然史系博物館 被災自然史標本の修復技法と博物館救援体制を考える研究集会 指名討論者, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 大阪市立自然史博物館, 大阪市.

八木 剛, 2012.7, 「ヒメボタルの夕べ」佐用町昆虫館, 60名.

八木 剛, 2012.7, 「地域の宝ひめぼたる研究会 in 折爪岳」折爪岳山の家, 二戸市, 20名.

八木 剛, 2012.8, 「北摂里山探検隊」国崎クリーンセンター啓発施設, 40名.

八木 剛, 2012.9-10, 「いきいき学舎ふれみら」講師, フレミラ宝塚, 30名

八木 剛, 2012.11 「ヒメボタルと自然環境」, 吹田市メシアター, 30名 (NPO 法人すいた市民環境会議)

八木 剛, 2012.11 「昆虫について」博物館, 15名 (大阪自然環境市民大学)

八木 剛, 2013.1 「高槻市生物多様性連続講座: 昆虫を通してみる生物多様性」, 高槻市民センター, 20名 (高槻市)

・ミニキャラバン事業

2013.3, 「天文春分祭」~県立人と自然の博物館・移動博物館車「ゆめはく」がやってくる! (主担当), 明石市立天文科学館

2013.3 明石公園の昆虫展 (主担当), 明石市立文化博

物館

• **連携事業**

連携グループ等

NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)

run・run・plaza (アドバイザー: 主)

テネラル (アドバイザー: 主)

あかねちゃんクラブ (ミヤマアカネ生態研究会) (アドバイザー: 主)

鳴く虫研究会きんひばり (アドバイザー: 副)

さんぽクラブ (アドバイザー: 副)

こどもひかりプロジェクト (事務局)

地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)

佐用町昆虫館 (連携施設) (主担当)

成果発表

2013.2 共生の広場, 小学生・幼稚園児にミヤマアカネに親しんでもらうための活動「あかねちゃんとその仲間を知ろう」, 辰巳淳子ほか (ひとはく連携活動グループ「あかねちゃんクラブ」)

共催事業

2012.6-7 第7回姫ボタル祭り, 姫ボタル祭り実行委員会 (アドバイス)

2012.7, ヒメボタルの夕べ, 佐用町昆虫館 (講師)

2012.8 あかねちゃん学園2012, あかねちゃんクラブ (展示等)

2012.5-10 リトルサイエンティストのための run・run・Sunday. run・run・plaza (講師等)

協力事業

2012.6 こども☆ひかりフェスティバル in せんだい. こどもひかりプロジェクト, 仙台市科学館.

2012.6 こども☆ひかりフェスティバル in ふくしま. こどもひかりプロジェクト, 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館.

2012.8, 氷河時代の生き残りエゾゼミの観察, NPO 法人こどもとむしの会・兵庫県立六甲山自然保護センター (観察会)

• **学校教育支援**

学校団体対応

2013.1, 「尼崎の生きもの」博物館, 74名 (尼崎市立武庫小学校3年生)

講師派遣

2012.5,10. 「明石公園の昆虫」, 講師, 明石市立明石小学校3年生 (80名).

2012.5-2013.2. 「プロジェクト学習」講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

• **研究生等の受入**

博物館実習

2012.8 高知大学2名, 近畿大学1名.

• **フェスティバル等**

2012.11, ひとはくフェスティバル, 「駐車場係」(分担者).

• **展示**

企画展

2012.7.20-10.14, 展示特別企画「昆虫少年のじゅうけ

んきゅう」(責任者).

ミニ企画展

2012.12-2013.1, 干支展「巳」(分担者).

2.シンクタンク事業

• **受託研究**

三田市有馬富士自然学習センターの目指す方向に関する研究. 三田市. (30万円).

• **収蔵庫・ジーンファームの公開**

生物系収蔵庫等の案内, 5回.

• **行政支援**

委員会等 (計2件)

2011.4. ひょうご丹波オオムラサキの会, 顧問.

2013.1-. 加古川市環境審議会, 委員.

相談・指導助言

来訪者20件, 50名. 電話・FAX相談20件, メール相談20件.

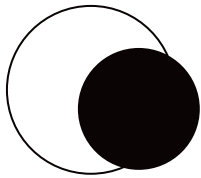
2012.4-2013.3 チョウ類の保全について, 西日本高速道路株式会社.

2012.10 猪名川河川敷のヒメボタルについて, 国土交通省猪名川河川事務所.

• **学会開催等支援**

2012.6 こども☆ひかりフォーラム. こどもひかりプロジェクト, せんだいメディアテーク. 72名

2012.12 日本昆虫学会近畿支部・日本鱗翅学会近畿支部合同大会. 博物館. 70名.



個人別成果報告に関する資料 No. 3

● 自然・環境マネジメント研究部 流域生態研究グループ / 動物共生研究グループ

江崎 保男, Yasuo EZAKI

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ/総合調整担当
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 田園生態系次長, 田園生態保全管理部門生態研究部門 教授, 兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長.

昭和26年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本鳥学会, 応用生態工学会, 日本生態学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

総合調整担当 館内研究系の調整

<研究開発>

1. 調査研究

● 特別課題研究 (個人研究)

1. ダム水源地を含む流域生態系保全に関する研究.
2. 人と陸域生物群集の相互作用に関する研究

● 共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

部門研究「共生の現実と未来」, 研究代表者.

外部との共同研究

「水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究」研究グループ長, 水源地生態研究会.

● 論文・著書

江崎保男 2012. 自然を捉えなおすー競争とつながりの生態学ー. 中公新書. 東京.

◎江崎保男 2012. コウノトリの野生復帰とメタ個体群構築. 野生復帰 2:3-10.

江崎保男 2012. 20世紀における日本の鳥類生態学の発展. 日本鳥学会誌 61 特別号:30-32.

Ezaki, Y. & Ohsako, Y. 2012. Breeding biology of the Oriental White Stork that was reintroduced in Hyogo, Japan – effects of artificial feeding and nest-towers upon breeding season and nest success. *Reintroduction* 2:43-50.

前畑晃也・江崎保男 2012. 兵庫県におけるカワウ *Phacrocorax carbo* 個体群の確立. *人と自然* 23:53-60.

● その他著作

江崎保男 2012. 日本鳥学会創立 100 周年を迎えて. 日本鳥学会誌 61 特別号:1.

江崎保男 2012. 歴史に学ぶ. 日本鳥学会誌 61 特別号:27.

Ezaki, Y. 2012. Foreword to Check-list of Japanese Birds, 7th revised edition. *Check-list of Japanese Birds*, 7th

revised edition, 438. Ornithological Society of Japan, Sanda.

◎江崎保男 2012. コウノトリの野生復帰が新たなステージへ. 私たちの自然 53:22-24.

● 研究発表

◎江崎保男「野生復帰をデザインする」兵庫県立大学 自然・環境科学研究所開設 20 周年記念シンポジウム, 自然・環境科学研究所のあゆみと展望ー大学による地域貢献の成果を検証する (2012/12/2) 六甲荘, 神戸.

◎江崎保男、同, パネルディスカッション, パネリスト.

江崎保男, 総合討論・パネリスト, 第 15 回河川生態学術研究発表会, 発明会館ホール, 東京(2012/11/30).

中川 潤・江崎保男「巨椋干拓地における鳥類群集の季節変動パターンとその要因」日本鳥学会 2012 年度大会, 東京大学.

◎佐川志郎・大迫義人・江崎保男「豊岡盆地コウノトリ営巣地における自活個体および給餌依存個体の水田餌生物量の比較」ELR2012, 東京農業大学.

Tanida, K. Ezaki, Y. and Ichiyonagi, H. 2012. An overview of the researches on reservoirs, dammed rivers and their watersheds in Japan. 2012 ASLO Aquatic Meetings, Biwako Hall, Otsu.

◎鳥居憲親・江崎保男「都市に進出したイソヒヨドリ の繁殖とハビタット」日本鳥学会 2012 年度大会, 東京大学.

脇坂英弥・脇坂啓子・中川宗孝・江崎保男「水田のハビタット構造と孵化したケリ幼鳥の生残」日本鳥学会 2012 年度大会, 東京大学.

● 学会役員など

日本鳥学会, 会長 (2010.1~)

日本鳥学会, 評議員

応用生態工学会, 理事 (2009.10~)

応用生態工学会, 技術援助委員会委員 (2010.4.1~)

日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人

平成 23 年度科学研究費補助金 (特定奨励費)「山階鳥類研究所データベースシステムの構築と公開」, 外部評価委員

平成 23 年度山階賞選考委員会, 委員. 山階鳥類研究所 学術雑誌「野生復帰」編集委員長 (2011.10~)

● 助成を受けた研究

科学研究費基盤研究 (B) アダプティブ・マネジメントによるコウノトリ野生復帰の研究と実行. (研究代表者 500 万円)

水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究. ダム水源地環境整備センター. (研究代表者金

額 70 万円)

<事業推進>

1.生涯学習事業

・セミナー

館主催セミナー

- ◎江崎保男・鳥居憲親 2012.5.13 ひとつはくセミナー「鳥にとっての都市生態系」, 博物館. (全1回, 6名).
- ◎江崎保男 2012.7.22 ひとつはくオープンセミナー「鳥を知る」, 博物館. (全1回, 15名).
- ◎江崎保男 2012.7.6 ひとつはく特注セミナー「コウノトリの野生復帰と地域づくり」, 博物館. (全1回, 54名).
- ◎江崎保男 2012.8.9 ひとつはくセミナー「自然とはなにか」, 博物館. (全1回, 18名).
- ◎江崎保男・鳥居憲親・中川潤 2012.11.11 ひとつはくオープンセミナー「鳥を知る」, 博物館. (全1回, 20名).
- ◎江崎保男・鳥居憲親・中川潤 2013.3.3 ひとつはくオープンセミナー「鳥を知る」, 博物館. (全1回, 20名).

館外講演など

- 江崎保男 2012.8.11「コウノトリ野生復帰の進展」氾濫原研究会, コウノトリの郷公園(50名).
- 江崎保男 2012.9.16「100周年にあたっての学会長挨拶 Address from the President of OSJ (和英混淆)」日本鳥学会 100周年記念式典, 東京大学安田講堂(200名).
- 江崎保男 2012.10.19「南但馬に広がる本格的野生復帰～発展と課題～」コウノトリの野生復帰に関するシンポジウム (基調講演), さんとう緑風ホール(150名).
- 江崎保男 2012.10.19 「野生復帰における役割」コーディネーター, コウノトリ野生復帰シンポジウム基調講演, さんとう緑風ホール(150名), 朝来.
- 江崎保男 2012.11.25「コウノトリの野生復帰とグランドデザイン」地域の環境保全学, 兵庫県立大学, 三江公民館(150名).
- 江崎保男 2012.7.24 「ラムサールセミナー」パネリスト, 豊岡市, コウノトリ文化館 (70名).
- 江崎保男 2012.11.23「研究報告座長」山陰海岸ジオパーク国際学術会議湯村会議, 新温泉町夢ホール(200名).
- 江崎保男 2013.2.21「自然とはなにか」講師, シニア自然大学, 福島区民ホール (150名), 大阪.

兵庫県立大学・大学院教育

<兵庫県立大学での実績>

- 自然・環境科学研究所 教授
- 環境人間学研究科 教授
- <講義等>
- 生態学特別演習 (博士前期)
- 特別ゼミナールI (博士前期)
- 特別ゼミナールII (博士前期)
- 特別研究 (博士前期)

環境人間学特別演習 (博士後期)

環境人間学特別研究 (博士後期)

地域の環境保全学 (学部)

<修士論文指導>

- 中川 潤 (M2)「水田の鳥類群集に関する研究」
- 鳥居憲親 (M2)「都市の鳥類群集に関する研究」.

<学生指導>

脇坂英弥 (博士後期課程)「人為管理下の農地に生息する鳥類の生態学的研究」

<同, 副指導>

中塚圭子 (博士後期課程)「人と犬の共生社会の創造」

<その他>

平成23年度大学院環境人間学研究科博士後期課程(2次募集)

英語・専門科目の出題および採点委員

同 口述試験 面接委員

<委員等>

自然・環境科学研究所教員選考委員会, 委員長

自然・環境科学研究所教員評価委員会, 委員

自然・環境科学研究所自然環境系教員評価部会, 部会長

同, 委員

・連携事業

連携グループ等

地域研究員指導: 溝田浩美, 楠瀬雄三, 脇坂英弥, 工義久 (いずれも主担当)

2.シンクタンク事業

・行政支援

委員会等 (計 28 件)

2009.6- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県.

2009.6- 兵庫県環境審議会, 鳥獣部会長, 兵庫県.

2008.8- 水源地生態研究委員会, 委員長, (財)ダム水源地環境整備センター.

2004.4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開発機構.

2004.4- 川上ダム希少猛禽類保全検討会, 委員長, 水資源開発機構.

2012.6- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委員長, 大阪府.

2004.10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府.

2007.11- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会, 委員, 国土交通省.

2012.10- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会大滝ダムモニタリング部会, 委員, 国土交通省.

2009.8- 与布土ダム環境保全検討委員会, 委員長, 兵庫県.

2009.4.1- 河川・海岸環境機能等検討委員会, 委員, リバーフロント研究所.

2009.9.4- 外来生物対応方策検討委員会, 委員, 兵庫県.

2011.10- 豊岡市生物多様性地域戦略策定検討委員会, 委員, 豊岡市.

- 2011.4- 近畿地方整備局事業評価監視委員，国土交通省近畿地方整備局.
- 2006.6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」アドバイザー，兵庫県.
- 2007.6- 金出地ダム鳥類モニタリング，アドバイザー，兵庫県.
- 2007.8- 丹住谷川通常砂防事業鳥類調査，アドバイザー，京都府.
- 2008.3- 上流武庫川自然を活かした治水対策，アドバイザー，兵庫県.
- 2010.4- 紀の川湛水域生物生態調査，アドバイザー，国土交通省，和歌山河川国道事務所.
- 2010.4- 由良川河川水辺の国勢調査，アドバイザー，国土交通省，福知山河川国道事務所.
- 2010.10- 新名神高速道路兵庫地域自然環境保全検討会，委員，西日本道路株式会社関西支社・西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社.
- 2010.10- 和田山八鹿道路環境保全調査，アドバイザー，国土交通省.
- 2010.10- 加古川小野線東播磨南北道路環境調査，アドバイザー，加古川土木事務所.
- 2010.3- コウノトリ野生復帰連絡協議会，委員，但馬県民局.
- 2011.6- 公益財団法人但馬ふるさとづくり協会，評議員.
- 2011.11- 福井県コウノトリ定着推進会議，委員，福井県安全環境部.
2011. 4- 六甲山グリーンベルト生物多様性調査，アドバイザー，国土交通省.
- 2012.7- 播磨秦軍～山崎間自然環境保全検討会，委員，西日本高速道路(株)・西日本高速道路エンジニアリング関西(株).

相談・指導助言

来訪者 40 件，180 名．電話・FAX 相談 30 件，メール相談 10 件.

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授.

昭和23年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本生態学会, 日本魚類学会, 兵庫県
県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫
陸水生物研究会, ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

資料データベース整理活用M

<研究開発>

1.調査研究

・特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

・共同研究

部門研究「共生の現実と未来」分担者

・その他著作

- ◎田中哲夫(2012) 魚と親しめる武庫川づくりを、武庫川、21世紀の武庫川を考える会、No.57:1-2.
- ◎田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓弥(2013)「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究XII」,レフュジアビオトープ研究会.

・ブログへの情報提供

1件

・研究発表

田中哲夫・佐藤裕司(2013)キリンビオトープ池におけるカワバタモロコの定着過程,日本生態学会,グランシップ,静岡.

・助成を受けた研究

受講者と探るカワバタモロコの絶滅過程,日本学術振興会,科学研究費補助金,研究代表者(金額90万円/150万円).

2.資料収集・整理

・資料収集

2012.4-2013.3 兵庫県産水生生物.

・整理同定担当資料

淡水魚および水生生物全般昆虫.

<事業推進>

1.生涯学習事業

・セミナー

館主催セミナー

田中哲夫,2012.4-5,「ため池を探る」,博物館・三田市香下ため池群.(全4回,51名)

田中哲夫,2012.8,「キリンビール・ビオトープ池調査」,夏季教職員セミナー,博物館・キリンビール神戸工場.(15名)

田中哲夫,2012.9-10,「ビオトープ池を調べる」,祥雲館高校連携セミナー,博物館・キリンビール神戸工場.(全3回,56名)

オープンセミナー

◎田中哲夫,2012.6,これで君も魚博士,博物館・ひとはくサロン(46名)

◎田中哲夫,2012.8,これで君も魚博士,博物館・ひとはくサロン(64名)

◎田中哲夫,2012.10,コウノトリと円山川の魚,博物館・見せる収蔵庫(25名)

◎田中哲夫,2012.11,これで君も魚博士,博物館・ひとはくサロン(27名)

特注セミナー

田中哲夫,2012.12,「ビオトープ池を調べる」,大阪府立豊中高校,博物館,61名)

館外講演

田中哲夫,2012.8,「水辺の生き物探検」むこっ子サマースクール,兵庫県立西武庫公園,尼崎市(28名).

田中哲夫,2012.10「魚と親しめる武庫川づくり」,21世紀の武庫川を考える会講演,西宮市勤労会館,西宮市(35名).

田中哲夫,2013.3「淡水魚の宝庫 武庫川をどう守るか」,みんなで取り組む武庫川づくり交流会,西宮商工会議所,西宮市(27名).

田中哲夫,2013.3「丹波のホトケドジョウを守る」,環境セミナーホトケドジョウをもっと知ろう,春日農村環境改善センター,丹波市(16名).

田中哲夫,2013.3「自然・環境と流域生態」,川代ダム野鳥愛護会設立20周年記念講演会,丹南健康福祉センター,篠山市(37名).

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学集中講義「共生生物学」(分担田中哲夫)2012.9,「キリンビオトープの環境への取り組み」,キリンビール神戸工場,神戸市(24名).

非常勤講師

2012.6,「進化と生物多様性」,関西学院大学「環境学習」,三田市(240名).

2012.6,「治水と河川環境」,関西学院大学「環境学習」,三田市(240名).

2012.6,「外来生物と環境」,関西学院大学「環境学習」,三田市(240名).

2012.10,「武庫川の淡水魚」,神戸大学「生物学野外実習」,篠山市(26名).

2012.11,「武庫川の水生動物」,神戸大学「生物学野外実習」,篠山市(26名).

• キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2013.10 2F常設展示、多様性の壁、「コウノトリを支える生物多様性」

• 連携事業

連携グループ等

谷本卓弥（ひとはく地域研究員；主アドバイザー）
法西 浩（ひとはく地域研究員；主アドバイザー）
藤田茂宏（ひとはく地域研究員；主アドバイザー）
丹波のホトケドジョウを守る会（ひとはく連携活動グループ；主アドバイザー）
山東の自然に親しむ会（ひとはく連携活動グループ；副アドバイザー）
NPO 里山レンジャー（ひとはく連携活動グループ；副アドバイザー）
森本静子（ひとはく地域研究員；副アドバイザー）

成果発表

2013.2 共生の広場 「カワバタモロコの数の変化について」、兵庫県立三田祥雲館高校（指導・協働）
2013.2 共生の広場 「わたしたちのビオトープ カワバタモロコを増やす」、宝塚市立逆瀬台小学校ビオトープ委員会（指導・協働）

• 研究生等の受入

• フェスティバル等

2012.1 ひとはく 20周年記念講演会、「議員対応」（分担者）。
2012.11 ひとはくフェスティバル、「駐車場整理」（分担者）。

2. シンクタンク事業

• 受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープに関する研究」。代表者、キリンビール神戸工場。（55万円）

• 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内，3回，21名。

• 行政支援

委員会等（13件）

2012.4.－2013.3. 兵庫県環境影響評価審査会，委員，兵庫県環境影響評価室
2012.4.－2013.3. 兵庫県立宝塚西谷の森公園運営協議会，委員，宝塚市
2012.4.－2012.3. 加東市とひとはく協力協定連携推進会議，委員，加東市教育委員会
2012.4.－2013.3. 篠山市森の学校復活大作戦実行委員会，委員長，篠山市教育委員会
2012.4.－2013.3. 神戸市産業振興局指定管理者候補者選定委員会，委員，神戸市産業振興局
2012.4.－2013.3. 「全国的な自然史系標本セーフティネット構築」のためのワーキンググループ，委員，独立行政法人 国立科学博物館
2012.4－2013.3 「兵庫の貴重な自然」改定方針検討委

員会，委員，兵庫県環境課

2012.4－2013.3 「兵庫の貴重な自然」生態系RDB検討委員会，委員，兵庫県環境課

2012.4－2013.3. 生物多様性兵庫戦略推進委員会，委員，兵庫県自然環境課

2012.4－2013.3 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門検討委員会，委員，兵庫県国土整備部土木局

2012.4－2013.3 大滝ダム運用環境調査委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局

2012.4－2013.3 猪名川自然環境委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局，猪名川河川事務所

2012.4－2013.3 猪名川自然環境委員会・構造部会，委員，国土交通省近畿地方整備局，猪名川河川

相談・指導助言

来訪者 20件，60名。電話・FAX相談 35件，メール相談 5件

三橋 弘宗, Hiromune MITSUHASHI

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
講師。

昭和45年京都府生. 京都大学大学院理学研究科博士前期
課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本陸水学会, 応
用生態工学会, アメリカベントス学会, 兵庫陸水生物研
究会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

シンクタンク推進室 室長

地域担当 (丹波)

<研究開発>

1.調査研究

・特別課題研究 (個人研究)

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
3. 樹脂を活用した展示物の作製技法に関する研究

・共同研究

総合共同研究「地域課題解決型の博物館実習プログラ
ムの構築」代表

部門研究「共生の現実と未来」分担者

・論文・著書

- ◎三橋弘宗、北村俊平、山崎義人、上田萌子、田中哲夫、
加藤茂弘、高野温子、布施静香、赤澤直樹、石田明(2012).
海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニ
ットの製作.日本展示学会梗概集. 149-150.
- ◎三橋弘宗(2012). 生物多様性国家戦略の改訂にむけ
た課題と挑戦. 農業と経済 78(7).15-27.
- ◎三橋弘宗 (2012) シンクタンク機能を有する博物館.
みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ (兵庫県立
人と自然の博物館編). 研成社. pp. 188.

・ブログへの情報提供

10件

・学会役員など

日本生態学会近畿地区委員

日本生態学会保全生態学研究 編集幹事

関西淡水動物談話会 世話人

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク 事務
局

・助成を受けた研究

2012.4- 河川生態系管理における数値目標と実践的フ
レームワークの構築、文部科学省科学研究費挑戦的
萌芽研究,研究代表者 (金額 189万円/240万円)

2012.4- 「ひょうごの川・自然環境調査」の標本資料
の受入と管理に関する分任, 兵庫県県土整備部河川

計画課(主担当: 70万円)

2.資料収集・整理

・資料収集

2012.4-2013.3 兵庫県産水生生物 (底生動物 (昆虫、
貝、甲殻類)、魚類、両生類)

・受贈担当資料

2012.3 兵庫県県土整備部河川計画室調査標本 (円山
川水系 魚類・底生動物). 200点.

・整理同定担当資料

底生動物および水生生物全般.

<事業推進>

1.生涯学習事業

・セミナー

館主催セミナー

三橋弘宗, 2012.4, 「河口の生き物観察会 (芦屋川河
口編)」, 芦屋市(24名)

三橋弘宗, 2012.4, 「川の水生昆虫の観察会 (芦屋川上流編)」,
芦屋市(30名)

三橋弘宗, 2012.4, 「川の水生昆虫の観察会 (篠山川中流
編)」, 篠山市(52名)

三橋弘宗, 2012.4, 「須磨海岸でウミホタルを観察しよう」,
神戸市(38名)

三橋弘宗, 2012.4, 「プラスチック封入標本をつくろう」,
人と自然の博物館(21名)

オープンセミナー

◎三橋弘宗, 2011.5.6, 「きのこでサイエンスカフェ」, 博
物館・ひとはくサロン(109名)

◎三橋弘宗, 2012.5.6, 「顕微鏡で水生昆虫を観察しよ
う」, 博物館・小セミナー室(138名)

◎三橋弘宗, 2012.7.29, 「顕微鏡で水生昆虫を観察しよ
う」, 博物館・小セミナー室(124名)

◎三橋弘宗, 2013.3.24, 「顕微鏡で水生昆虫を観察しよ
う」, 博物館・小セミナー室(81名)

特注セミナー

三橋弘宗, 2012.6, 「クジラとサメの自然史」, 明石市立
朝霧小学校, 博物館 (95名)

三橋弘宗, 2011.9, 「プラナリアの生態学」, 兵庫県立御
影高等学校, 御影高等学校 (20名)

三橋弘宗, 2012.9 「生物多様性保全における博物館の
役割」, GISによる天然資源農作物の管理 (事務局:
名古屋大学・JICA), 博物館 (7人)

三橋弘宗, 2012.10, 「水辺の生き物とその暮らし」, 篠
山市立古市小学校 (10名)

三橋弘宗, 2012.10, 「水辺の生き物とその暮らし」, 稲
美町立天満東小学校, 博物館 (62名)

三橋弘宗, 2012.10, 「博物館を知るワークショップ」,
兵庫県立西宮今津高等学校, 博物館 (21名)

三橋弘宗, 2011.10, 「水生昆虫の観察」, 加東市立東条
東小学校, 加東市 (40名)

三橋弘宗, 2011.10, 「水辺の生き物」, 明石市立大久保

南小学校, 博物館 (190名)
 三橋弘宗, 2012.10 「地理情報システムと生息地管理」, 生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース(事務局: EnVision・JICA), 博物館 (10名)
 三橋弘宗, 2012.11, 「水辺の生き物とその暮らし」, 明石市立大久保南小学校, 博物館 (190名)
 三橋弘宗, 2012.11, 「水生生物の生態」, 川西市立川西北小学校, 博物館 (67名)
 三橋弘宗, 2012.11, 「水生生物の生態」, 神戸市立淡河小学校, 博物館 (10名)
 三橋弘宗, 2012.2, 「猪名川の水生生物について」, 川西市立多田小学校, 博物館 (88名)
 三橋弘宗, 2012.2, 「水生昆虫の観察」, 加東市立東条東小学校, 加東市立東条東小学校 (40名)

館外講演など

三橋弘宗, 2012.6 「ゲンジボタルの生態について」, 篠山市曾地川ホタル観察会, 篠山市曾地中区自治会 (20名)
 三橋弘宗, 2012.6 「河川整備計画における数値目標設定」, 北海道大学農学部森林管理学教室ゼミナール, 北海道大学(35名)
 三橋弘宗, 2012.7 「神戸の水辺～生物多様性とその保全～」, KOBE 環境大学 (神戸市環境局), 神戸市長田区(45名)
 三橋弘宗, 2012.7 「「ひょうご・人と自然の川づくり事例集 2011」について」, 河川講習会 (兵庫県県土整備部), 神戸市中央区(200名)
 三橋弘宗, 2012.7 「湿地づくり」, 豊岡市生息地保全協議会, 豊岡市(50名)
 三橋弘宗, 2012.7 「河原の生き物探検」, 丹波市, 丹波市青垣町(40名)
 三橋弘宗, 2012.7 「芦屋川の水生生物の観察会」, 芦屋市, NPO 法人さんびいす (70名)
 三橋弘宗, 2012.7 「鴨川の水生生物観察会」, 加東市・ひとはく連携事業, 加東市(50名)
 三橋弘宗, 2012.8 「羽束川の生態系について」, 篠山市環境課, 篠山市(15名)
 三橋弘宗, 2012.8 「小稗地区におけるバイカモについて」, 神楽自治会, 丹波市(50名)
 三橋弘宗, 2012.8 「水生生物の封入標本づくり (その1)」, 芦屋市, NPO 法人さんびいす (30名)
 三橋弘宗, 2012.8 「水生生物の封入標本づくり (その2)」, 芦屋市, NPO 法人さんびいす (30名)
 三橋弘宗, 2012.10 「自然史博物館の役割」, 神戸大学理学部特別講義, 神戸市東灘区(15名)
 三橋弘宗, 2012.10 「ENEOS わくわく生き物学校」, 豊岡市生息地保全協議会, 豊岡市田結(45名)
 三橋弘宗, 2012.11 「多自然川づくり近畿ブロック会議」, 近畿地方整備局河川部, 近畿地方整備局大会議室(200名)
 三橋弘宗, 2012.11 「篠山城外来種駆除」, 篠山市森の学校大作戦 (篠山市環境課), 篠山市 (50名)

三橋弘宗, 2012.12 「コウノトリの生息地推定モデルと自然再生」, 北海道大学農学部森林管理学教室ゼミナール, 北海道大学(28名)
 三橋弘宗, 2013.1 「気候変動と生息適地モデリング実習」, 自然環境研究センター特別講義, 東京都台東区 (10名)
 三橋弘宗, 2013.2 「湿地づくり検討会」, 神戸市総合運動公園 (神戸市公園緑化協会), 神戸市西区(20名)
 三橋弘宗, 2013.3 「気候変動と生息適地モデリング実習」, 第19回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会, 神戸市中央区 (兵庫県立大学シミュレーション科学研究科) (46名)

兵庫県立大学・大学院教育

2012.8 兵庫県立大学総合教育科目「共生博物学」(70名)

非常勤講師

2012.11 筑波大学特別講義「生息適地モデルと生態系保全計画」 (80名)

• キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

森本静子 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)
 渡辺晶造 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

副担当

琢磨千恵子 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)
 東山真也 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

展示作成

2012.7.16-8.26 ジオキャラバン展示製作一式, 新温泉町山陰海岸ジオパーク館
 2012.9.1-9.27 ジオキャラバン展示製作一式, 香美町海の文化館
 2012.8.1-8.31 守ろう但馬の自然遺産 (但馬ドームサマーミュージアム) 展示製作一式, 豊岡市但馬ドーム
 2012.10.1-10.23 ジオキャラバン展示製作一式, 岩美町立渚交流館
 2012.10.15-10.30 豊岡盆地とコウノトリ展示製作一式, 兵庫県立コウノトリの郷公園
 2012.10.29-11.20 ジオキャラバン展示製作一式, 湖山池情報プラザ
 2012.11.23-12.18 ジオキャラバン展示製作一式, 道の駅「神鍋高原」
 2012.12.23-2013.1.15 ジオキャラバン展示製作一式, 京丹後市琴引浜鳴き砂文化館
 2013.2.4-3.11 ジオキャラバン展示製作一式, 兵庫県立人と自然の博物館

• 連携事業

連携グループ等

NPO 法人さんびいす (ひとはく連携活動グループ; 主担当)
 里山レンジャー (ひとはく連携活動グループ; 主担当)
 水辺のフィールドミュージアム (ひとはく連携活動グループ; 主担当)
 丹波のホトケドジョウを守る会 (ひとはく連携活動グ

ループ ; 副アドバイザー)

成果発表

- 2012.2 共生の広場「キノコの出現には雨量と気温のどちらが優先的にはたらくのか
～六甲山再度公園における長期観測データから読み解く～」,兵庫県立御影高等学校
- 2012.2 共生の広場「プラナリアの生態をさぐる」,兵庫県立御影高等学校

共催事業

- 2012.7 小さな自然再生のすすめ,水辺のフィールドミュージアム研究会,兵庫県立人と自然の博物館(130名)
- 2013.1 六甲山のキノコ展,県立御影高校,御影クラス,神戸市東灘区(560名)

・研究生等の受入

博物館実習

- 2012.8. 岡山理科大、北海道大学、関西学院大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学、神戸大学それぞれ1名

卒論生等

- 2012.8-9 徳島大学大学院修士課程1年 1名(インターンシップおよび修士論文指導)

・フェスティバル等

- 2012.11 会場設営係・駐車場係・ステージ補助係

・展示

ミニ企画展

- 2011.2-2012.5. ミニ企画展「六甲山のキノコ展2012・野生のキノコの不思議な魅力」(主担当).
- 2013.2-2013.5 ミニ企画展「六甲山のキノコ展2013」(主担当).

2.シンクタンク事業

・収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内,5回,30名.

・行政支援

委員会等(19件)

- 2012.4-2013.3 円山川水系自然再生推進委員会,委員,国土交通省近畿地方整備局,兵庫県但馬県民局.
- 2012.4-2013.3 円山川水系自然再生推進委員会技術部会,委員,国土交通省近畿地方整備局,兵庫県但馬県民局.
- 2012.4-2013.3 森の学校復活大作戦検討委員会,委員,篠山市.
- 2012.4-2013.3 円山川水系「ひょうごの川・自然環境調査」,アドバイザー,兵庫県但馬県民局.
- 2012.4-2013.3 生物多様性支援アドバイザー,アドバイザー,兵庫県自然環境課.
- 2012.4-2013.3 「源流の里」環境保全活動支援委員会,委員長,丹波県民局.
- 2012.4-2013.3 武庫川上流ルネッサンス懇談会,委員,兵庫県三田土木事務所.
- 2012.4-2013.9 千種川水系河川整備計画検討委員会,委

員,兵庫県上郡土木事務所.

2012.4-2013.3 G B I F技術専門委員会,委員,独立行政法人科学技術振興機構.

2012.4-2013.3 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門検討委員会,委員長,兵庫県県土整備部土木局.

2012.4-2013.3 生物多様性評価の地図化に関する検討会,委員,環境省自然環境局.

2012.4-2013.3 淀川水系猪名川圏域河川整備計画検討委員会,委員,兵庫県宝塚土木事務所.

2012.4-2013.3 中国横断自動車道環境マネジメント検討委員会,委員,国土交通省中国地方整備局.

2012.7-2013.3 我が国の絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する点検会議,委員,環境省自然環境局.

2012.8-2013.3 豊岡市生物多様性戦略検討委員会,委員,豊岡市.

2012.7- 計画段階配慮技術手法に関する検討会,委員,環境省総合環境政策局.

2012.7- 計画段階配慮技術手法に関する分科会(自然環境等分科会),委員,環境省総合環境政策局.

2012.12- 生物多様性オフセット手法と課題に関する意見交換会,検討委員,環境省総合環境政策局.

2012.12- 生物生息等ポテンシャル予測のため暫定手法に関する意見交換会,検討委員,環境省総合環境政策局.

相談・指導助言

来訪者80件,170名. 電話・FAX相談85件. メール相談140件.

大谷 剛, Takeshi OHTANI

自然・環境マネジメント研究室
動物共生研究グループ／生涯学習推進室
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
教授.

昭和22年福島県生. 北海道大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本昆虫学会, 日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 スクールパートナーマネージャー・担当 「第二回いきものかわらばん」募集・展示・表彰のマネジメント、ワークシート類の改訂のマネジメント、その他学校関係のマネジメント

<研究開発>

1.調査研究

•特別課題研究(個人研究)

1. ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
2. 1 個体追跡法に基づく動物の行動研究
3. 動物の歩行肢に関する考察

•その他著作

大谷 剛 (2013) 20周年記念栗林慧写真展「アリの目の日々」2013年2月16日から開催! 「虫の目カメラ」から「アリの目カメラ」への進化。ひとはく新聞3/15号(ハーモニー80号)、p.2.

大谷 剛 (2013) ひとはくでの研究と思い出「背番号付きミツバチの収穫ダンス」ひとはく新聞3/15号(ハーモニー80号)、p.4.

大谷 剛 (2013) ミツバチは農薬を回避できるのだろうか(特集ネオニコチノイド系農薬を考える)。グローバルネット269号:4-5.

•研究発表

大谷 剛 (2012) ミツバチ社会に「協力」や「共同」は存在するか。日本昆虫学会第72回大会、玉川大学(町田)

大谷 剛 (2013) 協力関係のない働きバチの分業とダンスコミュニケーション。第二回ミツバチミニシンポジウム「ミツバチの不思議」、兵庫県立大学姫路新在家キャンパス音楽堂小ホール.

•学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員.

•助成を受けた研究

ミツバチに収穫ダンスを踊らせなかったら何が起るか. 科学研究費助成・挑戦的萌芽研究, 研究代表者(金額50万円/140万円).

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

大谷 剛, 2012.4~7, 「愛蜂家養成講座・上級」、博物館.(全4回, 2+3+4+5=14名)

大谷 剛 2012.5.26, 「家族で蜜しぼり5月」、博物館.(29名)

大谷 剛 2012.6.23, 「家族で蜜しぼり6月」、博物館.(25名)

大谷 剛・沢田佳久, 2012.8(土・日・月), 「昆虫標本づくり実演コーナー2012」、博物館.(オープン、全12回, 70+235=305名)

大谷 剛、2012.8.21, ミツバチの巣箱の中はどうなっているか.(オープン、54名)

八木 剛・大谷 剛, 2012.6~2012.9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」、博物館.(全3回, 8+8+8=24名)

大谷 剛, 2012.8~2012.10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」、道場町日下部・博物館.(全4回, 5+5+3+3=16名)

「きんひばり」・大谷 剛, 2012.10.6, 「親と子の鳴く虫の夕べ」、神戸市北区道場町日下部ふれあい会館.(全1回, 17名)

アピス同好会・大谷 剛, 2012.9~12, 「愛蜂家養成講座・初級」、博物館.(全4回, 14+14+14+15=57名)
鈴木・加藤・橋本明・先山・大谷・藤井, 2012.11.4, ひとはく多様性フロア解説(オープン, 99名)

大谷 剛, 2013.3.10, 「動物の足は4本、昆虫の足は6本」、博物館.(オープン, 26名)

大谷 剛, 2013.3.23, 「さなぎってなに?」、博物館.(オープン, 27名)

館外講演など

大谷 剛, 2012.5.24, 「昆虫30分トピックス」、三木市立広野小学校,(91名)

大谷 剛, 2012.7.7, 「はちみつ絞り」、ネーチャーラーニング,(16名)

大谷 剛, 2012.7.11, 「ハチの巣観察・ハチみつ絞り体験」、宝塚市立老人福祉センターいきいき学舎・フレミラ宝塚2年生,(25名)

大谷 剛, 2012.7.11, 「毒をもつ昆虫との付き合い方」、宝塚市立老人福祉センターいきいき学舎・フレミラ宝塚1年生,(26名)

大谷 剛, 2012.9.25, 「昆虫30分トピックス」、小野市立河合小学校,(25名)

大谷 剛, 2012.9.26, 「小さなハンターハンミョウ①」、八木保育園,(50名)

大谷 剛, 2012.9.26, 「小さなハンターハンミョウ②」、八木保育園,(50名)

大谷 剛, 2012.9.28, 「昆虫30分トピックス」、高砂市立荒井小学校,(146名)

大谷 剛, 2012.9.28, 「虫取り」、高砂市立荒井小学校,(146名)

大谷 剛、2012.11.6、「昆虫トピックス」、大阪自然環境市民大学昆虫部会、(14名)

大谷 剛、2012.11.9、「昆虫の足はなぜ6本?」、川西市立明峰小学校、(169名)

大谷 剛、2012.11.9、「動物クイズ8問」、西宮市手話サークル友の会、(28名)

大谷 剛、2013.2.20、「ハチに関する大誤解」、KK9NW、(17名)

館外連携共催セミナー

大谷 剛 2012.7.15 たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり」、講師,NPO 法人たかつき、大阪府衛生会けんこうの里地域交流支援センター (40名)

大谷 剛、2012.8.18、「昆虫のふしぎ」、ナシオン創造の森 (22名)

大谷 剛、2012.8.19、NPO たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり、仕上げ、標本へ」、大阪府衛生会けんこうの里地域交流支援センター (38名)。

館外講師派遣

大谷 剛、2013.1.16、「昆虫と食文化」、神戸国際大学ゲストティーチャー講義、(79名)

兵庫県立大学・大学院教育

昆虫行動特論 (主任)

非常勤講師

2012.5.14、「昆虫野外観察」、神戸市シルバーカレッジ。

•連携事業

連携グループ等

アピス同好会 (主担当)

鳴く虫研究会「きんひばり」(主担当)

NPO さんぽくらぶ (主担当)

協力事業

2012/7/21;10/1;10/3 ①はちみつ搾り②イナゴを獲って食べる ひとつはく連携活動グループ・NPO 法人「さんぽくらぶ」(セミナーの実施)

•学校教育支援

トライやるウィーク

2012.5.29-6.1、三田市立長坂・八景・富士中学校3名

学校団体対応

8校に対応

講師派遣

2013.1、「昆虫と食文化」、講師、神戸国際大学3年生 (79人)

•展示

ミニ企画展

2012.10.6~2012.1.6、臨時展示「ひとつはくしぜんかわらばん+キッズかわらばん展」<398点> (責任者)

2.シンクタンク事業

•収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内、1回、2名。

•行政支援

相談・指導助言

来訪者1件、2名。電話・FAX相談6件、メール相談4件。

三谷 雅純, Masazumi MITANI

自然・環境マネジメント研究室

動物共生研究グループ／研究推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士後
期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International
Primatological Society, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ
学会, 日本生態学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所
属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

研究推進室 研究紀要マネジメント・グループ 紀要
『人と自然 Humans and Nature』編集委員会委員長

2.研究開発部門

博物館哺乳類標本の管理

<研究開発>

1.調査研究

・特別課題研究 (個人研究)

- ユニバーサル・デザインの視点から見た生涯学習の
あり方
- ヒトの遺伝的多様性および文化的多様性のあり方

・論文・著書

三谷雅純 (2012) 類人猿保護政策と地域住民・カメル
ーンからガボン, コンゴ共和国の事例から. 『朝
倉世界地理講座 アフリカII』(改訂版), 単著, pp.
496-509, 朝倉書店, 東京.

三谷雅純 (2012) DAISY を使ったコミュニケーション
障がい者にもわかりやすい展示解説の試み. 人と自
然 Humans and Nature 23: 61-67.

・その他著作

- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして4: ことばの整理. ひととはくブログ (4月10
日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして5: 博物館の基礎科学と応用科学. ひととはく
ブログ (4月27日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして6: さまざまな色覚-1. ひととはくブログ (5
月8日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして7: さまざまな色覚-2. ひととはくブログ (5
月29日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして8: 失語症者に助けてもらう-1. ひととはく
ブログ (6月13日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして9: 失語症者に助けてもらう-2. ひととはく

ブログ (6月26日).

- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして10: 失語症者に助けてもらう-3. ひととは
くブログ (7月3日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして11: 『さわって楽しむ博物館』を読んでみ
ました. ひととはくブログ (7月18日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして12: 学校の先生といっしょに考えてみた-
1. ひととはくブログ (8月14日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして13: 学校の先生といっしょに考えてみた-
2. ひととはくブログ (8月28日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして14: 『エピソード 操られる遺伝
子』: PTSD, 自閉症, iPSC細胞, タスマニアデビル
-1. ひととはくブログ (9月7日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして15: 『エピソード 操られる遺伝
子』: PTSD, 自閉症, iPSC細胞, タスマニアデビル
-2. ひととはくブログ (9月19日).
- ◎三谷雅純 (2012) ひととはくコラム: 本当はヒトを探
る霊長類学. ひととはく新聞2012年10月13日号 1.
三谷雅純 (2012) アフリカの森のウイスキーの味. 姫
路工大ワンゲルOB会報10: 16-17, 兵庫県立大学
体育会姫路支部ワンダーフォーゲル部 OB会, 姫
路.
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして16: 女性の働き方と『モモ』に出てきた時
間泥棒. ひととはくブログ (10月26日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして17: 「女性の働き方」に寄せられたご意見.
ひととはくブログ (11月20日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして18: 霊長類学者がユニバーサルな事を考え
る理由-1. ひととはくブログ (12月4日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして19: 霊長類学者がユニバーサルな事を考え
る理由-2. ひととはくブログ (12月11日).
- ◎三谷雅純 (2012) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして20: 霊長類学者がユニバーサルな事を考え
る理由-3. ひととはくブログ (12月26日).
- ◎三谷雅純 (2013) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして21: サラマンカ宣言があった-1. ひととは
くブログ (1月22日).
- ◎三谷雅純 (2013) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして22: サラマンカ宣言があった-2. ひととは
くブログ (1月29日).
- ◎三谷雅純 (2013) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして23: 「サラマンカ宣言があった」のご感想.
ひととはくブログ (2月19日).
- ◎三谷雅純 (2013) ユニバーサル・ミュージアムをめ

ざして24:『障害児教育を考える』の書評. ひと
はくブログ (2月26日).

◎三谷雅純 (2013) 川のほとりに人が住み始めたころ
ー1. 武庫川レポート 68: 7-8, 武庫川の治水を考
える連絡協議会, 伊丹.

◎三谷雅純 (2013) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして25: ユニバーサルなホームページを考える
事. ひとはくブログ (3月12日).

◎三谷雅純 (2013) ユニバーサル・ミュージアムをめ
ざして26: 漢字、絵文字、コミュニケーション支
援絵記号ー1. ひとはくブログ (3月22日).

•学会役員など

日本霊長類学会, 優秀賞審査委員
人と自然 Humans and Nature, 査読者

•助成金を受けた研究

高齢な失語症者が楽しめる博物館の研究: ユニバーサ
ルな観点から. 大阪ガスグループ福祉財団「研究・
調査助成」, 研究代表者 (22万円/45万円)

2.資料収集・整理

•資料収集

2011.4-2012.3, ユニバーサル・ミュージアムに関する
資料

•整理同定担当資料

インドネシア, 西ジャワ州パンガンダランの植物の
同定
コンゴ共和国, レフィニ自然保護区の植物の同定

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

◎三谷雅純, 2012.4, オープンセミナー「絵をかき、
字を読むチンパンジー」, 博物館. (10名)

◎三谷雅純, 2012.4, オープンセミナー「道具を使う
チンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2012.5, 「霊長類学 頭の体操 2012 年版」,
博物館. (5名)

三谷雅純, 2012.6, 「<こころ>と<ことば>を科学す
る」, 博物館. (19名)

三谷雅純, 2012.8, 夏期教職員セミナー「『障害』のあ
る子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (19名)

◎三谷雅純, 2012.4, オープンセミナー「絵をかき、
字を読むチンパンジー」, 博物館. (20名)

◎三谷雅純, 2012.4, オープンセミナー「道具を使う
チンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2012.12-2013.1, 「霊長類学が描くヒトの姿
ーわれわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミ
ナー), 博物館. (全2回, 78名)

三谷雅純, 2012.12, 「むすぶ、ひらく、ユニバーサル
なこと」, 博物館. (9名)

館外講演など

三谷雅純, 2012.5, 「デイジー版『くんくんくん おい
しそう』はわかりやすいか?」, 失語症友の会 むつ
み会. (30名)

三谷雅純, 2012.8, 「わたしたちヒトは何者なのか」,
湊川短期大学公開セミナー三田市民大学. (150名)

三谷雅純, 2012.10, 「ンドキの森の歩き方: わたしの
フィールド・ワーク」, 姫路工業大学(兵庫県立大学)
ワンダーフォーゲル部 OB 会. (60名)

三谷雅純, 2012.11, 「パソコンを使った言語リハビリ:
デイジーの話」, 失語症友の会 むつみ会. (30名)

三谷雅純, 2013.1, 「祝辞: 通過儀礼としての成人式」,
関西テレビ青少年育成事業団成人の日の集い. (40
名)

•兵庫県立大学・大学院教育

非常勤講師

2012.5. 平成 24 年度西地区共通教育科目「人と自然の共
生」(霊長類学(人類学)の立場から), 姫路書写キ
ャンパス, (全3回 x287名)

•連携事業

連携グループ等

東中国クマ集会(協働)
市民団体「サイエンス・サロン」(主催)

•学校教育支援

学校団体対応

2012.12, 兵庫県立有馬高等学校. (41名)

2012.1, 兵庫県立有馬高等学校. (37名)

•フェスティバル等

2012.10, 20周年記念シンポジウム, 接遇担当

2012.11, ひとはくフェスティバル, 記録担当.

2013.2, 共生のひろば 2012, 記録担当, 博物館紀要配
布.

2.シンクタンク事業

•行政支援

委員会等 (3件)

2012.4-2013.3, Primate Specialist Group, member, The
World Conservation Union (IUCN).

2012.4-2013.3, Species Survival Commission, member, The
World Conservation Union (IUCN).

2012.4-2013.3, 青少年育成事業団, 理事, (財) 関西テ
レビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. メール相談 200 件.

2012.4- 失語症者の発話機能回復のためのコンピュ
ータ利用について.

2012.4- 障がい者の野外活動について.

2012.4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動につ
いて.

2012.4- 市民活動のあり方について

布野 隆之, Takayuki FUNO

自然・環境マエンジメント研究部
流域生態研究グループ／企画調整室
研究員

昭和51年島根県生. 新潟大学大学院自然科学研究博士後期課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 日本鳥学会, 日本森林学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室

<研究開発>

1.調査研究

•特別課題研究(個人研究)

1. 希少猛禽類ニホンイヌワシの生態とその保全に関する研究
2. 天然記念物オオヒシクイの生息湿地および採餌水田の保全・再生に関する研究
3. カラスのゴミ被害問題の実態と対策に関する研究

•その他著作

布野隆之(2012) 神鍋高原における雪上プログラムの開発と実践. 山陰海岸ジオパーク学術研究奨励事業報告書.

布野隆之(2012) なぜ、カラスの「ゴミ被害」は起きるのか. ゴミステーションのカラス対策ガイドブック. p2.

布野隆之(2012) カラスの被害は必ず解決できます. ゴミステーションのカラス対策ガイドブック. p3.

•研究発表

布野隆之(2012) 福島潟周辺の水田地帯における天然記念物オオヒシクイの採餌水田の特徴とその分布. 農業農村工学会平成24年度大会, 北海道大学札幌キャンパス, 札幌市.

布野隆之(2012) 「神鍋高原における雪上プログラムの開発と実践」. 平成23年度学術研究奨励事業成果発表会, 丹後あじわいの郷, 京丹後市.

•学会役員など

Ornithological Science レフェリー

Strix レフェリー

•助成を受けた研究

希少種ニホンイヌワシの保全—餌利用の季節的变化を考慮した生息地管理策の構築—. 文部科学省科学研究費助成事業 若手研究(B), 研究代表者(金額250万円/340万円).

2.資料収集・整理

•資料収集

2012.8.23 クマタカ本剥製. たつの市. 1点

2012.8.23 ヤマドリ本剥製. たつの市. 2点

2012.10.22 コウノトリ本剥製. 大阪市. 2点

2012.10.22 坂根コレクション(鳥類標本). 伊丹市.

2,000点

•整理同定担当資料

陸生脊椎動物(鳥類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

•セミナー

館主催セミナー

布野隆之, 2012.4.8 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 90名.

布野隆之, 2012.4.15 「カラスによるゴミ被害を解決する」, 10名.

高橋 晃・布野隆之, 2012.5.12-13 「ハチ北高原春の散策ツアー1, 2. 春の植物観察とバードウォッチング」. 香美町ハチ北高原, 14名.

布野隆之, 2012.5.20 「希少猛禽類イヌワシを保全する」, 2名.

布野隆之, 2012.7.14 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 90名.

布野隆之, 2012.11.25 「天然記念物オオヒシクイを保全する」, 10名.

布野隆之, 2012.12.2 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 90名.

館外講演など

布野隆之, 2012.1.9 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全」, 講師, 人と自然の会新人研修会, 博物館, 30名.

布野隆之, 2012.2.18 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全」, 講師, 大阪市立大学, 大阪市, 40名.

布野隆之, 2012.5.6 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* の生態とその保全」, 講師, 博物館, 50名.

布野隆之, 2012.7.1 「希少猛禽類イヌワシを保全する」, 講師, シニア自然大学, 博物館, 19名.

布野隆之, 2012.7.1 「カラスの被害を解決する」, 講師, シニア自然大学, 博物館, 60名.

布野隆之, 2012.8.19 「カラスの被害を解決する」, 講師, ラスタホール, 伊丹市, 59名.

布野隆之, 2012.8.19 「カラスの被害を解決する」, 講師, スワンホール, 伊丹市, 38名.

布野隆之, 2012.8.30 「カラスの被害を解決する」, 講師, きららホール, 伊丹市, 68名.

布野隆之, 2012.8.30 「カラスの被害を解決する」, 講師, 伊丹ホール, 伊丹市, 72名.

布野隆之, 2012.11.10 「生物多様性シリーズ カラスとの共生について」, 講師, 兵庫県立宝塚西谷の森公園, 宝塚市12名.

布野隆之, 2013.2.20 「鳥の話本～日本に暮らす鳥たちの不思議な能力～」, 講師, 来迎寺, 三田市12名.

布野隆之, 2013.3.2 「絶滅の道を歩むニホンイヌワシ

の現状とその保全」, 講師, 環境と人間のふれいあい館, 新潟市, 80名.

布野隆之, 2013.3.2 「希少種保護の現状と課題」, パネラー, 環境と人間のふれいあい館, 新潟市, 80名.

布野隆之, 2013.3.14 「ごみと自然—ごみを通して自然との共生について考える—カラスの被害を解決する」, 講師, 豊中伊丹スリーR・センター, 伊丹市, 80名.

• キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2012.1.18 「ジオキャラバン in 琴弾浜鳴き砂文化館」, 京丹後市, (設営・撤収).

2012.7.22-8.1 「ジオキャラバン in 道の駅神鍋」, 豊岡市, (設営・撤収).

2012.8-2012.11 「県政資料館展示 兵庫県立人と自然の博物館 20年の歩みと成果」, 兵庫県公館, (設営・撤収).

• 連携事業

共催事業

2012.12.22-2013.1.14 「あわジオフェスティバル2013」, 国営明石海峡公園, 淡路市. (設営・撤収).

• フェスティバル等

2012.10.16 ひとつはく20周年記念行事「ひとつはくアニバーサリー」. (交通誘導担当).

2012.2.11 共生のひろば. (照明・音響担当).

2012.2.12 生物多様性協働フォーラム ～ 関西から発信する多様な主体による広域連携に向けて ～. (照明・音響担当).

2012.11 ひとつはくフェスティバル (備品管理担当)

2012.3.16 国際シンポジウム「白亜紀前期の恐竜研究最前線」. (照明・音響補助).

• 展示

企画展

ひとつはく多様性フロア～魅せる収蔵庫トライアル～ (分担者)

ミニ企画展

2011.12.3-2012.1 「巳さん、ようこそ」 (分担者)

2. シンクタンク事業

• 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回, 20名.

• 行政支援 (計2件)

2012.7-2013.3 伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会

2012.4-2013.3 篠山市サギ類によるコロニー被害対策検討会

相談・指導助言

来訪者5件, 20名. 電話・FAX相談100件, メール相談10件.

• 学会開催等支援

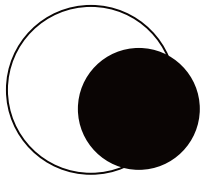
2012.2.4 「平成23年度 第5回 近畿子どもの水辺交

流会 ～ 兵庫でつなごう、水辺のなかま ～」. (当日スタッフ)

2012.8.21 「教員のための博物館の日」. (当日スタッフ)

2013.2.11-12 「全国科学館連携協議会 平成24年度 第2回国内研修会」 (事務局)

2013.2.12 「全国科学館連携協議会 第1回国近畿ブロック会議」 (事務局)



個人別成果報告に関する資料

No. 4

●自然・環境マネジメント価 研究部 コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

中瀬 勲, Isao NAKASE

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業
推進部 副館長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部
門 教授.

昭和23年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士
課程修了. 農学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会,
環境情報科学センター, 日本学術会議等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

事業推進部長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関
する研究」, 研究分担者.

部門研究「産官学協働による尼崎21世紀の森づくりの
推進に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

中瀬勲他共著(2012)「みんなで楽しむ新しい博物館の
こころみ 兵庫県立人と自然の博物館編」, 研成社,
149-183.

■その他著作

中瀬勲(2012)「各人・各組織のできることを」, 花と緑
Vol. 1 (特集: 東日本), 全国女性造園技術者の会,
2-3.

中瀬勲(2012)「魚津三太郎塾」, 情報誌「丹波の森」No.45,
(公財) 兵庫丹波の森協会, 1.

中瀬勲(2012)「ランドスケープデザインの開拓・実践,
そして社会化、ランドスケープ研究」VOL. 76 NO2,
152-155.

中瀬勲(2013)「ぬくもり第30号発刊によせて」, ぬく
もり30周年記念号, 丹波OB大学自治会, 18-19.

中瀬勲(2013)「仲間としてよろしく」, 平成24年度丹
波OB大学大学院2012年のまとめ, (公財) 兵庫丹
波の森協会・丹波の森公苑文化振興部, 1.

中瀬勲(2013)「次世代に期待」, 情報誌「丹波の森」
No.46, (公財) 兵庫丹波の森協会, 1.

■学会役員など

日本造園学会, 校閲委員.

日本造園学会, 代議員.

日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文
審査部会, 委員.

環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員
会, 委員.

兵庫県政学会, 評議員.

日本造園学会 CPD プログラム認定委員会, 委員.

環境情報科学センター, 第一期企画委員.

日本造園学会, 関西支部, 顧問.

日本学術会議, 日本学術会議連携会員.

■賞罰

兵庫県立大学功績賞

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中瀬勲, 2012.12, 「副館長特別セミナー」, 博物館 (66
名)

中瀬勲, 2013.2, 「地球の話」, キッズひとはく, 博物
館 (8名)

中瀬勲, 2013.3, 「恐竜を活かしたまちづくりフォーラ
ム」, コーディネーター, 丹波市 (100名)

館外講演など

中瀬勲, 2012.4, 「これからのまちづくりに期待するこ
と」, 講師, 玉水開館 (50名)

中瀬勲, 2012.5, 「花と緑のまちづくりと私たちの役割」,
兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ2号
館 (50名)

中瀬勲, 2012.6, 「多自然居住地と住民主体のまちづく
り」, 西播磨高齢者大学大学院, 講師, 博物館 (30
名)

中瀬勲, 2012.7, 「これからのまちづくりに期待するこ
と」, 淡路いざなぎ学園, 講師, 淡路文化会館 (60
名)

中瀬勲, 2012.8, 「現場からの地域再生」, 兵庫県地域
再生課地域再生塾, 講師, センター三方 (16名)

中瀬勲, 2012.9, 「公園のマネジメント」, 明石市立高
齢者大学校あかねヶ丘学園, 講師, あかねが丘学園
本校 (30名)

中瀬勲, 2012.9, 「現場からの地域再生」, 兵庫県地域
再生課地域再生塾, 講師, 朝来公民館 (6名)

中瀬勲, 2012.9 「パネルディスカッション: アウトリ

一事業と地域連携」, ひとほく 20 周年記念プレフォーラム, コーディネーター, 兵庫県公館, (100 名)

中瀬勲, 2012.10, 「地域の担い手が活躍する舞台をつくる博物館」, 話題提供者, 兵庫県立人と自然の博物館二十周年記念シンポジウム (300 名)

中瀬勲, 2012.10, 「多自然居住地域と住民まちづくり」, 関西学院大学社会学部, 講師, 人と自然の博物館 (77 名)

中瀬勲, 2012.11, 「造園学 I ①」, 神戸市シルバーカレッジ, 講師, しあわせの村 (60 名)

中瀬勲, 2012.11, 「造園学 I ②」, 神戸市シルバーカレッジ, 講師, しあわせの村 (60 名)

中瀬勲, 2012.11, 「日本人の心、庭園を語る」, 丹波の森大学, 講師, 四季の森生涯学習センター (60 名)

中瀬勲, 2012.12, 「ひとほく (兵庫県立 人と自然の博物館) の試み、展示・演示・連携、そして地域研究員」, 文部科学省学芸員専門講座, 講師, 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター (40 名)

中瀬勲, 2012.1, 「淡路総合特区構想を踏まえた環境にやさしい取り組み」, 第 35 回淡路くらしのひろば展, 講師, 洲本市市民交流センター (260 名)

中瀬勲, 2013.2, 「生物多様性」, いきいき学舎, 講師, 宝塚市老人福祉センターフレミラ宝塚 (60 名)

中瀬勲, 2013.2, 「自然と共に生きる地域づくり」, いきいき学舎, 講師, 宝塚市老人福祉センターフレミラ宝塚 (60 名)

中瀬勲, 2013.2.22 「自然と共に生きる地域づくり」, 明石市立高齢者大学校あかねが丘学園, 講師, 博物館 (60 名)

中瀬勲, 2013.3, 「人と自然が共生する地域づくり」, 芦屋川カレッジ, 講師, 芦屋市民センター (200 名)

中瀬勲, 2013.3, 「デザイン都市神戸ー都市緑化推進について」, 神戸経済同友会 環境委員会, 講師, 神戸銀行倶楽部 (20 名)

中瀬勲, 2013.3, 「連携で育む地域の活性化」, 淡路県民局, 講師, AIE 国際高等学校生田キャンパス (60 名)

兵庫県立大学・大学院教育
 環境戦略特論 (主任)
 共生地域創生論 (主任)
非常勤講師
 2011.4ー2011.7, 「造園学」, 国立大学法人神戸大学.
 2011.12, 「ランドスケープデザイン論」, 国立大学法人名古屋工業大学.

■フェスティバル等
 2012.11 ひとほくフェスティバル, (実行委員長).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 94 件)

1993.3- (財) 丹波の森協会, 理事.

1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.
 1996.4-(財) 丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.
 1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森公苑
 1997.8- 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫県.
 1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.
 1998.8- 環境アドバイザー, (財) ひょうご環境創造協会.
 1999.4 (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.
 2000.6- 里山保全アドバイザー, (社) 大阪自然環境保全協会.
 2001.8- 関西公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
 2002.3- (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.
 2002.5 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
 2002.7- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
 2002.12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部 (県民政策部) .
 2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財) 都市緑化基金.
 2003.6- (社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.
 2003.10- 兵庫県高犬連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
 2004.6- (財) 日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.
 2004.7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.
 2004.7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
 2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
 2005.1- 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市.
 2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
 2005.4 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.
 2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
 2005.7- 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
 2005.7- 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
 2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財) 丹波の森協会.
 2005.8- 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
 2005.8- たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
 2005.9- 平成 17 年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社, 以降継続中 (平成 19 年も)
 2006.2- 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.
 2006.4 (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.
 2006.5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯,

- 実行委員長、丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会。
- 2006.5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』、塾長、(財)兵庫丹波の森協会。
- 2006.6- 兵庫県高大等連携推進協議会、委員長、兵庫県教育委員会。
- 2006.10- 内ヶ池整備に関する検討委員会、委員長、大阪府、高槻市。
- 2006.10- ひょうごっこグリーンガーデン研究会、会長、兵庫県健康生活部。
- 2007.1- 丹波年輪の里運営協議会、委員(長)、兵庫県立年丹波年輪の里。
- 2007.1- 環境体験支援委員会、副委員長、兵庫県教育委員会。
- 2007.4- 神戸市公園緑地審議会、委員、会長(20011.4)、神戸市。
- 2007.4- 神戸市公園緑地審議会運営部会、部会長、神戸市。
- 2007.6- 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会、委員、丹波市。
- 2007.6- 西播磨風景づくり支援センター、登録、兵庫県西播磨県民局。
- 2007.6- 平成19年度助成事業審査委員会、委員、特定非営利法人しみん基金・こうべ。(継続中)
- 2007.7- 丹波恐竜化石にかかわる事業連携推進会議、会長、県立人と自然の博物館、丹波県民局、丹波市。
- 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会、会長(201001から)、副会長、兵庫県農林水産部。
- 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会、WLM推進部会、部会長(代行)、兵庫県農林水産部。
- 2008.4- 丹波縄文の森塾、塾長、(財)兵庫丹波の森協会。
- 2008.4- やしろの森公園運営協議会、委員、やしろの森公園協会。
- 2008.6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム、座長、兵庫県丹波県民局。
- 2008.6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議、委員、兵庫県阪神南県民局。
- 2009.1- 「丹波の森大学」、学長、(財)兵庫丹波の森協会。
- 2009.5-2011.4 「県立祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会」、委員、兵庫県教育委員会。
- 2010.02- 「たんぽ恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会」、副会長。
- 2010.02- 「円山川水系自然再生推進委員会」、委員、近畿地方整備局、兵庫県但馬県民局。
- 2010.05- 「兵庫の貴重な自然改訂委員会」、委員、兵庫県農政環境部。
- 2010.06- 「ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会」、委員、兵庫県農政環境部。
- 2010.05- 「新名神高速道路大阪府域自然環境保全検討委員会」、委員長、西日本高速道路株式会社。
- 2010.12- 「新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討委員会」、委員長、西日本高速道路株式会社。
- 2011.4- 「神戸市公園緑地審議会、計画・緑化部会」、部会長、神戸市。
- 2011.5- 「(財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかわる自己評価システム検討委員会」、委員長、(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2011.5- 「生物多様性ひょうご基金審査委員会」、委員、(財)ひょうご環境創造協会。
- 2011.6- 「生物多様性ひょうご戦略推進委員会」、委員、兵庫県農政環境部。
- 2011.6-2012 まで 「(財)大阪市博物館協会」、理事。
- 2011.8- 「西播磨花の郷選定委員会」、委員長、兵庫県西播磨県民局。
- 2011.8- 「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会」、委員長、兵庫県農政環境部。
- 2011.8 「平成23年度名勝野山公園保存整備委員会」、委員、南あわじ市。
- 2011.9 「中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会」、委員、環境省。
- 2011.9 「東日本大震災ひょうごまちづくり専門家バンク登録」、公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター。
- 2011.10 「あわじ環境未来島構想推進協議会」、アドバイザー。
- 2011.10 「あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会」、委員長。
- 2011.10-2017.10 「日本学術会議連携会員」、日本学術会議。
- 2011.11 「あわじ環境未来島構想推進事業審査会」、委員、兵庫県淡路県民局。
- 2011.11 「豊岡市公の施設指定管理者審査会」、委員、豊岡市。
- 2012.1 「(財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかわる評価・検証委員会、委員長、(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2012.1 「長浜市まちづくり検討会議」、委員、長浜市。
- 2012.3 「兵庫県立丹波年輪の里運営協議会」委員長。
- 2012.4 「公益財団法人兵庫県園芸・公園協会」、理事。
- 2012.4 「生物多様性ひょうご戦略推進委員会」、委員、兵庫県農政環境部。
- 2012.4 「長期ビジョン審議会公募委員選考会議」、委員、兵庫県企画県民部。
- 2012.4 「丹波市森林づくりビジョン検討委員会」、委員長、丹波市。
- 2012.5 「県民意識調査委員会」、委員、兵庫県企画県民部。
- 2012.7 「播磨新宮～山崎間自然環境保全検討会」、会長、西日本高速道路株式会社。
- 2012.8 「環境基本計画検討小委員会」、委員、兵庫県農政環境部。
- 2012.9 「(仮称)関西広域連合環境保全計画に関する有識者会議」、委員、関西広域連合。
- 2012.9 「神戸市建設局自転車等駐車場整備・管理運営事業者選定委員会」、委員長、神戸市。
- 2012.9 「(新)森の円卓会議」、会長、兵庫県立丹波並木

(財)ひ

道中央公園、公益財団法人兵庫県園芸・公園協会

2012.10 「神戸大学発達科学部外部評価委員会」、委員

2012.10 「長期ビジョン審議会環境優先社会・多彩な交流社会分科会」、部会長、兵庫県企画県民部

2012.10 「加古川流域懇談会」、委員、国土交通省近畿地方整備局

2013.1 「鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会」、委員、NEXCO 西日本

2013.1 「神戸市建設局ネーミングライツ検討会」、委員長、神戸市

相談・指導助言

来訪者 120 件, 160 名. 電話・FAX 相談 50 件, メール相談 120 件.

藤本 真里, MariFUJIMOYO

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員
兵庫県立大学自然・環境科学研究所環境計画研究部門
講師。
昭和36年兵庫県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程
修了，工学博士。日本造園学会，日本都市計画学会所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 ひとつはく20周年「プレフォーラム」
を総括

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割—持続可能なサポートシステム構築に関する研究—」，研究分担者。

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」，研究分担者。

部門研究「産官学協働による尼崎21世紀の森づくりの推進に関する研究」，研究分担者。

■その他著作

藤本真里 (2012) ミツカンよかわビオトープ倶楽部の運営に関する研究。株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書。

藤本真里 (2012) パークマネジメントの人材養成に関する研究 その6。兵庫県阪神北県民局受託研究報告書。

■学会役員など

日本造園学会，代議員。

日本造園学会，論文校閲委員。

■助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築。文部科学省科学研究費基盤研究(C)，研究分担者

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割。文部科学省科学研究費基盤研究(B)，研究分担者(金額10万円/200万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2012.6，姫路城昭和の大修理に関わる古写真。

姫路市。

2012.10-2013.3，丹波市山南町久下地域の古写真。丹波市。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里，2012.11，「簡単料理教室 ヘルシーパーティー料理で祝おう！ひとつはく20周年」，博物館。

藤本真里，2013.3，「魅力再発見！ハイキング 姫路城だけじゃない姫路の魅力」，姫路市。(13名)

藤本真里，2012.7-2012.10，「クイズ うんちく博物館」，博物館。(全3回)

藤本真里，2013.2.12，「ひとつはく流アウトリーチ事業—ネットワーク構築をめざして」，全国科学館連携協議会，博物館。(20名)

館外講演など

藤本真里，2012.5，「NPO法人 人と自然の会とひとつはく」，講師，NPO法人 人と自然の会 藤本真里，新人研修，NPO法人 人と自然の会，博物館。(4名)

藤本真里，2012.10，「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」，講師，いきいき学舎・フレミラ 専門コース「環境・自然コース」1年生，宝塚市立老人福祉センター，宝塚市。(36名)

藤本真里，2012.10，「理想のまちづくりを考える」，講師，いきいき学舎・フレミラ 専門コース「環境・自然コース」2年生，宝塚市立老人福祉センター，宝塚市。(28名)

藤本真里，2012.10，「スウィーツカフェ 石だけじゃない山陰海岸ジオパークの魅力」，講師，平成24年度ひょうご講座2012，兵庫県民会館，公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構。(25名)

藤本真里，2012.8，「住民主体のまちづくり 道具としての自治基本条例」，講師，タウンミーティング2011，夢前福祉センター，姫路市。

藤本真里，2012.8，ワークショップ「山陰海岸ジオパーク パンフレットづくり」，講師，兵庫県立大学全県キャンパスプログラム「山陰海岸ジオパーク キャッチフレーズづくり」，兵庫県立大学。

藤本真里，2012.9，「住民参画型公園運営」，講師，有馬富士公園公開セミナー'12，兵庫県阪神北県民局と共催，三田市。(19名)

藤本真里，2012.11-12，「有馬富士公園のしくみ」他，講師およびセミナー全体の企画・運営，有馬富士公園公開セミナー'12，兵庫県阪神北県民局と共催，三田市。(19名×4日 76名)

藤本真里，2012.4-2013.1，講義・ワークショップ実施およびセミナー全体の企画・運営，有馬富士公園公開セミナー'12，兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬

高校人と自然科と共催, 三田市. (16名×10日 160名)

藤本真里, 2011.4-2012.1, 講義・ワークショップ実施
およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公
開セミナー'12, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬
高校総合学科と共催, 三田市. (12名×5日 60名)

藤本真里, 2012.12, 全体の企画・運営・進行, 有馬富士
公園学生サミット, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三
田市. (49名)

兵庫県立大学・大学院教育

ジオと地域 (分担)

非常勤講師

神戸学院大学人間環境実習Ⅱ2011.9-2012.1

■ミニキャラバン事業

2012.10, ありまふじフェスティバル (主催者), 有馬
富士公園運営・計画協議会, 有馬富士公園.

2012.11, ふれあいの祭典 (主担当), ふれあいの祭典
実行委員会, 姫路城.

2013.2, 猪名川町立楊津小学校

■連携事業

連携グループ等

NPO法人 人と自然の会 (副担当)

協力事業

2012.5, NPO法人 人と自然の会 新人研修, NPO
法人 人と自然の会 (セミナー実施)

■フェスティバル等

まんぷくストリート担当

2.シンクタンク事業

■受託研究

「ミツカンよかわビオトープの運営に関する研究」. 研
究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万
円)

「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その
6」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

■行政支援

委員会等 (計20件)

2006.7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫
県阪神北県民局.

2005.6- 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市.

2003.4- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝
塚市.

2012.4-2014.3 宝塚市景観審議会, 委員, 宝塚市.

2005.9- 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団
法人しそ森林王国協会.

2008.12- 兵庫県内水面漁場管理委員会, 委員, 兵庫
県.

2007.7- 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委
員, 兵庫県阪神南県民局.

2012.4- 尼崎の森中央緑地 コーディネーター会議,
委員, 兵庫県阪神南県民局.

2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.

2008.8- 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会, 委
員長, 尼崎市.

2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運
営会議, 委員長, 姫路市.

2011.1 姫路城応援事業審査会, 委員, 姫路市.

2010.4-2010.5 平成22年度尼崎21世紀の森づくり協
議会事業企画提案コンペ審査会, 委員, 兵庫県県土
整備部まちづくり局.

2012.4-2013.3 平成24年度地域再生応援事業 採択
テーマ選考委員会, 委員, 兵庫県企画県民部.

2012.4-2013.3 まちづくり基本方針検討委員会, 委
員, 兵庫県まちづくり部.

2012.5-2014.5 猪名川上流広域ごみ処理施設組合指
定管理者評価協議会, 委員長, 猪名川上流広域ごみ
処理施設組合.

2012.4-2013.3 三田市市民活動推進委員会, 委員長,
三田市.

2012.8-2014.7 宝塚市行政評価委員会, 委員, 宝塚
市.

2012.8-2013.3 姫路城内樹木パトロール, 委員, 姫
路市.

2012.10-2013.3 宝塚市再生可能エネルギー推進研究
会議, 委員, 宝塚市.

相談・指導助言

来訪者 58件, 130名. 電話・FAX相談95件, メイ
ル相談158件.

赤澤 宏樹, HirokiAKAZAWA

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門
准教授。

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, International Federation of Parks and Recreation Administration 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

企画調整室 室長

篠山層群恐竜化石等発掘調査検証委員会 事務局

2. タスクフォース

情報システム更新タスクフォース メンバー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」, 研究代表者。

部門研究「産官学協働による尼崎21世紀の森づくりの推進に関する研究」, 研究代表者。

■論文・著書

◎嶽山洋志・赤澤宏樹・中瀬勲(2013) 環境教育における児童の学習に資する学校ビオトープシミュレーションゲームの開発, 造園技術報告集7, 日本造園学会, 76-79.

◎赤澤宏樹(2012) コミュニティ再生と景観づくり 次世代まで継ぐ地域づくりの手法, 復興の風景像 ランドスケープの再生を通じた復興支援のためのコンセプトブック, マルモ出版, 64-67

■その他著作

◎下村彰男・伊藤弘・入江彰昭・水庭千鶴子・高橋俊守・赤澤宏樹(2012) 災害対策・復興に貢献する造園分野の技術とは, ランドスケープ研究, 76(3), 247-248.

◎赤澤宏樹他(2012) 神戸プログラム 関西WS 震災スタジオ2011 HAT神戸・灘の浜地区 南芦屋浜地区 松本地区 深江地区, 東日本大震災復興支援パネル展PART1 日本造園学会学生ワークショップ作品集, 公益社団法人日本造園学会・公益社団法人東京都公園協会, 50-59.

■研究発表

◎赤澤宏樹(2012) 災害対策・復興に貢献する造園分野の技術とは〜コミュニティ〜. 日本造園学会全国大会震災復興支援ワークショップ, 大阪府立大学, 大阪府.

◎赤澤宏樹・中瀬勲・三橋弘宗(2012) 東日本大震災からの安心・環境による復興のあり方. 兵庫県立大学研究発表会, 兵庫県立大学, 兵庫県.

■学会役員など

日本造園学会, 代議員.

日本造園学会, 論文校閲委員.

日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員.

日本造園学会, 平成23・24年度造園技術報告集委員会, 委員.

日本造園学会, 日本造園学会震災復興支援研究調査ワーキンググループ, コミュニティ担当

日本造園学会関西支部, 幹事.

日本造園学会関西支部, ランドスケープ遺産研究会, 世話人.

日本都市計画学会, 校閲委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

農村計画学会, 校閲委員.

International Federation of Park and Recreation Association Japan, 理事

■助成を受けた研究

◎ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割, 文部科学省科学研究費基盤B, 研究分担者(金額20万円/300万円)

◎産官学協働による尼崎21世紀の森づくりの推進に関する研究, (財)兵庫県立大学科学技術後援財団平成24年度教育研究助成, 研究代表者(金額30万円/30万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2013.3 古写真の収集, 佐用町等.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2012.6, 「ミニ逆さビデオカメラを作ろう」, 博物館(120名).

赤澤宏樹, 2012.7, 「牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう」, 博物館(37名).

赤澤宏樹, 2012.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって写真をとろう」, 博物館(16名).

赤澤宏樹, 2012.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって写真をとろう」(教職員セミナー), 博物館(13名).

赤澤宏樹, 2012.8, 「牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう」(教職員セミナー), 博物館 (43名).
赤澤宏樹, 2012.9, 「ゴミの力, 自然の力」, 博物館 (30名).
赤澤宏樹, 2013.3, 「くるくるアニメを作ろう」, 博物館 (90名).
赤澤宏樹, 2013.2, 「自然に学ぶ公園のつくりかた」, 博物館 (70名).

館外講演など

赤澤宏樹, 2012.4, 「アメリカの風景とライフスタイル」, 講師, 阪神シニアカレッジ国際理解コース, 尼崎市中小企業センター (60名)
赤澤宏樹, 2012.8, 「宝塚らしい景観形成に向けて」, パネリスト, 宝塚市景観フォーラム, 宝塚市西公民館ホール (100名)
赤澤宏樹, 2012.9, 「ひとはくの将来」, 講師, ひとはく20周年記念フォーラム, 兵庫県公館 (100名).
赤澤宏樹, 2012.10, 「環境からのまちづくり」, 講師, まちづくり大学あまがさき, 尼崎市立小田公民館 (40名).
赤澤宏樹, 2012.12, 「住み続けたい地域づくり」, 講師, 篠山市東岡屋地区景観まちづくりWS (30名).
赤澤宏樹, 2012.12, 「阪神南地域夢会議に向けて～ビジョン委員の役割～」, 講師, 阪神南地域ビジョン委員会研修, 阪神南県民局 (20名).
赤澤宏樹, 2012.12, 「地域と共に歩む人と自然の博物館の取り組み」, 講師, 京都橘大学講演会, 京都橘大学 (100名).
赤澤宏樹, 2013.1, 「第2回東岡屋地区里づくり計画検討委員会」, コーディネーター, 篠山市東岡屋公民館 (30名).
赤澤宏樹, 2013.2, 「公園・博物館と地域とのつながり」, 講師, 神戸市公園緑化協会勉強会, 人と自然の博物館 (20名).
赤澤宏樹, 2013.2, 「第3回東岡屋地区里づくり計画検討委員会」, コーディネーター, 篠山市東岡屋公民館 (30名).
赤澤宏樹, 2013.3, 「講評 生涯学習とまちづくりの視点から」, 講師, だいたい地域塾, 大東市立生涯学習センターアクロス (100名).
赤澤宏樹, 2013.3, 「第4回東岡屋地区里づくり計画検討委員会」, コーディネーター, 篠山市東岡屋公民館 (30名).

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担)
ランドスケープ計画特論

非常勤講師

2005- 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.
2005- 「農業と社会」, 奈良県立大学.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.5.29-6.1, 三田市立富士中学校, 三田市立八景中学校, 三田市立長坂中学校, 3名.

■展示

2012.10, 兵庫県佐用町古写真展, 代表, 佐用町.

2.シンクタンク事業

■受託研究

「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」, 分担者, 三田市. (70万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

■行政支援

委員会等 (計26件)

2003.8- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神南県民局.
2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.
2009.9- 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.
2009.9- 尼崎市総合計画審議会「あり方検討」専門部会, 委員, 尼崎市.
2009.10- 西宮市都市景観審議会, 委員, 西宮市.
2009.10- 西宮市都市景観審議会アドバイザー部会, 委員, 西宮市.
2010.4- 大阪市立長居公園管理運営協議会, 会長, 大阪市.
2010.7- 三田市景観形成推進員, 三田市.
2010.9- 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
2011.4- 尼崎21世紀の森中央緑地コーディネーター会議, 座長, 尼崎港管理事務所.
2011.2- 尼崎市きょうDo推進検証会議, 副座長, 尼崎市.
2012.1- 県立西武庫公園移譲に伴う検討会, コーディネーター, 尼崎市.
2012.4- 西武庫公園ネットワーク, 座長, 尼崎市.
2012.4- 宝塚市景観審議会, 委員, 宝塚市.
2012.4- 宝塚市景観審議会デザイン協議部会, 委員, 宝塚市.
2012.4- 阪神南地域ビジョン・シンボルプロジェクト会議, コーディネーター, 阪神南県民局.
2012.6-2013.3 加東市とひとはく協力協定連携推進会議, 委員, 加東市.
2012.11- 大阪府民の森等指定管理候補者選定委員会,

副委員長，大阪府.

2012.12-2014.12 尼崎市環境審議会，委員，尼崎市.

2012.12-2014.12 尼崎市環境審議会・尼崎市環境基本
計画改定ワーキンググループ，委員，尼崎市.

2012.8- 三田市行政改革推進会議，委員，三田市.

2012.11-2013.3 篠山市東岡屋地区景観形成支援事業，
アドバイザー，公益財団法人兵庫県まちづくり技術
センター.

相談・指導助言

来訪者 30 件，70 名. 電話・FAX 相談 20 件，メール相
談 50 件.

武田 重昭, Shigeaki TAKEDA

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員

昭和50年兵庫県神戸市生. 大阪府立大学大学院生命環境
科学研究科博士後期課程修了. 博士（緑地環境科学）. 日
本造園学会, 日本都市計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

企画調整室 経営戦略会議運営 ひとはく将来ビジョ
ン作成

2. 研究開発部門

紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 屋外空間の活用による団地及びニュータウン再生に
関する研究
2. 屋外空間の使いこなしによる地域活性化に関する研
究
3. 地域に対する誇りや愛着の醸成に関する研究
4. 都市再生における建築とオープンスペースとの関係
性に関する考察
5. 「都市空間のつくり方」に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割—持
続可能なサポートシステム構築に関する研究—, 研
究分担者.

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムと
ソーシャルキャピタル形成」, 研究分担者.

■論文・著書

◎武田重昭・中瀬勲（2013）地域間比較によるシビッ
クプライドの醸成に資する学習プログラムの実線.
造園技術報告集, VOL.7, 64-67.

武田重昭・穂苅耕介・片岡由香（2012）領域の変化か
らみた「都市をつくる仕事」の可能性と展望. 都市
計画. Vol.61 No.3. 27-30

武田重昭（2013）マネジメント時代のみどりの役割—
協働の先にあるもの—. 都市緑化技術. No.87. 6-9

武田重昭（2012）水都大阪のシビックプライド-市民が
響く都市政策のかたち-. 都市の活力と魅力研究会編.
16-24, 49-68. 一般財団法人アジア太平洋研究所

武田重昭（2012）ランドスケープ計画・設計論. 丸田
頼一・島田正文編. 37-43, 49-52. 技法堂出版株式
会社

武田重昭（2012）2012年版関西経済白書. 一般財団法
人アジア太平洋研究所編. 206-216. 一般財団法人ア
ジア太平洋研究所

武田重昭（2012）地域空間の包容力と社会的持続性.

阿部大輔・的場信敬編. 247-275. 日本経済評論社

TAKEDA Shigeaki（2012）Kansai in the Asia Pasific
Toward a New Growth Paradigm. Asia Pacific Institute of
Reserch, Osaka. 126-138. Asia Pacific Institute of
Reserch, Osaka

■その他著作

武田重昭（2012）博物館と地域の未来を拓く「ひとはく
将来ビジョン」, ひとはく新聞（10月13日）.

武田重昭（2013）博物館と地域の未来を拓く「ひとはく
将来ビジョン」, ひとはく新聞（3月15日）.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

武田重昭（2012）STUDY ON REVITALIZATION OF
HOUSING COMPLEXES THROUGH UTILIZATION
OF OPEN SPACES BASED ON RESIDENTS'
ACTIVITIES. International Conference on
Archi-Cultural Translations through the Silk Road, 武庫
川女子大学, 西宮市.

■学会役員など

日本造園学会, 編集委員会委員

日本都市計画学会, 編集委員会委員

日本都市計画学会, 学術委員会委員

日本都市計画学会関西支部, 東日本大震災復興都市づく
り特別委員会委員

兵庫県立大学政策科学研究所, 客員研究員

NPO法人パブリックスタイル研究所, 理事

2. 資料収集・整理

■資料収集

2012.7 エコロジカルネットワーク関連資料の収集.
東京都など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

武田重昭, 2012.4, 「みんなの庭」, 博物館（10名）

◎武田重昭, 2012.6, 「人と自然の“親子”ピクニック」,
博物館（10名）

武田重昭, 2012.8, 「まちづくりのルール」, 博物館（教
職員セミナー20名）

武田重昭, 2012.10, 「名画・名景に見る人と自然」, 博
物館（4名）

◎武田重昭, 2012.9, 「カメラぶらり散歩香住編」, 香
美町香住区中央公民館（6名）

◎武田重昭, 2012.9, 「人と自然のピクニック in 明石公
園」, 明石公園,（20名）

武田重昭, 2012.3, 「ピクニックの歴史」, 博物館（10
名）

兵庫県立大学・大学院教育

博物館実習（指導補助）

非常勤講師

2012.6－2011.7. 「都市景観保全論」，兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科.

■フェスティバル等

2012.11 ひとはくフェスティバル，「搬入誘導」（責任者）.

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等（計3件）

2010.8－. 三田市景観形成推進員，三田市都市整備部

2010.10－. 三田市景観審議会審査部会，委員，三田市都市整備部

2012.3－. 阪神北地域ビジョン委員会，専門委員，阪神北県民局

相談・指導助言

来訪者5件，10名. 電話・FAX相談5件，メール相談5件.

田原 直樹, NaokiTAHARA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ次長(研究系)

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授。

昭和28年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。日本造園学会, 日本都市計画学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

次長(研究系) 部長代理

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究
2. 環境文化に関する考察

■論文・著書

◎上田萌子・田原直樹・上甫木昭春(2013)近世前期の絵図とボーリングデータから捉えた大阪湾の干拓地域における浅海域の変遷、ランドスケープ研究、76巻5号

■その他著作物

◎田原直樹(2013)ひとはくの兄弟組織“しぜんけん”二十歳の記念行事を開催しました、ひとはく新聞 2013/3/15号

■学会役員など

日本造園学会, 論文集委員会委員

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎田原直樹, 2012.5, 「博物館の建物・不思議見学ツアー」, 博物館。(10名)

田原直樹, 2012.4, 「都市の歩き方・名所編 大阪市上町台地寺町界隈を歩く」, 大阪市。(16名)

田原直樹, 2012.5, 「都市の歩き方・名所編 大阪府池田界隈を歩く」, 大阪市。(20名)

田原直樹, 2012.5, 「都市の歩き方・名所編 大阪府高槻界隈を歩く」, 大阪市。(20名)

田原直樹, 2012.9, 「収蔵資料をお見せします!江戸時代の兵庫の姿」, 博物館。(10名)

田原直樹, 2012.10, 「都市の歩き方・企画編 京都市上京界隈を歩く」, 京都市。(18名)

田原直樹, 2012.10, 「都市の歩き方・名所編 清盛の兵庫を歩く」, 神戸市。(8名)

田原直樹, 2012.10, 「都市の歩き方・古地図編 大阪

市伝法界隈を歩く」, 大阪市。(18名)

田原直樹, 2013.2, 「環境と共生する都市を考える」, 博物館。(40名)

館外講演など

田原直樹, 2012.9, 「てくてく歩き 今昔比較時間旅行 清盛の兵庫」, 兵庫県いなみ野学園 同窓研修会, 講師, 兵庫県いなみ野学園 同窓研修会, 神戸市(22名)

田原直樹, 2012.10, 「地域創造機構オープニングイベント」, 兵庫県立大学, 基調講演・シンポジスト, 兵庫県立大学, 兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス(150名)

田原直樹, 2012.10, 「都市の歴史を通してみた人と自然」, いなみ野学園高齢者大学講座(3年), 講師, (公財)兵庫県生きがい創造協会, 兵庫県いなみ野学園(290名)

田原直樹, 2012.12, 「兵庫県立大学自然・環境科学研究所開設20周年記念シンポジウム」, 兵庫県立大学自然・環境科学研究所, コーディネータ, 兵庫県立大学自然・環境科学研究所, 六甲荘(200名)

田原直樹, 2013.2, 「人と植物-名所図会から見た風景の変遷」, 姫路市立生涯学習大学校, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市(50名)

田原直樹, 2013.1, 「都市の歴史を通してみた人と自然」, いなみ野学園高齢者大学講座(1年), 講師, (公財)兵庫県生きがい創造協会, 兵庫県いなみ野学園(310名)

田原直樹, 2013.3, 「都市の歴史を通してみた人と自然」, いなみ野学園高齢者大学講座(2年), 講師, (公財)兵庫県生きがい創造協会, 兵庫県いなみ野学園(350名)

田原直樹, 2013.2, 「人と植物-都市の緑と人とのかわり」, 姫路市立生涯学習大学校, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市(50名)

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化特別演習(環境人間学研究科, 兼任, 2単位) 都市設計論及び演習(兵庫県立大学環境人間学部, 兼任, 2単位)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等(計19件)

2012.4-。揖保川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。

2012.4-9。兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県。

2012.4-。兵庫県国土利用計画審議会, 委員, 兵庫県。

2012.4-。中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局。

2012.4-。SSH運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会。

- 2012.4－. 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市.
2012.4－. 姫路市景観・広告物審議会, 委員, 姫路市.
2012.4－. 姫路市景観賞選考委員会, 委員, 姫路市.
2012.4－2013.3. 姫路市景観・広告物審議会専門部会,
部会長, 姫路市.
2012.4－. 姫路市姫路駅放置自転車対策協議会, 会長,
姫路市.
2012.4－. 姫路港網干西地区(木材港)利用計画検討
協議会, 会長, 姫路市.
2012.4－. 姫路市イベントゾーン基本計画検討懇話会,
副会長, 姫路市.
2012.4－2013.3. キャスティ21コアゾーン等開発提案
競技審査委員会, 副委員長, 姫路市.
2012.4－. 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.
2012.4－. 加西市土地利用調整委員会, 会長, 加西市.
2012.4－. 加西市生物多様性地域戦略策定委員会, 委
員, 加西市.
2012.4－2013.3. 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市.
2012.4－. 丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財)丹波
の森協会.
2012.4－. 丹波OB大学運営委員会, 委員, (財)丹波
の森協会.

相談・指導助言

来訪者 14 件, 30 名.

山崎 義人, YoshitoYAMAZAKI

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ／地域展開推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 講師。

昭和47年神奈川県生。早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。日本建築学会、日本都市計画学会、農村計画学会、日本生活学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 地域展開マネージャー・担当 地域担当（丹波地域担当）

2.研究開発部門

研究シンクタンク推進室、資料担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 集落持続に向けた民俗慣行にみる居住継承システムの解明
2. 市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究
3. スマトラ島西部地震からの集落再建プロセスの空間論的比較分析
4. アーバン・レジリエンスの研究

■共同研究

総合共同研究「地域展開する博物館学の研究」、研究分担者。

総合共同研究「山陰海岸ジオパーク」、研究分担者。

部門研究「古写真にみる自然との共生に関する研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎山崎義人「農村集落における時間的周期に着目した環境学習の実践」日本建築学会技術報告集、p1043-p1046、2012.10

■その他著作

山崎義人「書評 地井昭夫著 「漁師はなぜ、海を向いて住むのか -漁村・集住・海廊」農村計画学会誌31巻3号、2012.12

山崎義人「地井昭夫著 「漁師はなぜ、海を向いて住むのか -漁村・集住・海廊-を読んで」東日本大震災復興・後方支援フリーペーパーAntenna vol.03、東日本大震災復興・後方支援ユニット@神戸、2012.12

山崎義人「『The Resilient City』を概観する」東日本大震災復興・後方支援フリーペーパーAntenna vol.02、東日本大震災復興・後方支援ユニット@神戸、2012.10

山崎義人「『The Resilient City』を読みはじめて」東日本大震災復興・後方支援フリーペーパーAntenna vol.01、東日本大震災復興・後方支援ユニット@神戸、2012.8

■ブログへの情報提供

ゆめはく関連多数

■研究発表

三橋弘宗、北村俊平、山崎義人、上田萌子、田中哲夫、他「海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作」展示学会、2012.6

■学会役員など

日本建築学会、農村計画委員会、委員。

日本建築学会、農村計画委員会、ルーラルネットWG、幹事

日本建築学会、農村計画委員会、集落居住小委員会、主査
日本建築学会、農村計画委員会、中山間地域組織小委員会、委員

日本建築学会、近畿支部、農村計画部会、委員

日本建築学会、近畿支部、都市計画部会、委員

日本建築学会、東日本復興支援本部・復旧復興支援部会・委員

日本建築学会、奨励賞選考委員会・委員

日本都市計画学会、学術委員会・委員

日本都市計画学会、関西支部、幹事

日本都市計画学会、関西支部、国際交流委員会、副委員長

日本都市計画学会、関西支部、東日本震災復興都市づくり特別委員会・委員

農村計画学会、査読委員会、委員

■助成を受けた研究

集落持続に向けた民俗慣行に見る居住継続システムの解明。文部科学省科学研究費若手研究(B)、研究代表者（金額70万円/320万円）。

市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究。文部科学省科学研究費基盤研究(B)、研究分担者（金額20万円/320万円）。

スマトラ島西部地震からの現地斬進型と集落移転型集落再建プロセスの空間論的比較分析文部科学省科学研究費基盤研究(C)、研究分担者（金額20万円/420万円）。

アーバン・レジリエンス研究会、日本都市計画学会関西支部研究助成、（研究代表者）（金額10万円/20万円）

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.7-8 ラッピングデザインコンペティション関連資料収集。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

山崎義人、2012.4「体感、三角の力。多面体おもちゃをつくります-テンセグリティ編」、演示B、博物館（約30名）

山崎義人、2012.4「体感、三角の力。割り箸を組んで、

乗ってみます-トラス編-, 演示 B, 博物館 (約 30 名)
 山崎義人, 2012.4 「体感、三角の力。小さなお家づくり
 ます-ドーム編-, 演示 B, 博物館 (約 30 名)
 山崎義人, 2012.6 「まち歩きからまちづくりへ 内発的
 まちづくり実践編」, 博物館, 神戸市シルバー大学 (75
 名)
 山崎義人, 2012.7 「ペーパークラフト「アジアの家」カ
 ンボジアの家」, 演示 B, 博物館 (約 5 名)
 山崎義人, 2012.7 「ペーパークラフト「アジアの家」ネ
 パールの家」, 演示 B, 博物館 (約 5 名)
 山崎義人, 2012.7 「ペーパークラフト「アジアの家」韓
 国の家」, 演示 B, 博物館 (約 5 名)
 山崎義人, 2012.9 「建築スケッチ紀行 10 「南大阪教会」,
 演示 B (約 5 名)
 山崎義人, 2012.10 「建築スケッチ紀行 11 「西宮商工会
 館」, 演示 B (約 5 名)
 山崎義人, 2012.10 「建築スケッチ紀行 12 「甲南女子大
 学」, 演示 B (約 5 名)

館外講演など

山崎義人 (課題提供) 「古写真を収集・分析・還元について」
 日本上流文化圏研究所・勉強会, 2012.12.
 山崎義人 (課題提供) 「ムラ・ノラ・ヤマを通じた集落全体
 の理解」『地域多様性×学びの可能性』兵庫地理学協会 2012
 特別例会, 2012.12
 山崎義人 (コーディネーター) 「むらを住み継ぐカタチ #01 丹
 波青垣」日本建築学会集落居住小委員会, 2012.12
 山崎義人 (課題提供) 「まちの再建計画づくり」『そなえる
 鎌倉』ひと・まち・鎌倉ネットワーク, 2012.11
 山崎義人 (課題提供) 「人口増加を続けた坊勢島について」
 『車座 座談会 持続可能な地域づくりのあり方』大分大学
 福祉環境工学科, 2012.11
 山崎義人 (課題提供) 「まちの再建計画づくり」『そなえる
 鎌倉』ひと・まち・鎌倉ネットワーク, 2012.9
 山崎義人 (トーカー) トークイベント「地方をデザインする
 仕事、都市をつくる仕事」, 紀伊国屋書店新宿南口店, 2012.9
 山崎義人 (コメンテーター) 篠山景観フォーラム, 篠山市,
 2012.8
 山崎義人 「住居とは何か」ボランティア研修, キッズプラザ
 大阪, 2012.7
 山崎義人 (トーカー) 「いま、都市をつくる仕事」を語るト
 ークイベント, 紀伊国屋書店新宿本店, 2012.6
 山崎義人 (課題提供) 「パブリックマインドで生きるロール
 モデル」『都市をつくる仕事』の未来を語る Crosstalk #3 久
 隆浩と「なる都市」の方々, 学芸出版社/新しい 教程委員
 会/次世代の都市をつくる仕事研究会, 2012.4

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学「人と自然の共生」分担
 兵庫県立大学大学院・修士論文 (指導補助)

■キャラバン事業

主担当

2012.3 西紀 SA 上り線 「丹波地域の恐竜化石」

おもれえ ～！山陰海岸ジオパーク」

副担当

2012.11 陵北小学校「ゆめはく」

■学校教育支援

講師派遣

2012.7. 「キッズプラザ・ボランティア研修」, 講師,
 ボランティア (役 30 名).

■研究生等の受入

博物館実習

2012.8, 関西学院大学 1 名, 北海道大学 1 名, 岡山理科大
 学 1 名

卒論生等

2012.4.1 - 2013.3.31, 野上耕太郎 (早稲田大学大学院理
 工学研究科修士課程 2 年), 中心組織によるバイオマ
 ス資源の利用管理を支える体制の再構築.

2012.4.1 - 2013.3.31, 遠藤翼 (早稲田大学大学院理工学
 研究科修士課程 2 年), 漁村集落における事前復興計
 画.

■フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 「車両の誘導」.

■展示

ミニ企画展

山崎義人「今和次郎 直筆入り図書資料を発見 ～生活とカ
 タチを「採集」したユニークな学者」トピックス展

2012.11-2013.1

山崎義人・石田弘明・高野温子「ラッピング・デザイン・コ
 ンペティション 入選作品展示会」人と自然の博物館,
 2012.9-10

山崎義人・石田弘明・高野温子「ラッピング・デザイン・コ
 ンペティション 応募作品展示会」人と自然の博物館,
 2012.8

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内 1 回, 20 名

■行政支援

委員会等 (計 4 件)

2012.4 - 森の学校復活大作戦実行委員会, 委員, 篠山市
 環境課.

2012.4 - 空き家活用検討会, 委員, 朝来市建設課.

2012.5 - 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会
 議」アドバイザー, 山陰海岸時オーパーク推進協議
 会

2012.6 - 山陰海岸ジオパーク学術部会・委員, 山陰
 海岸時オーパーク推進協議会

相談・指導助言

来訪者数件, 役 10 名. 電話・FAX 相談数件, メール
 相談数件.

■学会開催等支援

2012.12 日本建築学会農村計画委員会集落居住小委
 員会公開研究会. 15 名.

上田 萌子, MoekoUEDA

自然・環境マネジメント研究所
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ
研究員

昭和57年愛知県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士前期課程修了. 緑地環境学修士. 日本造園学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室 淡路地域担当

2.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 人材育成セミナー担当
(専門編全2回, 入門編2回)

3.研究開発部門

兵庫県シンクタンク等協議会幹事, 相談件数とりまとめ, 20周年出版部会パンフレット編集・出版担当, 環境計画研究部門研究担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 塩性湿地の景観変遷と住民の管理活動に関する研究
2. 絵図とボーリングデータを使った近世の大阪湾における干拓地の変遷に関する研究

■共同研究

総合共同研究「東日本大震災の被災地支援のあり方に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景観の評価に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

上田萌子・田原直樹・上甫木昭春(2013) 近世前期の絵図とボーリングデータから捉えた大阪湾の干拓地域における浅海域の変遷. ランドスケープ研究, Vol.76(5)

上甫木昭春・上田萌子(2012) 大阪臨海部の埋め立てと環境変化. 「絵図から読み解く近世大坂三郷周辺地域の環境」, 10-21, 埋立都市大阪研究会.

■その他著作

上田萌子(2012) 第14回ボルネオジャングル体験スクールを終えて. ひとはく新聞(10月13日)

上田萌子(2012) ひとはく20年のお宝「ウェリン・ガーデン・シティの都市計画資料」. ひとはく新聞(12月26日)

上田萌子(2013) 丹波地域の化石資源を活かした人づくりのための調査研究報告書. たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会

■学会役員など

日本造園学会全国大会, 運営委員.

助成を受けた研究

橋本佳延・三橋弘宗・上田萌子.2012.6-2013.3「市町における生物多様性地域戦略策定を促進・阻害する要因の解明」一般財団法人 地域政策研究会調査研究助成(20万円)

橋本佳延・三橋弘宗・上田萌子.2012.7-2013.3「市町における生物多様性地域戦略策定の支援のあり方に関する研究」兵庫県シンクタンク等協議会「自主研究グループに対する研究助成」(30万円)

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎上田萌子, 2012.4-2013.3, 「浮世絵を使って立体カードをつくろう」, 博物館. (全3回, 83名)

上田萌子, 2012.4, 「博物館の資料と立体カード作り」, 大阪府立泉北高等学校1年生, 博物館. (67名)

◎上田萌子, 2012.4, 「成ヶ島の塩性湿地を見て歩く」, 洲本市. (20名)

◎上田萌子, 2012.5-2013.3, 「立版古(たてばんこ)をつくろう ~歌川広重「名所江戸百景」に描かれた季節の風景~」, 博物館. (全3回20名)

上田萌子, 2012.6, 「博物館の資料と情報処理システムの概要」, 大阪府立大学生命環境科学部3年生, 博物館. (21名)

上田萌子, 2012.7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, マレーシア. (分担者)

三橋弘宗, 橋本佳延, 上田萌子. 2012.8「生物多様性協働フォーラム 第4回」, 徳島市. (300名)

三橋弘宗, 橋本佳延, 上田萌子.2013.1「生物多様性協働フォーラム 第6回」, 大津市. (300名)

上田萌子, 三橋弘宗, 美濃杏奈. 2013.2「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式 サイドイベント(生物多様性地域連携促進セミナー in 兵庫)」, 博物館. (70名)

橋本佳延, 上田萌子. 2013.2「生物多様性地域戦略策定の現状と課題(近畿圏における生物多様性地域戦略策定促進にかかる研修会)」, 神戸市. (31名)

兵庫県立大学・大学院教育

2012.4, ランドスケープ計画特論(指導補助)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2012.6-8 ひとはくキャラバン2012 in 淡路ハイウェイオアシス

■ミニキャラバン事業

2012.10, 中播磨ふれあいフェスティバル(分担者), 中播磨ふれあいフェスティバル実行委員会, 大手前公園.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.5.29-6.1, 三田市立富士中学校, 三田市立八景中学校, 三田市立長坂中学校, 3名.

遠隔事業

2012.5-2013.2, 「古写真から地域のくらしの移り変わりを調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生. (5名)

■フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 「まんぷくストーリー」(責任者).

■展示

企画展

ひとつはく多様性フロア魅せる収蔵庫トライアル (分担者)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「丹波地域の化石資源を活かした人づくりのための調査研究」. たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会, 代表者 (金額39万円).

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫の案内, 4回, 21名.

■行政支援

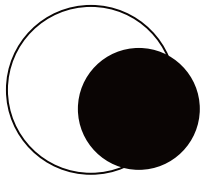
委員会等 (計2件)

2010.8-, 三田市景観形成推進員, 三田市

2012.5-2012.7, 尼崎21世紀の森づくり協議会事業企画提案コンペ審査会審査委員, 兵庫県県土整備部

相談・指導助言

来訪者4件, 8名. 電話・FAX相談10件, メール相談15件.



個人別成果報告に関する資料 No. 5

● 自然・環境再生研究部 植生創出研究グループ／
生物多様性保全研究グループ

服部 保, Tamotsu HATTORI

自然・環境再生研究部
植生創出研究グループ／事業推進部門
研究部長／総合調整担当
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部
門 教授。
昭和23年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士
課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 日本造園学会, 植
生学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

総合調整担当

2. 研究開発部門

部門研究調整担当, 会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山, 草原, 照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究代表者。

■論文・著書

- 服部 保 (2012) 都市山六甲. 川越栄子編 神戸地域
学, 147-160. 大学教育出版, 岡山.
- 服部 保・南山典子・栃本大介・石田弘明・黒田有寿
茂 (2012) 八丈島における照葉樹林の成立要因一特
に土地利用について一. 植生学会誌, 29 : 27-40.
- 服部 保・南山典子・岩切康二・栃本大介 (2012) 照
葉樹林帯の植生一次遷移一特に桜島の溶岩原につい
て一. 植生学会誌, 29 : 75-90.
- 服部 保・南山典子・黒田有寿茂 (2012) 日本の照葉
自然林の群落体系. 人と自然, No.23 : 1-29.
- 石田弘明・山名郁実・小舘誓治・服部 保 (2012) 淡
路島の森林伐採跡地に分布する外来木本ナンキンハ
ゼ群落の生態的特性と成因. 植生学会誌, 29 : 1-14.
- 石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康
二 (2012) 屋久島低地部の照葉二次林に対するヤク
シカの影響とその樹林の自然性評価. 植生学会誌,
29 : 49-72.

■その他著作

- 服部 保 (2012) 里山の再生と課題. グリーン・エー
ジ, 460 : 4-6.
- 服部 保 (2012) 里山とは何か, 里山の歴史を知る.
エコひょうご, 65 : 1-2.
- 服部 保 (2012) 北摂の里山. hitosato, 1 : 106.
- 服部 保 (2012) 兵庫県の植物群落一森林ボランティア
育成教本一, 兵庫県緑化推進協会.
- 服部 保 (2013) 姫路城の自然と今後の植物管理. 姫
路城の自然, 57-65. 姫路城管理事務所.
- 服部 保 (2013) 一庫ダムの景観育成. 一庫ダム管理
30年のあゆみ.
- 服部 保 (2013) 植生遷移一里山は今後どうなるのか
一, ひょうご みどりの風, 34:1.
- 服部 保 (2013) 世界一の兵庫の自然. ひとく新聞
2013/3/15号.
- 服部 保 (2013) 照葉樹林構成種目録. 兵庫県立人と
自然の博物館.
- ◎石田弘明・服部 保 (2012) ニホンジカの不嗜好性
植物の緑化への応用. GR 現代林業, 2012月10月号:
40-43.
- ◎石田弘明・武田義明・塩谷智也・服部 保 (2012)
ニホンジカが淡路島論鶴羽山のアカガシ林に与えた
影響. 人と自然, 23:69-79.
- ##### ■研究発表
- 服部 保・南山典子・黒田有寿茂・橋本佳延・石田弘
明 (2012) 南西諸島の照葉樹林の植物相と種多様性.
植生学会第17回大会, 千葉大学, 松戸市.
- 服部 保 (2012) 兵庫県における生物多様性地域戦略
の事例. 平成24年度日本造園学会全国大会ミニフォー
ラム・生物多様性地域戦略の策定技術, メルパルク
京都, 京都市.
- Kuroda, A., Fujihara, M., Sawada, Y. & Hattori, T. (2012)
Growth and seed germination traits of the locally
threatened coastal plant species *Linaria japonica*: planting
experiments and germination tests for its population
restoration. The 55th Symposium of the International
Association for Vegetation Science, Hotel Hyundai
Mokpo, Mokpo.
- ##### ■助成を受けた研究
- 西脇市等における植生調査, 整備計画, 環境調査. サ
ントリーホールディング(株), 研究代表者 (金額100
万円).
- ##### ■賞罰
- 兵庫県科学賞 (兵庫県)
兵庫県立大学功績賞 (兵庫県立大学)

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2013.3 植物および植生景観の映像資料収集。
神戸市, 宝塚市, 尼崎市, 姫路市, 伊丹市, 三田市,
川西市, 北海道, 大阪府, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄
県。

2012.4-2013.3 照葉樹林の映像資料収集。沖縄県(石
垣島), 鹿児島県(奄美大島), 宮崎県。

■整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集, 照葉樹林の映像
資料収集。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

服部 保, 2012.5, 「博物館セミナー 神社の森, 照葉
樹林と日本人」, 博物館。(40名)

服部 保, 2012.8, 「教職員セミナー 身近な自然, 里
山林と草原」, 博物館。(14名)

服部 保, 2012.9, 「博物館セミナー 万葉集と枕草子」,
博物館。(20名)

服部 保, 2012.6, 「特注セミナー ジーンバンクの資
料を用いた自然環境の保全管理について」, 大阪府立
大学, 博物館。(20名)

服部 保, 2012.6, 「特注セミナー 里山について」,
武庫川女子大学附属高等学校, 博物館。(35名)

服部 保, 2012.7, 「特注セミナー 森について」, 明
石市立鳥羽小学校, 博物館。(88名)

服部 保, 2012.12, 「特注セミナー 里山」, ビジョン
委員会水グループ, 博物館。(40名)

服部 保, 2013.3, 「特注セミナー 里山って何だ」,
中播磨県民局ビジョン委員会, 博物館。(30名)

オープンセミナー

服部 保, 2012.5, 「かしわもちとちまき」, 博物館。(6
名)

服部 保, 2012.5, 「講義 展示で学ぶひょうごの里山」,
博物館。(15名)

服部 保, 2012.9, 「秋の七種」, 博物館。(10名)

服部 保, 2013.1, 「春の七草」, 博物館。(10名)

館外講演など

服部 保, 2012.4, 「講演 森林のはたらき①照葉樹林
と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ,
(90名)。

服部 保, 2012.4, 「講演 環境保全活動について」,
講師, 神鋼連合, (80名)。

服部 保, 2012.4, 「挨拶 チュチュアンナの森開き式
典」, (株)チュチュアンナ, (100名)。

服部 保, 2012.4, 「講演 六甲と住友ゴムの活動」,
渦が森緑化ボランティア, 住友ゴム(株), (100名)。

服部 保, 2012.4, 「講演 都市山六甲山における森づ

くり」, 講師, 神戸経済同友会, (60名)。

服部 保, 2012.4, 「講演 里山・都市山・まち山を考
える」, 講師, 宝塚市自然保護協会, (100名)。

服部 保, 2012.4, 「講義 生物種の絶滅と生物多様性」,
講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名)。

服部 保, 2012.5, 「観察会 中山寺周辺で植生観察」,
講師, フレミラ宝塚, (30名)。

服部 保, 2012.5, 「講演 里山とまち山」, 講師, フ
レミラ宝塚, (30名)。

服部 保, 2012.5, 「講義 神戸の都市山・六甲山」,
講師, 神戸学, 神戸市看護大学, (200名)。

服部 保, 2012.5, 「講義 生物多様性西宮戦略」, 講
師, 西宮市役所政策調整会議, (50名)。

服部 保, 2012.5, 「指導 河川の植物」, 講師, 伊丹
市立池尻小学校, (200名)。

服部 保, 2012.5, 「講義 植物種の保全への取組み①
フジバカマなど」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校,
(70名)。

服部 保, 2012.5, 「講義 植物種の保全への取組み②
外来種対策」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70
名)。

服部 保, 2012.6, 「講義 里山林整備と社家郷山の現
状に関する基礎知識」, 講師, 「ユープの森・社家郷
山」森林整備ボランティア養成講座, (30名)。

服部 保, 2012.6, 「講義 大阪ガス姫路製造所の生物
多様性保全への取組み」, 講師, 大阪ガス姫路製造所,
(40名)。

服部 保, 2012.6, 「講演 地域の自然を学ぶⅠ」, 講
師, 阪神シニアカレッジ, (50名)。

服部 保, 2012.6, 「講義 人と自然の博物館における
植物種の保全」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70
名)。

服部 保, 2012.6, 「講義 植物群落とは何か」, 講師,
姫路市立生涯学習大学校, (70名)。

服部 保, 2012.7, 「講演 地域の自然を学ぶⅡ」, 講
師, 阪神シニアカレッジ, (50名)。

服部 保, 2012.7, 「講演 原生林から里山林へ」, 講
師, 森林ボランティア講座, (110名)。

服部 保, 2012.7, 「講演 六甲山緑化の現状と管理の
方向」, 講師, 日本造園修景協会, (40名)。

服部 保, 2012.8, 「講演 兵庫の里山・里海」, 講師,
兵庫県立大学セミナー, (50名)。

服部 保, 2012.8, 「講演 なぜ日本一の里山なの」,
講師, ひとくらクラブ, (110名)。

服部 保, 2012.9, 「観察会 里山観察」, 講師, シニ
ア自然大学, (70名)。

服部 保, 2012.9, 「講演 神戸の都市山・六甲山」,
講師, 神戸研究学園都市公開講座, (35名)。

服部 保, 2012.9, 「講演 生物多様性と西宮の自然」,
講師, 甲山森林・湿原サポーター養成講座, (40名)。

服部 保, 2012.9, 「講演 里山の現状」, 講師, 南公

園里山講座, (30名).

服部 保, 2012.9, 「討論 生物多様性」, 講師, 水科学フォーラム2012, (160名).

服部 保, 2012.9, 「講演 よみがえる万葉の里山」, 講師, 環境楽座, (30名).

服部 保, 2012.9, 「講演 原生林から里山林へ, 伝統的・先進的里山」, 講師, 北摂里山大学, (35名).

服部 保, 2012.9, 「講演 六甲山の自然の特色」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, (50名).

服部 保, 2012.9, 「講義 照葉樹林」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2012.10, 「講演 里山の基本知識」, 講師, みのお森の学校, (30名).

服部 保, 2012.10, 「講演 生物多様性と里山の保全」, 講師, 宝塚市民カレッジ, (40名).

服部 保, 2012.10, 「指導 鳴瀬川下伊堤野植物観察会」, 講師, 国交省東北地方整備局, (30名).

服部 保, 2012.10, 「講演 万葉集と植物」, 講師, ナシオン創造の森セミナー, (35名).

服部 保, 2012.10, 「講義 照葉樹林」, 講師, 森林動物研究センター, (35名).

服部 保, 2012.10, 「講義 姫路城の植物現地見学」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2012.11, 「指導 七草プロジェクト秋の種子採取」, 講師, 国交省関東地方整備局, (20名).

服部 保, 2012.11, 「講演 猪名川流域の日本一の里山と猪名野笹原」, 講師, 兵庫県立伊丹高校緑窓会, (150名).

服部 保, 2012.11, 「視察 六甲山の里山見本林」, 講師, 国交省六甲砂防事務所, (10名).

服部 保, 2012.11, 「講演 生物多様性保全・復元・創出への取組み」, 講師, あまがさき環境塾, (30名).

服部 保, 2012.11, 「講義 猪名川の自然環境」, 講師, 国交省近畿地方整備局, (30名).

服部 保, 2012.12, 「講演 社叢から明らかとなった照葉樹林の実態」, 講師, 社叢学会, (30名).

服部 保, 2012.12, 「講義 着生植物の保全」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2012.12, 「講義 里山の保全」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2013.1, 「講演 日本一の猪名川上流域の里山と昆虫」, 講師, 伊丹市昆虫館, (140名).

服部 保, 2013.1, 「講義 里山」, 講師, 奥野総合法律事務所, (8名).

服部 保, 2013.1, 「パネリスト 里山についてのパネルディスカッション」, 講師, 北摂里山大学, (100名).

服部 保, 2013.1, 「講義 姫路城の植物と植生」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2013.2, 「講演 生物多様性と里山」, 講師, ラ・ビスタ宝塚団地自治会, (40名).

服部 保, 2013.2, 「講義 七草堤防プロジェクト 中学校によるポット苗づくり」, 講師, 国土交通省関東地方整備局, (240名).

服部 保, 2013.2, 「講義 植生と文化」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2013.2, 「講演 兵庫県の生物多様性地域戦略など」, 講師, 地球環境関西フォーラム, (30名).

服部 保, 2013.2, 「講演 里山のまとめ」, 講師, 北摂里山大学, (60名).

服部 保, 2013.3, 「講義 地域に根ざした里山づくり」, 講師, 橿原市昆虫館, (30名).

兵庫県立大学・大学院教育

2012.6.23,9,10 植生保全管理論 (大学院)

2012.9.12 共生生物学 (分科講義)

非常勤講師

神戸市看護大学 (非常勤講師), 放送大学学園 (客員教授)

ラジオ・テレビ等出演

2012.12.18, 「住友ゴムどんぐりプロジェクト」, BS-TBS 「森の微笑」

■研究生等の受入

卒論生等

大学院修士1名, 大学院博士1名

2.シンクタンク事業

■受託研究

「シダ類等の栽培業務」. 財団法人ひょうご環境創造協会. 研究代表者 (50万円)

「平成24年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究代表者 (110.04万円)

「平成24年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務」. 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社. 研究代表者 (50.52万円)

「平成24年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連委託業務」. 大阪ガス株式会社. 研究代表者 (99.015万円)

「森林ボランティア育成教本作成業務」. 社団法人兵庫県緑化推進協会. 研究代表者 (140万円)

「南公園里山保全・育成プロジェクト竹林枯殺試験・里山担い手養成業務」. 三田市. 研究分担者 (60万円)

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者 (80万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 28回, 154名.

■行政支援

委員会等 (計70件)

1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査 (猪名川, 加古川, 揖保川, 円山川), アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.

1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー, (独)水資源機構.

1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土

- 交通省近畿地方整備局。
- 1996.5- 宝塚市環境審議会，委員，宝塚市。
- 1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会，副委員長，(社)兵庫県緑化推進協会。
- 1996.10- 宝塚市文化財審議会，委員，宝塚市。
- 1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会，委員長，兵庫県農政環境部。
- 2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会，委員，(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会，委員，宝塚市。
- 2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロック調査会議，委員，環境省。
- 2002.3- ささやまの森公園運営協議会，委員，(財)丹波の森協会。
- 2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会，委員，豊岡市。
- 2002.12- 兵庫県環境審議会，特別委員，兵庫県。
- 2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局・兵庫県但馬県民局。
- 2003.3- 円山川流域委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局。
- 2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会，委員，ゆめさきの森公園協会。
- 2004.1- 猪名川自然環境委員会，委員，国土交通省猪名川河川事務所。
- 2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議，委員長，兵庫県阪神南県民局。
- 2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業，景観アドバイザー，国土交通省六甲砂防事務所。
- 2005.4- 近畿地方整備局景観アドバイザー，国土交通省近畿地方整備局。
- 2005.6- 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会，委員，猪名川上流広域ごみ処理施設組合。
- 2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会，委員長，南あわじ市。
- 2006.6- 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議，委員，国土交通省近畿地方整備局。
- 2006.11- 兵庫県河川審議会特別委員会，委員，兵庫県県土整備部。
- 2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言，アドバイザー，兵庫県農政環境部。
- 2007.4- 丹波の森公苑運営委員会，委員，兵庫丹波の森協会。
- 2007.6- 六甲山自然保護センター環境学習運営委員会，委員長，兵庫県神戸県民局。
- 2007.7- 箕面体験学習の森整備事業検討委員会，委員長，林野庁近畿中国森林管理局。
- 2008.4- やしろの森公園協会評議会，評議員，やしろの森公園協会。
- 2008.11- 一庫公園管理運営協議会，委員長，(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2009.3- 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会，調査委員，文部科学省。
- 2009.4- コープの森・社家郷山森林保全活動推進委員会，委員長，コープこうべ。
- 2009.5- 「ひょうごの川・自然環境調査」，アドバイザー，兵庫県。
- 2009.5- 国道178号余部道路，アドバイザー，兵庫県新温泉土木事務所。
- 2009.10- 河川堤防及び周辺域における生態緑化技術の開発に関する研究会，委員，(財)河川環境管理財団。
- 2009.11- 猪名川・藻川河川保全利用委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局。
- 2009.11- 和田山八鹿道路・八鹿日高道路，アドバイザー，国土交通省豊岡河川国道事務所。
- 2009.12- 川西市環境審議会，委員，川西市。
- 2009.12- 森づくりセンター運営委員会，会長，兵庫県・他。
- 2010.1- 国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画検討会，委員，国土交通省国営明石海峡公園整備局。
- 2010.2- 豊岡道路環境基礎調査，アドバイザー，国土交通省豊岡河川国道事務所。
- 2010.3- 国崎クリーンセンター運営懇話会，委員長，国崎クリーンセンター。
- 2010.3- 加古川自然再生アドバイザー，国土交通省姫路河川国道事務所。
- 2010.4- 公共事業等審査会，委員，兵庫県県土整備部。
- 2010.6- ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2010.10- 新名神高速道路 兵庫県域自然環境保全検討会，委員，西日本高速道路(株)。
- 2010.12- 国道178号浜坂道路，アドバイザー，兵庫県新温泉土木事務所。
- 2011.3- 阪神北県民局政策アドバイザー，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.4- 東播磨南北道路，アドバイザー，兵庫県東播磨県民局。
- 2011.5- 阪神北夢づくり応援事業企画提案会，委員，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.6- 北摂里山博物館構想推進懇話会，委員，兵庫県阪神北県民局。
- 2011.7- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2011.7- 生物多様性アドバイザー，兵庫県農政環境部。
- 2011.8- 武庫川水系河川整備計画フォローアップ委員会，委員，兵庫県県土整備部。
- 2011.11- 加西市生物多様性地域戦略策定委員会，委員長，加西市。
- 2012.4- 生物多様性にしのみや戦略推進部会，部会長，西宮市。
- 2012.4- 橿原市昆虫館協議会，委員，橿原市教育委員

会.

- 2012.4- 丹波市森林づくりビジョン検討委員会, 委員,
(財)兵庫丹波の森協会.
- 2012.7- 七草堤防プロジェクトワーキング, 委員, 国
土交通省利根川下流事務所.
- 2012.7- 希少野生動植物種保存推進員, 環境省.
- 2012.7- 六甲山森林整備戦略研究会, 委員, 神戸市.
- 2012.7- 伊丹市環境審議会 生物多様性専門部会, 委
員, 伊丹市.
- 2012.7- 播磨新宮～山崎間自然環境保全検討会, 委員,
西日本高速道路 (株).
- 2012.8- 姫路城内樹木パトロール委員, 姫路市.
- 2012.10- 加古川流域懇談会, 委員, 国土交通省近畿
地方整備局.
- 2012.10- 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市.
- 2012.10- 兵庫県ナラ枯れ被害対策連絡会, 委員, 兵
庫県農政環境部.
- 2012.12- 新名神高速道路 未来につなぐ森づくりプ
ロジェクトワーキング, アドバイザー, 西日本高速
道路 (株).
- 2013.2- 宝塚市レッドリスト他策定有識者会議, 委員
長, 宝塚市.

相談・指導助言

来訪者 230 件, 650 名. 電話・FAX 相談 200 件, メイ
ル相談 200 件.

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／地域展開推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 准教授.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 植生学会, 日本造園学会, 森林立地学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域展開推進室長および播磨地域担当

2.研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落、特に照葉樹林、ブナ林、里山林の生物多様性とその保全・復元に関する研究
2. 絶滅危惧植物の保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究代表者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎石田弘明・山名郁実・小館誓治・服部 保 (2012) 淡路島の森林伐採跡地に分布する外来木本ナンキンハゼ群落の生態的特性と成因. 植生学会誌, 29: 1-14.

石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康二 (2012) 屋久島低地部の照葉二次林に対するヤクシカの影響とその樹林の自然性評価. 植生学会誌, 29: 49-72.

服部 保・南山典子・栃本大介・石田弘明・黒田有寿茂 (2012) 八丈島における照葉樹林の成立要因—特に土地利用について—. 植生学会誌, 29: 27-40.

◎福井 聡・石田弘明・矢倉資喜・武田義明 (2013) 湧水湿地におけるヌマガヤ群落刈取り後の種組成および種多様性の変化. ランドスケープ研究, 76: 457-460.

■その他著作

◎石田弘明・武田義明・塩谷智也・服部 保 (2012) ニホンジカが淡路島論鶴羽山のアカガシ林に与えた影響. 人と自然, 23:69-79.

◎石田弘明 (2012) 発進! ゆめはく. ひととはく新聞 2012年10月13日号.

◎石田弘明・服部 保 (2012) ニホンジカの不嗜好性植物の緑化への応用. GR 現代林業, 2012年10月号:

40-43.

◎服部 保・武田義明・澤田佳宏・矢倉資喜・赤松弘治・浅見佳世・石田弘明・石丸京子・黒田有寿茂・田村和也・橋本佳延・福井 聡・松村俊和 (2012) 兵庫県の植物群落—森林ボランティア育成教本—.(社)兵庫県緑化推進協会, 44p.

◎三橋弘宗・北村俊平・山崎義人・上田萌子・田中哲夫・加藤茂弘・高野温子・布施静香・赤澤宏樹・石田弘明 (2012) 海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作. 展示学, 50:132-133.
服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延 (2013) 照葉樹林構成種目録. 兵庫県立人と自然の博物館, 25p.

■研究発表

◎石田弘明・黒田有寿茂・栃本大介・江間 薫 (2013) 兵庫県北部の棚田, 放棄水田, 圃場整備水田における畦畔法面草原の生態的特性の比較. 日本生態学会第60回大会, グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター), 静岡市.

◎Sakiyama, T., Ishida, H., Fujimoto, M., Yamazaki, Y., Sawada, Y., Takano, A., and Matsubara, M. (2012) “Geo-Caravan” - Outreach Programs by the Museum in the San'in Kaigan Geopark. 5th International UNESCO Conference on Geoparks. Shimabara, Nagasaki.

服部 保・南山典子・黒田有寿茂・橋本佳延・石田弘明 (2012) 南西諸島の照葉樹林の植物相と種多様性. 第17回植生学会大会, 千葉大学, 千葉.

◎三橋弘宗・北村俊平・山崎義人・上田萌子・田中哲夫・加藤茂弘・高野温子・布施静香・赤澤宏樹・石田弘明 (2012) 海を題材とした移動展示における可搬式大型展示ユニットの製作. 日本展示学会第31回研究大会, 東京学芸大学, 東京.

■学会役員など

植生学会, 会計幹事.

植生学会, 企画委員

植生学会, 将来計画委員

日本生態学会近畿地区会, 運営委員.

植生学会誌, 論文査読 (2012年7月).

植生学会誌, 論文査読 (2012年12月).

日本生態学会大会, ポスター賞審査 (2013年3月)

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2013.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集. 川西市, 香美町, 豊岡市, 鹿儿島県, 長崎県.

■整理同定担当資料

種子標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2012.4, 「特注セミナー エドヒガンのモニタリング方法」, 菊炭友の会, 川西市. (12名)

石田弘明, 2012.5, 「但馬高原植物園の植物を観察しよう」, 香美町. (17名)

石田弘明, 2012.5, 「特注セミナー 里山の植物を観察しよう」, 兵庫県立兎和野高原野外教育センター, 香美町. (13名)

石田弘明, 2012.5, 「武田尾溪谷の植物を観察しよう」, 宝塚市. (25名)

石田弘明, 2012.5, 「特注セミナー SSH 里山研修」, 武庫川女子大学附属中学校・高等学校, 川西市. (47名)

石田弘明, 2012.6, 「武田尾溪谷の植物を観察しよう」, 宝塚市. (14名)

石田弘明 (分担), 2012.6, 「南公園現地観察ツアー」, 三田市. (36名)

石田弘明, 2012.6, 「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」, 博物館. (32名)

石田弘明, 2012.7, 「キャラバンセミナー アンモナイト化石のレプリカづくり」, 豊岡市. (22名)

石田弘明 (分担), 2012.7, 「キャラバンセミナー アンモナイト化石のレプリカづくり」, 淡路市. (600名)

石田弘明, 2012.8, 「キャラバンセミナー アンモナイト化石のレプリカづくり」, 三木市. (66名)

石田弘明, 2012.8, 「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」, 博物館. (36名)

石田弘明, 2012.9, 「特注セミナー エドヒガンのはなし」, 川西市立陽明小学校, 博物館. (41名)

石田弘明, 2012.9, 「里山の植物を観察しよう」, 三田市. (24名)

石田弘明 (分担), 2012.10, 「南公園里山講座 (第2回目)」, 三田市南公園. (38名)

石田弘明, 2012.11, 「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」, 博物館. (32名)

石田弘明, 2013.2, 「特注セミナー エドヒガンのはなし」, 川西市立緑台小学校, 博物館. (67名)

館外講演など

石田弘明, 2012.6, 「猪名川の野草を観察しよう」, 講師, 流域ネット猪名川, 伊丹市 (12名).

石田弘明, 2012.7, 「世界の植生①熱帯雨林の自然」, 講師, 姫路生涯学習大学, 姫路市 (70名).

石田弘明, 2012.10, 「第2回 北摂里山大学」, 講師, 川西市, (30名).

石田弘明, 2012.10, 「猪名川の野草を観察しよう」, 講師, 流域ネット猪名川, 伊丹市 (12名).

石田弘明, 2012.11, 「シカの食害」, 講師, 姫路生涯学習大学, 姫路市 (70名).

石田弘明, 2012.11, 「武庫川の植物」, 講師, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市 (36名).

石田弘明, 2012.11, 「武庫川溪谷の植物観察」, 講師, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市 (10名).

石田弘明, 2012.11, 「第3回 北摂里山大学」, 講師, 川西市, (29名).

石田弘明, 2012.12, 「加東市ノーベル大賞授賞式講評」, 講師, 加東市, (100名).

石田弘明, 2013.2, 「生物多様性たからづか戦略」, 講師, 宝塚市環境政策課, 宝塚市 (12名).

石田弘明, 2013.3, 「身近な植物の生存戦略」, 講師, 神戸県民局県民室環境課, 神戸市 (50名).

■ミニキャラバン事業

主担当

2012.7-9 ひとはくキャラバン in 道の駅みき

2012.7-8 ジオキャラバン in 道の駅神鍋

セミナー担当

2012.4, 「エドヒガンのモニタリング方法」, 川西市. 責任者 (12名).

2012.7, 「アンモナイト化石のレプリカづくり」, 豊岡市. 責任者 (22名).

2012.7, 「アンモナイト化石のレプリカづくり」, 淡路市. 分担者 (600名).

2012.8, 「アンモナイト化石のレプリカづくり」, 三木市. 責任者 (66名).

■連携事業

連携グループ等

山東の自然に親しむ会 (アドバイザー: 主)

菊炭友の会 (アドバイザー: 主)

櫻守の会 (アドバイザー: 主)

共催事業

2012.7 三木木工ものづくりイベント, 三木商工会議所 (責任者)

2012.11 丹波並木道中央公園フェスティバル, 丹波並木道公園 (分担者)

2012.12 ちーたんの館まつり, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課 (分担者)

2012.12 地域交流イベント, パールデイサービスセンター (責任者)

2013.1 六甲山のきのこ展 2013in 御影クラッセ, 兵庫県立御影高校 (分担者)

■学校教育支援

学校団体対応

2012.5 武庫川女子大学附属中学校・高等学校 (47名)

2012.9 川西市立陽明小学校 (41名).

2013.2 川西市立緑台小学校 (67名).

■研修生等の受入

■フェスティバル等

2012.7, ラッピングデザインコンペティション説明会 (分担者).

2012.9, 開館20周年記念フォーラム「ひとはくが公館にやってきたー地域とひとはく」 (分担者).

- 2012.10, 開館 20 周年記念式典・シンポジウム「新たな博物館の役割と地域貢献—次世代の博物館活動を描く」(会場班・責任者)。
- 2012.10, ラッピングデザインコンペティション表彰式(分担者)。
- 2012.10, ひとつはくアニバーサリー「ゆめはく体験」(分担者)。
- 2012.11, ひとつはくフェスティバル「ゆめはく体験」(分担者)。
- 2013.3, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム(会場班・分担者)
- 2013.3, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム「ゆめはく体験」(責任者)

■展示

ミニ企画等

- 2012.4.7-6.7, トピックス展「川西市のエドヒガン—絶滅危惧種の桜と保全活動—」(責任者)。
- 2012.8.4-8.19, ミニ企画展「ラッピングデザインコンペティション応募作品展示会」(分担者)。
- 2012.9.8-10.14, ミニ企画展「ラッピングデザインコンペティション入選作品展示会」(分担者)。

2.シンクタンク事業

■受託研究

- 「山陰海岸ジオパークにおけるジオキャラバンの実施とその評価に関する研究」. 山陰海岸ジオパーク推進協議会. 研究分担者(40万円)
- 「森林ボランティア育成教本作成業務」. 社団法人兵庫県緑化推進協会. 研究分担者(140万円)
- 「南公園里山保全・育成プロジェクト竹林枯殺試験・里山担い手養成業務」. 三田市. 研究分担者(60万円)
- 「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究分担者(80万円)
- 「三田市有馬富士自然学習センターの目指す方向に関する研究」. 三田市. 研究部分担者(30万円)。

■行政支援

委員会等(計2件)

- 2012.6—2013.3. 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議委員会, 委員, 加東市.
- 2012.6—2013.3. 野生動物育成林整備事業, アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり課.

相談・指導助言

- 来訪者6件, 20名. 電話・FAX相談8件, メール相談10件.

橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/シンクタンク推進室

主任研究員

昭和 51 年愛知県生. 神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了, 学術博士. 日本生態学会, 植生学会, 環境
教育学会, 造園学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

シンクタンク推進室 福室長

生物多様性地域戦略策定の支援、企業の生物多様性への
取組の支援、生物多様性協働フォーラムの運営・
実施

2. 研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
2. タケ類天狗巢病による竹林の衰退に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究
4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研
究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

- ◎橋本 佳延, 石丸 京子, 黒田 有寿茂, 増永 滋生,
横田 潤一郎 (2012) ササ優占型に遷移した草原に
おける刈り取りによる草原生植物種多様性の回復効
果. ランドスケープ研究(オンライン論文集)5, 69-76
石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康
二 (2012) 屋久島低地部の照葉二次林に対するヤク
シカの影響とその樹林の自然性評価. 植生学会誌,
29 : 49-72.

■その他著作

◎橋本佳延 (2012) 連携で広がる博物館の可能性. み
んなで楽しむ新しい博物館のこころみ (兵庫県立人
と自然の博物館 編), 研成社, 77-100

◎服部 保・武田義明・澤田佳宏・矢倉資喜・赤松弘
治・浅見佳世・石田弘明・石丸京子・黒田有寿茂・
田村和也・橋本佳延・福井 聡・松村俊和(2012)兵
庫県の植物群落-森林ボランティア育成教本-(社)兵
庫県緑化推進協会, 44p

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本 佳延 (2013)
照葉樹林構成種目録. 人と自然の博物館, 25p

■研究発表

◎橋本佳延・服部 保 (2013) シカ高密度生息地域に
おける皆伐による竹林拡大の抑制, 日本生態学会第
60 回全国大会, 静岡県コンベンションアーツセンタ
ー, 静岡

■学会役員など

2011.04-2014.03 植生学会 編集委員

2012.4 日本緑化工学会 査読 1 件

2012.4 景観生態学会 査読 1 件

■助成を受けた研究

橋本佳延.2011.4-2014.3 「都市域における自然系エコ
ミュージアム形成・持続的運営のための手法の開発」
科学研究助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手
研究 (B) (80 万円/290 万円)

橋本佳延・三橋弘宗・上田萌子.2012.6-2013.3 「市町
における生物多様性地域戦略策定を促進・阻害する
要因の解明」一般財団法人 地域政策研究会調査研
究助成 (20 万円)

橋本佳延・三橋弘宗・上田萌子.2012.7-2013.3 「市町
における生物多様性地域戦略策定の支援のあり方に
関する研究」兵庫県シンクタンク等協議会「自主研
究グループに対する研究助成」(30 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 里地・里山における植物および植生景
観映像資料の収集 (川西市, 三田市, 姫路市, 神河
町, 神戸市)

■整理同定担当資料

植生映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延. 2012.4 「日本一の里山, 北摂地域の早春を
観察しよう」川西市黒川 (35 名)

橋本佳延. 2012.5 「春の六甲山ハイキング」六甲山
(18 名)

橋本佳延. 2012.5 「館外特注セミナー 市民による里
山保全活動」グリーンピア三木 (全神鋼鋼線労働組
合 20 名)

橋本佳延. 2012.5 「館外特注セミナー 私たちの暮ら
しをささえる生物多様性-東お多福山ススキの草原
の再生をめざして-」今津公民館 (西宮明昭山の会
22 名)

服部 保, 橋本佳延, 石田弘明, 黒田有寿茂, 町田華
澄. 2012.6 「南公園現地観察ツアー」三田市南公園
(36 名)

◎橋本佳延. 2012.7 「オープンセミナー くるくる回
って落ちる種子を観察しよう!」(30 名)

橋本佳延. 2012.7 「館外特注セミナー 市民による里

山保全活動」まなびや有馬（全神戸製鋼労働組合連
 合会 37名）

橋本佳延. 2012.7「館外特注セミナー 市民による里
 山保全活動」まなびや有馬（神鋼労組溶接支部 24
 名）

橋本佳延. 2012.7「特注セミナー 生物多様性につい
 て考えてみよう」（姫路市環境政策室 44名）

三橋弘宗、橋本佳延、上田萌子. 2012.8 「生物多様
 性協働フォーラム 第4回」（300名）

橋本佳延. 2012.8 「教職員セミナー 児童・生徒と
 できる里山の調べ方」（23名）

服部 保、黒田有寿茂、橋本佳延. 2012.9「南公園里
 山講座（第1回目）」（38名）

橋本佳延. 2012.9「里山の生物多様性」（42名）

橋本佳延. 2012.9「港町を眺める草原～東お多福山の
 ススキ草原植生観察～」神戸市東灘区(31名)

服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延. 2012.9 南公園里
 山講座（第1回）（38名）

橋本佳延.2012.9「館外特注セミナー 里山保全と観察」
 川西市黒川吉川公民館（シニア自然大学 58名）

◎橋本佳延. 2012.9「オープンセミナー くるくる回
 って落ちる種子を観察しよう！」（25名）

橋本佳延、石田弘明. 2012.10「南公園里山講座（第2
 回目）」三田市南公園（38名）

◎橋本佳延. 2012.10「オープンセミナー くるくる回
 って落ちる種子を観察しよう！」（15名）

橋本佳延.2012.11「特注セミナー まちなかり山～南公
 園～の現状と課題」中セミナー室（阪神マイスターズ
 18名）

石田弘明、橋本佳延、黒田有寿茂. 2012.11「北摂里山
 大学 第3回」兵庫県立有馬富士公園（29名）

三橋弘宗、橋本佳延. 2012.11「生物多様性協働フォー
 ラム 第5回」（125名）

橋本佳延.2012.11「特注セミナー 外国からやってきた
 植物」（いきいき学舎フレミラ宝塚 15名）

橋本佳延.2012.11「特注セミナー 生物多様性と里山管
 理」（いきいき学舎フレミラ宝塚 18名）

三橋弘宗、橋本佳延、上田萌子. 2013.1 生物多様性
 協働フォーラム 第6回（300名）

橋本佳延（2013）「東お多福山草原保全における多様な
 主体による地域連携」。（生物多様性地域連携促進セ
 ミナー in 兵庫、105名）

橋本佳延、上田萌子. 2013.2 「生物多様性地域戦略
 策定の現状と課題」。（近畿圏における生物多様性地
 域戦略策定促進にかかる研修会、31名）

館外講演など

Yoshinobu Hashimoto. 2012.5 Management for active use
 of the regulating services in SATOYAMA forest to
 prevent disasters by Hyogo Prefectural government, Japan.
 ～Introduction to the achievements of Hyogo Prefecture,
 Japan～. Building Resilience with Common Capital

Managing Shared Resources: Meeting the Challenges of a
 Rapidly Modernizing World under Climate and
 Ecosystems Change Second workshop, Sri Lanka.(20名)

橋本佳延. 2012.6.21「幼児期の環境学習体験プログラ
 ム実践事業 園庭の植物観察」神戸市立神戸幼稚園
 （神戸市立神戸幼稚園 10名）

橋本佳延. 2012.10 里山観察会（20名、川西里山クラ
 ブ、川西市黒川妙見山）

■連携事業

協力事業

2012.8.18 第20回弥生ふるさとまつり. 弥生が丘自治
 会（三田市立弥生小学校）

2012.9.22-10-14 平成25年度夏季プレ展示. 島根県立
 三瓶自然館（島根県立三瓶自然館）

2012.10.21 里山観察会. 川西里山倶楽部（川西
 市黒川妙見山）

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.5 三田市立けやき台中学校2名、三田市立狭間
 中学校2名.

学校団体対応

2012.6.8 西宮市東山台小学校 71名
 2012.7.3 明石市立鳥羽小学校 48名

■研究生等の受入

博物館実習

2012.8 池本 眞希（岡山理科大学）、浜本 柚子（甲
 南女子大学）

■フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル（当日スタッフ）

2012.10, 開館20周年記念式典・シンポジウム「新た
 な博物館の役割と地域貢献～一次世代の博物館活動を
 描く」（受付班・責任者）.

2013.3, ひょうご恐竜化石国際シンポジウム（会場
 班・分担者）

2.シンクタンク事業

■受託研究

「森林ボランティア育成教本作成業務」. 社団法人兵庫
 県緑化推進協会. 研究分担者（140万円）

「平成24年度 大阪ガス株式会社姫路製造所等にお
 ける生物多様性対応関連委託業務」. 大阪ガス株式会
 社. 99.015万円（分担者）

「南公園里山保全・育成プロジェクト竹林枯殺試験・
 里山担い手養成業務」. 三田市. 60万円（責任者）

■行政支援

委員会等（計6件）

2011.1-2012.12 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市

2011.8-2013.8 神戸市生物多様性神戸プラン2020推進
 会, 委員, 神戸市

2010.7-2012.6 希少野生動植物保存推進委員, 委員,
 環境省

2012.7 生物多様性保全活動モデル事業審査会. 審査員. 兵庫県但馬県民局

2012.7-2015.6 希少野生動植物保存推進委員、委員、環境省

2012.10-2013.3 新たな世界自然遺産候補地の考え方にかかると懇談会、検討委員、一般財団法人 自然環境研究センター

相談・指導助言

電話・FAX 相談 5 件, メール 2 件

小館 誓治, Seiji KODATE

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/キッズひとはく推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門
助教.

昭和37年福岡県生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士
課程修了. 学術博士. 森林立地学会, 植生学会, 日本ペ
ドロロジー学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 副室長

2.タスクフォース

キッズひとはく推進タスクフォース

タスクフォースリーダー, J S T 「ネットワーク形成
先進的科学館連携型」事業の事務局担当・実施担当・
科学コミュニケーター

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研
究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

◎小館誓治(2012), 六甲山地の自然環境—その植生を
中心に. 小原流挿花, 740号:12-15.

小館誓治(2012), 山の植物の特徴とは, 「新 生物によ
る環境調査事典」(内山裕之 編著):46-49. 分担執
筆. 東京書籍.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

小館誓治・高瀬優子・古谷裕・布施静香(2013)ひとは
く Kids キャラバンのめざすもの ~博物館と幼稚
園、児童館、高齢者大学等をつなぐ,全国科学館協議
会第20回研究発表大会(ポスター発表), 愛媛総合
科学博物館, 新居浜.

2.資料収集・整理

■資料収集

2011.4-2012.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資
料収集. 神戸市, 芦屋市など.

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小館誓治, 2012.4, 「ちょっと観察!この植物(春の
植物)」, 博物館・深田公園(18名).

小館誓治, 2012.5, 「六甲山「森の植物」観察会(春)」,
六甲山(16名).

小館誓治, 2012.6, 「太山寺周辺の樹林で多様性を知る」,
神戸市・太山寺(11名).

小館誓治, 2012.8, 夏季教職員セミナー「小さな子ど
もの指導者向け 身近な植物の観察の仕方」, 博物
館・深田公園(36名).

◎小館誓治, 2012.10, 「ちょっと観察!この植物(秋
の植物)」, 博物館(28名).

小館誓治, 2012.12, 「芦屋市奥山地域の樹林で多様性
を知る」, 芦屋市(18名).

◎小館誓治, 2013.2, 「ちょっと観察!この植物(冬の
植物)」, 博物館(18名).

館外講演

小館誓治, 2012.4, 「六甲山魅力再発見セミナー第109
回早春の六甲山の森」, 講師, 六甲山(23名).

小館誓治, 2012.7, 「植物の観察の仕方」, ミツカン吉川
ビオトープボランティア, 講師, 三木市(10名).

小館誓治, 2012.9, 「六甲山の植物観察とその手法を学
ぶ」, 平成24年度六甲山自然案内人養成研修プログ
ラム入門コース, 講師, 六甲山(56名).

小館誓治, 2012.10, 現地調査II『地域の自然を知る』
「里山林の保全・復元・再生」, 阪神ひと・まち創造
講座2年生, 講師, 三田市.(30名).

小館誓治, 2012.11, 「植物の観察方法(役に立つ植物
と怖い植物)」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然
コース, 講師, 宝塚市.(28名).

小館誓治, 2012.11, 「中山寺周辺で植物の見分け方実
習」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース, 講
師, 宝塚市.(23名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2012. 6 学習プログラム「だんだんダンゴムシ」, ひ
がし交流センター, 姫路市(76名)

2012. 8 ひとはく Kids キャラバン in 神戸(南五葉
児童館), 神戸市立南五葉児童館, 神戸市(29名)

2012. 9 ひとはく Kids キャラバン in 宝塚(御殿山
児童館), 宝塚市立御殿山児童館, 宝塚市(28名)

2012. 12 ひとはく Kids キャラバン in 伊丹(おぎの
幼稚園), 伊丹市立おぎの幼稚園, 伊丹市(393名)

2013. 1 ひとはく Kids キャラバン in 伊丹(神津幼
稚園), 伊丹市立神津幼稚園, 伊丹市(96名)

2013. 1 ひとはく Kids キャラバン in 伊丹(みずほ
幼稚園), 伊丹市立みずほ幼稚園, 伊丹市(68名)

2013. 3 ひとはく Kids キャラバン in 神戸(つぐみ

保育園), つぐみ保育園, 神戸市 (96名)

2013. 3 科学・技術フェスタ「くるくる回るタネをつくってみよう、大きくして見てみよう」, 京都パルスプラザ, 京都市 (358名)

2013. 3 ひとつは Kids キャンパイン in 神戸 (清風児童館), 神戸市立清風児童館, 神戸市 (17名)

分担者

2012. 6 こども☆ひかりプロジェクト「タネで遊ぶう」, 仙台市科学館, 仙台市 (1200名)

2012. 7 ひとつは復興支援プロジェクト「ひとつは Kids キャンパイン in 仙台」, 仙台市六郷児童館, 仙台市 (365名)

2012. 7 ひとつは復興支援プロジェクト「ひとつは Kids キャンパイン in 仙台」, 仙台市七郷児童館, 仙台市 (640名)

2012. 9 ひとつは Kids キャンパイン in 神戸 (兵庫県公館), 兵庫県公館, 神戸市 (990名)

2013. 3 ひとつは Kids キャンパイン in 神戸 (明石市立天文科学館), 明石市立天文科学館, 明石市 (1134名)

2013. 3 ひとつは復興支援プロジェクト「ひとつは Kids キャンパイン in 石巻」, 仮設開成第一団地集会所, 石巻市 (210名)

2013. 3 ひとつは復興支援プロジェクト「ひとつは Kids キャンパイン in 田村」, 船引運動場応急仮設住宅集会所, 田村市 (475名)

■地域研究員養成事業

セミナー

2012. 6 阪神南地域 (西宮市), 葉っぱの見方 (名塩保育園, 講師)

2012. 6 中播磨地域 (姫路市), 落ち葉とダンゴムシについて (ひがし交流センター, 講師)

2012. 7 神戸地域 (神戸市), 植物の葉っぱやタネについて (神戸市立南五葉児童館, 講師)

2012. 9 阪神北地域 (宝塚市), 草花遊び (宝塚市御殿山児童館, 講師)

2012. 10 阪神北地域 (宝塚市), プログラム準備 (フレミラ宝塚, 指導)

2012. 12 阪神北地域 (伊丹市), 土壌動物と園庭の樹木について (伊丹市立おぎの幼稚園, 講師)

2013. 1 阪神北地域 (伊丹市), 土壌動物と園庭の樹木について (伊丹市立みずほ幼稚園, 講師)

2013. 1 阪神北地域 (伊丹市), 植物のタネ、動物の毛皮について (伊丹市立神津幼稚園, 講師)

2013. 3 神戸地域 (神戸市), 植物のタネについて (つぐみ保育園, 講師)

成果発表

2013.2 共生のひろば (ポスター発表) 「平成 24 年度 おおばこの会 活動報告「小川の生き物調査隊」, おおばこの会. (指導)

■連携事業

連携グループ等

北播磨自然観察サポーターチーム「おおばこの会」(アドバイザー)

増井啓治 (地域研究員アドバイザー副担当)

共催事業

2012.5-2013.3 「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他 (全4回)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6 三田市立けやき台中学校 2 名・三田市立狭間中学校 2 名.

学校団体対応

2012.5 神戸朝鮮初中級学校 1 年生 (35 名).

2012.6 西脇市立芳田小学校 3 年生 (20 名).

2012.6 北摂第一幼稚園年長組 (84 名).

2012.10 加西市立北条小学校 3 年生 (73 名).

2012.11 小野市立市場小学校 3 年生 (72 名).

2012.2 三田市立あかしあ台小学校 2 年生 (85 名).

講師派遣

2012.5 第 1 回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生, 赤穂郡上郡町 (6 名).

2012.5 「葉っぱをわけてみよう (春の植物観察)」, 講師, 小野市立小野小学校 3 年生, 小野市 (128 名).

2012.5 「植物のかんさつ」, 講師, 名塩保育園年長組, 西宮市 (23 名).

2012.5 探求基礎「里山について」, 講師, 三田祥雲館高等学校 2 年生, 三田市 (35 名).

2012.6 第 2 回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生, 赤穂郡上郡町 (6 名).

2012.6 「子どもたちが自ら学ぶことへの支援」, 講師, 名塩保育園保護者, 西宮市 (23 名).

2012.7 第 3 回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生, 赤穂郡上郡町 (6 名).

2012.7 「植物の観察の仕方」, 講師, ミツカン吉川ビオトープボランティア, 三木市 (10 名).

2012.9 第 4 回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生, 赤穂郡上郡町 (6 名).

2012.10 「平池公園で植物観察」, 講師, 加東市立福田小学校 3 年生, 加東市 (17 名).

2012.11 平成 24 年度 県立大学アカデミック・ツーリズム・プログラム『六甲 100 年の森と「ひとつは」展示ウォッチング』, 講師, 兵庫県立人と自然の博物館・六甲山 (9 名).

2012.11 第 6 回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生, 赤穂郡上郡町 (6 名).

2012.12 「開魂園の竹林について」、講師，加東市立東条西小学校3年生，加東市（20名）。

2012.12 「葉っぱをしよう！葉っぱでアート（秋の植物観察）」、講師，小野市立小野東小学校3年生，小野市（133名）。

2013.1 第7回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」、講師，兵庫県立大学附属中学校2年生，赤穂郡上郡町（6名）。

2013.2 「開魂園の森について」、講師，加東市立東条西小学校3年生，加東市（20名）。

2013.2 第8回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」、講師，兵庫県立大学附属中学校2年生，赤穂郡上郡町（5名）。

2013.2 「市場小学校のまわりのタネ」、講師，小野市立市場小学校3年生，小野市（72名）。

2013.2 プロジェクト学習発表会，講師・アドバイザー，兵庫県立大学附属中学校2年生，赤穂郡上郡町（5名）。

2013.2 「冬の植物の観察」、講師，小野市立小野東小学校3年生，小野市（133名）。

■フェスティバル等

22012.11 ひとつはくフェスティバル，「植物採れ取れビンゴ」（責任者）。

2012.11 ひとつはくフェスティバル，「どんぐり、どこ、どこ。」（責任者）。

■展示

ミニ企画展

2012.4.1-2013.3 深田公園植物情報（責任者）

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内，6回，84名。

■行政支援

委員会等（計1件）

2012.4-2013.3 岡山理科大附属高等学校平成24年度スーパーサイエンスハイスクール外部評価委員会，委員，岡山理科大学附属高等学校。

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談25件。

藤井 俊夫, Toshio FUJII

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 事業連携・スクールパートナー担当

2.研究開発部門

研究紀要担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 野生木本植物の個体群生態学的研究
2. 貴重種の保全生態学的研究

■論文・著書

Daisuke Hirayama, Toshio Fujii, Satoshi Nanami, Akira Itoh, Takuo Yamakura(2013)Two-year cycles of synchronous acorn and leaf production in biennial-fruited evergreen oaks of subgenus Cyclobalanopsis (Quercus, Fagaceae).Ecological Research, Volume 27(6):1059-1068.

■賞罰

Japanese Society of Ecology Ecological Research Award
2012 受賞(論文賞)

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-03 兵庫県内の維管束植物標本および写真の収集.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2012.4, 「マツバラ観覧会」, 龍野市. (8名)

藤井俊夫, 2012.5, 「山陰海岸観覧会(春)」, 山陰海岸. (28名)

藤井俊夫, 2012.6, 「トキシウ観覧会」, 三田市. (36名)

藤井俊夫, 2012.7, 「オニバス観覧会」, 大阪府. (12名)

藤井俊夫, 2012.8, 「サギソウ観覧会」, 三田市. (27名)

藤井俊夫, 2012.9, 「鴨池観覧会」, 小野市. (23名)

藤井俊夫, 2012.10, 「春日山観覧会」, 奈良県. (35名)

藤井俊夫, 2012.11, 「山陰海岸観覧会(秋)」, 山陰海岸. (20名)

藤井俊夫, 2013.3, 「早春の花の観覧」, 博物館. (15名)

■館外講演

藤井俊夫, 2012.5, 「第6回里山楽校」, 青垣町芦田江古, 講師, 江古花園 (31名).

藤井俊夫, 2012.7, 「第7回里山楽校」, 青垣町芦田江古, 講師, 江古花園 (65名).

■ミニキャラバン事業

2012.4, 有馬富士フェスティバル(責任者), 有馬富士公園, 三田市.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.5-6.8, 三田市立狭間中学校2名, 三田市立けやき台中学校2名

■研修生等の受入

博物館実習

2009.8.6-8.10, 岡山理科大学理学部学生1名. 甲南女子大学文学部学生1名.

■フェスティバル等

2009.11 ひとくフェスティバル, 「20周年記念イベント」(責任者).

■展示

その他

2012.10 魅せる収蔵庫トライアル(植物担当).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計1件)

2012.12- 大阪府レッドリスト(植物)改訂委員会, 委員, 大阪生物多様性保全ネットワーク.

■相談・指導助言

来訪者32件, 48名. 電話・FAX相談34件, メール相談55件.

黒田 有寿茂, Asumo KURODA

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

昭和53年愛知県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 博士(理学). 植生学会, 日本生態学会, 日本造園学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.マーケティング・マネジメント部門

企画調整室, 事業推進 (20周年記念行事等)

2.事業推進部門

生涯学習推進室, 地域担当 (北・東播磨)

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 各種植生における種組成・構造の多様性とその成因に関する研究
2. 生物多様性に配慮した植生復元に関する研究
3. シダ植物の生態に関する研究
4. 希少植物の生態に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

■論文・著書

服部 保・南山典子・栃本大介・石田弘明・黒田有寿茂 (2012) 八丈島における照葉樹林の成立要因—特に土地利用について—. 植生学会誌, 29, 27-39.

石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康二 (2012) 屋久島低地部の照葉二次林に対するヤクシカの影響とその樹林の自然性評価. 植生学会誌, 29, 49-72.

◎橋本佳延・石丸京子・黒田有寿茂・増永滋生・横田潤一郎 (2012) ササ優占型に遷移した草原における刈り取りによる草原生植物種多様性の回復効果. ランドスケープ研究 (オンライン論文集), 5, 69-76.

服部 保・南山典子・黒田有寿茂 (2012) 日本の照葉自然林の群落体系. 人と自然, 23, 1-29.

■その他著作

◎服部 保・武田義明・澤田佳宏・矢倉資喜・赤松弘治・浅見佳世・石田弘明・石丸京子・黒田有寿茂・田村和也・橋本佳延・福井 聡・松村俊和 (2012) 兵庫県の森林群落—森林ボランティア育成教本—. (社) 兵庫県緑化推進協会, 44p. 40, No. 4 : 3-5.

■研究発表

Kuroda, A., Fujihara, M., Sawada, Y. & Hattori, T. (2012)

Growth and seed germination traits of the locally threatened coastal plant species *Linaria japonica*: planting experiments and germination tests for its population restoration. The 55th Symposium of the International Association for Vegetation Science, Hotel Hyundai Mokpo, Mokpo.

黒田有寿茂 (2012) 山陰海岸における生物多様性の保全と活用に向けた生態学的研究. 平成24年度兵庫県立大学研究発表会, 兵庫県立大学, 姫路市.

石田弘明・黒田有寿茂・栃本大介・江間 薫 (2013) 兵庫県北部の棚田, 放棄水田, 圃場整備水田における畦畔法面草原の生態的特性の比較. 日本生態学会第60回大会, グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター), 静岡市.

■助成を受けた研究

海岸植生の生物多様性保全に向けた管理体系の構築—山陰海岸国立公園を事例に—. 科学研究費助成事業 若手研究 (B), 研究代表者 (金額 104万円/286万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2013.3 植物および植生の映像資料収集. 神戸市, 南あわじ市, 明石市, 豊岡市, 淡路市, 三木市, 三田市, 高砂市, 加東市, 西宮市, 姫路市, 川西市, 新温泉町, 京都府, 島根県, 広島県, 鳥取県, 長崎県, 静岡県, 岩手県.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2012.4, 「特注セミナー エドヒガンのモニタリング方法」, 川西市. (12名)

黒田有寿茂, 2012.4, 「特注セミナー 身近な草・木・森の観察」, 博物館. (109名)

黒田有寿茂, 2012.4, 「一般セミナー 植物ウォッチング①～琴引浜～」, 京都府京丹後市. (14名)

黒田有寿茂, 2012.4, 「一般セミナー 植物ウォッチング②～高天山～」, 京都府京丹後市. (11名)

◎黒田有寿茂, 2012.5, 「オープンセミナー ふかたん草あそび」, 博物館. (16名)

黒田有寿茂, 2012.6, 「一般セミナー 植物ウォッチング③～炭ヶ谷～」, 神戸市北区. (20名)

◎黒田有寿茂, 2012.6, 「オープンセミナー ならそう草笛」, 博物館. (15名)

黒田有寿茂, 2012.6, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる (第1回)」, 博物館. (20名)

黒田有寿茂, 2012.6, 「一般セミナー (館主催事業) 南公園現地観察ツアー (分担者)」, 南公園. (36名)

黒田有寿茂, 2012.7, 「特注セミナー ひとつはくのはく(分担者)」, 博物館. (88名)

黒田有寿茂, 2012.7, 「特注セミナー 里山について」, 博物館. (77名)

黒田有寿茂, 2012.8, 「教職員・指導者セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木」, 博物館. (18名)

◎黒田有寿茂, 2012.9, 「オープンセミナー ならそう草笛」, 博物館. (42名)

黒田有寿茂, 2012.9, 「一般セミナー(館主催事業) 南公園里山講座(分担者)」, 博物館. (33名)

黒田有寿茂, 2012.9, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる(第2回)」, 博物館. (18名)

黒田有寿茂, 2012.9, 「高校連携セミナー 植物・植生を調べる(第3回)」, 博物館. (20名)

黒田有寿茂, 2012.10, 「一般セミナー 植物ウォッチング④〜阿弥陀町〜」, 高砂市. (28名)

◎黒田有寿茂, 2012.12, 「オープンセミナー ならそう草笛」, 博物館. (15名)

館外講演など

Kuroda, A., 2012.5, 「Biodiversity, ecosystem functions, and socio-ecological conditions of irrigation ponds in Japan (2nd Workshop on Building Resilience with Common Capital)」, Asia-Pacific Network for Global Change Research, Taj Samdra Colombo Hotel, Sri Lanka (20名).

黒田有寿茂, 2012.6, 「植物・植生調査」, 森の探偵団, 明石市金ヶ崎公園 (11名).

黒田有寿茂, 2012.10, 「放課後 校庭の自然たんけん隊」, 明石のはらくらぶ, 明石市立鳥羽小学校 (30名).

黒田有寿茂, 2012.10, 「葉っぱで見分ける身近な樹木」, ナシオン創造の森育成会, ナシオンホール (30名).

黒田有寿茂, 2012.10, 「海岸植生」, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校 (70名).

黒田有寿茂, 2012.11, 「第3回 北摂里山大学(分担者)」, 阪神北県民局, 有馬富士公園 (29名).

黒田有寿茂, 2012.11, 「平成24年度兵庫県立大学生涯学習公開講座 アカデミック・ツーリズム・プログラム 六甲100年の森と「ひとつはく」展示ウォッチング(分担者)」, 兵庫県立大学, 博物館・六甲山・再度山 (8名).

黒田有寿茂, 2013.1, 「生物多様性に配慮した保全整備」, 明石市, 主池および高丘中央コミュニティセンター (20名).

黒田有寿茂, 2013.2, 「海岸の植物」, 宝塚市立老人福祉センター, フレミラ宝塚 (64名).

兵庫県立大学・大学院教育

2012.9.13 共生博物学(分担講義)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2012.7-2012.9, ひとつはくキャラバン2012 in 道の駅みき

展示作成

2012.8-2012.11, 「県政資料館展示 兵庫県立人と自然の博物館 20年の歩みと成果」, 兵庫県公館.

セミナー担当

2012.4, エドヒガンのモニタリング方法(分担者), 川西市黒川 (12名)

成果発表

2013.2, 共生のひろば「多様性植生の生態系を探る」, 兵庫県立三田祥雲館高等学校(指導)

2013.2, 共生のひろば「植生調査」, 兵庫県立三田祥雲館高等学校(指導)

■ミニキャラバン事業

2012.4, ひとつはくミニキャラバン・巨大キベリハムシがやってきた(分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

菊炭友の会(アドバイザー:副)

櫻守の会(アドバイザー:副)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.5-6.8, 狭間中学校2名, けやき台中学校2名.

■研究生等の受入

博物館実習

2012.8.7-8.10, 岡山理科大学1名, 甲南女子大学1名.

2.シンクタンク事業

■受託研究

「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸学校. 研究代表者(35万円)

「平成24年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社. 研究分担者(99万円)

「南公園里山保全・育成プロジェクト竹林枯殺試験・里山担い手養成業務」, 三田市. 研究分担者(60万円)

■行政支援

委員会等

2012.3-. 明石市環境審議会, 委員, 明石市.

2012.6-2013.3. 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議, 委員, 加東市.

相談・指導助言

来訪者3件, 5名. 電話・FAX相談10件, メール相談2件.

鈴木 武, Takeshi SUZUKI

自然・環境再生研究部
生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室
研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部
門 助教.
昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程
単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類
学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 展示担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究
2. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

鈴木武. 2013 市民参加調査からわかった西日本のタ
ンポポ. 分類 13(1): 31-35.

■ブログへの情報提供

3件

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事.
兵庫県生物学会, 事務局.
兵庫植物誌研究会, 理事,

■助成を受けた研究

巡回展「タンポポ」の企画・運営. 西日本自然史ネッ
ト 那須自然史基金, 代表者(金額30万円/30万
円:2011-12年度分).

2.資料収集・整理

■資料収集

2012.4-2012.6 西日本のタンポポ物の収集. 豊岡市,
福岡県, 山口県など.

■整理同定担当資料

シダ植物,

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2012.5, 「三木山森林公園のシダを見る」, 三
木山森林公園. (全1回, 34名)
鈴木武, 2012.5, 「山陰のタンポポ」 in 山陰海岸ジオ

パークの生物地理, 山陰海岸ジオパーク館. (全1
回, 47名)

鈴木武, 2012.6, 「相生市羅漢の里のシダを見る」, 相
生市羅漢の里. (全1回, 24名)

鈴木武, 2012.6, 「オープンセミナー カタツムリをさ
わってみよう」, 博物館. (40名)

鈴木武, 2012.7, 「ふかたん ダンゴムシをさがそう」,
博物館. (25名)

鈴木武, 2012.11, 「神戸市太山寺のシダを見る」, 神戸
市西区 (21名)

鈴木武, 2012.11, 「神戸市太山寺のシダを見る 追加版」,
神戸市西区 (15名)

◎鈴木武, 2013.3, 「オープンセミナー カタツムリを
さわってみよう」, 博物館. (30名)

特注セミナー

鈴木武, 2012.4, タンポポの観察, 大阪府立泉北高等
学校. (120名)

鈴木武・沢田佳久, 2012.6, 虫ビンゴ, 小野市立小野
東小学校3年生. (135名)

鈴木武, 2012.9, カタツムリとダンゴムシ, 理科推進
員養成講座. (12名)

鈴木武, 2012.12, 博物館について, 大阪青山歴史文学
博物館. (5名)

鈴木武, 2013.2, 展示解説, 講師, 猪名川町立楊津小
学校 (80名)

館外講演

鈴木武, 2012.4 下関市豊田町のタンポポ観察会, 下関
市立豊田はたるの里ミュージアム講座, 講師, 下関
市立豊田はたるの里ミュージアム (25名).

鈴木武, 2012.4 綾部市のタンポポ観察会, 綾部市立天
文館講座, 講師, 綾部市立天文館 (15名).

鈴木武, 2012.6 鐘ヶ坂のシダ植物, 青垣いきものふれ
あいの郷講座, 講師, 丹波市柏原町 (18名)

鈴木武, 2012.6 六甲山の生き物, 六甲山自然案内人の
会講座, 講師, 六甲山自然保護センター (40名).

鈴木武, 2012.6 箕面のシダ植物観察会, 大阪シニア自
然大学講座, 講師, 箕面市箕面滝周辺 (30名)

鈴木武, 2012.7, 宝塚とシダ植物, フレミラ自然講座,
講師, 宝塚市フレミラ (35名)

鈴木武, 2012.7, 最明寺の滝のシダ植物, フレミラ自
然講座, 講師, 宝塚市平井 (35名)

鈴木武, 2012.7, 丹波の生物多様性, 丹波シニア自然
講座, 講師, たんばの森公苑 (35名)

鈴木武, 2012.7, 箕面のシダ植物観察会, 大阪シニア自
然大学講座, 講師, 箕面市箕面滝周辺 (30名)

鈴木武, 2013.1, 六甲山の冬の植物, 六甲山を活用す
る会, 講師, 六甲山小学校 (15名)

ラジオ・テレビ等出演

2012.12. 「巳さん, ようこそ」 サンテレビ

■ミニキャラバン事業

2012.4 有馬富士フェスタ(分担者), 有馬富士公園,

三田市.

■連携事業

連携グループ等

希少植物研究会（主担当）

共催事業

2012.4 「どうぶつ集まれーぞうさんの描いた絵と表された動物たち」, 徳島県立美術館（責任者）.

2012.6 登紀子の田んぼ田植えでのワークショップ "田んぼのタヨウ性を遊ぼう!", 多可町文化連盟（責任者）.

2013.1 モトコー寺子屋 5th 陳瞬臣的神戸愛一元町 界限を歩き語る「モノクロ神戸ー風景今昔ものがたり」, NPO 法人リ・フォーブ（責任者）.

2013.2 小泉八雲記念館企画展「ヘルンさんとタヨウ星人」, 松江ツーリズム研究会（責任者）.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2012.6.8 三田市立けやき台中学校 2 名、三田市立狭間中学校 2 名.

学校団体対応

2012.10, 伊丹市立摂陽小学校 3 年生. (74 名))

2013.2, 猪名川町立楊津小学校 (80 名)

講師派遣

2012.11 身近な生き物の研究 ~タンポポとカタツムリ~、神戸学講座、講師、神戸市立六甲アイランド高校 (54 名)

2013.2、神戸学の進め方、講師、神戸市立六甲アイランド高校 (42 名)

2013.2、身近な生き物、加東市立三草小学校 3 年生、講師、加東市立三草小学校 (20 名)

■フェスティバル等

2010.11, ひとほくフェスティバル, 「ミュージアムモール」(責任者).

■展示

ミニ企画展

2011.12.3-2012.1., ミニ企画展示「辰さんようこそ！」(主担者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 3 件)

2011.7- 神戸市立六甲アイランド高等学校 スーパーサイエンススクール検討委員会、委員.

2011.10- 神戸市生き物調査検討委員会、委員.

2012.4- ささやまの森公園運営協議会、委員、(財)丹波の森協会.

相談・指導助言

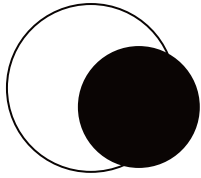
来訪者 10 件, 15 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 5 件.

			研究開発															
			調査研究															
			特別課題研究	共同研究(総合)	共同研究(部門)	論文・著書		そのほか著作		ブログへの情報提供	研究発表		学会役員など	助成を受けた研究		海外調査	受賞等	
研究員氏名(掲載順)	博物館	大学				テーマ数	参画数	参画数	第一著者件数		第一著者以外の件数	第一著者件数		第一著者以外の件数	件数			第一著者件数
			件数	(万総額)	件数													
小林文夫	主任研究員	教授	3	0	1	6	0	2	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	3	0	1	1	2	1	0	0	0	3	2	1	400	0	0	0
先山 徹	主任研究員	准教授	2	1	1	1	1	1	0	0	5	5	2	1	897	1	0	0
加藤茂弘	主任研究員		3	1	1	0	2	1	0	2	1	9	5	1	351	3	3	0
古谷 裕	主任研究員	准教授	3	0	1	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0
三枝春夫	主任研究員	准教授	2	1	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1	65	1	0	0
半田久美子	主任研究員		2	1	1	1	0	1	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0
松原尚志	主任研究員		2	0	1	0	1	2	0	0	4	0	2	1	220	2	0	0
池田忠弘	研究員		2	0	1	3	1	3	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0
高橋 晃	研究部長	教授	3	0	1	0	0	3	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0
秋山弘之	主任研究員	准教授	3	1	1	5	0	4	0	12	2	0	9	1	—	1	0	1
高野温子	主任研究員		3	0	0	1	1	5	1	1	4	2	5	0	0	1	0	0
布施静香	主任研究員		3	2	1	2	1	1	4	4	4	2	3	1	350	0	0	2
太田英利	主任研究員	教授	6	0	1	1	8	2	0	0	6	3	53	1			0	0
橋本佳明	主任研究員	准教授	4	1	1	1	2	4	0	6	1	1	3	1	430	0	2	0
八木 剛	主任研究員		2	1	0	0	0	2	0	10	2	0	1	0	0	0	0	0
江崎保男	研究部長/研究系次長	教授	2	1	1	4	1	4	0	0	3	5	8	2	570	0	0	0
田中哲夫	主任研究員	准教授	4	0	1	0	0	2	0	1	3	0	0	1	150	0	0	0
三橋弘宗	主任研究員		3	1	1	3	0	0	0	10	0	0	4	2	310	0	0	0
大谷 剛	主任研究員	教授	3	0	0	0	0	3	0	0	2	0	1	1	140	0	0	0
三谷雅純	主任研究員	准教授	2	0	0	2	0	0	0	26	0	0	2	1	45	0	0	0
布野隆之	研究員		3	0	0	0	0	3	0	0	2	0	2	1	340	0	0	0
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	2	1	1	1	0	6	0	0	0	0	9	0	0	0	0	1
藤本真里	研究員	助教	2	2	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0
赤澤宏樹	研究員	講師	2	1	1	1	1	1	1	0	2	0	11	1	30	1	0	0
武田重昭	研究員		5	1	1	8	0	2	0	1	1	3	7	0	0	0	0	0
田原直樹	主任研究員	教授	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
山崎義人	研究員		4	2	1	1	0	4	0	10	0	1	13	1	320	3	0	0
上田萌子	研究員		2	1	1	2	0	3	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0
服部 保	研究部長	教授	3	0	1	4	2	9	2	0	2	1	0	1	100	0	0	2
石田弘明	研究員	講師	2	1	1	2	2	3	3	0	1	3	7	0	0	0	0	0
橋本佳延	研究員		4	1	1	1	1	1	2	0	1	0	3	3	340	0	0	0
小館誓治	研究員	助教	2	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
藤井俊夫	研究員		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
黒田有寿茂	研究員	助教	4	1	1	0	4	0	1	0	2	1	0	1	286	0	0	0
鈴木 武	研究員	助教	2	0	1	0	0	1	0	3	0	0	3	1	30	0	0	0
合計			101	23	29	51	33	81	16	92	57	45	167	25	5374	19	7	7

研究開発				生涯学習																						
資料収集・整理				セミナー											キャラバン事業											
資料収集	資料受贈	資料貸出・借用・譲渡	整理 同定 担当 資料	館主催	館内特注セミナー				館外講演	非常勤講師	兵庫県立大学・大学院教育	兵庫県立大学付属中学校	ラジオ・TV出演等	主担当	副担当	展示作成	リサーチプロジェクト	セミナー担当	成果発表	ミニキャラバン事業						
					責任者		分担者													件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数	件数	主担当件数	分担件数
					件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数																		
有	0	0	有	9	309	0	0	3	87	6	326	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	6	114	2	36	2	36	1	80	0	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0			
有	0	0	有	12	427	1	31	0	0	22	964	0	2	0	0	1	2	0	0	2	0	0	0			
有	0	0	有	12	189	2	188	4	450	9	539	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	13	—	0	0	0	0	6	80	1	1	0	0	25	0	1	0	3	0	0	0			
有	0	0	有	7	510	0	0	4	324	4	755	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	196	0	有	5	139	0	0	0	0	3	464	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2			
有	0	0	有	4	107	0	0	0	0	1	281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	14	1071	0	0	0	0	3	386	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			
有	251568	0	有	11	271	3	52	0	0	0	0	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	9	273	0	0	0	0	1	47	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
無	1314	0	有	7	202	0	0	0	0	1	40	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	2	4			
有	91	0	有	6	178	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0	6	0	0	0	4	0	0	0			
有	0	0	有	6	60	0	0	0	0	5	363	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	8	334	0	0	0	0	3	177	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	6	399	3	143	11	780	8	215	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0			
有	0	0	有	5	97	0	0	1	54	7	1120	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	39	0	有	7	284	0	0	1	61	5	143	2	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0			
有	200	0	有	9	617	0	0	10	445	27	1859	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	無	8	496	4	197	0	0	17	982	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	9	200	0	0	0	0	5	410	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
無	2005	0	有	6	306	1	14	0	0	14	700	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0			
無	0	0	無	2	108	0	0	1	66	21	1659	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	無	4	33	0	0	0	0	11	457	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
有	0	0	無	8	419	0	0	0	0	11	660	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	無	7	80	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
無	0	0	無	9	160	0	0	0	0	8	1422	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	無	10	195	0	0	0	0	11	—	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	無	7	281	3	331	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1			
有	0	0	有	7	100	0	0	5	163	57	3978	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	9	289	2	636	5	180	11	431	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	2	4			
有	0	0	有	6	277	6	866	9	219	3	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
有	0	0	有	7	145	0	0	0	0	15	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	7			
有	0	0	無	9	240	0	0	0	0	2	96	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0			
有	0	0	無	14	306	0	0	4	286	8	274	0	1	0	0	0	1	1	0	1	2	0	1			
有	0	0	有	8	236	0	0	5	352	10	278	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			
	255413	0		286	9452	27	2494	65	3503	317	19421	16	43	1	11	36	11	4	0	20	7	16	24			

			生涯学習事業													
			連携事業				学校教育支援						研修生等の受入			イベント
			連携グループ	共催事業	協力事業	後援事業	トライやるウィーク	学校団体対応	講師派遣	博物館実習	卒論生など	その他	フェスティバル等の実施			
研究員氏名	博物館	役職	件数	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数	
小林文夫	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
佐藤裕司	主任研究員	教授	0	0	1	0	0	1	66	1	—	0	0	0	0	
先山 徹	主任研究員	准教授	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
加藤茂弘	主任研究員		2	3	2	0	4	0	10	85	0	0	0	0	1	
古谷 裕	主任研究員	准教授	2	1	0	0	4	4	133	2	192	0	0	0	0	
三枝春夫	研究員	助教	2	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
半田久美子	主任研究員		0	3	0	0	4	1	46	2	—	0	0	0	1	
松原尚志	主任研究員		0	2	1	0	0	1	51	0	0	3	0	0	1	
池田忠弘	研究員		2	1	3	0	0	0	1	30	12	0	0	0	1	
高橋 晃	研究部長	教授	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
秋山弘之	主任研究員	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
高野温子	主任研究員		0	0	0	0	0	6	158	0	0	0	0	0	0	
布施静香	主任研究員		0	2	1	0	0	1	69	0	0	0	0	0	1	
太田英利	主任研究員	教授	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
橋本佳明	主任研究員	准教授	1	0	3	0	0	1	60	0	0	0	2	0	3	
八木 剛	主任研究員	主任研究員	9	4	3	0	6	1	74	2	80	3	0	0	1	
江崎保男	研究部長/研究系次長	教授	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
田中哲夫	主任研究員	准教授	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
三橋弘宗	主任研究員		8	2	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	1	
大谷 剛	主任研究員	教授	3	0	1	0	3	8	—	1	79	0	0	0	0	
三谷雅純	主任研究員	准教授	2	0	0	0	0	2	78	0	0	0	0	0	3	
布野隆之	研究員		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	
藤本真里	研究員	助教	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
赤澤宏樹	研究員	講師	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
武田重昭	研究員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
田原直樹	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山崎義人	研究員		0	0	0	0	2	0	0	3	3	10	2	0	1	
上田萌子	研究員		0	0	0	0	3	0	0	1	5	0	0	0	1	
服部 保	研究部長	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
石田弘明	研究員	講師	3	5	0	0	0	3	155	0	0	0	0	0	4	
橋本佳延	研究員		0	0	3	0	4	2	119	0	0	2	0	0	3	
小館誓治	研究員	助教	2	1	0	0	4	6	369	20	669	0	0	0	2	
藤井俊夫	研究員		0	0	0	0	4	3	228	0	0	2	0	0	1	
黒田有寿茂	研究員	助教	2	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	
鈴木 武	研究員	助教	1	4	0	0	4	2	154	3	116	0	0	0	1	
合計			53	19	15	0	40	35	1464	46	952	25	11	1	42	

生涯学習事業						シンクタンク事業										
展示作成・実施						受託研究	収蔵庫・ジーンファームの公開	行政等支援				学会開催等支援				
常設展 (映像資料作成を含む)	企画展		ミニ企画展等					委員会など	相談・指導助言 (来訪者)	相談・指導助言 (TEL・FAX・メール等)						
	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	主担当件数					分担件数	件数		質問者数	件数		
主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	代表		分担	実施件数	のべ受講者数	参画件数	件数	質問者数	件数	件数	
						件数	受託金額 (万円)	件数								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	35	14	1	
0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4	5	17	32	11	0	
0	0	0	0	0	0	1	40	0	0	0	5	5	5	2	0	
1	0	1	0	1	0	1	27	0	—	—	3	20	40	150	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	20	0	5	10	3	0	
0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4	8	51	0	
0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	3	5	80	0	
0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	4	7	21	2	
0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	88	5	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	12	16	24	0	
0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	78	0	2	2	13	1	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	24	181	1	6	7	22	0	
0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	28	83	99	0	
0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	35	0	4	16	18	0	
0	0	1	1	0	0	1	30	0	5	—	2	20	50	40	2	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	40	180	40	0	
0	0	0	0	0	0	1	55	0	3	21	13	20	60	40	0	
0	0	0	0	2	0	0	0	0	5	30	19	80	170	225	0	
0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	0	1	2	10	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10	20	200	0	
0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	20	2	5	20	100	4	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	120	160	170	0	
0	0	0	0	0	2	175	0	0	0	0	20	58	130	253	0	
0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	26	30	70	70	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	10	10	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	14	30	0	0	
0	0	0	0	3	0	1	50	0	1	20	4	—	10	0	2	
0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	21	2	4	8	25	0	
0	0	0	0	0	5	1420	1	28	154	70	230	650	400	0	0	
0	0	0	0	1	2	0	0	5	0	0	2	6	20	18	0	
0	0	0	0	0	1	60	2	0	0	0	6	0	0	7	0	
0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	84	1	0	0	25	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32	48	89	0	
0	0	0	0	0	1	35	2	0	0	0	2	3	5	12	0	
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	10	15	25	0	
2	3	8	5	12	11	14	1892	13	100	763	357	819	1924	2267	12	



博物館事業報告に関連する資料

開催したセミナーの一覧

平成 24 年度は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施した（キャラバンを除く）。

実施日	セミナー名	講師	定員	参加者
4月6日(金)	タネから育てる希少山野草	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	11
4月7日(土)	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本 佳延	25	35
4月15日(日)	もいちど始める昆虫採集	沢田 佳久	5	5
4月15日(日)	鳥たちと共生しよう！ カラス被害を解決する	布野 隆之	30	11
4月21日(土)	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫、佐藤 祐司	20	10
4月21日(土)	河口の生き物観察会(芦屋川河口編)	三橋 弘宗	50	26
4月21日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪市上町台地寺町界隈を歩く	田原 直樹	10	16
4月22日(日)	マツバラン観察会	藤井 俊夫	20	8
4月22日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	9
4月22日(日)	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫、佐藤 祐司	20	10
4月28日(土)	植物ウォッチング①～琴引浜～	黒田 有寿茂	20	14
4月28日(土)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	2
4月29日(日)	植物ウォッチング②～高天山～	黒田 有寿茂	20	11
4月29日(日)	成ヶ島の塩性湿地を見て歩く	上田 萌子	20	20
4月30日(月)	ジオパークセミナー:コウノトリと玄武洞、豊岡の火山めぐり	先山 徹	20	32
5月3日(木)	ペーパークラフト「アジアの家」 タイの家	山崎 義人	10	0
5月4日(金)	ペーパークラフト「アジアの家」 モンゴルの家	山崎 義人	10	0
5月5日(土)	ピカリア化石のレプリカをつくろう！	松原 尚志	15	10
5月5日(土)	春の六甲山ハイキング	橋本 佳延	25	18
5月5日(土)	ペーパークラフト「アジアの家」 インドネシアの家	山崎 義人	10	0
5月5日(土)	立版古(たてばんこ)をつくろう ～歌川広重作「名所江戸百景」に描かれた季節の風景～	上田 萌子	20	5
5月6日(日)	丹波の恐竜化石第六次発掘報告会	三枝 春生	25	9
5月6日(日)	山陰海岸ジオハイキング 諸寄～浜坂コース	先山 徹、山口 勇人(鳥取県博)	40	36
5月11日(金)	環境とともに生きるー小さな植物の戦略に学ぶ	秋山 弘之	10	49
5月11日(金)	木材化石による 9000 年前の植生復元 (全3回)	高橋 晃	10	15
5月12日(土)	山陰海岸植物観察会(春)(2日間)	藤井 俊夫	20	8
5月12日(土)	ため池を探る(全4回)	佐藤 裕司、田中 哲夫	20	7
5月12日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪府池田界隈を歩く	田原 直樹	10	20
5月12日(土)	ハチ北高原 春の散策ツアー ー春の植物観察とバードウォッチングー	高橋 晃、布野 隆之、ハチ北自然案内人	20	7
5月13日(日)	百丈岩・鎌倉峡ハイキング	小林 文夫	10	15
5月13日(日)	山陰海岸植物観察会(春)(2日間)	藤井 俊夫	20	9

5月13日(日)	霊長類学 頭の体操(2012年版)	三谷 雅純	20	5
5月13日(日)	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫、佐藤 祐司	20	5
5月13日(日)	鳥にとっての都市生態系	江崎 保男	30	6
5月13日(日)	ハチ北高原 春の散策ツアー ー春の植物観察とバードウォッチングー	高橋 晃、布野 隆之、ハチ北自然案内人	20	7
5月19日(土)	六甲山「森の植物」観察会(春)	小舘 誓治	20	16
5月20日(日)	東六甲の地形・地質観察	小林 文夫	20	15
5月20日(日)	春の山陰海岸～香住の花々	布施 静香、高野 温子、高橋 晃	20	19
5月20日(日)	鳥たちと共生しよう！ 希少猛禽類イヌワシを保全する	布野 隆之	30	4
5月24日(木)	三木山森林公園のシダを見る	鈴木 武	20	34
5月25日(金)	木材化石による9000年前の植生復元(全3回)	高橋 晃	10	13
5月26日(土)	豊岡の海浜植物を観察しよう	高野 温子	20	19
5月26日(土)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	3
5月26日(土)	家族で蜂蜜しばり5月	大谷 剛	30	29
5月26日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪府高槻界限を歩く	田原 直樹	10	20
5月26日(土)	生物多様性を測定する(技術編)	橋本 佳明	10	7
5月27日(日)	但馬高原植物園の植物を観察しよう	石田 弘明	20	17
5月27日(日)	神社の森、照葉樹林と日本人	服部 保	40	40
5月27日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	7
5月30日(水)	武田尾溪谷の植物を観察しよう	石田 弘明	20	25
6月1日(金)	木材化石による9000年前の植生復元(全3回)	高橋 晃	10	13
6月2日(土)	植物ウォッチング③～炭ヶ谷～	黒田 有寿茂	20	20
6月2日(土)	ヘビの世界	池田 忠広	50	13
6月2日(土)	川の水生昆虫の観察会(芦屋川上流編)	三橋 弘宗	50	27
6月2日(土)	スイーツ・カフェ 山陰海岸ジオパークの風景物語	藤本 真里	15	0
6月2日(土)	身近な野草を味わってみよう	ひとはく連携グループ NPO法人 人と自然の会	20	13
6月3日(日)	神戸の地盤と土石流災害	小林 文夫	10	13
6月3日(日)	春の石めぐりハイキング～ジオパークの石めぐり：神鍋火山と溶岩～	加藤 茂弘、先山 徹	20	31
6月3日(日)	山の樹木を見分ける	高橋 晃	20	23
6月3日(日)	人と自然の“親子”ピクニック	武田 重昭	30	9
6月8日(金)	まちは誰がつくっているのだろう？	武田 重昭	10	40
6月10日(日)	見直される近未来の南海地震像	加藤 茂弘	30	26
6月10日(日)	トキノウ観察会	藤井 俊夫	20	36
6月12日(火)	挿し木で増やす希少植物	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	20
6月13日(水)	武田尾溪谷の植物を観察しよう 追加版	石田 弘明	20	14
6月16日(土)	化石のクリーニングとは？	池田 忠広	50	2
6月16日(土)	太山寺周辺の樹林で多様性を知る	小舘 誓治	20	11
6月16日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全3回)	八木 剛、大谷 剛	20	8
6月17日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	29
6月17日(日)	<こころ>と<ことば>を科学する	三谷 雅純	10	19
6月23日(土)	新しい植物の分類体系について	高野 温子	20	25
6月23日(土)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	4

6月23日(土)	家族で蜂蜜しぼり6月	大谷 剛	30	25
6月24日(日)	福知溪谷の泥炭層からわかること	半田 久美子	30	12
6月29日(金)	植物・植生を調べる(全3回)	黒田 有寿茂	10	20
6月30日(土)	福知泥炭層の花粉化石を調べよう	半田 久美子	15	9
6月30日(土)	相生市羅漢の里のシダを見る	鈴木 武	20	24
6月30日(土)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	4
7月1日(日)	福知泥炭層の種子や木材の化石を調べよう	半田 久美子、高橋 晃	15	10
7月7日(土)	夏のキノコかんさつ ～一庫公園～	秋山 弘之	15	13
7月8日(日)	南あわじで地層を見る	古谷 裕	20	20
7月8日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	19
7月8日(日)	小さな虫の標本作り	沢田 佳久	20	5
7月15日(日)	ジオパークセミナー：ふしぎな鉱物の世界にふれてみよう	先山 徹	20	8
7月16日(月)	川の水生昆虫の観察会(篠山川中流編)	三橋 弘宗	50	52
7月19日(木)	コケ植物をみてみよう1	秋山 弘之	15	8
7月20日(金)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	7
7月21日(土)	火山灰を調べる：上級編(全2回)	加藤 茂弘	5	5
7月21日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全3回)	八木 剛、大谷 剛	20	8
7月21日(土)	親子で藍の生葉染めをしよう	ひとはく連携グループ NPO法人 人と自然の会	15	16
7月21日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
7月22日(日)	火山灰を調べる：上級編(全2回)	加藤 茂弘	5	5
7月22日(日)	ジオパークセミナー：地球の磁石と磁石の性質を持つ石	先山 徹	20	22
7月27日(金)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
7月28日(土)	夏休みに「きれいな」植物標本をつくろう!	布施 静香	20	15
7月28日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
7月29日(日)	オニバス観察会	藤井 俊夫	20	12
7月29日(日)	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛	20	5
7月29日(日)	ペーパークラフト「アジアの家」 カンボジアの家	山崎 義人	10	2
7月29日(日)	牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう	赤澤 宏樹	30	37
7月29日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
7月30日(月)	ペーパークラフト「アジアの家」 ネパールの家	山崎 義人	10	5
7月31日(火)	ペーパークラフト「アジアの家」 韓国の家	山崎 義人	10	4
8月1日(水)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
8月5日(日)	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真をとろう	赤澤 宏樹	15	16
8月8日(水)	小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方	小館 誓治	20	36
8月8日(水)	泥炭層の中の植物化石を調べよう	半田 久美子、高橋 晃	15	8
8月8日(水)	丹波の恐竜化石と小動物化石	池田 忠広	30	18
8月8日(水)	立版古(たてばんこ)をつくろう	上田 萌子	20	12
8月8日(水)	水中の微生物観察 ー解説と写真撮影ー	佐藤 裕司	20	15
8月8日(水)	外来種の現状と対策	太田 英利	40	9
8月9日(木)	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田 有寿茂	20	18
8月9日(木)	牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう	赤澤 宏樹	50	43
8月9日(木)	兵庫の岩石と大地の成り立ちを知ろう	先山 徹	30	30

8月9日(木)	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	20	13
8月9日(木)	自然とはなにか	江崎 保男	30	16
8月10日(金)	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例 国立科学博物館資料活用編①	西岡 敬三	30	13
8月10日(金)	キリンビール・ピオトープ池調査	田中 哲夫	15	16
8月10日(金)	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	30	19
8月10日(金)	身近な自然、里山林と草原	服部 保	40	11
8月11日(土)	サメの歯化石をクリーニングしてみよう!	松原 尚志、博物館実習生	30	22
8月11日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	5
8月12日(日)	土の中のむし	沢田 佳久	20	8
8月16日(木)	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	40	23
8月16日(木)	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例 国立科学博物館資料活用編②	西岡 敬三	30	10
8月16日(木)	学校でできる!やさしい化石のレプリカづくり	八尾 滋樹	30	30
8月16日(木)	NPOとの連携で実施する「環境体験学習」の事例	ひとはく連携グループ 人と自然の会、西岡 敬三	30	8
8月16日(木)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
8月17日(金)	身近な石ころを調べる	古谷 裕	30	30
8月17日(金)	体験学習!虫とりベナントレース バッタ編	八木 剛	50	4
8月17日(金)	石ころの中の化石を調べる	古谷 裕	20	20
8月17日(金)	体験学習!虫とりベナントレース トンボ編	八木 剛	50	12
8月19日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	22
8月20日(月)	まちづくりの「ルール」	武田 重昭	30	24
8月20日(月)	街の中でトコロに会うために—植物豆知識	布施 静香	20	17
8月20日(月)	造園的環境教育とフィールドワーク	坂上 勝彦	20	12
8月22日(水)	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例 国立科学博物館資料活用編①	西岡 敬三	30	8
8月22日(水)	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例 国立科学博物館資料活用編②	西岡 敬三	30	8
8月25日(土)	恐竜化石展示解説と石割化石調査会	池田 忠広	30	16
8月26日(日)	サギソウ観察会	藤井 俊夫	20	27
8月26日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛	20	12
8月27日(月)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	8
8月28日(火)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	8
8月29日(水)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	8
8月30日(木)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	8
9月1日(土)	ジャガイモを育てて食べちゃおう!(全4回)	高野 温子、福岡 誠行	20	0
9月1日(土)	カメラぶらり散歩 ~香住編~	武田 重昭	30	6
9月1日(土)	火山灰を調べる:上級編(全2回) 追加版1	加藤 茂弘	5	6
9月2日(日)	火山灰を調べる:上級編(全2回) 追加版1	加藤 茂弘	20	11
9月7日(金)	里山の生物多様性	橋本 佳延	10	42
9月8日(土)	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃、長谷川 太一	20	9
9月8日(土)	港町を眺める草原~東お多福山のスキ草原植生観察~	橋本 佳延	40	31

9月8日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全3回)	八木 剛、大谷 剛	20	8
9月9日(日)	ジオパークセミナー:竹野海岸の地層を見よう	先山 徹	20	24
9月9日(日)	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃、長谷川 太一	20	8
9月11日(火)	植物の生活への応用〜クスリや食べ物〜	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	30	25
9月14日(金)	植物・植生を調べる(全3回)	黒田 有寿茂	10	18
9月15日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	5
9月16日(日)	虫の体を調べよう	沢田 佳久	24	5
9月16日(日)	火山灰を調べる:上級編(全2回) 追加版2	加藤 茂弘	5	5
9月17日(月)	火山灰を調べる:上級編(全2回) 追加版2	加藤 茂弘	5	5
9月21日(金)	植物・植生を調べる(全3回)	黒田 有寿茂	10	20
9月22日(土)	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	ひとはく連携グループ アビス同好会、大谷 剛	20	14
9月23日(日)	石めぐりハイキング:香美町余部の鉄道橋と海岸	先山 徹、加藤 茂弘	20	26
9月23日(日)	植物観察会(鴨池)	藤井 俊夫	20	23
9月23日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	6
9月26日(水)	里山の植物を観察しよう	石田 弘明	20	24
9月28日(金)	ピオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	14
9月29日(土)	ジャガイモを育てて食べちゃおう!(全4回)	高野 温子、福岡 誠行	20	0
9月29日(土)	養父市天滝のシダを見る	鈴木 武	20	0
9月29日(土)	万葉集と枕草子	服部 保	40	22
9月29日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	3
9月29日(土)	動物の体のつくりとしくみ 1. 両生類	太田 英利	25	3
9月29日(土)	建築スケッチ紀行 村野藤吾作品10 「南大阪教会」	山崎 義人	15	8
9月30日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	8
9月30日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	10
9月30日(日)	鳥にとっての水田生態系	江崎 保男、大学院生	30	0
10月3日(水)	ハチ北高原秋の自然観察ツアー	秋山 弘之、ハチ北自然案内人	20	12
10月3日(水)	植物ウォッチング④~阿弥陀町~	黒田 有寿茂	20	28
10月4日(木)	ハチ北高原秋の自然観察ツアー	秋山 弘之、ハチ北自然案内人	20	12
10月5日(金)	須磨海岸でウミホタルを観察しよう	三橋 弘宗	30	38
10月5日(金)	名画・名景に見る人と自然	武田 重昭	10	37
10月6日(土)	ジオパークセミナー:香美町小代の地層と火山	先山 徹	20	21
10月6日(土)	コケ植物をみてみよう2	秋山 弘之	12	15
10月6日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回)	大谷 剛	10	3
10月6日(土)	建築スケッチ紀行 村野藤吾作品11 「西宮商工会館」	山崎 義人	15	3
10月6日(土)	都市の歩き方・名所編 京都市上京界隈を歩く	田原 直樹	10	18
10月6日(土)	「湧き水」を訪ねる(全2回)	佐藤 裕司	20	9
10月6日(土)	親と子の鳴く虫の調べ	ひとはく連携グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」、大谷 剛	30	17
10月7日(日)	「湧き水」を訪ねる(全2回)	佐藤 裕司	20	11
10月12日(金)	ピオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	14
10月18日(木)	秋のキノコかんさつ1 ~神戸~	秋山 弘之	15	12
10月19日(金)	ピオトープ池を調べる(全3回)	田中 哲夫、佐藤 裕司	10	14

10月20日(土)	小さな化石の抽出と観察~中期中新世の化石~	松原 尚志	5	6
10月21日(日)	春日山原始林観察会	藤井 俊夫	20	35
10月21日(日)	建築スケッチ紀行 村野藤吾作品12 「甲南女子大学」	山崎 義人	15	6
10月26日(金)	兵庫の恐竜	三枝 春生	10	42
10月27日(土)	秋のキノコかんさつ2 ~有馬富士~	秋山 弘之	20	31
10月27日(土)	ジャガイモを育てて食べちゃおう！(全4回)	高野 温子、福岡 誠行	20	0
10月27日(土)	動物の体のつくりとしくみ 2. 爬虫類	太田 英利	25	3
10月27日(土)	都市の歩き方・名所編 清盛の兵庫を歩く	田原 直樹	10	8
10月27日(土)	愛蜂家基礎講座・初級(全5回)	ひとはく連携グループ アビス同好会、大谷 剛	50	14
10月28日(日)	丹波で地層を見る	古谷 裕	20	13
10月28日(日)	研究員と行く、世界ジオパークバスツアー:鳥取砂丘と浦富海岸	先山 徹	40	15
10月28日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	7
10月28日(日)	プラスチック封入標本をつくろう	三橋 弘宗	20	21
11月10日(土)	山陰海岸植物観察会(秋)(2日間)	藤井 俊夫	20	9
11月10日(土)	都市の歩き方・古地図編 大阪市伝法界隈を歩く	田原 直樹	10	18
11月11日(日)	山陰海岸植物観察会(秋)(2日間)	藤井 俊夫	20	11
11月11日(日)	立体写真入門	沢田 佳久	10	0
11月11日(日)	「子どもの目が輝く自然体験学習」指導者養成セミナー(講義編)	橋本 佳明	25	13
11月14日(水)	神戸市太山寺のシダを見る	鈴木 武	20	21
11月18日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	20
11月18日(日)	簡単料理教室 ヘルシーパーティー料理で祝おう!ひとはく20周年	藤本 真里	15	11
11月21日(水)	神戸市太山寺のシダを見る(追加版)	鈴木 武	20	15
11月24日(土)	ジャガイモを育てて食べちゃおう！(全4回)	高野 温子、福岡 誠行	20	0
11月24日(土)	愛蜂家基礎講座・初級(全6回)	ひとはく連携グループ アビス同好会、大谷 剛	50	14
11月25日(日)	海岸砂の微生物を集めよう	小林 文夫	15	11
11月25日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	50	7
11月25日(日)	鳥たちと共生しよう! 天然記念物オオヒシクイを保全する	布野 隆之	30	6
11月25日(日)	「子どもの目が輝く自然体験学習」指導者養成セミナー(実習編)	橋本 佳明、長島 聖大(伊丹市昆虫館学芸員)	25	15
12月1日(土)	三田哺乳類化石産地見学会	三枝 春生	15	6
12月1日(土)	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る	小館 誓治	20	18
12月7日(金)	霊長類学が描くヒトの姿-われわれは何者か?	三谷 雅純	10	41
12月9日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	21
12月15日(土)	ジオパークセミナー:山陰海岸ジオパークの大地を知ろう	先山 徹	20	23
12月15日(土)	副館長 特別セミナー	中瀬 勲	50	60
12月16日(日)	ジオパークセミナー:山陰海岸ジオパークの大地を知ろう	先山 徹	20	17
12月22日(土)	立版古(たてばんこ)をつくろう ~歌川広重作「名所江戸百景」に描かれた季節の風景~	上田 萌子	20	0
12月22日(土)	愛蜂家基礎講座・初級(全7回)	ひとはく連携グループ アビス同好会、大谷 剛	50	15
12月23日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	7

12月23日(日)	むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと	三谷 雅純	10	9
1月6日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	15
1月18日(金)	壺長類学が描くヒトの姿-われわれは何者か?(続編)	三谷 雅純	10	37
1月27日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	3
2月3日(日)	石ころクラブ(全8回)	先山 徹、加藤 茂弘	25	18
2月9日(土)	こんにやくを作ってみよう	ひとはく連携グループ NPO法人 人と自然の 会	20	18
2月24日(日)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	5
3月10日(日)	魅力再発見!ハイキング 姫路城だけじゃない姫路の魅力	藤本 真里	15	13
3月20日(水)	かせきをさがそう!しらべよう!	古谷 裕	25	12
3月20日(水)	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	9
3月24日(日)	恐竜と哺乳類の2億3千万年	三枝 春生	30	9
3月30日(土)	立版古(たてばんこ)をつくろう ~歌川広重作「名所江戸百景」に描かれた季節の風景~	上田 萌子	20	3

企画展等一覧(平成 24 年度)

下記のような特別企画、ミニ企画展を2階多様性フロア・3階ギャラリー・4階ひとはくサロンなどで開催した。

【特別企画】

期間	タイトル	入場者数	担当者(所属)、順不同(* 主担当者)
2012.4.28 ～2013.3.31	丹波の恐竜発掘～6年間の軌跡～	170757	* 三枝春生・松原尚志・古谷裕・池田忠広・半田久美子・佐藤裕司(ひとはく)
2012.7.20～10.14	昆虫少年のじゆうけんきゅう	50792	* 八木 剛・沢田佳久・大谷剛・橋本佳明(ひとはく)

【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)】

期間	タイトル	展示場所	担当者(所属)、順不同(* 主担当者)
2012.2.11～4.8	共生のひろば展	2階企画展示室	* 北村俊平・加藤茂弘(ひとはく)
2012.3.4～4.8	みんなの福島展	3階ギャラリー	* 八木 剛・小館誓治・布施静香・古谷裕(ひとはく)
2012.3.13～5.6	六甲山のキノコ展 2012	4階ひとはくサロン	* 兵庫県立御影高等学校・三橋弘宗(ひとはく)
2012.3.18～4.15	弥生小学校 環境学習作品展	4階ひとはくサロン	* 三田市立弥生小学校・西岡徳三(ひとはく)
2012.4.22～5.27	丹後のハルゼミ	4階ひとはくサロン	* 高野温子(ひとはく)・琴引浜鳴き砂文化館
2012.6.2～7.16	宍粟市でみつかった 9000 年前のタネ・はっぱ・虫	4階ひとはくサロン	* 半田久美子・加藤茂弘・高橋 晃・八木 剛・(ひとはく)
2012.7.20～10.14	ネイチャーテクノロジー展	4階ひとはくサロン	* 古谷裕・小館誓治・布施静香・高瀬優子・細川真理恵(ひとはく)
2012.8.4～19	ラッピング・デザイン・コンペティション 応募作品展	4階ひとはくサロン	* 山崎義人・石田弘明・高野温子(ひとはく)
2012.8.5～26	さんだネイチャークラブ写真展「三田と兵庫の自然」	4階ひとはくサロン	* 虎谷久雄(さんだネイチャークラブ)
2012.9.8～10.14	ラッピング・デザイン・コンペティション 受賞作品展	4階ひとはくサロン	* 山崎義人・石田弘明・高野温子(ひとはく)
2012.9.8～10.21	丹波並木道中央公園 恐竜化石調査速報展	3階常設展示室	* 三枝春生・松原尚志・古谷裕・池田忠広・半田久美子・佐藤裕司(ひとはく)
2012.9.21～27	三田市中学校理科作品展	4階ひとはくサロン	* 西岡徳三(ひとはく)・三田市中学校理科部会

2012.10.6～2013.1.6	しぜん かわらばん 2012	3 階常設展示室	* 大谷剛(主担当)・藤井俊夫・山本展子(ひとはく)
2012.12.8～2013.1.6	巳(へび)さん ようこそ!	4 階ひとはくサロン	* 鈴木 武・太田英利・池田忠広・加藤茂弘・布野隆之(ひとはく)
2013.2.11～4.7	共生のひろば展	3 階常設展示室	* 鈴木武・藤井俊夫・加藤茂弘(ひとはく)
2013.2.11～7.28	六甲山のキノコ展 2013	2 階 多様性フロア	* 兵庫県立御影高等学校・三橋弘宗(ひとはく)
2013.3.9～4.21	東北しぜんかわらばん展	4 階ひとはくサロン	* 古谷裕・小舘誓治(ひとはく)・清水文美人(こどもひかりプロジェクト)
2012.3.13～5.6	六甲山のキノコ展 2012	4 階ひとはくサロン	* 八木 剛・小舘誓治・布施静香・古谷裕(ひとはく)
2013.2.16～4.7	栗林慧写真展「アリの目の日々」	3 階ギャラリー	* 大谷剛(ひとはく)・栗林慧(栗林自然科学写真研究所)
2013.2.6～5.6	弥生小学校総合学習作品展示	4 階ひとはくサロン	* 西岡徳三(ひとはく)・三田市立弥生小学校

【資料・トピックス展示(新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示)】

期間	タイトル	展示場所	担当者(所属)、順不同(* 主担当者)
2012.4.7～6.3	川西市のエドヒガン	3 階トピックスコーナー	* 石田弘明(ひとはく)
2012.6.9～9.2	魚介類のプラスチック標本展	3 階トピックスコーナー	* 三橋弘宗(ひとはく)
2012.9.8.～11.4	ひとはく収蔵品から発見された新種のクワガタ	3 階トピックスコーナー	* 沢田佳久(ひとはく)
2012.11.3～2013.1.6	今和次郎 直筆入り図書資料を発見	3 階トピックスコーナー	* 山崎義人(ひとはく)
2013.2.1～4.7	地磁気の減少が寒冷化を招いたか?～ ひとはく所蔵東灘 1700m ボーリングコア からわかったこと～	3 階トピックスコーナー	* 加藤茂弘(ひとはく)
2013.3.30～6.30	日本最古の真獣類化石 ササヤマミロス・カワイイ 展	3 階「丹波の恐竜」コーナー	* 三枝春生・松原尚志(ひとはく)

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期 間	学 校 名	人数	担当研究部課室名
5月29日～6月1日(Ⅰ期)	三田市立ゆりのき台中学校	2	系統分類
	三田市立長坂中学校	2	環境計画
	三田市立八景中学校	2	生物資源
	三田市立富士中学校	2	
	宝塚市立西谷中学校	2	
6月5日～8日(Ⅱ期)	三田市立狭間中学校	6	地球科学
	三田市立けやき台中学校	2	生態研究
	丹波市立山南中学校	2	総務課
	神戸市立有馬中学校	2	生涯学習課
11月6日～9日(Ⅲ期)	神戸市立北神戸中学校	2	生涯学習課
	神戸市立有野中学校	3	情報管理課
11月13日～16日(Ⅳ期)	神戸大学附属 中等教育学校	1	生涯学習課 情報管理課

【県庁インターンシップ】

期 間	学 校 名	人数	担当研究部課室名
8月20日～8月24日	県立尼崎稲園高等学校	1	地球科学
	県立吉川高等学校	1	生態研究
	県立氷上高等学校	1	環境計画 生物資源 生涯学習課 情報管理課

【博物館実習】

8月6日から8月24日までの10日間

8大学 12名

高知大学	3名
神戸大学	2名
岡山理科大学	2名
関西学院大学	1名
近畿大学	1名
北海道大学	1名
神戸芸術工科大学	1名
甲南女子大学	1名

担当研究部門

自然・環境評価部	6名
自然・環境マネジメント部	4名
自然・環境再生研究部	2名
計	12名

学校教育支援プログラム

【教職員・指導者セミナー】

実施日	セミナー名	講師	受講数
8月8日(水)	小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方	小舘 誓治	36
	泥炭層の中の植物化石を調べよう	半田久美子	8
	丹波の恐竜化石と小動物化石	高橋 晃	
	立版古(たてばんこ)をつくろう	池田 忠広	18
	水中の微生物観察－解説と写真撮影－	上田 萌子	12
	外来種の現状と対策	佐藤 裕司	15
		太田 英利	9
8月9日(木)	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田有寿茂	18
	牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう	赤澤 宏樹	43
	兵庫の岩石と大地の成り立ちを知ろう	先山 徹	30
	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真をとろう	赤澤 宏樹	13
	自然とはなにか	江崎 保男	16
8月10日(金)	キリンビール・ビオトープ池調査	田中 哲夫	16
	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	19
	身近な自然、里山林と草原	服部 保	11
	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例①	西岡 敬三	13
8月16日(木)	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	23
	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例②	西岡 敬三	10
	学校でできる!やさしい化石のレプリカづくり	八尾 滋樹	30
	NPOとの連携で実施する「環境体験学習」の事例	人と自然の会	8
8月17日(金)	身近な石ころを調べる	古谷 裕	30
	体験学習!虫とりペナントレース バッタ編	八木 剛	4
	石ころの中の化石を調べる	古谷 裕	20
	体験学習!虫とりペナントレース トンボ編	八木 剛	12
8月20日(月)	まちづくりの「ルール」	武田 重昭	24
	街の中でトトロに会うために－植物豆知識	布施 静香	17
	造園的環境教育とフィールドワーク	阪上 勝彦	12
8月22日(水)	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例①	西岡 敬三	8
	すぐ使える!博物館貸出標本を活用した授業例②	西岡 敬三	8
11月11日(日)	「子どもの目が輝く自然体験学習」(講義編)	橋本 佳明	13
11月25日(日)	「子どもの目が輝く自然体験学習」(実習編)	橋本 佳明	16
30講座			512

平成24年度学校団体連続入館状況

学 校 名	地域	20	21	22	23	24
ポートピア保育園	神戸市				・	・
光の子保育園	三田市		・	・	・	・
三田市立三田保育所	三田市		・		・	・
若草保育園	三田市		・	・	・	・
ふじ幼稚園	三田市				・	・
やよい幼稚園	三田市	・	・	・	・	・
三田市立三輪幼稚園	三田市		・		・	・
神戸海星女子学院 マリア幼稚園	西宮市	・	・	・	・	・
神戸市立道場幼稚園	神戸市北区				・	・
神陵台幼稚園	神戸市	・	・	・	・	・
西舞子幼稚園	神戸市	・	・	・	・	・
鶴甲幼稚園	神戸市				・	・
北摂学園幼稚園	三田市	・	・	・	・	・
北摂第一幼稚園	三田市	・	・	・	・	・
保育園・幼稚園 合計(14校)						
神戸市立駒ヶ林小学校	神戸市		・	・	・	・
神戸市立桜が丘小学校	神戸市	・	・	・	・	・
神戸市立小東山小学校	神戸市			・	・	・
神戸市立大池小学校	神戸市	・	・	・	・	・
神戸市立淡河小学校	神戸市	・	・	・	・	・
神戸市立荒田小学校	神戸市				・	・
神戸市立唐櫃小学校	神戸市	・	・	・	・	・
神戸市立小寺小学校	神戸市				・	・
神戸市立東灘小学校	神戸市			・	・	・
神戸市立藤原台小学校	神戸市	・	・	・	・	・
神戸市立白川小学校	神戸市				・	・
神戸市立八多小学校	神戸市				・	・
神戸市立有野小学校	神戸市	・	・	・	・	・
神戸市立有野台小学校	神戸市		・	・	・	・
神戸市立多聞台小学校	神戸市				・	・
尼崎市立武庫小学校	尼崎市				・	・
尼崎市立武庫南小学校	尼崎市		・	・	・	・
尼崎市立浜田小学校	尼崎市		・	・	・	・
尼崎市立尼崎北小学校	尼崎市				・	・

芦屋市立精道小学校	芦屋市	・	・	・	・	・
西宮市立小松小学校	西宮市		・	・	・	・
西宮市立鳴尾小学校	西宮市			・	・	・
伊丹市立伊丹小学校	伊丹市				・	・
伊丹市立稲野小学校	伊丹市		・	・	・	・
伊丹市立萩野小学校	伊丹市		・	・	・	・
伊丹市立花里小学校	伊丹市	・	・	・	・	・
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	・	・	・	・	・
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	・	・	・	・	・
伊丹市立神津小学校	伊丹市	・			・	・
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	・	・	・	・	・
伊丹市立摂陽小学校	伊丹市		・	・	・	・
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	・	・	・	・	・
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	・	・	・	・	・
伊丹市立有岡小学校	伊丹市	・		・	・	・
伊丹市立緑丘小学校	伊丹市		・	・	・	・
伊丹市立鈴原小学校	伊丹市	・			・	・
宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市	・	・	・	・	・
宝塚市立西山小学校	宝塚市	・	・	・	・	・
宝塚市立逆瀬台小学校	宝塚市				・	・
宝塚市立長尾台小学校	宝塚市				・	・
宝塚市立長尾南小学校	宝塚市				・	・
川西市立川西小学校	川西市	・	・	・	・	・
川西市立川西北小学校	川西市	・	・	・	・	・
川西市立多田小学校	川西市		・	・	・	・
猪名川町立白金小学校	川辺郡猪名川町	・			・	・
三田市立あかしあ台小学校	三田市	・	・	・	・	・
三田市立すずかけ台小学校	三田市	・	・	・	・	・
三田市立ゆりのき台小学校	三田市	・	・	・	・	・
三田市立狭間小学校	三田市	・	・	・	・	・
三田市立弥生小学校	三田市	・	・	・	・	・
三田市立広野小学校	三田市	・			・	・
三田市立武庫小学校	三田市				・	・
明石市立江井島小学校	明石市				・	・

明石市立大久保南小学校	明石市		*	*	*	*
明石立朝霧小学校	明石市				*	*
明石市立鳥羽小学校	明石市			*	*	*
加古川市立神野小学校	加古川市				*	*
加古川市立川西小学校	加古川市			*	*	*
加古川市立別府西小学校	加古川市			*	*	*
高砂市立伊保小学校	高砂市	*	*	*	*	*
高砂市立荒井小学校	高砂市	*	*	*	*	*
稲美町立天満小学校	加古郡稲美町		*	*	*	*
稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町	*	*	*	*	*
播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町	*			*	*
西脇市立芳田小学校	西脇市	*	*	*	*	*
小野市立河合小学校	小野市			*	*	*
小野市立小野東小学校	小野市		*	*	*	*
丹波市立久下小学校	丹波市				*	*
三木市立広野小学校	三木市	*			*	*
篠山市立古市小学校	篠山市	*			*	*
大阪府茨木市立水尾小学校	大阪府茨木市		*	*	*	*
大阪府茨木市立春日小学校	大阪府茨木市	*			*	*
大阪府池田市立呉服小学校	大阪府池田市	*		*	*	*
追手門学院小学校	大阪府大阪市	*	*	*	*	*
大阪府豊能町立東ときわ台小学校	大阪府豊能郡豊能町				*	*
箕面市立西小学校	大阪府箕面市				*	*
小学校 合計 (76校)						
神戸市立桃山台中学校	神戸市			*	*	*
神戸市立上野中学校	神戸市				*	*
神戸市立星和台中学校	神戸市				*	*
神戸市立北神戸中学校	神戸市				*	*
神戸朝鮮初中級学校	神戸市	*	*	*	*	*
須磨学園中学校	神戸市	*	*	*	*	*
尼崎市立塚口中学校	尼崎市				*	*
高砂市立宝殿中学校	高砂市			*	*	*
加東市立社中学校	加東市			*	*	*

赤穂市立赤穂東中学校	赤穂市	*	*	*	*	*
兵庫県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町		*	*	*	*
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市	*	*	*	*	*
朝来市立梁瀬中学校	朝来市			*	*	*
香美町立香住第一中学校	香美町	*	*	*	*	*
加古川市立両荘中学校	加古川市				*	*
丹波市立市島中学校	丹波市				*	*
丹波市立氷上中学校	丹波市				*	*
同志社香里中学校	大阪府寝屋川市		*	*	*	*
中学校 合計 (18校)						
兵庫県立舞子高等学校	神戸市	*	*	*	*	*
兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市	*	*	*	*	*
兵庫県立加古川東高等学校	加古川市	*	*	*	*	*
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	*	*	*	*	*
神戸市立六甲アイランド高等学校	神戸市				*	*
大阪府立泉北高等学校	大阪府堺市	*	*	*	*	*
大阪府立豊中高等学校	大阪府豊中市			*	*	*
和歌山県立海南高等学校	和歌山県	*	*	*	*	*
香川県立観音寺第一高等学校	香川県	*	*	*	*	*
高等学校 合計 (9校)						
大阪青山短期大学	川西市				*	*
兵庫教育大学	加東市	*	*	*	*	*
大阪大学理学部生物科学科	大阪府豊中市		*		*	*
大阪府立大学	大阪府堺市	*	*	*	*	*
岡山大学理学部	岡山県			*	*	*
白鳳女子短期大学	奈良県				*	*
大学 合計 (6校)						
兵庫県立神戸特別支援学校高等部	神戸市				*	*
兵庫県立阪神特別支援中学校	西宮市	*			*	*
その他学校 合計 (2校)						
合 計 (119校)						

来館一般団体一覧

◆県内

団体名	所在市町		
		舞子汐見台自治会	神戸市
神戸老眼大学会	神戸市	生物多様性地域連携促進セミナー兵庫	神戸市
ガッツクラブ	神戸市	KK9NW	神戸市
竜ヶ台7丁目自治会	神戸市	暮らしサポート隊	神戸市垂水区
神戸市シルバーカレッジ生活環境コース	神戸市	神戸市立桃山台児童館	神戸市垂水区
神戸市中学校理科部会	神戸市	神戸市立道場児童館	神戸市
花山レミズ	神戸市	英進塾	神戸市
花山シャークス	神戸市	池尻子ども会	神戸市
コープこうべ生活文化センター	神戸市	日本ボーイスカウト尼崎第25団	尼崎市
八多の里	神戸市	尼崎花のまち委員会	尼崎市
ピーターパンインターナショナルプレスクール	神戸市	西武庫公園ホテルの会	尼崎市
子どもの家	神戸市	スペシャルオリンピックス尼崎プログラム	尼崎市
西脇シャークス	神戸市	尼崎市健康福祉局「親と子の健康回復事業」	尼崎市
緑の森自然キャンプ協会	神戸市	浜田子ども会	尼崎市
神戸市立西山児童館	神戸市	尼崎市立尼崎東高等学校 PTA	尼崎市
橋ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	杭瀬中央社協	尼崎市
五位ノ池婦人会	神戸市	県立尼崎小田高等学校育友会	尼崎市
なだ重症通園	神戸市	JAF 恐竜化石発掘体験	尼崎市
NPO 法人 WA	神戸市	JAF 恐竜化石発掘体験追加編	尼崎市
パストラル塩屋ビレッジ管理組合	神戸市垂水区	尼崎市立園田小学校園田児童ホーム	尼崎市
健菱会北支部	神戸市北区	稲門塾	西宮市
兵庫県職員退職者会	神戸市	社会福祉法人 一羊会	西宮市
つつじが丘子ども会	神戸市垂水区	建石子ども会	西宮市
なだ重症通園	神戸市	西宮大社老人クラブ連合会	西宮市
神戸労福協	神戸市	六甲ミツバチ王国	西宮市
NPO 法人さんぼクラブ	神戸市	西宮市上鳴尾町自治会女性部	西宮市
特別養護老人ホームほわいえ	神戸市	デイサービス 名塩ゆとり館	西宮市
兵庫県高齢者放送大学神戸市友の会	神戸市	若松福祉協会	西宮市
兵庫コープ委員会	神戸市	市友会歴史探訪	西宮市
遠矢会	神戸市	西宮市手話サークル	西宮市
鴨三クラブ	神戸市	ななくさ清光園	西宮市
須磨区母子福祉たちばな会	神戸市	瓦木育成センター	西宮市
葦合地区自治連合会	神戸市	子ども造形絵画教室アリス	西宮市
高丘中学校 PTA	神戸市	アシレンジャー	芦屋市
筑紫が丘ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	芦屋熟年コーラス	芦屋市

伊丹市広畑子ども会	伊丹市	NPO 法人保育ネットワークミルク	三田市
天神川少年野球	伊丹市	社会福祉法人「風」三田わくわく村	三田市
伊丹市立昆陽里小学校 PTA	伊丹市	阪神マイスターズ	三田市
ラヴェール伊丹昆陽池自治会	伊丹市	子育てサークルつくしんぼ	三田市
阪神シニアカレッジ阪神ひと・まち・創造講座 2 年生	伊丹市	小さな自然再生シンポジウム	三田市
伊丹市土に親しむ会	伊丹市	日本昆虫学会近畿支部	三田市
社会福祉法人 希望の家ワークセンター	宝塚市	デイサービスゆりのき	三田市
宝塚市立老人福祉センターフレミア環境自然コース 1 年	宝塚市	三田市まちづくり協働センター	三田市
宝塚市立老人福祉センターフレミア環境自然コース 2 年	宝塚市	三田市高齢者大学	三田市
ネーチャーラーニング	宝塚市	沢谷荘	三田市
宝塚市立中山桜台小学校育成会	宝塚市	すずかけ台・けやき台地区民生委員・児童委員協議会	三田市
すぎの子ども会	宝塚市	SAS 絵画教室	三田市
スポーツクラブ 21 小浜	宝塚市	あかしあ台児童クラブ	三田市
きしゃぼっぽ宝塚	宝塚市	武庫児童クラブ	三田市
北摂里山博物館運営協議会	宝塚市	イオンチアーズクラブ	川辺郡猪名川町
北摂里山大学	宝塚市	魚住児童クラブ	明石市
宝塚市長尾小学校育成会	宝塚市	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園	明石市
長尾すぎの子クラブ	宝塚市	大観児童クラブ	明石市
児童デイサービスぴのつきお	川西市	沢池放課後児童クラブ	明石市
川西コープ委員会	川西市	兵庫県いなみ野学園	加古川市
南花屋敷自治会	川西市	志公大学・三誌会	加古川市
NPO 法人 美園ホーム	川西市	加古川料理研究会	加古川市
きしゃぼっぽ川西	川西市	北在家子ども会	加古川市
萩の里子ども会	川西市	二俣子ども会	加古川市
サンウエストデイサービスセンター	三田市	コナミススポーツクラブ 加古川	加古川市
三田こぶしの園	三田市	加古川友の会	加古川市
広野児童クラブ	三田市	はたち会	加古川市
武庫第 3 児童クラブ	三田市	高須子ども会	高砂市
さん☆れく 2012	三田市	長尾子ども会	高砂市
SAS 伊藤グループ	三田市	阿弥陀町老人クラブ連合会	高砂市
松が丘・高平・学園児童クラブ(三田市児童クラブ)	三田市	阿弥陀子供クラブ	高砂市
武庫児童クラブ	三田市	稲美町社会福祉協議会 運転ボランティア	加古郡稲美町
教職員のための博物館の日 in ひとはく	三田市	稲美陶芸教室	加古郡稲美町
すずかけ台児童クラブ・第 2 児童クラブ	三田市	播磨町環境保全協議会	加古郡播磨町
三田地域青壮年部	三田市	神鋼生き生きシルバーライフ	加古郡
三輪児童クラブ・三輪第 2 児童クラブ	三田市	鹿野町子ども会	西脇市
三田市つつじが丘児童クラブ・第 2 児童クラブ	三田市	三木市立総合隣保館	三木市
にこにこくらぶ	三田市	青山 3 丁目自治会	三木市

小野市本町子ども会	小野市	すみれ子ども会	赤穂市
片山町子ども会	小野市	宍粟防火協会	宍粟市
上新町子ども会	小野市	上岸田子ども会	宍粟市
来住町老人会サロンの会	小野市	西播磨高齢者大学大学院	たつの市
小野市社会福祉協議会ボランティアグループあじくらぶ	小野市	龍野東中学校家庭教育学級生	たつの市
小野市 緑の少年団	小野市	たつの市花と緑の協会龍野支部	たつの市
東高室子ども会	加西市	御津町花と緑の協会	たつの市
加西市神社総代会	加西市	室津子ども育成会	たつの市
栗田区	加西市	阿曾子ども会	揖保郡太子町
加西市善防公民館	加西市	太子町中四町老人会	揖保郡
富田地区はつらつ委員会	加西市	羽尻子ども会	豊岡市
うれしの学園 社支部	加東市	三宅子ども会	豊岡市
加東市人権教育課	加東市	中町育成会	豊岡市
はりま中央民主商工会	加東市	三方中学校第16期生	豊岡市
山国東部老人クラブ	加東市	正法寺子ども会	豊岡市
うれしの18同期会	加東市	八鹿町九鹿子ども会	養父市
田口子ども会	姫路市	但馬母親大会連絡会	養父市
姫路市立生涯学習大学校	姫路市	上早田子ども会	朝来市
米田子ども会	姫路市	和田山新町子ども会	朝来市
NTT 退職者の会	姫路市	生野町二区子ども会	朝来市
姫路市立英賀保小学校 PTA 研修旅行	姫路市	無南垣子ども会	美方郡
英賀清水町子ども会	姫路市	新温泉町身体障害者福祉協会	美方郡
高田子ども会	姫路市	ハチ北 大笹子ども会	香美町村岡区
わんぱく広場	姫路市	香美町教育委員会生涯学習課	香美町
姫路市環境政策室	姫路市	小代第5分団	香美町
広畑児童センター母親クラブ	姫路市	兵庫県自動車整備振興会但馬支部	但馬
西夢前台4丁目子ども会	姫路市	丹波市社会福祉協議会山南支所	丹波市
姫路市老連香寺ブロック女性会	姫路市	新和会	丹波市
姫路市立広畑中学校PTA	姫路市	丹波市議会事務局	丹波市
兵庫県高等学校教育研究会科学部会地学巡検	姫路市	土井グループ	丹波市
姫路医療生協支部合同バス旅行	姫路市	丹波市山南町梶自治会いきいきサロン	丹波市
正門子供会	姫路市	氷上高年低山会	丹波市
兵庫県立姫路飾西高等学校 SSC クラブ	姫路市	南あわじ市わんぱく塾	南あわじ市
中播磨ビジョン委員会・アグリプロジェクトグループ	姫路市	県立淡路景観園芸学校	淡路市
相生市危険物安全協会	相生市	四季クラブ	淡路市
しあわせの会	相生市	1年奈良教室	淡路市
赤穂こどもエコクラブ	赤穂市	洲本市老人クラブ連合会	洲本市
生活衛生同業組合	赤穂市	炬口西相之町町内会	淡路

清流台みどり会	兵庫県	一津屋子ども会	大阪府
高齢者文化大学	兵庫県	藤阪ハイツ子ども会	大阪府
兵庫県立大学アカデミックツーリズムプログラム	兵庫県	財団法人 益富地学会館	京都府京都市
多々良木育成会	兵庫県	サービスセンターふらっぷ	京都府京都市
ビジョン委員会水グループ	兵庫県	視覚障がい者成人講座	京都府福知山市
◆県外		若狭湾生物同好会	京都府舞鶴市
鷹合西一町会	大阪市	長岡京市立神足小学校学童保育	京都府
六菱ゴム共済会	大阪府大阪市	さくら会	京都府
大阪シニア自然大学風組	大阪府大阪市	久御山町ゆうホール	京都府
NPO 法人シニア自然大学校	大阪府大阪市	矢倉子ども会	滋賀県草津市
シニア自然大学校 講座部マイスター	大阪府大阪市	石山寺辺自治会	滋賀県大津市
諸口第二町会	大阪府大阪市	唐崎学区老人クラブ連合会	滋賀県
大阪自然環境市民大学 昆虫部会	大阪府大阪市	DNP データテクノ関西労働組合	奈良県
金子グループ	大阪府大阪市	奈良県農業教育研究会	奈良県
サイエンス・メイト(大阪科学技術センター)	大阪府大阪市	カームスイング	奈良県
関西ろう友の会	大阪府大阪市	558の会	奈良県
大阪市立相生中学校PTA	大阪府大阪市	柳原同好会	奈良県
阪南理科教育研究会	大阪府岸和田市	ふれあいサロンハート	奈良県生駒市
浜寺太陽幼稚園	大阪府堺市	松島学童保育まつっこらぶ	徳島県
コーベヤ労働組合堺支部	大阪府堺市	高梁市青年経済協議会	岡山県
野山の会	大阪府堺市	末永グループ	岡山県
野田FC	大阪府堺市	田殿地区社会福祉協議会	岡山県
寝屋川市社明五中推進委員会	大阪府寝屋川市	旅の福袋ミステリーツアー2013	岡山県
吹田市人権啓発推進協議会	大阪府吹田市	旅の福袋ミステリーツアー2013	岡山県
手毬 J.S.C	大阪府豊中市	旅の福袋ミステリーツアー2013	岡山県
大東市老人クラブ	大阪府大東市	旅の福袋ミステリーツアー2013 1号車	岡山県
脳いきいき元気教室「ゆめクラブ」	大阪府豊能郡能勢町	旅の福袋ミステリーツアー2013 2号車	岡山県
藤阪ハイツ老人クラブ藤友会	大阪府枚方市	旅の福袋ミステリーツアー2013 1号車	岡山県
和泉市立青少年センター	大阪府和泉市	旅の福袋ミステリーツアー2013 2号車	岡山県
鶴山台東子ども会	大阪府和泉市	旅の福袋ミステリーツアー2013	岡山県
さつき子ども会	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 1号車	岡山県
シニア自然大学星組	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 2号車	岡山県
シニア自然大学花組	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 1号車	岡山県
シニア自然大学緑組	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 2号車	岡山県
株式会社新栄家族会	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 1号車	岡山県
NPO 法人大阪シニア自然カレッジ	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 2号車	岡山県
関大 校友会	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013	岡山県
P友会	大阪府	旅の福袋ミステリーツアー2013 1号車	岡山県

来館学校団体一覧

◆県内

<保育園・幼稚園>

神戸市立山田幼稚園

東須磨愛児園

神陵台幼稚園

西舞子幼稚園

ポートピア保育園

鶴甲幼稚園

トワ・ハッピー保育園

神戸市立道場幼稚園

神戸海星女子学院 マリア幼稚園

伊丹市公私立保育所園

宝塚さくら保育園

宝塚市立小浜幼稚園

すみれ幼稚園

新清和台幼稚園

ふじ幼稚園

北摂第一幼稚園

若草保育園

北摂学園幼稚園

三田市立三輪幼稚園

やよい幼稚園

三田あさひ幼稚園

三田市立小野幼稚園

三田市立三田保育所

光の子保育園

三木市立志染保育所

光明保育所

加東市立米田保育園

加東市立福田幼稚園

八木保育園

篠山市立西紀きた幼稚園

所在地

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市北区

西宮市

伊丹市

宝塚市

宝塚市

宝塚市

川西市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三田市

三木市

小野市

加東市

加東市

姫路市

篠山市

篠山市立たまみず幼稚園

丹波市立柏原保育所

<小学校>

中華同文学校

神戸市立大池小学校

神戸市立有野台小学校

神戸市立藤原台小学校

神戸市立八多小学校

神戸市立荒田小学校

神戸市立道場小学校

神戸市立多聞台小学校

神戸市立有野小学校

神戸市立小東山小学校

神戸市立白川小学校

神戸市立淡河小学校

神戸市立高津橋小学校

神戸市立小寺小学校

神戸市立大池小学校

神戸市立蓮池小学校

神戸市立桜が丘小学校

神戸市立唐櫃小学校

神戸市立東灘小学校

神戸市立駒ヶ林小学校

神戸市立八多小学校

尼崎市立長洲小学校

尼崎市立上坂部小学校

尼崎市立武庫南小学校

尼崎市立浜田小学校

尼崎市立尼崎北小学校

尼崎市立武庫小学校

尼崎市立立花北小学校

西宮市立名塩小学校

篠山市

丹波市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

神戸市

尼崎市

尼崎市

尼崎市

尼崎市

尼崎市

尼崎市

尼崎市

西宮市

西宮市立東山台小学校	西宮市	三田市立狭間小学校	三田市
仁川学院小学校	西宮市	三田市立藍小学校・つつじが丘小学校特別支援学級	三田市
西宮市立小松小学校	西宮市	三田市立弥生小学校	三田市
西宮市立北六甲台小学校	西宮市	三田市立志手原小学校	三田市
西宮市立鳴尾小学校	西宮市	三田市立弥生小学校	三田市
芦屋市立宮川小学校	芦屋市	三田市立すずかけ台小学校	三田市
芦屋市立精道小学校	芦屋市	三田市立弥生小学校	三田市
芦屋市立精道小学校	芦屋市	三田市立弥生小学校	三田市
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	三田市立ゆりのき台小学校	三田市
伊丹市立神津小学校	伊丹市	三田市立あかしあ台小学校	三田市
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	三田市立広野小学校 2年生	三田市
伊丹市立鈴原小学校	伊丹市	三田市立武庫小学校	三田市
伊丹市立緑丘小学校	伊丹市	猪名川町立阿古谷小学校	川辺郡猪名川町
伊丹市立花里小学校	伊丹市	猪名川町立白金小学校	川辺郡猪名川町
伊丹市立伊丹小学校	伊丹市	猪名川町立楊津小学校	川辺郡猪名川町
伊丹市立稲野小学校	伊丹市	明石市立朝霧小学校	明石市
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	明石市立鳥羽小学校	明石市
伊丹市立有岡小学校	伊丹市	明石市立江井島小学校午後の部	明石市
伊丹市立荻野小学校	伊丹市	明石市立江井島小学校午前の部	明石市
伊丹市立鴻池小学校	伊丹市	明石市立大久保南小学校	明石市
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	加古川市立神野小学校	加古川市
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	三木市立別所小学校	加古川市
伊丹市立撰陽小学校	伊丹市	加古川市立尾上小学校	加古川市
宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市	加古川市立平岡北小学校	加古川市
宝塚市立長尾南小学校	宝塚市	加古川市立別府西小学校	加古川市
宝塚市立長尾台小学校	宝塚市	加古川市立川西小学校	加古川市
宝塚市立西山小学校	宝塚市	高砂市立荒井小学校	高砂市
宝塚市立安倉北小学校	宝塚市	高砂市立伊保小学校	高砂市
宝塚市立高司小学校	宝塚市	高砂市立曽根小学校	高砂市
宝塚市立丸橋小学校	宝塚市	稲美町立天満小学校	加古郡稲美町
川西市立川西小学校	川西市	稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町
川西市立清和台小学校	川西市	播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町
川西市立陽明小学校	川西市	西脇市立芳田小学校	西脇市
川西市立多田東小学校	川西市	三木市立広野小学校	三木市
川西市立明峰小学校	川西市	三木市立平田小学校	三木市
川西市立川西北小学校	川西市	三木市立三樹小学校	三木市
川西市立多田小学校	川西市	小野市立小野東小学校	小野市
川西市立緑台小学校	川西市	小野市立河合小学校	小野市

小野市立市場小学校	小野市	赤穂市立赤穂中学校	赤穂市
加西市立賀茂小学校	加西市	赤穂市立赤穂東中学校	赤穂市
加西市立北条小学校	加西市	兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習	赤穂郡上郡町
加東市立滝野東小学校親子活動	加東市	豊岡市立出石中学校	豊岡市
姫路市立高浜小学校	姫路市	豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市
宍粟市立城下小学校	宍粟市	豊岡市立港中学校	豊岡市
宍粟市立戸原小学校	宍粟市	養父市立養父中学校	養父市
篠山市立古市小学校	篠山市	兵庫県立但馬やまびこの郷	朝来市
丹波市立小川小学校	丹波市	朝来市立梁瀬中学校	朝来市
丹波市立久下小学校	丹波市	香美町立香住第一中学校	香美町
丹波市立新井小学校	丹波市	香美町立小代中学校	香美町
南あわじ市立沼島小学校・灘小学校	南あわじ市	丹波市立市島中学校	丹波市
南あわじ市立松帆小学校	南あわじ市	丹波市立氷上中学校	丹波市
淡路市立学習小学校	淡路市	丹波市立和田中学校	丹波市
淡路市立郡家小学校	淡路市	<高等学校>	
<中学校>		神戸市立六甲アイランド高等学校 自然科学部	神戸市
神戸朝鮮初中級学校	神戸市	兵庫県立舞子高等学校	神戸市
神戸市立上野中学校	神戸市	武庫川女子大学附属中・高等学校	西宮市
神戸市立上野中学校	神戸市	県立西宮今津高等学校	西宮市
神戸市立星和台中学校	神戸市	甲英学院高等学校	西宮市
須磨学園中学校	神戸市	県立宝塚北高等学校	宝塚市
神戸市立北神戸中学校科学部	神戸市	兵庫県立加古川東高等学校	加古川市
神戸市立広陵中学校	神戸市	兵庫県立相生高等学校	相生市
神戸市立押部谷中学校	神戸市	<大学>	
神戸市立桃山台中学校	神戸市	関西学院大学社会学部	西宮市
神戸市立垂水東中学校	神戸市垂水区	大阪青山短期大学	川西市
尼崎市立塚口中学校	尼崎市	関西学院大学総合政策学部 吉野ゼミ	三田市
宝塚市立宝塚中学校	宝塚市	自然から学ぶ 特別集中実技セミナー	三田市
川西市立川西中学校	川西市	兵庫教育大学	加東市
川西市立川西南中学校	川西市	兵庫教育大学	加東市
川西市立緑台中学校	川西市	<特別支援学校など>	
県立清水が丘学園 明石市立魚住中学校分校	明石市	兵庫県立神戸特別支援学校高等部	神戸市
加古川市立両荘中学校	加古川市	兵庫県立神戸特別支援学校高等部	神戸市
加古川市立志方中学校	加古川市	県立阪神特別支援学校中学部	西宮市
加古川市立別府中学校	加古川市	県立阪神特別支援学校	西宮市
高砂市立宝殿中学校	高砂市	川西市立川西養護学校	川西市
社中学校区交流会	加東市	◆県外	
加東市立社中学校	加東市	<保育所・幼稚園>	

さくら幼稚園	大阪府門真市	岡山県立岡山工業高等学校	岡山県岡山市
すずらん幼稚園	大阪府門真市	香川県立観音寺第一高等学校	香川県
若葉幼稚園	大阪府	香川県立三本松高等学校	香川県
綾東幼稚園	京都府綾部市	高知県立高知小津高等学校	高知県
福知山市立大正幼稚園	京都府福知山市	<大学>	
<小学校>		大阪大学理学部生物科学科	大阪府豊中市
大阪府茨木市立彩都西小学校	大阪府茨木市	大阪府立大学	大阪府堺市
大阪府茨木市立水尾小学校	大阪府茨木市	大阪大学工学部大学院工学研究科	大阪府
大阪府茨木市立天王小学校	大阪府茨木市	白鳳女子短期大学	奈良県
大阪府茨木市立安威小学校	大阪府茨木市	岡山大学理学部地球科学科	岡山県岡山市
大阪府茨木市立東小学校	大阪府茨木市	<特別支援学校など>	
大阪府茨木市立春日小学校	大阪府茨木市		
大阪府高槻市立南平台小学校	大阪府高槻市	※学校団体利用 延べ256団体	
高槻市立南大冠小学校	大阪府高槻市		
高槻市立北清水小学校	大阪府高槻市		
吹田市立東佐井寺小学校	大阪府吹田市		
摂津市立鳥飼北小学校	大阪府摂津市		
追手門学院小学校	大阪府大阪市		
大阪府池田市立呉服小学校	大阪府池田市		
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府池田市		
豊中市立蛭池小学校	大阪府豊中市		
大阪府豊中市立東豊台小学校	大阪府豊中市		
大阪府豊能町立東ときわ台小学校	大阪府豊能郡豊能町		
箕面市立萱野東小学校	大阪府箕面市		
箕面市立西小学校	大阪府箕面市		
<中学校>			
同志社香里中学校	大阪府寝屋川市		
門真市立門真はすはな中学校	大阪府門真市		
<高等学校>			
大阪府立泉北高等学校	大阪府堺市		
常翔啓光学園サイエンス部	大阪府枚方市		
大阪府立千里高等学校	大阪府吹田市		
大阪府立門真なみはや高校自然科学エリア2年	大阪府門真市		
大阪府立豊中高等学校	大阪府豊中市		
京都市立堀川高等学校 自然科学科	京都府京都市		
奈良県立青翔高等学校	奈良県		
和歌山県立海南高等学校	和歌山県		
和歌山県立南紀高等学校	和歌山県		

連携事業等

(他施設、他団体との連携事業)

【ジオキャラバン事業】

	開催地	開催場所(展示)	開催期間	テーマ	ビジター数
1	京丹後市	道の駅てんきてんき	2012年4月19日-6月19日	ひとはくジオキャラバン in 道の駅てんきてんき	10674
2	豊岡市	道の駅神鍋高原	2012年7月23日-8月31日	ひとはくジオキャラバン in 道の駅神鍋高原	24652
3	鳥取市	鳥取砂丘ジオパークセンター	2013年3月2日-31日	ひとはくジオキャラバン in 鳥取砂丘ジオパークセンター	9668

1. 京丹後市

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、道の駅てんきてんき

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
植物ウォッチング①琴引浜	4月28日	琴引浜	14	黒田有寿茂
植物ウォッチング②高天山	4月29日	高天山	11	黒田有寿茂

2. 豊岡市

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、道の駅神鍋高原、神鍋山野草を愛でる会、マロニエの森クラフトクラブ

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
神鍋木工教室	7月23日	道の駅神鍋高原	0	マロニエの森クラフトクラブ
かんたん！アンモナイト化石のレプリカづくり	7月23日	道の駅神鍋高原	22	石田弘明
アンモナイト化石のレプリカづくり	8月5日	道の駅神鍋高原	441	先山徹
ジオ・ハイキングー神鍋火山の地下を見ようー	8月5日	道の駅神鍋高原	0	先山 徹

3. 鳥取市

キャラバン参画者の所属

山陰海岸ジオパーク推進協議会、鳥取砂丘ジオパークセンター、自然公園財団鳥取支部、鳥取県立博物館、紙芝居の会どんぐり

セミナー名	実施日	会場	参加人数	講師
鳥取砂丘の生き物・農産物・ジオパーク	3月3日	鳥取砂丘ジオパークセンター	18	先山 徹・神近 牧男・川上 靖
模型を作ろうー砂丘の大地	3月24日	鳥取砂丘パークサービスセンター	6	先山 徹
紙芝居(福部らつきょう物語・多鯰ヶ池ものがたり・いなばの白うさぎ)	3月31日	鳥取砂丘ジオパークセンター	35	紙芝居の会どんぐり

【主催アウトリーチ事業】

No.	開催地	開催場所	開催期間	事業名	ビジター数
1	三田市	有馬富士公園	2012年4月29日-30日	ミニキャラバン in ありまふじフェスティバル	13890
2	淡路市	淡路ハイウェイオアシス	2012年6月16日-8月4日	ひとはくキャラバン in 淡路ハイウェイオアシス	113500
3	三木市	道の駅みき	2012年7月14日-9月7日	ひとはくキャラバン in 道の駅みき	80181
4	豊岡市	但馬国府・国分寺館	2012年7月21日-9月2日	ひとはくキャラバン in 但馬国府・国分寺館	2201
5	西脇市	北はりま田園空間博物館	2012年8月11日-8月19日	ひとはくキャラバン in 北はりま田園空間博物館	1963
6	三田市	三田ホテル	2012年8月18日	ミニキャラバン in 三田ホテル	76
7	神戸市	兵庫県公館	2012年8月25日-11月12日	ひとはくキャラバン in 兵庫県公館	4577

8	三田市	有馬富士公園	2012年10月20日-21日	ミニキャラバン in ありまふじフェスティバル	14110
9	川西市	国崎クリーンセンター	2012年11月4日	ミニキャラバン in 北摂里山エコフェスタ	700
10	姫路市	大手前公園	2012年11月10日-11日	ミニキャラバン in ふれあいフェスティバル	1289
11	大阪市	大阪自然史博物館	2012年11月10日-11日	ミニキャラバン in 大阪自然史博物館フェスティバル	17300
12	豊岡市	但馬空港	2012年11月17日-18日	ミニキャラバン in ジオパークフェスティバル	100
13	神戸市	神戸国際展示場	2013年1月20日	第5回サイエンスフェア in 兵庫	298
14	丹波市	丹波市役所山南支所	2013年3月17日	ひょうご恐竜化石国際シンポジウム	80
15	篠山市	西紀SA	2013年3月20日-31日	ひとはくキャラバン in 西紀SA	28603
16	明石市	明石市立天文学館	2013年3月23日-24日	2013年てんもん春分際	987
17	神戸市	神戸市立青少年科学館	2013年3月31日	ミニキャラバン in 神戸市立青少年科学館	743

【共催・協力・後援事業等】

月	地域	事業名	場所	開催日	博物館の関わり方	連携相手	内容種別
1	博物館	ひとはくのお正月～日本の昔あそび～	博物館 4F サロン	2012/1/3	共催	NPO 法人 人と自然の会	セミナー
3	篠山	早春の山野草観察会-セツブンソウほか-	篠山市	2012/3/2	共催	希少植物研究会	セミナー
3	大阪	INAX ギャラリー展覧会「種子のデザイン 旅するかたち」	INAX ギャラリー大阪	2012年3月上旬から2012年5月下旬	協力	株式会社 LIXIL INAX ギャラリー大阪	展示
4	徳島	どうぶつ集まれー ぞうさんの描いた絵と表された動物たち	徳島県立近代美術館	2012/04/28-06/24	共催	徳島県立近代美術館	展示
4	北播磨	自然観察サポーターチーム活動への支援事業	北播磨自然観察サポーターチーム おおばこの会	2012/4/1-3/31	共催	小野市うるおい交流館エクラ内	その他
4	博物館	ドリームスタジオ	NPO 法人 人と自然の会	2012/4/15, 5/20, 6/17, 7/15, 8/19, 9/16, 10/21, 11/18, 12/16, 2013/2/17, 3/17	共催	博物館実習室	セミナー
4	博物館	花工房	NPO 法人 人と自然の会	2012/4/15, 5/20, 6/17, 7/15, 8/19, 9/16, 10/21, 11/18, 12/16, 2013/2/17, 3/17	共催	博物館 4F サロン	セミナー

4	博物館	丹波の恐竜化石発掘ツアー	Labones ラボーンズ	4/29,5/27,6/17,7/29,8/5,8/12,8/19,9.16,10/14,3/2	共催	恐竜ラボ	セミナー
4	博物館	タネから育てる希少山野草	希少植物研究会	2012/4/6	共催	博物館実験セミナー室	セミナー
4	六甲山	平成24年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」	六甲山を活用する会	2012/4/21	協力	六甲山	セミナー
4	六甲山	六甲山環境整備協議会	六甲山を活用する会	2012/4～13/3	協力	六甲山	その他
4	大坂	バイオミミクリ展示会	バイオミミクリ研究会	2012/4/26	協力	西門真地区	展示
4	宝塚	里山・都市山・まち山を考える	宝塚自然保護協会	2012/4/29	協力	宝塚市立西公民館	セミナー
4	淡路	「特別展示 恐竜はバラをみたのか!？」	夢舞台温室	2012/4/28-5/31	共催	淡路	展示
4	播磨	～民俗学のふるさと・銀の馬車ふれあい事業～	福崎町教育委員会	2012/4/28-5/13	共催	福崎町立歴史民俗資料館	展示
4	丹波	GW フェア「兵庫の恐竜化石展」～丹波竜の仲間たち～	コモレー丹波の森専門店会	2012/4/29-5/6	共催	丹波市柏原町 コモレー丹波の森	展示
5	博物館	パネルシアター	NPO 法人人と自然の会	2012/5/6, 6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 11/4, 12/2, 2013/1/6, 3/3	共催	博物館	芝居
5	姫路	兵庫県立学校事務職員協会西播磨支部研修会並びに総会	西播磨支部(代表 田中英之)	2012/5/14	協力	姫路総合庁舎	セミナー
5	香美町	ハチ北高原 春の散策ツアー 春の植物とハーブウォッチング	ハチ北高原自然協会	2012/5/13	共催	香美町	セミナー
5	博物館	四季の星空案内	NPO 法人人と自然の会	5/13,7/18, 10/14, 12/2	共催	博物館	セミナー
5	博物館	身近な野草を味わってみよう	NPO 法人人と自然の会	2012/5/13	共催	博物館実習室	セミナー

5	博物館	リトルサイエンス ティストのための run•run•Sunday ★	run•run•plaza	5/6,6/3,7/1,8/5,9/2,10/7	共催	博物館・深田公園	セミナー
5	西宮市	フラワーフェスティバル in 西宮	西宮市	2012/5/18-20	協力	西宮市六湛寺公園	展示
5	青垣	第5回里山楽校	江古花園運営委員会	2012/5/26	後援	青垣町東芦田	セミナー
6	明石市	みんなの福島展	明石市	2012/6/7-7/1	協力	明石市立文化博物館	展示
6	博物館	挿し木で増やす希少山野草	希少植物研究会	2012/6/12	共催	博物館実験セミナー室	セミナー
6	東京	三越伊勢丹 Autumn & Winter シーズンイン・キャンペーン ウィンドウディスプレイ	三越伊勢丹	2012/6/13-7/17	協力	東京伊勢丹新宿店、日本橋三つ越し本店、銀座三つ越し	展示
6	多可町	登紀子の田んぼ田植えでのワークショップ	多可町文化連盟	2012/6/16	共催	中区坂本公民館	展示・セミナー
6	山南町	第7回 姫ボタルまつり	姫ボタルまつり実行委員会	2012/6/16-7/7	共催	山南町	セミナー
7	六甲山	2012年度「六甲山子供パークレンジャーを目指そう！」他	六甲山を活用する会	2012/7/2,1/27	協力	六甲山	その他
7	神戸	日本真空学会 関西支部 & 日本表面科学会	日本表面科学会 関西支部	2012/7/6	後援	神戸市	セミナー
7	青垣	第6回里山楽校	江古花園運営委員会	2012/7/8	後援	青垣町東芦田	セミナー
7	三木市	三木木工ものづくりイベント	三木商工会議所	2012/7/14-7/16	共催	三木市	展示
7	三田市	虫むしで〜た大全集	三田市立有馬富士自然学習センター	2012/7/14-10/14	共催	三田市	展示
7	淡路	鯨絵展	滝川記念美術館 玉青館	2012/7/4-9/2	共催	南淡路市滝川記念美術館	展示・セミナー

7	博物館	親子で藍の生葉染めをしてみましよう	NPO 法人人と自然の会	2012/7/21	共催	博物館実習室	セミナー
7	香美町	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール	run•run•plaza	2012/7/21,7/27-29,8/1,8/16,8/26	共催	香美町	セミナー
7	滋賀県	水族企画展示「ぼくらは田んぼの合唱団」	琵琶湖博物館	2012/7/4-9/2	協力	琵琶湖博	展示
7	神戸市	夏休み特別企画昆虫標本展	有馬保養所瑞宝園	2012/7/20-8/31	共催	有馬・瑞宝園	展示
7	福島	身近なしぜん発見隊	福島県立博物館	2012/7/27	共催	福島県会津美里町	展示・セミナー
7	岩手県	地域の宝ひめほたるフェスティバル in 折爪岳	こどもひかりプロジェクト	2012/7/15	共催	岩手県二戸市	その他
7	淡路	世界のカブトムシ・クワガタムシ大集合	明石海峡公園管理センター	2012/7/14-9/2	協力	明石海峡公園	展示・セミナー
7	淡路	トロピカルフラワーショー202 南の島の物	夢舞台温室	2012/7/4-9/23	共催	夢舞台温室	展示
7	川西	くにさき夏の昆虫館2012	国崎クリーンセンター	2012/7/20-8/5	共催	国崎クリーンセンター	展示
7	西宮	西宮神社「夏えびすまつり」	阪神・淡路大震災復興協会	2012/7/9	協力	西宮神社	セミナー
7	山口県	夏期企画展 下関のアリジゴク	豊田ホテルの里ミュージアム	2012/7/13-9/9	協力	豊田ホテルの里ミュージアム	展示
7	高槻市	たかつき子ども自然体験学校昆虫標本づくり	NPO 法人たかつき	7/15,8/19	共催	高槻市	セミナー
7	南淡路	石が持つ魅力～化石・鉱物・岩石と宝石の	南あわじ市教育委員会	2012/7/22-8/6	共催	円行寺	展示
8	三田	「こどもと自然科学をつなぐ学生ボランティア」の募集	run•run•plaza	2012/8/-8/5	共催	三田	その他
8	宝塚市	丹波の恐竜化石ミニレクチャーと恐竜復元ワークショップ	たんば恐竜・哺乳類等を活かしたまちづくり推進協議会	2012/8/11,12	共催	宝塚市アピア	セミナー

8	宝塚市	化石発掘体験、 太古への旅／恐 竜フィギュア展	宝塚こども みらい協議 会	2012/8/8-8/13	後援	宝塚市	その他
8	川西市	よるの虫・むし 探検隊	北摂里山博 物館運営協 議会	2012/8/4	共催	川西市	セミナー
8	川西市	よるの虫・むし 探検隊	北摂里山博 物館運営協 議会	2012/8/4	共催	川西市	セミナー
8	神戸市	氷河時代の生き 残りエゾゼミを 観察しよう	NPO 法人 こどもとむ しの会	2012/8/11	協力	六甲山	セミナー
8	三田市	第16回自然か ら学ぶ特別集中 実技セミナー	NPO 法人 野 生生物を調査 研究する会	8/17・18	協力	三田市	セミナー
8	宝塚市	水辺の生き物 探検	宝塚市自然 保護協会	2012/8/9	後援	宝塚自然の家	セミナー
8	神戸市	はちみつしぼ りとイナゴを とって食べる	さんぽくら ぶ	7/21,9/26,10/1,3	協力	神戸市北区道 場	セミナー
8	岩手県	おりつめだけ しぜんかわら ばん 2012	こどもひか りプロジェ クト	2012/8/17	共催	折爪岳	その他
8	福崎町	みんなの福島 展	福崎町	2012/8/4-8/26	協力	柳田國男・松 岡家記念館	展示
8	長田区	いどうこんち ゆうかん	NPO 法人こ どもとむし の会	2012/8/9	共催	神戸市立地域 人材センター	その他
8	北区	いどうこんち ゆうかん	NPO 法人こ どもとむし の会	2012/8/10	共催	しあわせの村	その他
8	三田市	弥生ふるさと まつり	弥生が丘自 治会	2012/8/18	協力	弥生が丘	その他
8	宍粟市	福知溪谷出土 泥炭層採集資 料展示事業	宍粟市教育 委員会	2012/8/1-9/9	共催	宍粟市	展示セミナ ー
8	川西市	里山観察会	川西里山ク ラブ	2012/8	協力	川西市	セミナー
9	博物館	植物の生活へ の応用～クス リや食べ物～	希少植物研 究会	2012/9/11	共催	博物館中セミ ナー室	セミナー
9	博物館	愛蜂家基礎講 座・初級	アピス同好 会	2012/9/22,10/27 ,11/24,12/22	共催	博物館	セミナー

9	三田市	南公園里山講座	三田市	2012/9/9	共催	三田市	セミナー
10	山南町	丹波竜フェスタ	丹波市	2012/10/1	協力	丹波化石工房(山南町)	シンポジウム
10	豊岡市	ENEOS わくわく生き物学校	豊岡市	2012/9/22-23	協力	豊岡市城崎総合支所	その他
10	島根県	平成25年度夏季プレ展示	三瓶自然館	2012/9/22-10/14	協力	島根県立三瓶自然館	展示
10	東条湖	2012 恐竜展 ～進化の不思議恐竜の不思議～	東条湖おもちゃ王国	2012/9/15-12/9	共催	東条湖おもちゃ王国	展示・セミナー
10	香美町	ハチ北高原秋の自然観察ツアー	ハチ北高原自然協会	2012/10/3-4	共催	香美町	セミナー
10	北区	親と子の鳴く虫の夕べ	鳴く虫研究会「きんひばり」	2012/10/6	共催	道場町有野川	セミナー
10	西宮	太古の生物オウムガイ・アンモナイト展	西宮貝類館	2012/10/18-11/27	共催	西宮貝類館	展示
11	篠山	恐竜ウィーク「たんばささやまの恐竜たち展」	丹波並木道中央公園	2012/11/17・18	共催	丹波並木道中央公園	展示
12	大分	エコプロダクツ2012 九重ふるさと自然学	九重ふるさと自然学校	12/13-15	協力	大分県玖珠郡九重町	展示
12	神戸	兵庫県立大学自然・環境科学研究所 開設20周年記念シンポジウム	兵庫県立大学自然・環境科学研究所	2012/12/2	共催	六甲荘	シンポジウム
12	神戸市	兵庫地理学協会2012年度特別例会	兵庫地理学協会	2012/12/6	共催	夙川学院大学	シンポジウム
12	淡路	あわジオフェスティバル2012	明石海峡公園	2012/12/22-1/14	共催	明石海峡公園	展示
12	神戸	地域交流イベント by パールデイサービス	パールデイサービスセンター	2012/12/13	共催	神戸	展示
1	淡路	淡路夢舞台ラン展2013	株式会社夢舞台	2013/1/19-3/10	協力	淡路	展示

1	博物館	ひとはくのお正月～日本の昔遊び～	NPO 法人 人と自然の会	2013/1/3	共催	博物館 4F サロン	演示
1	神戸	六甲山のキノコ展 2013	兵庫県立御影高等学校	2013/01/12-01/14	共催	御影クラッセ	展示・セミナー
1	淡路	2013 国指定天然記念物野島断層普及講演	淡路市教育委員会	2013/1/14	協力	北淡震災記念公園	シンポジウム
1	京都	ふるさと学習「身近な川の生きものを知ろう！」	向陽小学校	2013/1/21-26	協力	向日市立向陽小学校	展示
1	三宮	モトロー寺子屋 5th 陳瞬臣の神戸愛一元町界隈を歩き語る「モノクロ神戸ー風景今昔ものがたり」	特定非営利法人リ・フォーブ	2013/1/22-2/3	共催	Pocket 美術館	展示・セミナー
2	博物館	こんにやくを作ってみよう	NPO 法人 人と自然の会	2013/2/9	共催	博物館実験セミナー室	セミナー
3	篠山	「フェリシモしあわせの学校」子ども講座	フェリシモしあわせの学校	2013/3/20	協力	ささやまな家 (篠山市河原町 125)	展示・セミナー

ひとはくフェスティバル 2012 参画団体リスト(順不同)

■後援・協賛団体

株式会社 北摂コミュニティ開発センター
株式会社 ミツカングループ本社
兵庫県阪神北県民局
公益財団法人 兵庫丹波の森協会
株式会社 エフコーポレーション

■ステージ出演団体・キャラクター

県立有馬高等学校吹奏楽部
県立三田祥雲館高等学校吹奏楽部
県立三田祥雲館高等学校チアリーディング部
三田太鼓
ひとはく連携活動グループ run ♪run ♪ plaza
(るんるんぷらざ)
NPO 法人 さんぽくらぶ
NPO 法人 人と自然の会
ひとはく連携活動グループ テネラル
宍粟市のしーたん
丹波市のちーたん
淡路市のあわ神
三田市のキッピー
兵庫県のはばタン
キッズひとはく大使のみなさん

■イベント開催団体

NPO 法人 人と自然の会「理科ボックスクラブ」
NPO 法人 人と自然の会「古代の会」
NPO 法人 人と自然の会「花工房」
NPO 法人 人と自然の会「星の会」
NPO 法人 人と自然の会「里山クラブ」
NPO 法人 人と自然の会「ネイチャークラフトク
ラブ」
ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS
ひとはく連携活動グループ run ♪run ♪ plaza
(るんるんぷらざ)
ひとはく連携活動グループ テネラル

ひとはく連携活動グループ 篠山層群をしらべ
る会

ひとはく地域研究員 河南堂珍元齋
神戸市立須磨海浜水族園ボランティア(SAPV)
三田マッキントッシュ・ユーザーズグループ
(SMUG)

伊丹市昆虫館友の会
財団法人大阪市教育振興社 キッズプラザ大
阪

ひょうご考古楽倶楽部
みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)
兵庫県立丹波並木道中央公園
たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづく
り推進協議会

有馬富士公園(パークセンター&自然学習セン
ター)

兵庫県立歴史博物館
兵庫陶芸美術館

明石市立天文科学館
西宮市貝類館

宍粟市
株式会社 エフコーポレーション

株式会社 道下工務店神戸支店

株式会社 北摂コミュニティ開発センター

■飲食系出店団体

(有)福助
(株)飛行船
ボーイスカウト三田第一団
カレーハウス CoCo 壺番屋
三田ホテル
社会福祉法人まほろば
ミツカンよかわビオトープ倶楽部
LOCOCREPE
まこれる三田の会&松尾亭

フロアサービス実績一覧

イベント名	内容	参加者数	実施回数
デジタル紙芝居	「アリマキのドロップ」	787	32
	「たんぽぽレストラン」	1028	40
	「ぶくぶくあわわ～森から川へのおくりもの～」	714	29
	「コウちゃんの60日間」	455	18
	「スミスネズミと100年の森」	735	28
	「ススキ草原のオーケストラ」	966	34
	「うりんぼのごちそう」	267	8
	「丹波の恐竜たんたんのひとはくナイトミュージアム」	832	29
	「タヨウ星人スナ・メリメリの冒険」	759	18
	「アンモナイト物語」	2124	50
	「丹波の恐竜タンタン物語」	1301	49
エコバッグをつくろう		416	1
展示解説	「ボルネオジャングル探検」	2418	131
	「ひょうごの自然自慢ツアー」	159	13
	「ひとはく不思議発見ツアー」	179	11
	「海の仲間たちツアー～大きな骨は何の骨?～」	852	62
フロアスタッフとあそぼう	「画はくの日」	660	24
	「こいハットをつくろう」	63	3
	「ハネフクベのたね」	219	8
	「アメリカマストドンのうちわづくり」	3	1
	「移動博物館車のペーパークラフト」	71	11
	「海の生き物うちわづくり」	14	2
	「うみのカラフルさかな～浮沈子～」	101	2
	「エコバッグ」	11	1
	「オオムラサキペーパークラフト」	91	3
	「おさんぽ♪でんでんむし」	80	5
	「おひなさまづくり」	139	4
	「風にのってとぶタネ」	88	2
	「かたつむりのクイリング」	6	1

「川でさかなつり」	664	17
「木ュービックパズル」	85	5
「きょうりゅうほねパズル」	21	1
「金環日食工作」	80	3
「クジラのぶんぶんゴマ」	27	3
「クリスマスカードづくり」	63	4
「クリスマスツリー～影であそぼう～」	191	10
「くるくる飛ぶたね」	28	4
「クワガタぶんぶんゴマ」	125	2
「けんちくかの日」	111	4
「こいのぼりをとぼそう」	161	2
「コウノトリの折り紙」	5	1
「ごはんを食べたらなにができる？」	66	4
「ジャンプ！恐竜」	107	4
「たこづくり」	136	2
「七夕万華鏡づくり」	123	2
「たんぽぽコースターづくり」	64	2
「動物ビンゴ」	107	2
「飛べ！ムササビグライダー」	73	2
「なりきり★恐竜ハット」	138	6
「はくぶつかんペーパークラフト」	100	2
「葉っぱでおえかき」	60	2
「パタパタコウノトリ」	15	2
「パタパタプテラノドン」	88	2
「ハロウィンパンプキンかざり」	6	2
「ひとはくモビール～クリスマスバー ジョン～」	82	2
「万華鏡づくり」	156	2
「ミニこいのぼり」	176	2
「ゆらゆら恐竜せんす」	104	2
「リサイクルコースター」	61	2
「飛行リング」	299	31
「パタパタプテラノドン」	83	31
うきうきワークショップ		
「きょうりゅうのジオラマをつくろう」	68	1
「トリバネアゲハ・ペーパークラフト」	111	1
「オオムラサキのペーパークラフト」	95	1
「簡単化石のレプリカづくり」	1945	9
「ひとはくサンバイザー」	136	1

	「プラバン」	186	2
	「バルーンアート」	123	1
	「はねふくべ」	105	1
	「くるくるとぶたね」	102	1
	「六角パズル」	132	1
深田公園うきうき探検隊	テーマ:「水辺の生き物探検隊」、「虫をさがそう」、「きのこゲットだぜ!」、「バッタとり」、「深田公園のいきものたち」、「石ころをさがそう」	210	7
そのほか	「特注デジタル紙芝居」	1128	19
	「特注ラボレク」	138	4
	「デジタル紙芝居+簡単化石のレプリカづくり」	118	2
	「ムササビライダー」	151	2
	「生物多様性クイズ」	86	1
	「特注デジタル紙芝居」	1128	19
合計		25671	890

外部資金導入状況

◆科研費等助成金

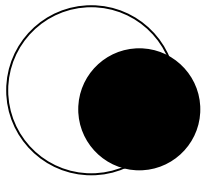
課 題 名	助成元	種別	代表者氏名	分担者氏名	金額 (千円)
恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開	日本学術振興会	基盤研究 C	佐藤裕司	三枝 春生	2,200
地磁気逆轉期における寒冷化イベントの発生原因の解明	日本学術振興会	基盤研究 B	兵頭 政幸	佐藤裕司	100
ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割	日本学術振興会	基盤研究 B	先山 徹	高橋 晃 高野 温子 藤本 真理 赤澤 宏樹	3,900
西日本における中世石造物の成立と地域的展開ー石材と形態・様式に着目して	日本学術振興会	基盤研究 B	市村高男	先山 徹	390
地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開 文部科学省科学研究費補助金	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究	加藤 茂弘		1,170
袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価 文部科学省科学研究費補助金	日本学術振興会	基盤研究 B	岡田 篤正	加藤 茂弘	1,040
ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実	日本学術振興会	特別推進研究	諏訪 元	加藤 茂弘	36,140
地形学・地震学および地球電磁気学的手法を統合的に用いた断層地下構造の解明ー地表から起震断層までー	東京大学地震研究所共同利用研究助成		山口 覚	加藤 茂弘	200
平成24年度特別教育研究助成金「恐竜等篠山層群産脊椎動物化石の研究」	特別教育研究助成金		三枝 春生		650
日本産古第三紀内湾性貝類化石群の時代的変遷に関する研究	日本学術振興会	基盤研究 C	松原 尚志		650
最古の現生種化石記録から探る現生貝類群集の成立：その時期と古環境背景	日本学術振興会	基盤研究 C	近藤康生	松原 尚志	120
明治・大正・昭和前期の論文に記載された古生物産地標本の所蔵調査	日本学術振興会	基盤研究 C	伊藤泰弘	松原 尚志	250
広域分布する蘚苔類における地域集団間分亜の解明	日本学術振興会	基盤研究 C	秋山 弘之		2,470
東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域インベントリー	日本学術振興会	基盤研究 A	神崎 護	秋山 弘之	910
特異な性の維持機構とその進化ー全く新しい性表現を持つ植物からのアプローチ	日本学術振興会	若手研究 B	布施 静香		1,100
東アジアの広域に見られるニホンスッポン種群の個体群分類学的研究	日本学術振興会	基盤研究 C	太田 英利		2,210
アリーアリー擬態クモ共生系の食物連鎖構造の解明：多様性創出は生態系安定に寄与するか	日本学術振興会	基盤研究 C		橋本 佳明	1,700
受講者と探るカワバタモロコの絶滅過程	日本学術振興会	基盤研究 C	田中 哲夫		900
ミツバチに収獲ダンスを踊らせなかったら何が	日本学術振興会	挑戦的萌芽	大谷 剛		500

起こるか		芽研究			
高齢な失語症者が楽しめる博物館の研究：ユニバーサルな観点から	大阪ガスグループ福祉財団	研究・調査 助成	三谷 雅純		220
希少種ニホンイヌワシの保全―餌利用の季節的变化を考慮した生息地管理策の構築―	日本学術振興会	若手研究 B	布野 隆之		2,500
産官学協働による尼崎 21 世紀の森づくりの推進に関する研究	(財) 兵庫県立大学科学技術 後援財団		赤澤 宏樹		300
集落持続性に向けた民俗慣行に見る居住継続システムの解明	日本学術振興会	若手研究 B	山崎 義人		700
市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究	日本学術振興会	基盤研究 B	重村力	山崎 義人	200
スマトラ島西部地震からの現地地型と集落移転型集落再建プロセスの空間論的比較分析	日本学術振興会	基盤研究 C	山崎 義人		200
アーバン・レジリエンス研究会	日本都市計画学会関西支部研 究助成		山崎 義人		100
西脇市等における植生調査、整備計画、環境調査	サントリーホールディング (株)		服部 保		1,000
都市域における自然系エコミュージアム形成・持続的運営のための手法の開発	日本学術振興会	基盤研究 B	橋本 佳延		800
市町における生物多様性地域戦略策定を促進・阻害する要因の解明	一般財団法人 地域政策研究 会調査研究助成		橋本 佳延	三橋弘宗 上田萌子	200
市町における生物多様性地域戦略策定の支援のあり方に関する研究	兵庫県シンクタンク等協議会	自主研究 グループ に対する 研究助成	橋本 佳延	三橋弘宗 上田萌子	300
海岸植生の生物多様性保全に向けた管理体系の構築―山陰海岸国立公園を事例に	日本学術振興会	基盤研究 B	黒田 有寿茂		1,040
巡回展「タンポポ」の企画・運営	西日本自然史ネット	那須自然 史基金	鈴木 武		300
恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開	日本学術振興会	基盤研究 C	佐藤裕司	三枝 春生	2,200
地殻気逆転期における寒冷化イベントの発生原因の解明	日本学術振興会	基盤研究 B	兵頭 政幸	佐藤裕司	100
ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割	日本学術振興会	基盤研究 B	先山 徹	高橋 晃 高野 温子 藤本 真理 赤澤 宏樹	3,900
西日本における中世石造物の成立と地域的展開―石材と形態・様式に着目して	日本学術振興会	基盤研究 B	市村高男	先山 徹	390
地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開 文部科学省科学研究費補助金	日本学術振興会	挑戦的萌 芽研究	加藤 茂弘		1,170
袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価 文部科学省科学研究費補助金	日本学術振興会	基盤研究 B	岡田 篤正	加藤 茂弘	1,040
ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実	日本学術振興会	特別推進 研究	諏訪 元	加藤 茂弘	36,140

地形学・地震学および地球電磁気学的手法を統合的に用いた断層地下構造の解明―地表から起震断層まで―	東京大学地震研究所共同利用 研究助成		山口 覚	加藤 茂弘	200
合計					64,460

◆受託研究等

件 名	委託元	受託者	金額 (千円)
シダ類等の栽培業務	財団法人ひょうご環境創造協会	服部 保	500
平成24年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務	兵庫県阪神南県民局	服部 保	1,100
平成24年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社	服部 保	500
平成24年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連委託業務	大阪ガス株式会社	服部 保 橋本 佳延 黒田 有寿茂	990
森林ボランティア育成教本作成業務	社団法人兵庫県緑化推進協会	服部 保 石田 弘明 橋本 佳延	1,400
南公園里山保全・育成プロジェクト竹林枯死試験・里山担い手養成業務	三田市	服部 保 石田 弘明 橋本 佳延 黒田 有寿茂	600
シカに関する植物調査	兵庫県森林動物研究センター	服部 保 石田 弘明	800
山陰海岸ジオパークにおけるジオキャラバンの実施とその評価に関する研究	山陰海岸ジオパーク推進協議会	石田 弘明	400
三田市有馬富士自然学習センターの目指す方向に関する研究	三田市	石田 弘明	300
慶野山原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務	兵庫県立淡路景観園芸学校	黒田 有寿茂	350
シダ類等の栽培業務	財団法人ひょうご環境創造協会	服部 保	500
平成24年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務	兵庫県阪神南県民局	服部 保	1,100
平成24年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社	服部 保	500
平成24年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連委託業務	大阪ガス株式会社	服部 保 橋本 佳延 黒田 有寿茂	990
合計			6,940



利用案内

■観覧時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)
 年末年始
 (平成24年12月28日～平成25年1月2日)
 臨時休館日
 (平成25年1月7日～2月8日)

■観覧料 (平成24年4月1日現在)

区分	個人	団体(20人以上)
一般*	200円	150円
大学生	150円	100円
高校生	100円	70円
小・中学生	無料	

*:65歳以上の方は半額、障害者(介護者を含む)は半額

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。(客席数500)

使用料 (平成24年4月1日現在)

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
(土日祝)	5,500円	7,000円	12,500円
(平日)	4,400円	5,600円	10,000円

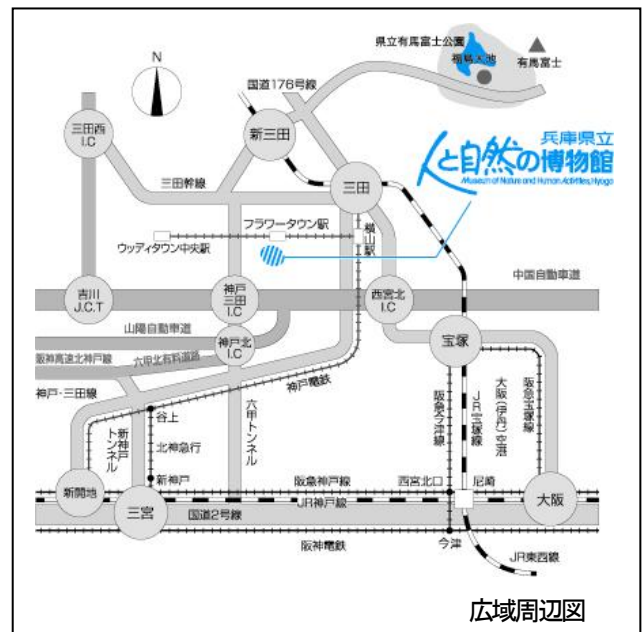
なお、附属設備の料金については別に定めます。

■交通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。
 神姫バスフラワータウンセンター下車すぐ。
 中国自動車道神戸三田より10分。

■駐車場 バス 13台 無料(要予約)
 普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。



博物館周辺図



広域周辺図



ANNUAL REPORT
of
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
For the Fiscal Year of 2012
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan